ビジネス・ブレークスルー

（２０１５年４月１日現在）

株式会社 ビジネス･ブレークスルー

Business Breakthrough, Inc.

ビジネス・ブレークスルー
コンテンツ・テーマ一覧

目　次

＜財務・会計＞ 107

＜ビジネストピックス＞ 111

＜経済トピックス＞ 142

＜海外レポート＞ 143

＜ビジネス講座＞ 146

▲は二次使用および AirSearch での視聴に制限のある番組
■は放送できない番組
●は事情により、現状ではすぐにはご視聴頂けない番組

他にも一部権利関係等でご視聴になれない番組がございます。特定の番組に関わる視聴可否につきましては、番組をご指定頂いた上で弊社カスタマーサービス(customer@bbt757.com)までお問い合わせください。

＜経営・戦略＞

大前研一ライブ

1998 年 10 月～現在

番組コンセプト
大前研一がマクロな経済情勢と企業経営をテーマに毎週生放送でお届けするライブ番組です。番組の前半は世界と日本で１週間に起こった出来事から注目すべきニュースを独自の観点から解説、後半は視聴者からの質問に対して経営コンサルタントとしての立場から直接お答えします。
講師
★大前研一（経営コンサルタント） マサチューセッツ工科大学大学院博士課程修了後、日立製作所、マッキンゼージャパン会長を経て現職。カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)大学院政策学部教授、オーストラリアのボンド大学の客員教授でもある。著書多数。

※毎回その週のニュースを取り上げてお送りするため、各回のテーマは掲載しておりません。

＜経営・戦略＞

大前研一アワー

1998年10月～現在

番組コンセプト

大前研一が国内外で行う講演の模様や、世界のトップ経営者との対談、自ら現地へ赴いての海外レポート、また、自ら主催する経営者の勉強会「向研会」の模様などを通して、世界のビジネス最新情報をお届けします。大前研一は今、経営の課題や新しいビジネスをどのように見ているのか。グローバルな視点を養いたい方、新たなビジネスチャンスを探している方にとってヒントの多い番組です。

講師

★大前研一（経営コンサルタント）
　⇒プロフィールは「大前研一ライブ」参照

◆大前研一海外レポート

1	インドレポート（１） 躍進するインド：アジアのハイテク大国　～バンガロール～ ゲスト：ジョージ・ヴォルギーズ氏（ジャスディック・パーク株式会社）
2	インドレポート（２） 躍進するインド：アジアのハイテク大国　～デリー～ ゲスト：ヴィヴェック・シング氏（ジャスディック・パーク株式会社）
3	インドレポート（３） 躍進するインド：アジアのハイテク大国　～ハイデラバード～ ゲスト：センティル・エス氏（ジャスディック・パーク株式会社）
4	インドレポート（４） 躍進するインド：アジアのハイテク大国　～総集編～ ゲスト：大矢毅一郎氏（ジャスディック・パーク株式会社代表取締役社長）
5	アメリカ東海岸レポート（１） ２１世紀における雇用創出と競争力：アメリカ東海岸に学ぶ　～ボストン編～
6	アメリカ東海岸レポート（２） ２１世紀における雇用創出と競争力：アメリカ東海岸に学ぶ　～ニューヨーク編～
7	アメリカ東海岸レポート（３） ２１世紀における雇用創出と競争力：アメリカ東海岸に学ぶ　～ワシントン編～
8	アメリカ東海岸レポート（４） ２１世紀における雇用創出と競争力：アメリカ東海岸に学ぶ　～オーランド編～
9	中国レポート第１弾 目覚める大国　～上海・蘇州編～
10	中国レポート第２弾 目覚める大国　～大連・瀋陽編～●
11	中国レポート第３弾 迷える孤島　台湾　～二国一制度で第二次アジア危機を切り抜けろ～
12	中国レポート第４弾 目覚める大国　＜向研会　PART1＞　～日系進出企業と中国経済の内包化～
13	中国レポート第５弾 目覚める大国　＜向研会　PART2＞　～外資企業と中国国内企業の行方～
14	中国レポート第６弾 目覚める大国　＜向研会　PART3＞　～間接業務のユニクロ化～
15	中国レポート第７弾 目覚める大国　＜向研会　PART4＞　～株式会社“大学”～
16	中国レポート第８弾 目覚める大国　＜向研会　PART5＞　～中国シフト・勝ち組企業の成功条件～●
17	中国レポート第９弾 世界の都と都市計画
18	北欧レポート第１弾 小さな大国　＜北欧三都物語　PART1＞　～フィンランド～
19	北欧レポート第２弾 小さな大国　＜北欧三都物語　PART2＞　～スウェーデン～
20	北欧レポート第３弾 小さな大国　＜北欧三都物語　PART3＞　～デンマーク～
21	韓国レポート KOREA'S NOW & FUTURE ～2004年向研会緑陰セミナー～
22	中欧レポート第１弾 EU ENLARGEMENT IN CENTRAL EUROPE ～The Volume of Hungary～
23	中欧レポート第２弾 EU ENLARGEMENT IN CENTRAL EUROPE ～The Volume of Czech～
24	中欧レポート第３弾 EU ENLARGEMENT IN CENTRAL EUROPE ～The Volume of Poland～
25	台湾レポート TAIWAN　AS　SUCH　～２００５年向研会緑陰セミナー～
26	トルコレポート第１弾 知られざる欧米ブランドの生産基地
27	トルコレポート第２弾 知られざる観光の魅力
28	トルコレポート特別編 駐日トルコ大使とトルコを語る ゲスト：ソルマズ・ウナイドゥン氏（駐日トルコ共和国特命全権大使）
29	インドレポート第１弾 ムンバイで見た 大国が秘める底力
30	インドレポート第２弾 Ｓｔｒａｔｅｇｙ　ｉｎ　ａ　Ｂｏｒｄｅｒｌｅｓｓ　Ｗｏｒｌｄ
31	ＵＡＥレポート ドバイで見た砂漠の国が築く夢
32	インドレポート特別編 Mr.Ratan N. Tata への質問状
33	マカオレポート　カジノ都市マカオ ゲスト：余語邦彦氏（アルゼ株式会社　代表取締役兼ＣＥＯ）
34	【大前研一ロシアレポート第一弾】 Ｒｕｓｓｉａ　Ｓｈｏｃｋ　変貌する北の大国 Ｐａｒｔ１
35	【大前研一ロシアレポート第二弾】 Ｒｕｓｓｉａ　Ｓｈｏｃｋ　変貌する北の大国 Part2
36	大連レポート
37	【拡大ＥＵと「東欧」】 ルーマニアレポート
38	【拡大ＥＵと「東欧」】 ウクライナレポート
39	【大前研一インドネシアレポート第１弾】 新興大国インドネシア ＢＲＩＣｓからＢＲＩＩＣｓへ Ｐａｒｔ１
40	【大前研一インドネシアレポート第２弾】 新興大国インドネシア ＢＲＩＣｓからＢＲＩＩＣｓへ Ｐａｒｔ２
41	韓国・済州島レポート 済州特別自治道から学ぶ道州制
42	【大前研一オーストラリアレポート第１弾】 新・経済大陸 オーストラリア Ｐａｒｔ１ ～Ｃｌｅａｎ＆Ｇｒｅｅｎ～
43	【大前研一オーストラリアレポート第２弾】 新・経済大陸 オーストラリア Ｐａｒｔ２ ～ニッチで活躍する企業／ＰＰＰの活用～
44	【大前研一オーストラリアレポート第３弾】 新・経済大陸 オーストラリア Ｐａｒｔ３ ～Ｇｏｌｄ Ｃｏａｓｔの開発から学ぶ～

45	台湾レポート２０１１ Ｃｈａｉｗａｎ熱風と日台関係
46	シリコンバレーは止まらない Ｐａｒｔ１ ～ベンチャービジネスの現状～
47	シリコンバレーは止まらない Ｐａｒｔ２ ～新ビジネス・サービスの動向～
48	【クオリティ国家・スイス Ｐａｒｔ１】 小国の知恵に学ぶ ～グローバル市場で勝てる人材～
49	【クオリティ国家・スイス Ｐａｒｔ２】 小国の知恵に学ぶ ～グローバル市場で勝てるブランド～
50	【クオリティ国家・スイス Ｐａｒｔ３】 小国の知恵に学ぶ ～グローバル市場で勝てる企業～
51	【クオリティ国家・シンガポール】 ～事業戦略型国家に学ぶ～
52	【クオリティ国家・ドイツ Ｐａｒｔ１】 地方自治の国際競争力に学ぶ
53	【クオリティ国家・ドイツ Ｐａｒｔ２】 分散型国家の繁栄に学ぶ
54	【ＥＵ・ロシアへのＧａｔｅｗａｙ バルト三国・ベラルーシ Ｐａｒｔ１】 エストニア
55	【ＥＵ・ロシアへのＧａｔｅｗａｙ バルト三国・ベラルーシ Ｐａｒｔ２】 ラトビア
56	【ＥＵ・ロシアへのＧａｔｅｗａｙ バルト三国・ベラルーシ Ｐａｒｔ３】 リトアニア／ベラルーシ

◆大前研一対談

1	アルビン･トフラー氏（未来学者）対談 ２１世紀へのビジネス・ブレークスルー
2	ダン・フィリプス氏（モーニング・スター会長）対談
3	フィル･ナイト氏（ナイキ会長）対談 ラストチャンスの時だけは失敗するな
4	室伏哲郎氏（湯河原ジャポニズム美術館館長）対談●
5	アンソニー・オライリー氏（ハインツ会長）対談
6	トーマス･シーベル氏（シーベル・システムズ社長）対談 ＳＦＡ市場を席巻する男
7	井沢元彦氏（作家）対談
8	ゲリー・デイシェント氏（シスコシステムズ副社長）対談
9	松橋功氏（ＪＴＢ代表取締役会長）対談 アメリカ・オーランドに学ぶ２１世紀の日本の観光ビジネス●
10	小笠原敏晶氏（株式会社ニフコ代表取締役社長）対談
11	マイケル・スペンス氏（スタンフォード大学ビジネススクール学長）対談 ２１世紀の教育とビジネス
12	リチャード・Ｅ・カバナー氏（コンファレンス・ボード理事長兼ＣＥＯ）対談
13	ソロモン・Ｄ・トゥルヒージョ氏（ＵＳウエスト社長）対談
14	Ａ・Ｇ・ボーズ氏（ボーズ株式会社代表取締役）対談
15	ウィットキャピタル社対談 インターネットによる資金調達と電子商取引 ゲスト： ・アンドリュー・クライン氏（ウィットキャピタルジャパンＣＥＯ） ・椛田泰史氏（ウィットキャピタルジャパン取締役）●
16	サイエント社インタビュー ゲスト： ・リチャード・ハウ氏（サイエントＣＥＯ） ・エリック・グリーンバーグ氏（サイエント創業者）
17	アンソニー・グリーナー氏（ＤＩＡＧＥＯ会長）対談●
18	ジェン・チェンバース氏（シスコシステムズ会長）対談
19	「財界」緊急対談 ＩＴ革命の成功は国家、企業トップのリーダーシップに左右される！ ゲスト：村井純氏●
20	アルビン・トフラー氏対談 アルビン・トフラーと再び語る ゲスト： ・アルビン･トフラー氏（未来学者） ・ハイジ・トフラー氏
21	黄茂雄氏対談●
22	孫正義氏対談
23	「大前経営塾」開講記念特別対談 目覚めよ経営者！ ゲスト：藤原昭広氏（株式会社プレジデント社取締役雑誌編集本部長兼プレジデント編集長）●
24	ＧＳＩプロジェクト記念対談 「間接業務のユニクロ化」が中国の大連で動き出した ゲスト：劉積仁氏（東軟集団有限公司総裁／中国・東北大学副学長）
25	【大前研一ｖｓ孫正義】 「５年後の IT ビジネス」を予見する ゲスト：孫正義（ソフトバンク株式会社　代表取締役社長）
26	【慶應義塾大学オープンリサーチフォーラム】 インターネット・グローバリズム ～村井純氏対談～
27	【『富の未来』出版記念特別対談対談】 ＲＥＶＯＬＵＴＩＯＮＡＲＹ ＷＥＡＬＴＨ ゲスト：アルビン・トフラー氏
28	Ｔｏｙｓ“Ｒ”Ｕｓの行方 ～新会長兼 CEO が語る経営再建への戦略～ ゲスト：Gerald.L.Storch 氏（Toys“R”Us,Inc.Chairman and CEO）
29	【ダニエル・ピンク氏対談】 未来を生き抜く力 ゲスト：ダニエル・ピンク氏
30	Ｄｒ．Ｐｅｈｏｎｇ Ｃｈｅｎ対談 ゲスト：Ｄｒ．Ｐｅｈｏｎｇ Ｃｈｅｎ（ＢｒｏａｄＶｉｓｉｏｎ，Ｉｎｃ． Ｃｈａｉｒｍａｎ，Ｐｒｅｓｉｄｅｎｔ＆ＣＥＯ）
31	ダニエル・ピンク氏対談 「モチベーション３．０」出版記念特別対談 ～人材の「やる気！」をいかに引き出すか～
32	世界の証券取引所の今 そしてこれから ゲスト：Ｍａｇｎｕｓ Ｂｏｃｋｅｒ氏（シンガポール証券取引所 ＣＥＯ）
33	ダイヤモンド・オンライン特別対談 「原子力規制庁」は福島第一原発事故から何を学ぶべきか 平智之議員（民主党・衆議院議員）

◆向研会

1	福岡向研会 一人勝ちの経済学
2	Value-CRAFT 戦略　～金融技術を活用した新事業創造～ ゲスト：名和高司氏（マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク　ジャパン）●
3	Ｂ２Ｂの現状と今後の展望 ゲスト： ・内田雅彦氏（日本オラクル） ・Jim Manzi 氏（元 Lotus 会長）▲
4	世界における中国経済のポジションと動向　～世界の工場となる中国～
5	ＥＭＳビジネスの動向
6	ミスミの経営戦略 ゲスト：田口弘（株式会社ミスミ代表取締役社長）
7	ＥＭＳの成長とソレクトロンのビジネスモデル ゲスト：安井敏雄氏（ソレクトロンジャパン株式会社代表取締役社長）●
8	低価格経済における企業経営
9	中国経済の動向＜Part2＞●
10	２００１年の経済総括●
11	日本における金融の現状と課題●
12	日本経済の再生
13	資産デフレのインパクト
14	間接業務の見直しとコスト構造の再設計
15	企業経営における意思決定のロジカルマネジメント
16	企業再生
17	企業再生＜事例編＞　～光通信再生の総決算～ ゲスト：余語邦彦氏（株式会社大前・ビジネス・ディベロップメンツエグゼクティブ・パートナー）
18	企業倫理の現状と問題点
19	韓国経済の動向
20	生活者による日本再生プラン
21	ジョンソン・エンド・ジョンソンのリーダーシップ ゲスト：廣瀬光雄氏（ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社ビジョンケアカンパニー最高顧問／有限会社マベリックジャパン代表取締役社長）
22	現代のリーダーシップ
23	高齢化の経済学
24	北欧経済の競争力　--北欧の競争力の源泉と日本再生への示唆--
25	向研会緑陰セミナー 地域構想・都市構想による日本再生 ゲスト：横内憲久氏（日本大学理工学部海洋建築工学科教授） 野田由美子氏（プライスウォーターハウスクーパース・フィナンシャル・アドバイザリー・サービス株式会社パートナー）●
26	ブランド経営の現状と課題
27	日本のアントレプレナーシップの動向
28	２００３年から見た２１世紀の経済概論
29	スピード経営の現状と課題
30	ＢＰＯの動向
31	日本のイノベーション能力の現状と課題
32	産業構造の大変革
33	雇用多様化の現状と課題
34	中国の成長が周辺諸国に与える影響
35	Google の企業経営へのインパクト
36	コーポレート・ベンチャー
37	中・東欧経済
38	ＢＲＩＣｓの経済動向
39	２００４年経済から見た今後の経済見通し
40	ニューラグジュアリーを創造する企業戦略
41	Ｌｏｗｅｒ－Ｍｉｄｄｌｅ ｃｌａｓｓ マーケットの現状
42	政府のリストラによる日本再生プラン
43	日本のビジネス界における経営人材の輩出・育成の現状
44	ブランドの鉄則
45	Lower-Middle 時代における日本経済再構築
46	インドの経済・ビジネス動向
47	株式市場の変化と企業のあり方
48	マネジメント教育の今後
49	中国経済の動向 ＜Part.3＞ 顕在化する諸問題とこれからの中国
50	2005 年経済から見た今後の経済見通し
51	人口減少・２００７年問題に向けた経営課題
52	中東経済とドバイの発展
53	デジタル業界大再編
54	パシフィックゴルフグループのビジネスモデル ゲスト講師：廣瀬光雄（パシフィックゴルフマネジメント株式会社代表取締役会長兼社長）
55	東アジアの経済連携
56	2006 年経済から見た今後の経済見通し
57	企業不祥事の現状と課題
58	企業のグローバル化と人材マネジメント
59	Ｗｅｂ２．０でビジネスはどう変わる？　ブロードバンド時代のビジネス新常識 ゲスト講師：菅谷義博氏（旅行情報ドットネット代表取締役社長）
60	企業経営と日本版ＳＯＸ法 ゲスト講師：堀江正之氏（日本大学商学部 日本大学大学院商学研究科 教授）
61	心理経済学
62	ロシア経済
63	日本企業の生産性・組織・雇用形態の現状と課題
64	環境ビジネスの現状と企業経営 ゲスト講師：足達英一郎（株式会社日本総合研究所 創発戦略センター 主席研究員）
65	世界と日本における税制の現状と課題
66	2007 年経済から見た今後の経済見通し
67	台湾企業の躍進の要因と日本企業への影響
68	老舗企業から学ぶ経営の要諦 ～持続的成長のために～ ゲスト講師：横澤利昌（亜細亜大学経営学部教授）
69	中国経済２００８ ～成長の原動力とリスク～
70	官製不況
71	ＥＵ経済　～新ＥＵの実力と展望～
72	日本の競争力 ～素材・部材・化学・繊維　その強さと経営の本質とは～
73	ＥＵ新規加盟国および近隣諸国の経済動向
74	米国金融危機の現状　～今、世界で何が起こっているのか～
75	ＹｏｕＴｕｂｅの企業経営におけるインパクト ゲスト講師：岸本義之氏（ブーズ・アンド・カンパニー株式会社 ディレクター）
76	２００８年経済から見た今後の経済見通し
77	ブランド再生 ～情緒価値をつくるブランディング～ ゲスト講師：関橋英作氏（MUSB クリエイティブ戦略家）
78	派遣・雇用問題の本質と企業経営への影響
79	アジア経済の現状と課題
80	個人消費・消費者心理の現状と課題
81	日本の貿易構造の変化とその影響
82	クラウド・コンピューティング～持たないＩＴという選択～ ゲスト講師：沼畑幸二氏（アクセンチュア株式会社 パートナー）
83	クラウドソーシング（Ｃｒｏｗｄｓｏｕｒｃｉｎｇ）
84	Ｍ＆Ａ成功の条件 ゲスト講師：服部暢達氏（一橋大学大学院 客員教授）
85	中国の規模感
86	ＩＦＲＳが企業経営に与えるインパクト ゲスト講師：藤田和弘氏（アビームコンサルティング株式会社 執行役員 プリンシパル）

87	２００９年経済から見た今後の経済見通し
88	電子マネーの動向
89	異業種競争戦略 ゲスト講師：内田和成氏（早稲田大学ビジネススクール 教授）
90	経済特区・地方自治体の自由度の現状と課題 ～国際比較から見た日本への示唆～
91	プラットフォーム戦略 ゲスト講師：平野敦士カール氏（株式会社ネットストラテジー 代表取締役社長）
92	スマートコミュニティ稲毛 視察レポート
93	なぜ台湾企業が勝者となってきているのか？ ～日本企業に対する意味合い～
94	世界一のシェアを持つ日本企業
95	郵政事業の変革 ゲスト講師：宇田左近氏（ビジネス・ブレークスルー大学大学院教授）
96	韓国企業の競争力 ～日本企業に対する意味合い～
97	電子書籍・携帯情報端末の動向
98	２０１０年経済から見た今後の経済見通し
99	フリー戦略と企業のメディア化 ゲスト講師：小林弘人氏（株式会社インフォバーン 代表取締役ＣＥＯ）
100	家計バランスシート・消費不況の現状と課題
101	大前研一が語る東日本大震災による福島原発事故 収録：2011 年 3 月 17 日（東京 向研会）
102	いま若者が楽しんでいること ～社会構造の変化と消費～ ゲスト講師：三浦 展氏（株式会社カルチャースタディーズ研究所 代表取締役）
103	電力会社解体と今後のエネルギー政策の課題
104	米国の新ビジネス・サービス創出の動向
105	ＡＢＣ Ｃｏｏｋｉｎｇ Ｓｔｕｄｉｏに学ぶ ～集いの場の創造～ ゲスト講師：志村なるみ氏（株式会社ＡＢＣ Ｈｏｌｄｉｎｇｓ 取締役）
106	メディアの現状と将来
107	新興国企業の台頭と日本への影響
108	２０１１年経済から見た今後の経済見通し
109	ソーシャルシフト～企業と生活者、新しいコミュニケーションのカタチ～ ゲスト講師：斉藤 徹氏（株式会社ループス・コミュニケーションズ 代表取締役社長）
110	進む先進国企業 ～どうした日本企業～
111	地域活性化の現状と課題
112	中国経済のリスクと対策
113	【向研会緑陰セミナー】日本発グローバル企業に学ぶ ～ＫＯＭＡＴＳＵ ＆ ＹＫＫ～
114	インターネットスタートアップ最前線 ゲスト講師：小林 雅氏（インフィニティ・ベンチャーズＬＬＰ 共同代表パートナー）
115	クオリティ国家の研究
116	なぜ日本企業が世界の革新的企業として全く出てこなくなったのか ～いかに日本から世界的イノベーション企業を輩出するか～
117	アフリカでのビジネス経験から学ぶ ゲスト講師：佐藤芳之氏（株式会社オーガニック・ソリューションズ・ジャパン 代表取締役／ケニア・ナッツ・カンパニー 創業者）
118	日本人の海外シフトの現状と課題 ～いかにして、世界が日本に、日本が世界に広がっていけるか？～
119	２０１２年経済から見た今後の経済見通し
120	新興国のビジネスチャンスと活躍する日本人 ゲスト講師：椿 進氏（株式会社パンアジアパートナーズ 代表取締役社長）
121	日本のエネルギー問題
122	シェール革命で米国経済は復活するのか？
123	インフレ、国債デフォルトに対する企業および個人としての備え ゲスト講師：平山賢一氏（東京海上アセットマネジメント投信株式会社 運用戦略部チーフファンドマネージャー）
124	世界の教育トレンド
125	ドイツの研究 ～日本はドイツから何を学ぶか～
126	ＢＯＰビジネスとイノベーション ゲスト講師：中村俊裕氏（米国ＮＰＯ法人コペルニク 共同創設者・ＣＥＯ）
127	シリコンバレーの新潮流 ～米国発 新世代エコシステム～
128	我々は日米の好業績企業から何を学ぶか？ ～日米成長企業の動向～
129	２０１３年経済から見た今後の経済見通し
130	メイカーズ・ムーブメントの動向 ゲスト講師：田川欣哉氏（株式会社タクラム・デザイン・エンジニアリング 代表） 八木啓太氏（ビーサイズ株式会社 代表取締役社長）
131	アジア企業のグローバル化の現状
132	世界のリゾートの研究
133	消費者の新潮流
134	クラウドソーシングの衝撃 ゲスト講師：比嘉邦彦氏（東京工業大学 イノベーションマネジメント研究科 教授） 吉田浩一郎氏（株式会社クラウドワークス 代表取締役社長兼ＣＥＯ）
135	【向研会緑陰セミナー】美ら海・石垣 ～リゾートの新たな可能性を考える～
136	バルト三国とベラルーシの研究
137	消えゆく産業の垣根 ～業種の壁を超える企業～
138	人口減少の衝撃 ～少子高齢化の現状と将来課題～
139	ＤＩＧＩＴＡＬ時代のあるべき姿を探る ～２１世紀のカタチ～ ゲスト講師：林 信行氏（ＩＴジャーナリスト）
140	２０１４年経済から見た今後の経済見通し
141	オランダの農業から学ぶ ～スマートアグリの最前線とは～

◆大前研一講演・その他

1	早稲田大学講演 日本企業の戦略的課題＜前編＞
2	早稲田大学講演 日本企業の戦略的課題＜後編＞
3	経営塾フォーラム講演 崖っぷちの日本経済をいかに再生するか●
4	あおしんビジネスクラブ講演 これからの経済と金融●
5	東芝基調講演 ネットワーク社会を迎えて日本が克服すべきこと●
6	ニュージーランド５万ドル講演 ボーダーレスワールドに向けての戦略＜前編＞
7	ニュージーランド５万ドル講演 ボーダーレスワールドに向けての戦略＜前編＞
8	原発は今！ ２１世紀への最良の選択とは ゲスト：二見常夫氏（東京電力福島第一原子力発電所所長）●
9	EFI EXECUTIVE FORUM 情報経済で成功するには●
10	横浜講演 横浜港再建計画　～東洋のベニスを目指して～　＜前編＞●
11	横浜講演 横浜港再建計画　～東洋のベニスを目指して～　＜後編＞●
12	大垣青年重役会講演 激変する時代をいかに生きるか＜前編＞●
13	大垣青年重役会講演 激変する時代をいかに生きるか＜後編＞●

14	帝国ホテル講演 直言！　これが経済再浮上の条件だ●
15	ラジオたんぱ講演 これからの資産運用●
16	シスコシステムズ講演 経済復興とインターネット●
17	全国経営者大会基調講演 変われ日本！　～大前研一の緊急提言～　２１世紀の世界と日本　強い日本を創るために
18	伊藤忠テクノサイエンス講演 日本企業はゼロから作り直せ●
19	ＮＴＴ西日本講演 情報革命とニューエコノミー●
20	文部省委託制作番組 大前研一の生涯学習のススメ
21	東京湾交通問題懇話会講演 ２１世紀の日本と東京湾地域　～地域と交通の在り方をめぐって～ ●
22	三井不動産販売講演 ２１世紀に向けての日本経済●
23	ビジネス・ブレークスルー　ハワイ・アドバイザリーコミッティ●
24	ベンチャーリンク講演 ２０００年の見方・とらえ方　～新ビジネスマン・サバイバル！～●
25	ＮＯＫＩＡ・シンガポール講演 ２１世紀型ストラテジストの新しい役割●
26	２０００年新春全国経営者大会 ２１世紀維新、変われ日本！　～国境なき情報統合の時代～　●
27	ＪＡＴＡ経営フォーラム２０００ ２１世紀の勝ち残り戦略
28	神田法人会講演 日本経済、２０００年からの展望と企業のあり方　～企業参謀の戦略的思考とは～●
29	日本ＧＥ講演 Ｅ－コマースは日本の産業社会にどのような変化をもたらすか
30	ＮＥＣ講演 インターネットビジネス維新　～今、大前研一がＮＥＣに直言する～▲
31	社会経済生産性本部講演 ２１世紀の経済社会●
32	音声認識シンポジウム２０００講演 音声認識への期待
33	ビジコム講演 今後の会計事務所のあり方●
34	CTC Smart Computing Circus 2000 ドットコム・ショック　～日本は人・モノ・会社の新旧交代ができるか～●
35	ＰＣオープンアーキテクチャー推進協議会記念講演会 ２１世紀を支える日本ＩＴ産業への期待●
36	三井海上エグゼクティブセミナー 米国経済の実態と日本経済再生の条件●
37	第１７回私立大学進学懇談会講演 ２１世紀を担う人間をつくる教育
38	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス講演 情報と生活●
39	The Internet Global Summit INET 2000●
40	日経コンピュータ創刊５００号記念セミナー ネット・ビジネスの戦略と実践　～ドット・コム時代に求められるビジネスモデル～▲
41	２０００年夏期全国経営者大会 ２１世紀の新たな繁栄を求めて●
42	HP Open View Universe 2000 日本企業の新たな競争力　～ＩＴのマネージメントが勝負を決める～●
43	インターネットと教育フェスティバル ＩＴ教育と日本の未来像●
44	カナダ・モントリオール講演 Strategy for the 21st Century　～２１世紀のための戦略～●
45	ＩＢＭ次世代ｅ－ビジネスコンファレンス ２１世紀のｅビジネスへの展望●
46	久留米くーみんＴＶ１０周年記念講演 ＩＴが変える日本の経済　～ＣＡＴＶの未来像～●
47	日本外国特派員協議会講演 日本のＩＴについて●
48	EXPO MANAGEMENT 2000 THE NEW STRATEGY & THE NEW STRATEGIST●
49	RICOH Solution Way 21 サクセスをつかむ競争力のある企業、２１世紀に勝ち上がる企業
50	KEIO TECHNO MALL 2000 ＩＴがひらく21世紀●
51	レインボークラブ講演 未来企業の条件と次世代リーダーシップの本質
52	リゾート事業協会５周年記念講演 今後の日本のリゾート事業について　～海外との比較における日本のリゾート考察～
53	日経ベンチャー経営セミナー 企業サバイバルの時代、リーダーは戦略を持て！
54	２１世紀の日本の提言 ２１世紀、新たな繁栄を求めて　～ＩＴ革命、国家と企業の役割～　誇りを持って語れる国を創れ！●
55	日米リーダーシップ会議基調講演 リーダーシップとは（Leadership & Populism）
56	ＰＡＤＩジャパンビジネスシンポジウム2001 今後のサービス業のあり方
57	メディカル・フォーラム2001 ＩＴ時代の人材育成
58	HULFT NEXT TOURS 2001 サラリーマン経営学　～ドットコム時代の会社との付き合い方～
59	一橋大学大学院ＭＢＡ講義 Entrepreneurship
60	ＡＢＳ第１１期卒塾式 経営者の「構想力」　～見えない大陸における覇者の条件～
61	2001 KPMG International Partner's Conference Global Competitiveness●
62	２００２年新春全国経営者大会 世界の生産基地となる中国　～中国をいかに自社の経営に取り込むか～●
63	経済同友会講演 新・資本論　～見えない大陸に挑む～
64	Foreign Press Center Luncheon Speech Profits and Perils in China, Inc.●
65	日本知的財産協会講演 ２１世紀の知的財産を考える　～日本再生・競争力強化に向け、知的財産が果たす役割は何か～●
66	日販懇話会記念講演 ２１世紀に生き残る企業経営とリーダーシップ●
67	ミネアポリス講演 The Port of Entry to Prosperity in the 21st Century　～２１世紀型繁栄への入口～
68	日本青年館講演 チャイナ・インパクト　～激しく変化する新しい中国～
69	ＮＥＣ　Ｅラーニング事業部講演 中国戦略・カンパニー制・ＥＭＳ活用に関する提言▲
70	２００１　ＳＭＢＣトップセミナー講演 ２１世紀　日本の再構築●
71	日本コスモトピア講演 ２１世紀の教育を考える
72	ITS Japan Symposium 変えよう日本！　～日本をいかに変えるかを考え、ＩＴＳのさらなる発展を目指す～●
73	富士通ｅラーニングフォーラム 日本におけるｅラーニングの現状と今後●
74	ＩＰ経営改革セミナー 低成長時代に勝ち残る戦略的ＩＴ投資の実践

75	ニチロ講演 日本はいかに中国とつきあうか●
76	SAPPHIRE '02 TOKYO 今こそ日本企業に活力を
77	日本ショッピングセンター協会設立３０周年記念特別講演 新たな時代に対応したこれからの企業経営●
78	情報リスクマネージメントセミナー 企業における情報リスク対応のあり方
79	2003 経営者夏季セミナー 日本再生への道筋●
80	AVAYA WORLD JAPAN 2003 グローバル展開する企業のＩＴ戦略●
81	ＳＯＮＹ戦略リーダーフォーラム 戦略的ビジネスアプローチ　企業戦略論●
82	データウェアハウス＆ＣＲＭ　ＥＸＰＯ
83	SAPIO 創刊１５周年記念講演
84	ユニオントラスト講演
85	一新塾１０周年記念講演 これからの１０年！世界は、そして日本は？
86	The Emergence of The United States of Chunghwa ～2005 年 中國台灣統一！？～
87	SAPPHIRE '05 Tokyo 日本企業の新たな挑戦　～真にグローバルな成長に向けて～
88	正興電機製作所 講演 技術立国ニッポン　～大競争時代における人材づくり～
89	ＡＴＯＭ ＳＵＰＥＲ ＳＥＭＩＮＡＲ 競争力を高めるアウトソーシング
90	ｅ－Ｊａｐａｎサミット２００６講演 Ｉｎｎｏｖａｔｉｏｎ ～Ｋｅｙ ｔｏ ｔｈｅ Ｆｕｔｕｒｅ～
91	DIAMOND 「Harvard Business Review」 創刊３０周年記念講演 ニュー･グローバル･リーダーの条件
92	２００７年春季証券投資セミナー講演 これが世界最適運用～世界標準で考える資産形成～
93	ｍ３ＭＴマーケティングフォーラム２００７ ２１世紀ビジネス社会で成功するスキル開発
94	東洋経済新報社講演 グローバル企業の競争戦略　～国際競争を勝ち抜く経営力のヒント～
95	ダイヤモンド・パートナーズクラブ記念講演 Ｇｌｏｂａｌｉｚａｔｉｏｎ～変わる世界、市場最適化のプロセス～
96	読売資産運用セミナー講演 成長するロシア・東欧 ～最新経済情勢と将来～
97	Entrue World 2007 Growth Strategies in the Low Growth Era：A Lesson From Japan
98	ＩＴｐｒｏ ＥＸＰＯ ２００８基調講演 ＩＣＴ新時代の潮流 ～世界のエンジニアを使いこなす存在となれ～
99	台湾・高雄市講演 Building Regional Competitive Advantage For Kaohsiung City
100	ＣＬＳＡ香港講演 Opportunities and Challenges of Doing Business in Asia
101	スマートコミュニティ稲毛 特別講演 ～いま始めよう！新しい長生きのカタチ～　トークショー：大前研一×三浦雄一郎　～チャレンジする人生を！～
102	ＣＯＭＰＡＮＹ ＦＯＲＵＭ ２００９基調講演 大前流問題解決力
103	一新塾１５周年記念講演 主体的市民による日本変革のシナリオ
104	マネックス証券＋オリックス証券 お客様感謝Ｄａｙ２０１０基調講演 ２０１０年の世界経済展望▲
105	IBM Information On Demand Conference 2010 特別講演 緊急提言！新しい１０年へ向かって、今、日本は何をなすべきか▲
106	全国経営者セミナー特別講義 これからの日本経済と勝ち残る中小企業の成長戦略とは▲
107	台湾総統府特別講演 Ｔａｉｗａｎ'ｓ Ｓｔｒａｔｅｇｉｅｓ Ｂｅｙｏｎｄ ＥＣＦＡ▲
108	ＣＮＩＡＣ Ｉｎｔｅｒｎａｔｉｏｎａｌ Ｂｕｓｉｎｅｓｓ Ｆｏｒｕｍ Ｐｏｓｔ－Ｆｉｎａｎｃｉａｌ Ｃｒｉｓｉｓ Ｂｕｓｉｎｅｓｓ Ｓｔｒａｔｅｇｙ▲
109	Ｎｕ Ｓｋｉｎ Ｍｅｇａ Ｔｒｅｎｄ ｏｆ Ａｇｉｎｇ Ｆｏｒｕｍ Ｗｈａｔ ｉｓ ｈａｐｐｅｎｉｎｇ ｉｎ Ｅａｓｔ Ａｓｉａ ａｎｄ ｂｅｙｏｎｄ？ ･･･ｗｉｔｈ ｐａｒｔｉｃｕｌａｒ ｒｅｆｅｒｅｎｃｅ ｔｏ Ａｎｔｉ Ａｇｉｎｇ Ｂｕｓｉｎｅｓｓ▲
110	ＣＥＩＢＳ Ｃｈｅｎｇｗｅｉ Ｅｃｏｎｏｍｉｃ Ｆｏｒｕｍ Ｎｅｗ Ｍｏｍｅｎｔｕｍ ｆｏｒ Ｅｃｏｎｏｍｉｃ Ｇｒｏｗｔｈ▲
111	ステート・ストリート・グローバル・マーケッツ リサーチ カンファレンス 国難に立ち向かうニッポンのあり方▲
112	シティ資本市場研究所開設記念セミナー 大震災後の国家戦略 ～新興国が動かす世界経済の新ルール～▲
113	ＥＯジャパン総会 特別講演 これからの世界経済を生き抜いていく経営者の資質とは▲
114	生きがいと幸せのカタチ ～アクティブシニアタウンについて考える～
115	ＢＯＮＤ-ＢＢＴ ＭＢＡ １０周年記念講演 １０年先に見えるもの
116	Ｂｏｓｔｏｎ Ｓｃｉｅｎｔｉｆｉｃ 特別講演　▲ 「リーダーの条件」が変わった
117	【ＳＡＰジャパン基調講演】 世界と等距離になるためのＷｅｂ型組織への変革▲
118	【アタッカーズ・ビジネススクール】 大前研一特別講義　経営者の勘所
119	【ＣＯＭＰＡＮＹ ＦＯＲＵＭ ２０１２基調講演】 日本企業が世界で戦うチカラ ～新時代に必要な企業と個人の構想力～
120	【Ｉｎｆｉｎｉｔｙ Ｖｅｎｔｕｒｅｓ Ｓｕｍｍｉｔ ２０１２ Ｆａｌｌ Ｋｙｏｔｏ】 グローバルで成功する経営者になるための条件
121	【ながつま昭事務所主催講演】 アベノミクスを斬る ～生活の質を上げる経済政策を～
122	【フィデリティ セールスサミット２０１３基調講演】 日本のこれから ～アベノミクス後の展望～
123	【DIAMOND MANAGEMENT FORUM】グローバル経営の論点 ～世界で勝利するためのマネジメントと人材の条件～
124	【レバレジーズ サマーインターン特別講演】 これからの時代における優秀な人材とは？
125	【アタッカーズ・ビジネススクール】 ２０１４年開講式 大前研一特別講義
126	【グローバル経営サミット２０１４特別講演】 世界のマーケットでいかにして戦うか ～これからの経営と人、組織～
127	【保険サービスシステム特別講演】 ビジネストレンドと経営戦略
128	【ＩＴｐｒｏ ＥＸＰＯ ２０１４基調講演】 ２０２０年、日本企業飛躍のカギ
129	【Hitachi Innovation Forum 2014 講演】 グローバル競争の考え方、日本企業の戦い方
130	【ｃｙｂｏｚｕ．ｃｏｍカンファレンス特別講演】 クラウド導入が開く日本の未来

＜経営　・戦略＞

大前研一スペシャル

1998 年 10 月～現在

番組コンセプト

大前研一とスペシャルゲストによる特別対談や、大前研一のプライベートな演奏会の模様などをピックアップしてお届けしていくシリーズです。

講師

★大前研一（経営コンサルタント）
⇒プロフィールは「大前研一ライブ」（5 ページ）参照

1	戦後の日本を創った起業家たち　～松下幸之助を語る（前編）～ ゲスト：江口克彦氏（ＰＨＰ研究所副社長）
2	戦後の日本を創った起業家たち　～松下幸之助を語る（後編）～ ゲスト：江口克彦氏（ＰＨＰ研究所副社長）
3	長谷川耕造氏対談 現代のビジネス・ブレークスルーを語る ゲスト：長谷川耕造氏（株式会社グローバルダイニング代表取締役社長）■
4	マハティール氏対談 ゲスト：マハティール・ビン・モハマッド氏（マレーシア首相）
5	大前研一イタリアレポート 中小企業にみる国際競争力の真髄 ゲスト：八木雄三氏（八木通商株式会社代表取締役社長）■
6	大前研一アイルランドレポート 農業国から電子国への変貌 ゲスト：ブライアン・コーガン氏（アイルランド政府産業開発庁アジア・パシフィック統括代表）■
7	【大前研一 イギリスレポート】 地域社会作りからの経済再建 ゲスト：デビット・ライト氏（駐日英国大使）
8	【大前研一 オーストラリアレポート（１）】 世界に学ぶ港湾開発
9	【大前研一 オーストラリアレポート（２）】 ウルグアイラウンドにおけるビジネスチャンス
10	【大前研一 南米レポート（１）】 チリ編
11	【大前研一 南米レポート（２）】 アルゼンチン編
12	【大前研一 南米レポート（３）】 ブラジル編
13	【大前研一 南米レポート（４）】 ペルー編
14	プライベート・コンサート
15	蕭萬長氏対談 ゲスト：蕭萬長氏（元台湾行政院院長（首相））
16	大前研一世界見聞録 旧満州 1000km の旅
17	田中康夫氏対談 ゲスト：田中康夫氏（長野県知事）▲
18	大前研一還暦記念イベント 「遊び心」シンポジウム＆コンサート
19	PRIVATE CONCERT Parkanyi Quartet with Kenichi Ohmae PRIVATE CONCERT
20	大前研一流　議論する力<Part 1：基礎編> 聞き手：本田桂子氏（マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク・ジャパン　プリンシパル）
21	大前研一流　議論する力<Part 2：応用編> 聞き手：本田桂子氏（マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク・ジャパン　プリンシパル）
22	安藤忠雄氏対談 感動なき改革は成功しない ゲスト：安藤忠雄氏（建築家）
23	大前研一の思い出の対談 Part１ The man at the time Lee Kuan Yew ゲスト：Lee Kuan Yew 氏（シンガポール上級副大臣＜当時＞）▲
24	大前研一の思い出の対談 Part２ The man at the time George Soros ゲスト：George Soros 氏▲
25	大前研一の思い出の対談 Part３ The man at the time Scott McNEALY ゲスト：Scott McNEALY 氏▲
26	大前研一の思い出の対談 Part４ The King of Media Rupert Murdoch ゲスト：Rupert Murdoch 氏▲
27	ミカラ・ペトリ コンサート 出演：ミカラ・ペトリ（リコーダー） ラーズ・ハンニバル（ギター＆リュート）
28	李登輝の志 ～２００５年向研会緑陰セミナー　特別講演～▲
29	ＴＡＩＷＡＮ　ｉｎ　ｔｈｅ　Ｎｅｗ　Ｗｏｒｌｄ ～２００５年向研会緑陰セミナー　特別講演～ ＣＮＡＩＣ　Ｉｎｔｅｒｎａｔｉｏｎａｌ　Ｂｕｓｉｎｅｓｓ　Ｆｏｒｕｍ講演
30	Press Conference: Kenichi Ohmae Graduate School of Business forms a partnership with Jack　Welch
31	学校法人船橋学園東葉高等学校　広域通信制課程新設に関する記者説明会 ゲスト：古賀正一氏（学校法人市川学園理事長・学園長）
32	旅の極意　特別編
33	ＢＢＴ開局１０周年記念感謝祭
34	大前ジャネット還暦コンサート 2011 年 4 月 9 日（土）サントリーホール ブルーローズ●
35	カート（筝）＆ブルース（尺八）　チャリティーコンサート 主催：カンタービレこうじまち　協力：ネフェルギャラリー 2012 年 11 月 17 日（土）渋谷区文化総合センター
36	【Asia Society Hong Kong 講演】 Peeling Off the Layers,What’s Left of the Core? Asia Society Hong Kong Center 2012.8.28
37	８０歳でもまだまだいける ～夢を持て 夢のために努力せよ～ 世界最高齢でエベレスト登頂を果たした三浦雄一郎 ゲスト：三浦雄一郎氏（プロスキーヤー／クラーク記念国際高等学校 校長）
38	日本のテクノロジー ゲスト：堀江貴文氏（ＳＮＳ株式会社 オーナー）
39	ＳＡＰＩＯ特別対談 原発安全神話の嘘と訣別する ゲスト：廣瀬直己氏（東京電力株式会社 代表執行役社長）
40	大前さんと議論がしたい！灘高生「東京在住灘校ＯＢ訪問合宿」 コーディネーター：鈴木 寛氏（元文部科学副大臣・前参議院議員）
41	新しいことに挑戦し続けるＤｅＮＡのＤＮＡ ゲスト：南場智子氏（株式会社ディー・エヌ・エー ファウンダー／取締役）
42	【e-Learning Awards 2014 フォーラム】 基調講演：大前研一　「育成の法則」 企画講演：宇田左近　「ｅラーニングで上場＆大学院開学１０周年」

経営戦略ライブ

1998 年 10 月～2006 年 3 月

番組コンセプト

企業経営において、明確で的確な戦略を持つことは必要不可欠です。この番組では、一流の講師陣が、様々な角度から経営戦略のノウハウを惜しみなく伝授します。

講師

★後正武（株式会社東京マネジメントコンサルタンツ代表）
東京大学法学部卒業。新日本製鉄、ハーバードビジネススクール（ディスティンクション）、マッキンゼー＆カンパニー（プリンシパルパートナー）、ベイン＆カンパニー（副社長）を経て現職。ほとんどの産業分野において全社戦略～実行プログラムにいたる一連の組織課題を手がける。

★伊藤良二（慶應義塾大学　政策・メディア研究科　教授）
慶應義塾大学工学部管理工学科卒業、シカゴ大学経営大学院修士課程修了。マッキンゼー・アンド・カンパニーのパートナーを経て、ＵＣＣ上島珈琲の経営企画、商品開発担当取締役に就任。その後ベンチャーキャピタルのシュローダー・ベンチャーズの代表取締役、ベイン・アンド・カンパニー・ジャパン・インコーポレイテッド　パートナーを経て現在にいたる。

★内田和成（株式会社ボストン コンサルティング グループ　シニア・アドバイザー）
⇒プロフィールは「パラダイムシフト・マネジメント」（18 ページ）参照

★水越豊（株式会社ボストン・コンサルティング・グループ　日本代表）
1979 年東京大学経済学部卒。1988 年スタンフォード大学経営学修士（MBA）。新日本製鐵株式会社を経て現在に至る。金融、通信、情報システム、エンタテイメント等幅広い業界に対し、Ｅコマース、ＩＴ戦略を中心に戦略面／組織面でのコンサルティングを数多く手掛けている。

★山田英夫（早稲田大学ビジネススクール大学院国際経営学専攻教授）
1981 年慶応大学大学院経営管理研究科修了後、三菱総合研究所入社。1989 年早稲田大学に移籍。

★籠屋邦夫（ディシジョンマインド社代表／Ａ．Ｔ．カーニーシニアアドバイザー）
東京大学工学部化学工学科修士課程修了後、スタンフォード大学工学部エンジニアリング・エコノミック・システム学科にて意思決定理論を学ぶ。三菱化成、マッキンゼー、米国Ｓ．Ｄ．Ｇ．Ａ．Ｔ．カーニー副社長を経て 2001 年秋より現職。

★一條和生（一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授）
⇒プロフィールは「イノベーションライブ」（35 ページ）参照

★御立尚資（株式会社ボストン・コンサルティング・グループ　日本代表）
⇒プロフィールは「戦略構想力　～頭の使い方を身につける～」（19 ページ）参照

★高橋俊介（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）
⇒プロフィールは「組織人事ライブ」（26 ページ）参照

★遠藤功（株式会社ローランド・ベルガー取締役会長）
早稲田大学大学院アジア太平洋研究科客員教授。早稲田大学商学部卒業。米国ボストンカレッジ経営学修士(MBA)。三菱電機株式会社、米系戦略コンサルティング会社を経て、現職に至る。グローバル戦略、リストラクチャリング、オペレーション戦略などの分野において、戦略策定のみならず実行支援を伴った「結果の出る」コンサルティングとして高い評価を得ている

★野口吉昭（株式会社 HR インスティテュート代表取締役社長）
横浜国立大学大学院工学研究科終了　建築設計事務所、経営コンサルティング会社を経て、独立。論理偏重ではなく、実践を目的としたフィールド重視のコンサルティングを展開

★稲増美香子（株式会社 HR インスティテュート副社長）
富士通のフィールドSEを経験した後、サンダーバード国際経営学大学院修士課程修了。 1993年、HR インスティテュート設立メンバー。 以来、組織と個人における「WAY(らしさ、ならでは)」づくりをミッションとしたコンサルティング活動や人材開発プログラムを実践。 ソシアル・エンタープライズとしての活動(ベトナムでの小学校づくり、など)も推進。HRI 著作物の主要執筆メンバー。学習院大学文学部心理学科卒業

★横浜信一（マッキンゼー･アンド･カンパニー　パートナー）
東京大学工学部卒業。ハーバード大学ケネディ行政大学院修了。通商産業省(現経済産業省)にて情報処理産業関連部署などを歴任後、1992 年にマッキンゼー入社。通信、ハイテクを中心とし、金融、製薬、消費財、エネルギー、プライベート･エクイティなど多様な業種に対するコンサルティングを行うなかで、ITコスト削減、組織運営設計、新事業向けシステム開発支援など、企業のIT課題解決に関して幅広い経験を有する。

★萩平和巳（マッキンゼー･アンド･カンパニー　マネージャー）
京都大学にて情報工学を修了。大手商社の情報システム関連部署･IT事業会社を歴任後、マッキンゼー入社。ハイテク業界を中心とし、金融、メディアなど幅広い業種に対して、IT戦略やITガバナンスの策定･推進、ITコスト削減などのコンサルティングを行う。またITベンダーに対しても事業戦略、マーケティング、製品開発や組織設計･立ち上げ、人材教育まで幅広いコンサルティングを行っている。

★菅野寛
（株式会社ボストン コンサルティング グループパートナー アンド マネージング・ディレクターー）
東京工業大学工学部卒、同大学院修士。カーネギーメロン大学経営学修士(MBA with Award)。日建設計を経て現在に至る。ハイテク、情報通信、製造業等の業界に対し、新規事業戦略、営業･マーケティング戦略、研究開発戦略、情報システム戦略等の策定･実行支援プログラムを数多く手がけている。顧客企業のために経営幹部育成プログラムの規格･実施も行っている。

★安藤佳則（イーソリューションズ株式会社　代表取締役会長）
⇒プロフィールはビジネス基礎講座「ビジネスコミュニケーション」（80 ページ）参照

◆リーダーシップ編（講師：後正武）

2000年9月～2001年5月

1	リーダーシップとは何か
2	リーダーシップ研究の流れと考え方の紹介（１）
3	リーダーシップ研究の流れと考え方の紹介（２）
4	リーダーシップ研究の流れと考え方の紹介（３）
5	変革のためのリーダーシップ
6	危機管理とリーダーシップ
7	わが国の風土とリーダーシップ（１）
8	わが国の風土とリーダーシップ（２）
9	まとめ　組織におけるリーダーシップの育成・自己研鑽の課題

◆ハイテク企業の経営戦略（講師：山田英夫）

2000年10月～2001年3月

1	速さと早さのマネジメント
2	デファクト競争と利益 ゲスト：四角利和氏（松下電器産業ＡＶＣ社事業戦略室室長）
3	もてる者の悩み ゲスト：有馬邦彦氏（富士通経営研修所代表取締役社長）
4	バリューチェーンの解体と再構築 ゲスト：山口徹郎氏（ＮＴＴコミュニケーションズ）
5	賢くなったユーザー ゲスト：鬢田正郷氏（リコーＣ＆Ｆ事業部商品企画室）
6	競争と協調 ゲスト：森本博行氏（ソニー渉外部主席）

◆ｅエコノミー時代の企業戦略（講師：内田和成）

2000年10月～2001年3月

1	成功するビジネスモデル（１） ゲスト：菊池三郎氏（カーポイント株式会社代表取締役社長）
2	大企業のｅビジネス ゲスト：瀬川英生氏（株式会社フレッシュアイ代表取締役社長）
3	Ｍ＆Ａとアライアンス戦略 ゲスト：船津康次氏（トランスコスモス株式会社代表取締役副社長）
4	成功するビジネスモデル（２）　～リアルとサイバーの融合～ ゲスト：岩田彰一郎氏（アスクル株式会社代表取締役社長）▲
5	大企業対ベンチャー ゲスト： ・椿進氏（株式会社ボストン・コンサルティング・グループプロジェクトマネージャー） ・太田直樹氏（株式会社ボストン・コンサルティング・グループプロジェクトマネージャー）
6	ネットビジネス経営の要諦 ゲスト:松本大氏（マネックス証券株式会社代表取締役社長）▲

◆コンサルティングのための経営戦略（講師：山田英夫）

2001年4月～9月

1	全体を見る ゲスト：森澤篤氏（株式会社ボストン・コンサルティング・グループプロジェクトマネージャー）
2	コンサルティングの経営分析（定量編） ゲスト：斎藤英明氏（株式会社ボストン・コンサルティング・グループプロジェクトマネージャー）
3	コンサルティングの経営分析（定性編） ゲスト：斎藤英明氏（株式会社ボストン・コンサルティング・グループプロジェクトマネージャー）
4	代替案の作成と絞り込み（１） ゲスト：苅田修氏（株式会社ボストン・コンサルティング・グループプロジェクトマネージャー）
5	代替案の作成と絞り込み（２） ゲスト：苅田修氏（株式会社ボストン・コンサルティング・グループプロジェクトマネージャー）
6	実践する ゲスト：森澤篤氏（株式会社ボストン・コンサルティング・グループプロジェクトマネージャー）

◆山田英夫シリーズ（講師：山田英夫）

2001年10月～12月

1	逆転の競争戦略　～リーダー企業の強みを弱みにする方法～
2	新規事業開発の要諦　～新事業企画書を書くにあたって～
3	ビジネス版「悪魔の辞典」

◆日本企業の経営課題（講師：伊藤良二）

2001年4月～2002年3月

1	コーポレイト・ベンチャー“失敗の本質”
2	コーポレイト・ベンチャー“成功の方程式”
3	バウンダリー・マネジメント”集中と選択”
4	バウンダリー・マネジメント”ビジネス・モデルの変革”
5	グローバリゼーション”日本企業の課題”●
6	グローバリゼーション”世界の先進企業に学ぶ”●
7	顧客ロイヤルティのマネジメント（１）　～顧客ロイヤルティの戦略的意味合い～
8	顧客ロイヤルティのマネジメント（２）　～ロイヤルティマネジメントの方法論～
9	Ｍ＆Ａ時代のマネジメント（１）●
10	Ｍ＆Ａ時代のマネジメント（２）●
11	企業再建
12	求心力のマネジメント

◆戦略論の進化（講師：一條和生）

2001年7月～8月

1	戦略の二大潮流　～産業構造分析（ポーター）と経営資源分析（バーニー）～
2	戦略の新しい次元　～インターネット時代の競争戦略～

◆戦略的意思決定のロジックと技法（講師：籠屋邦夫）

2001年6月～2002年3月

1	意思決定主導の戦略的マネジメント
2	ディシジョン・クォリティ（１）
3	ディシジョン・クォリティ（２）
4	事例紹介とネクスト・ステップ
5	基本的考え方の復習と実課題への適用（１） ゲスト：井原茂男氏（株式会社日立製作所　ライフサイエンス推進事業部）
6	実課題への適用（２） ゲスト：井原茂男氏（株式会社日立製作所　ライフサイエンス推進事業部）

◆組織と経営　～組織論の実務的展開～（講師：後正武）

2001 年 9 月～2002 年 12 月

1	組織とは何か／組織論の系譜
2	組織機構論の系譜（１）
3	組織機構論の系譜（２）
4	組織機構論の系譜（３）
5	組織機構論の系譜（４）
6	組織機構論の系譜（５）
7	組織機構論の系譜（６）
8	組織機構論の系譜（７）
9	効率向上論の系譜（１）
10	効率向上論の系譜（２）
11	効率向上論の系譜（３）
12	効率向上論の系譜（４）／成員動機づけ理論の系譜（１）
13	成員動機づけ理論の系譜（２）
14	成員動機づけ理論の系譜（３）
15	組織の最適運営（１）
16	組織の最適運営（２）／まとめ

◆ターン・アラウンドの経営戦略（講師：水越豊）

2002 年 4 月～9 月

1	起死回生の大逆転を目指して
2	コスト構造をひっくり返す
3	コストのブラックボックス開ける（1）　～ＩＴコスト～
4	コストのブラックボックスを開ける（2）　～広告宣伝費・販促費～
5	クリエイティビティ・マネジメント
6	ビジネスモデルの隙間をこじ開ける

◆日本企業復活の条件（講師：伊藤良二）

2002 年 4 月～9 月

1	市場創造力のマネジメント　～マーケティング～
2	日本企業強さの源泉（１）
3	日本企業強さの源泉（２）
4	コーポレート・トランスフォーメーション（１）
5	コーポレート・トランスフォーメーション（２）
6	成長戦略（Growth Strategy）

◆経営戦略最前線（講師：水越豊）

2002 年 10 月～2003 年 3 月

1	口コミマーケティング
2	ユビキタスワーキング ゲスト：谷公夫氏（株式会社ＮＴＴドコモ常務取締役）
3	元気の出る分社化
4	値付けの魔法
5	Ｍ＆Ａ：準備運動とＰＭＩ ゲスト：近藤剛氏（神田橋法律事務所弁護士）
6	ブランド再生

◆日本の強みを生かすマネジメント　～ロイヤルティ戦略論～

（講師：伊藤良二）

2002 年 10 月～2003 年 3 月

1	ロイヤルティ・リーダーシップ
2	win-win 関係を目指す
3	選別は重要である／シンプル　イズ　ベスト
4	適切な評価・報酬制度を
5	熱心に耳を傾け、率直に語る／行動を言葉で説明する
6	ロイヤルティ戦略論

◆ＢＣＧ戦略コンセプト（講師：水越豊）

2003 年 4 月～9 月

1	コストダウンのメカニズム：経験曲線
2	「田の字」の整理学：プロダクト・ポートフォリオ・マトリクス
3	消費者ニーズを科学する：セグメント・オブ・ワン
4	株主価値をマネジする：バリュー・マネジメント
5	バリューチェーンを組み替えろ：デコンストラクション
6	タイムベース競争：ケイパビリティ・マネジメント

◆プライベート・エクイティと事業再編（講師：伊藤良二）

2003 年 4 月～7 月

1	プライベート・エクイティの世界
2	日本企業の事業再編とプライベート・エクイティ
3	プライベート・エクイティ・ファームの事例研究（１） ゲスト：深川哲也氏（ウォーバーグ・ピンカス・ジャパン・リミテッド　マネージング・ディレクター）
4	プライベート・エクイティ・ファームの事例研究（２） ゲスト：笹沼泰助氏（株式会社アドバンテッジパートナーズ代表パートナー）

◆Ｒ＆Ｄマネジメント（講師：伊藤良二）

2003 年 8 月～9 月

1	なぜ日本企業のＲ＆Ｄ投資は企業成長に結びつかないのか
2	あなたの企業はＲ＆Ｄマネジメント進化のどの段階にいるか

◆戦略的ＨＲＭ　～新しい企業像を創る～（講師：御立尚資）

2003 年 10 月～2004 年 3 月

1	今、日本企業に必要なＨＲＭとは
2	リテール型ＨＲＭ
3	知的職人型ＨＲＭ
4	クリエイティブ型ＨＲＭ
5	経営者を作る
6	戦略的ＨＲＭ　～まとめ～

◆日本企業の構造改革（講師：伊藤良二）

2003 年 10 月～2004 年 3 月

1	Ｖ字回復の経営（１）●
2	Ｖ字回復の経営（２）●
3	Ｖ字回復の経営（３）●
4	事業構造の変革（１）
5	事業構造の変革（２）
6	事業構造の変革（３）

◆戦略的ＨＲＭ（講師：御立尚資・高橋俊介）

2004 年 6 月～9 月

7	非正規社員営業モデル
8	ビジネスリーダーモデル
9	プロフェッショナルモデル
10	クリエイティブモデル
11	顧客接点モデル
12	まとめ

◆CSR（講師：伊藤良二）

2004 年 7 月～12 月

1	ＣＳＲ評価
2	ＣＳＲ（企業の社会責任）とリコーの取り組み状況（１） ゲスト：平井良介氏（株式会社リコー CSR 室 室長）
3	ＣＳＲ（企業の社会責任）とリコーの取り組み状況（２） ゲスト：平井良介氏（株式会社リコー CSR 室 室長
4	ＣＳＲ（企業の社会責任）とリコーの取り組み状況（３） ゲスト：谷 達雄氏（株式会社リコー 副理事・技師長　社会環境本部本部長　兼務　社会貢献推進室　室長）
5	ＣＳＲ総括 ゲスト：田尻新吾氏（ベイン・アンド・カンパニー・ジャパン・インコーポレイテッド・コンサルタント）

◆経営と現場力（講師：遠藤功）

2004 年 10 月～2005 年 3 月

1	現場力とは何か？
2	千葉夷隅ゴルフクラブの顧客満足経営 ～お客様第一への旅～ ゲスト：岡本豊氏（株式会社グリーンクラブ取締役総支配人）■
3	成熟企業における改革型ＳＣＭの展開 ゲスト：垣見祐二氏 （中部電力株式会社 新規事業部長 サプライチェーンカウンシル日本支部バイスチェアマン）
4	デルのビジネスモデルと現場力 ゲスト：平井孝志氏（株式会社ローランド・ベルガー　シニア・プロジェクト・マネージャー）
5	三菱ＦＡ事業の製販一体の現場力
6	販売のトヨタウェイの海外展開

◆企業のＤＮＡ（講師：野口吉昭・稲増美佳子）

2004 年 12 月～2005 年 2 月

1	企業遺伝子とは何か？
2	遺伝子経営の底力
3	遺伝子経営の実践

◆議論する力・解説編（講師：後正武）

2005 年 4 月～2005 年 7 月

1	【議論する力】解説編 01
2	【議論する力】解説編 02
3	【議論する力】解説編 03
4	【議論する力】解説編 04

◆コンサルタントの見た 孫子の兵法（講師：後正武）

2005 年 8 月～2006 年 7 月

1	【コンサルタントの見た 孫子の兵法 01】
2	【コンサルタントの見た 孫子の兵法 02】
3	【コンサルタントの見た 孫子の兵法 03】
4	【コンサルタントの見た 孫子の兵法 04】
5	【コンサルタントの見た 孫子の兵法 05】
6	【コンサルタントの見た 孫子の兵法 06】
7	【コンサルタントの見た 孫子の兵法 07】
8	【コンサルタントの見た 孫子の兵法 08】
9	【コンサルタントの見た 孫子の兵法 09】
10	【コンサルタントの見た 孫子の兵法 10】
11	【コンサルタントの見た 孫子の兵法 11】
12	【コンサルタントの見た 孫子の兵法 12】

◆IT の本質（講師：横浜信一・萩平和巳）

2006 月 10 月～3 月

1	IT 投資の質向上とその課題▲
2	IT ガバナンスと CIO の役割▲
3	ERP 投資の成功の要件▲
4	オフショアリング・アウトソーシング▲
5	IT コストの削減▲
6	総括 ～成長に向けた IT 活用～▲

◆経営者になる（菅野寛）

2006 年 10 月～2 月

1	経営者の時代、経営者スキルセットの全体像
2	経営者スキル：①強烈な意志、②勇気
3	経営者スキル：③インサイト
4	経営者スキル：④しつこさ、⑤ソフトな統率力
5	経営者スキルの習得方法、全体のまとめ

◆日本企業のグローバル戦略（安藤佳則）

2006 月 10 月～3 月

1	“Being Global”が持つ意味
2	成功に必要な視点
3	経営に求められるモードチェンジ
4	「brother」の成功事例に学ぶ ゲスト：石黒裕司氏（ブラザー工業株式会社 経営企画部長 ）
5	「GE」の成功事例に学ぶ ゲスト:川上 潤氏（GE ヘルスケア GE 横河メディカルシステム株式会社 常務取締役 サービス統括本部長）
6	ボーダレスワールドからネクストグローバルステージへ ゲスト：大前研一

＜経営・戦略＞

経営者ライブ

1998 年 11 月～現在

番組コンセプト

成功した起業家や企業経営者が自らの経営哲学や成功要因、現在、未来の経営戦略を語ります。成功の陰には想像を絶する努力と苦労がつきものです。成功している経営者たちはいかに困難に立ち向かい克服してきたのか、経営者自身が見出してきた手法を実体験に基づく苦労話も交えてお送りします。新聞・雑誌を賑わすあの企業のトップの迫力をライブで感じていただくことができます。

1	鈴木尚氏（株式会社デジキューブ代表取締役会長）■
2	加藤充氏（株式会社ユニバーサルホーム代表取締役社長）●
3	折口雅博氏（グッドウィル・グループ株式会社代表取締役会長）■
4	渡邊美樹氏（ワタミフードサービス株式会社代表取締役社長）▲
5	進藤昌弘氏（株式会社メガチップス代表取締役社長）●
6	小宮山正九朗氏（株式会社銀座ルノアール代表取締役社長）
7	桐渕千鶴子氏（株式会社ピープル代表取締役）▲
8	原邦生氏（株式会社メリーチョコレートカンパニー代表取締役社長）
9	西川清氏（パーク２４株式会社代表取締役社長）
10	河合アユム氏（株式会社イーディコントライブ代表取締役）
11	相馬勝氏（株式会社キディランド代表取締役社長）●
12	エア・ドゥ 中渓正樹氏（北海道国際航空株式会社代表取締役社長）■
13	稲垣博司氏（株式会社ワーナーミュージックジャパン代表取締役会長）●
14	青木定雄氏（エムケイグループオーナー）
15	大倉文雄氏（株式会社静岡朝日テレビ取締役社長）●
16	吉田茂氏（株式会社吉田オリジナル代表取締役社長）
17	島野喜三氏（株式会社シマノ代表取締役社長）
18	木の城たいせつ 山口昭氏（株式会社冬総研代表取締役社長）■
19	小森恵子氏（株式会社テレマーケティングジャパン代表取締役社長）■
20	ＩＩＪ 鈴木幸一氏（株式会社インターネットイニシアティブ代表取締役社長）
21	横川竟氏（株式会社ジョナサン代表取締役社長）●
22	高橋啓介氏（株式会社インターコム代表取締役社長）■
23	目黒俊治氏（株式会社ポプラ代表取締役社長）▲
24	藤村哲哉氏（株式会社ギャガ・コミュニケーションズ代表取締役社長）●
25	白石清氏（株式会社 J-Stream 代表取締役社長）▲
26	田宮謙次氏（アイワ株式会社代表取締役会長）■
27	木村皓一氏（株式会社ミキハウス代表取締役社長）
28	吉越浩一郎氏（トリンプ・インターナショナル・ジャパン代表取締役社長）
29	蟻田尚邦氏（株式会社アンリ・シャルパンティエ社主）
30	渡部隆夫氏（ワタベウエディング株式会社代表取締役社長）
31	南部靖之氏（株式会社パソナ代表取締役社長）▲
32	岡本孝善氏（株式会社アデランス代表取締役社長）
33	繁田寛昭氏（日本ロシュ代表取締役社長）■
34	安田誠氏（ロータス株式会社代表取締役社長）■
35	八木雄三氏（八木通商株式会社代表取締役社長）●

36	長谷川耕造氏（グローバルダイニング代表取締役社長）
37	服部純一氏（セイコーインスツルメンツ株式会社社長）
38	寺井秀藏氏（ワールド代表取締役社長）
39	岩田弘三氏（株式会社ロック・フィールド社長）▲
40	手嶋雅夫氏（マクロメディア株式会社代表取締役社長）■
41	ジョナサン・ヘンドリックセン氏（バリュークリックジャパン株式会社社長）■
42	Dr. Pehong Chen（Broad Vision Inc.）
43	佐々木かをり氏（ユニカルインターナショナル／イー・ウーマン社長）▲
44	デビッド・シーゲル氏（Blink.com　ＣＥＯ）
45	石井健太郎氏（石井食品株式会社社長）
46	小林茂雄氏（株式会社シープロド代表取締役社長）■
47	矢野貴久子氏（Cafeglobe.com　代表取締役ＣＥＯ）■
48	土井哲氏（株式会社プロアクティア代表取締役）■
49	シリコンアレーの成長企業＜Part1＞ 木戸孝氏（ダブルクリック株式会社ＣＥＯ）■
50	シリコンアレーの急成長企業＜Part2＞ 田中義啓氏（株式会社インタービジョン・レーザーフィッシュ代表取締役社長）　■
51	シリコンアレーの急成長企業＜Part3＞ 永竹正幸氏（ジュピターメディアメトリックス株式会社副社長）■
52	山田眞次郎氏（株式会社インクス代表取締役）■
53	吹野博志氏（デルコンピュータ株式会社代表取締役会長）
54	THE BODY SHOP 蟹瀬令子氏（株式会社イオンフォレスト代表取締役社長）
55	中野輝雄氏（松下精工株式会社代表取締役社長）
56	磯村信夫氏（株式会社大田花き代表取締役社長）
57	トレバー・マシュウズ氏（マニュライフ生命保険株式会社代表取締役社長兼ＣＥＯ）■
58	酒井眞一郎氏（興研株式会社取締役社長）
59	村田士郎氏（日清医療食品株式会社代表取締役社長）
60	下島敏男氏（ストラパック株式会社取締役社長）
61	杉山知之氏（デジタルハリウッド株式会社代表取締役会長兼学校長）
62	平本照麿氏（株式会社アルク代表取締役社長）
63	たかの友梨ビューティクリニック たかの友梨氏（株式会社不二ビューティ代表取締役）
64	中條高徳氏（アサヒビール株式会社名誉顧問）
65	鈴木喬氏（エステー化学株式会社代表取締役社長）
66	関口要藏氏（株式会社カウネット代表取締役社長）▲
67	ジャスパー・チャン氏（アマゾンジャパン株式会社代表取締役社長）
68	坪井正志氏（沖電気工業株式会社マルチメディアメッセージングカンパニープレジデント）
69	三宅正彦氏（株式会社サンエー・インターナショナル代表取締役社長）
70	相岡俊一氏（株式会社阪急百貨店代表取締役社長）
71	プラダ ジャパン ダヴィデ・セジア氏（プラダジャパン社長）▲
72	福助株式会社 藤巻幸夫氏（福助株式会社代表取締役社長）
73	八幡滋行氏（スミダコーポレーション株式会社代表執行役ＣＥＯ）
74	樋口泰行氏（日本ヒューレット・パッカード株式会社代表取締役社長兼ＣＥＯ）■
75	仙石通泰氏（株式会社三技協代表取締役社長）
76	浮川和宣氏（株式会社ジャストシステム代表取締役社長）
77	宋文洲氏（ソフトブレーン株式会社代表取締役会長）
78	玉塚元一（株式会社ファーストリテイリング代表取締役社長）
79	小西史彦氏（テクスケムグループ会長兼ＣＥＯ）
80	アイリスオーヤマ 大山健太郎氏（アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役社長）
81	私の部屋リビング 前川睦夫氏（株式会社 私の部屋リビング代表取締役社長）
82	日本電産 永守重信氏（日本電産株式会社　代表取締役社長）▲

83	セコム ゲスト:木村昌平氏（セコム株式会社取締役会長）
84	カネボウ化粧品 ゲスト：余語邦彦氏（株式会社産業再生機構 執行役員 マネージングディレクター）
85	株式会社オプト ゲスト：海老根智仁氏（株式会社オプト代表取締役 CEO）
86	YKK ゲスト：吉田忠裕氏（YKK 株式会社代表取締役社長）
87	ジャパネットたかた ゲスト：高田 明氏（株式会社ジャパネットたかた代表取締役社長）
88	株式会社エムアウト ゲスト：　田口 弘 氏（株式会社エムアウト 代表取締役社長 ）
89	【株式資産形成講座より 01】松井証券 松井道夫（松井証券株式会社代表取締役社長）▲
90	【株式資産形成講座より 02】ジョインベスト証券 福井正樹（ジョインベスト証券株式会社代表取締役社長）▲
91	【株式資産形成講座より 03】楽天証券 國重惇史（楽天証券株式会社代表取締役社長）▲
92	【株式資産形成講座より 04】マネックス証券 松本大（マネックス証券株式会社代表取締役社長 CEO）▲
93	【株式資産形成講座より 05】ＳＢＩイー・トレード証券 井土太良（ＳＢＩイー・トレード証券株式会社　取締役執行役員社長）▲
94	【株式資産形成講座より 06】カブドットコム証券 齋藤正勝（カブドットコム証券株式会社　代表執行役社長）▲
95	ゲスト：柳村純一氏（岩手県滝沢村前村長）
96	神鋼電機 ゲスト：佐伯弘文氏（神鋼電機株式会社 代表取締役会長）
97	コールド・ストーン・クリーマリー ゲスト：石原 一裕氏（コールド・ストーン・クリーマリー・ジャパン株式会社 代表取締役社長ＣＯＯ）
98	Ｈ．Ｉ．Ｓ． ゲスト：平林 朗氏（株式会社エイチ・アイ・エス 代表取締役社長）
99	キッズシティージャパン ゲスト：住谷栄之資氏（株式会社キッズシティージャパン 代表取締役社長兼ＣＥＯ）
100	キッコーマン ゲスト：茂木友三郎氏（キッコーマン株式会社 代表取締役会長ＣＥＯ）
101	ＤＯＷＡホールディングス ゲスト：吉川廣和氏（ＤＯＷＡホールディングス株式会社 代表取締役会長・ＣＥＯ）
102	ノバルティス ファーマ ゲスト：三谷宏幸氏（ノバルティス ファーマ株式会社 代表取締役社長）
103	カタログハウス ゲスト：佐倉住嘉氏（株式会社カタログハウス 代表取締役社長）
104	ココカラファイン ゲスト：塚本厚志氏（株式会社ココカラファイン 代表取締役社長）
105	武田薬品工業 ゲスト：長谷川閑史氏（武田薬品工業株式会社 代表取締役社長）
106	ヤオコー ゲスト：川野幸夫氏（株式会社ヤオコー 代表取締役会長）
107	ユニ・チャーム ゲスト：高原豪久氏（ユニ・チャーム株式会社 代表取締役 社長執行役員）
108	アフリカでのビジネス経験から学ぶ 講師：佐藤芳之（株式会社オーガニック・ソリューションズ・ジャパン 代表取締役／ケニア・ナッツ・カンパニー 創業者）
109	ソニー銀行 ゲスト：石井 茂氏（ソニー銀行 代表取締役社長）
110	ベーリンガーインゲルハイム ゲスト：鳥居正男氏（ベーリンガーインゲルハイムジャパン株式会社 代表取締役社長） 講師：高橋俊介
111	ダイソン ゲスト：麻野信弘氏（ダイソン株式会社 代表取締役社長） 講師：米倉誠一郎

112	ネスレ ゲスト：高岡浩三氏（ネスレ日本株式会社 代表取締役社長兼ＣＥＯ） 講師：内田和成
113	HUBLOT ゲスト：ジャン-クロード・ビバー氏（ウブロ 会長） 講師：佐藤玖美
114	不格好だけど 経営はおもしろい ゲスト：南場智子氏（株式会社ディー・エヌ・エー ファウンダー／取締役） 講師：門永宗之助
115	日本ユニシス ゲスト：平岡昭良氏（日本ユニシス株式会社 代表取締役専務執行役員） 講師：内田和成
116	三越伊勢丹ホールディングス ゲスト：大西 洋氏（株式会社三越伊勢丹ホールディングス 代表取締役社長） 講師：内田和成
117	ＪＴＢ ゲスト：田川博己氏（株式会社ジェイティービー 代表取締役社長） 講師：内田和成
118	Ｌａｏｘ ゲスト：羅 怡文氏（ラオックス株式会社 代表取締役社長） 講師：内田和成
119	セイコーエプソン ゲスト：碓井 稔氏（セイコーエプソン株式会社 代表取締役社長） 講師：門永宗之助
120	ＧＥ Ｊａｐａｎ ゲスト：熊谷昭彦氏（日本ＧＥ株式会社 代表取締役社長兼ＣＥＯ） 講師：米倉誠一郎
121	【向研会 経営者講義シリーズ】 講師：石原 進氏（九州旅客鉄道株式会社 相談役） 鉄道の再生 ～ＪＲ九州の経営を通じて～

＜経営・戦略＞

企業研究レポート

2002 年 12 月～2004 年 5 月

番組コンセプト

厳しい時代の中で、独自の経営戦略を打ち出し、着実に業績を上げている企業があります。この番組では、そうした注目の企業を取り上げ、そのキーパーソンのお話などを交えながら、経営戦略を分析し、強さの本質に鋭く迫っていきます。

主な講師

★稲増美佳子（株式会社ＨＲインスティテュート副社長）
⇒プロフィールは「ＩＴライブ」（46 ページ）参照

★野田稔（明治大学大学院 グローバルビジネス研究科 教授／株式会社ジェイフィール代表取締役社長）
⇒プロフィールは「組織人事ライブ」（26 ページ）参照

★一條和生（一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授）
⇒プロフィールは「イノベーションライブ」（35 ページ）参照

◆デルコンピュータ編（講師：①～③稲増美佳子）

2002 年 12 月～2003 年 1 月

1	デルコンピュータに学ぶ顧客志向経営（１） ～カスタマー・エクスペリエンスの真髄～ ゲスト：浜田宏氏（デルコンピュータ株式会社代表取締役社長）
2	デルコンピュータに学ぶ顧客志向経営（２） ～デジタル・コックピットの仕掛けづくり～ ゲスト：山田祐治氏（デルコンピュータ株式会社ＩＴ本部長）
3	デルコンピュータに学ぶ顧客志向経営（３） ～ダイレクト・モデル＆ＤＮＡの更なる進化～ ゲスト：浜田宏氏（デルコンピュータ株式会社代表取締役社長）
4	デルコンピュータに学ぶ顧客志向経営（４） ～Driving Success in Challenging Circumstances～ 講師： ・マイケル・デル（デルコンピュータ・コーポレーション会長兼ＣＥＯ） ・浜田宏（デルコンピュータ株式会社代表取締役社長）▲

◆シスコシステムズ編

2003 年 2 月

1	シスコシステムズのＭ＆Ａ戦略 ゲスト：Edward R. Kozel 氏（元シスコシステムズＣＴＯ） インタビュアー：古沢美行（日経ＢＰ社コンピュータ第二局長）
2	元シスコシステムズＣＴＯ（上級副社長）が語るＩＴテクノロジーの将来展望 講師：Edward R. Kozel（元シスコシステムズＣＴＯ）

◆ジョンソン・エンド・ジョンソン編（講師：野田稔）

2003 年 3 月

1	ジョンソン・エンド・ジョンソンに学ぶ企業倫理とガバナンス（１）　～企業経営の特徴：分社化分権化経営～ ゲスト：廣瀬光雄氏（ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社ビジョンケアカンパニー最高顧問）
2	ジョンソン・エンド・ジョンソンに学ぶ企業倫理とガバナンス（２）　～企業倫理とガバナンス～ ゲスト：廣瀬光雄氏（ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社ビジョンケアカンパニー最高顧問）

◆ＧＥ編（講師：一條和生）

2003 年 7 月～2004 年 5 月

1	ＧＥに学ぶ企業変革（１）　～ＧＥの伝統と変革：ジャック･ウェルチの改革～ ゲスト：藤森義明氏（ＧＥアジアパシフィック代表取締役社長兼ＣＥＯ）▲
2	ＧＥに学ぶ企業変革（２）　～新ＧＥの誕生：イメルト体制と今後～ ゲスト：藤森義明氏（ＧＥアジアパシフィック代表取締役社長兼ＣＥＯ）▲
3	ＧＥに学ぶ企業変革（３）　～ＧＥの人材育成～ ゲスト：八木洋介氏（日本ゼネラル・エレクトリック株式会社シニアＨＲマネジャー）▲
4	ＧＥに学ぶ企業変革（４）　～ワークアウト～ ゲスト：直井英樹氏（コーポレートラーニングサービスジャパンプログラムマネージャー）▲

＜経営・戦略＞

パラダイムシフト・マネジメント

2003 年 7 月～12 月

番組コンセプト

ビジネスにおいて、私達はしばしば、ある決まった思考・発想・価値観の枠組みの中にとらわれ、落とし穴にはまってしまうことがあります。それは、企業全体にとっても同じことです。こうした枠組みのことを「パラダイム」、そして、このパラダイムの不連続な進化・イノベーションのことを「パラダイムシフト」と呼びます。このシリーズでは、「パラダイムシフト」をキーワードに、ジョエル・バーカー著「パラダイムの魔力」、クレイトン・クリステンセン著「イノベーションのジレンマ」といった書籍も取り上げながら、企業が陥りがちなパラダイムの罠とは何かを探ります。そして逆に、パラダイムシフトを上手にマネジメントし、自ら仕掛けていくことにより、決まりきった「ゲームのルール」を打ち破り、競争優位に立つためのヒントも提供していきます。

講師

★内田和成（株式会社ボストン･コンサルティング･グループ　シニア･アドバイザー）

東京大学工学部卒。慶應義塾大学経営学修士（MBA）。日本航空株式会社を経て現在に至る。ハイテク企業、情報通信サービス企業を中心に、マーケティング戦略、新規事業戦略、中長期戦略、グローバル戦略策定等のコンサルティングを数多く経験。）

1	パラダイムシフトとは
2	パラダイムの魔力
3	イノベーターズ・ジレンマ
4	破壊的イノベーションへの打ち手
5	パラダイムシフトの担い手
6	落とし穴からの脱出

＜経営・戦略＞

プロジェクトマネジメント

2002年10月～2003年3月

番組コンセプト

スピード経営の時代、既存組織の弱点を補うために、プロジェクト方式を導入することによって変化に対応するケースが増えています。このシリーズでは、企画・立案から実行計画の策定、スケジュール管理まで、今や「世界標準」となったプロジェクトの遂行手順を詳しく解説していきます。

講師

★西村克己（株式会社日本総合研究所主任研究員／芝浦工業大学工学マネジメント研究科教授／アメリカパテント大学教授）

1982年東京工業大学経営工学科大学院修士課程修了。富士写真フイルム株式会社に入社し、経営効率化推進室に配属。1990年、株式会社日本総合研究所に移り、経営革新、プロジェクト管理などの分野で活躍。2002年より現職。著書「よくわかるプロジェクトマネジメント」、「よくわかる経営戦略」など多数。

1	プロジェクトと経営への適用 ゲスト：子安弘邦氏（株式会社日本総合研究所人事部）
2	プロジェクト成功の基本条件 ゲスト：久道雅基氏（株式会社日本総合研究所上席主任研究員）
3	プロジェクトフェーズの概念 ゲスト：大西啓之氏（株式会社日本実業出版社第一編集部チーフエディター）
4	テーマ設定と解決策の立案 ゲスト：野中治氏（富士写真フイルム株式会社情報システム部参事）
5	プロジェクト実行計画の立案 ゲスト：黒川透氏（富士写真フイルム株式会社感材部業務課主査）
6	実行と評価、企画書の体系 ゲスト：橘高弘武氏（富士マグネディスク株式会社事業開発部部長）

＜経営・戦略＞

戦略構想力
～頭の使い方を身につける～

2002年11月～2003年4月

番組コンセプト

トップマネジメントにとって、自社の経営戦略を考え、策定していく ことは、必要不可欠であると同時に非常に頭の痛い問題です。巷では「戦略」を語る本が多数出版され、様々な理論や成功事例が述べられていますが、学者の語る理論を学んだだけでは実際の戦略を策定することはできません。本さえ読めば誰でも知り得る「戦略論」を、自社の「戦略」にまで落とし込み、競合相手よりも優位に立つためには、自らの頭を使って戦略を「構想する」力が必要です。番組では、基本的な戦略論をひと通りふまえた上で、「戦略構想力」を身につけるために必要なポイント、頭の使い方を、順を追って詳しく解説していきます。

講師

★御立尚資（株式会社ボストン・コンサルティング・グループ 日本代表）

京都大学文学部卒。ハーバード大学経営学修士（MBA with High Distinction）。日本航空株式会社を経て現在に至る。消費財・流通、及び金融・情報通信・ホテル等サービス業界を中心に、事業戦略、ブランド戦略、バリューマネジメント等のプロジェクトを数多く手掛けている。

1	戦略家への壁
2	戦略論と戦略策定手法のキーポイント
3	戦略眼：目の付け所（１）
4	戦略眼：目の付け所（２）
5	頭の使い方の癖を知る
6	戦略構想力（まとめ）

経営者の構想力

2002年3月～9月

番組コンセプト

現在の経営者の悩みは、「会社をどの方向に持っていったら良いのか」、そして、「そのために具体的に何をすれば良いのか」の２点に尽きると言われています。すなわち、経営者に「構想力」とも言うべき能力が求められている時代になったと言うことができるでしょう。逆に言えば、こうした能力を持たない経営者、あるいはその会社は、ますます競争が厳しくなるビジネス界において、次々と淘汰されていくことになります。けれども、「構想力」を持つということは、つまり「見えない未来を見通す」ということであり、これはなかなか難しいものです。そこで、この番組では、実際に確かな「構想力」によってビジネスを成功に導いている第一線の経営者をゲストにお招きし、そうした方々かいかにして将来を見通し、ビジネスをプランニングしてきたのかを具体的に伺います。

（協力：ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン株式会社）

講師

★西浦裕二（アリックスパートナーズ 日本代表）

一橋大学社会学部卒。住友信託銀行、ボストン・コンサルティング・グループ、シティバンク、ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン株式会社、株式会社ローランド・ベルガー取締役共同会長を経て、現在に至る。 金融、情報通信、製造、小売など幅広い分野でのコンサルティングを手がける。 自ら金融サービスの新規事業を立ち上げた経験をふまえて、実践的なコンサルティングを行うことを信条としている。主な著書に「経営の構想力 構想力はどのように磨くか」、「金融マーケティング」他、等がある。

1	構想力とは何か ゲスト：高橋秀明氏（富士ゼロックス株式会社代表取締役副社長兼ＣＩＯ）
2	金融システムのビッグ・ピクチャーを描く ゲスト：稲野和利氏（野村アセットマネジメント株式会社代表取締役社長）
3	構想する力の源泉　～長期的視野と現場の視点の融合～ ゲスト：加藤秀樹氏（「構想日本」代表）
4	日本人と構想力　～構想者をどうやって育てるか～ ゲスト：半田智久氏（日本構想学会理事）
5	構想力が新しき結合を生む ゲスト：水野博之氏（高知工科大学副学長／元松下電器産業株式会社副社長）
6	原点は夢　～構想力を磨くために～ ゲスト：佐々木正氏（株式会社国際基盤材料研究所＜ＩＣＭＲ＞代表取締役会長／株式会社共創研究所代表取締役社長）

日本再生への提言

2002年3月・7月、2003年12月、2004年9月

番組コンセプト

長銀やシーガイア、日本コロムビアなどを次々と買収した米リップルウッド、イー・アクセスに資本参加した米カーライル･グループなど、米国の企業買収ファンド、未公開株ファンドが日本での活動を本格化しています。不況のどん底であえぐ日本経済、業績不振の日本企業も彼らから見れば投資機会の宝庫、大きなビジネスチャンスに映ります。この番組では、そのようなファンドの代表をゲストに招き、彼らの物の見方・考え方を語って頂くことにより、勇気を失ってしまった日本のビジネスパーソンに違う視点を提供します。

1	村上世彰（株式会社Ｍ＆Ａコンサルティング代表）■
2	石黒光（株式会社インスパイア最高執行責任者）●
3	藤巻健史（株式会社フジマキ・ジャパン代表取締役）▲
4	冨山和彦（株式会社産業再生機構代表取締役専務）

＜経営・戦略＞

２１世紀の経営戦略

1999 年 5 月～2000 年 4 月

番組コンセプト

企業が２１世紀に生き残るために今、とるべき戦略とは？経営者、経営幹部はもちろん、ビジネスパーソンが知っておくべき最新の経営コンセプトをテーマに取り上げます。「経営コンサルティングの付加価値」「ビッグバンを生き抜くための経営戦略」「戦略的調達：サプライチェーンでの競争と協調のバランス」などのホットトピックスを、毎回それぞれの分野でのエキスパートをゲストに分かりやすく解説していきます。

（協力：ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン株式会社）

講師

★西浦裕二（アリックスパートナーズ 日本代表）

⇒プロフィールは「経営者の構想力」（19 ページ）参照

1	日本における経営戦略コンサルティング　～その変遷と価値～ ゲスト：ジェームス・C・アベグレイン氏（アジア・アドバイザリー・サービス株式会社会長）
2	ビッグバン時代のマーケティング ゲスト：田中洋氏（法政大学経営学部教授）
3	戦略的調達　～競争と協調のバランス～ ゲスト：高松越百氏（日本ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン株式会社プリンシパル）
4	ブランド戦略 ゲスト:田中洋氏（法政大学経営学部教授）
5	キャッシュフロー経営 ゲスト：船山真史氏（リパブリック・ニューヨーク銀行ファースト・バイス・プレジデント）
6	買収・提携戦略 ゲスト：藤本欣伸氏（あさひ法律事務所パートナー）
7	買収企業統合戦略 ゲスト：パスカル・マルタン氏（日本ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン株式会社プリンシパル）
8	新メディア総論　～メディアのデジタル化～ ゲスト：吉田望氏（電通総研研究主幹）
9	インターネット取引　～Ｅコマース～ ゲスト：佐々木経世氏（オートバイテル・ジャパン株式会社取締役会長）
10	新しい消費者価値創造　～新しいメディアが可能にしたＣＲＭ～ ゲスト：大庭広巳氏（株式会社リクルートＩＳＩＺＥ編集長）
11	マーケティングのリストラクチャリング ゲスト：岸田雅裕氏（日本ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン株式会社）
12	まとめ　～顧客資産の極大化のために～

＜経営・戦略＞

中小企業サバイバルLIVE どんとこい大不況編

1999 年 4 月～2000 年 3 月

番組コンセプト

番組のテーマ「カンパニー・レスキュー」とは、病気になった企業の緊急病院の意味。不況下での銀行の貸し渋りに対する具体的対策やつき合い方、行き詰まっても倒産しない方法、既存のリストラを越える究極のリストラ策、不況下で売上を伸ばすコツ、企業と個人の危機管理術などに具体的解決策を提供します。

講師

★岩井義照（有限会社祝経営研究所代表取締役）

商工組合中央金庫、株式会社第一経理の経営相談室室長を経て現職。年間４００件を超す企業相談、指導を行い、金融機関対策・倒産救済対策の実績と経験に豊富な経験をもつ。

1	これからの銀行対策　～売掛金と定期預金は他行に移す～▲
2	会社を守る危機管理、銀行対策　～貸し渋りには返し渋りで対抗～▲
3	自分で行う会社更生法（１）　～元利金を止めれば無借金経営～▲
4	自分で行う会社更生法（２）　～手形支払いを止める方法～▲
5	保証債務は恐くない　～個人保証は天下の悪法～▲
6	これが究極のリストラだ！　～会社転生～（前）▲
7	これが究極のリストラだ！　～会社転生～（後）▲
8	不況の中で売上を伸ばすポイント（１）　～満足と安心を売る時代に～▲
9	不況の中で売上を伸ばすポイント（２）　～満足と安心を売る商売の具体策～▲
10	銀行貸し渋りの中での資金調達法▲
11	アメリカ景気と日本経済への影響▲
12	倒産を防ぐ危機管理はこれだ！！　総まとめ▲

戦略の進化

2003 年 10 月～2004 年 10 月

番組コンセプト

コンピタンス、モジュール化、企業価値など、現在主流と思われる考え方を疑い、戦略を考える新しいパラダイムを提供したベストセラー「マッキンゼー戦略の進化」。
この番組では、その編著者がその解説を行うとともに、日本企業のコンサルティングの現場から学んだ不確定性時代を勝ち残るための知恵、「学習優位の戦略」と「戦略の実現に向けて」も解説・紹介していきます。

講師

★名和高司（マッキンゼー・アンド・カンパニー　ディレクター）
東京大学法学部卒、ハーバード経営大学院修了。三菱商事を経て、マッキンゼー入社。日本、アジア、アメリカなどを舞台に、情報・通信、自動車・プラントなど、幅広いハイテク・サービス分野で、成長戦略や異業種アライアンス、経営変革に取り組んでいる。マッキンゼー全社のハイテク、自動車研究グループの中心メンバーの１人。

★近藤正晃ジェームス（マッキンゼー・アンド・カンパニー　アソシエート・プリンシパル／東京大学客員助教授）
慶應義塾大学経済学部卒、ハーバード経営大学院修了。ハイテク、自動車、消費財産業を中心に、グローバル戦略立案、組織設計、アライアンス設計などのコンサルティングに従事。同時に、日・米・英・仏・独・露などにおいて国家経済政策の立案に従事。マッキンゼーにおけるグローバル戦略グループのリーダーの一人。

★和氣忠（マッキンゼー・アンド・カンパニー　アソシエート・プリンシパル）
東京大学工学部卒､同大学院修了。スタンフォード大学経営大学院修了後、日本道路公団を経て、マッキンゼー・アンド・カンパニー入社。製造業およびハイテク・サービス産業分野にて､成長戦略やグローバリゼーション､経営変革に取り組んでいる｡マッキンゼーにおけるハイテク研究グループ中心メンバーの一人。

★牧田俊一（マッキンゼー・アンド・カンパニー　アソシエート・プリンシパル）
東京大学工学部卒、マサチューセッツ工科大学スローンスクール経営学修士課程修了。IT 産業を中心に戦略策定、組織設計などを手がける。「不確実性下での意思決定」に興味を持ち製薬研究マネジメント、通信事業の投資決定など幅広い領域を経験。最近では、IT 製品の事業戦略、アウトソーシング・サービス戦略、テレコムオペレータの BPR などを手がける 。テレコム・ハイテクプラクティスの主要メンバーの１人。

◆戦略の進化（講師：名和高司／近藤正晃ジェームス）

2003 年 10 月～2004 年 3 月

1	学習優位の経営　～Familiarity Advantage～
2	ポートフォリオ再構築　～Portfolio of Initiative～
3	次世代成長モデル　～3S (Scale,Scope,Skill) Model～
4	顧客価値の最大化　～5V (Value-based Marketing) Model～
5	変革のマネジメント　～3-Wave Model～
6	「戦略の実現」に向けて　～Middle-to-Middle～

◆戦略の進化　実践編（講師：和氣忠／牧田俊一）

2004 年 7 月～10 月

1	学習優位の構築（１）成長のエンジン　-Middle Function-
2	学習優位の構築（２）相対優位の技術リスクマネジメント　-Technology Scenario-
3	学習優位の構築（３）もうけの知恵を結集させる新事業育成　－Innovation Cell－
4	学習優位の構築（４）学習優位の行動設計　-Learning Organization

新生日本のビジネスリーダー像

2003年10月～2004年6月

番組コンセプト

今ほどリーダーの存在が企業の命運を左右する時代はなかったのではないでしょうか？
しかし、今求められているリーダー像を明らかにすること、さらに「そうしたリーダーをどのように発掘し、育てていくべきか」という問いに答えることは簡単ではありません。
この番組では、経営者へのアンケート結果をベースにＢＢＴ講師陣と経営トップをゲストに迎え、リーダーシップについて議論を行い、新生日本のリーダー像について考えていきます。

講師

★西浦裕二（アリックスパートナーズ 日本代表）
⇒プロフィールは「経営者の構想力」（19ページ）参照

★山田英夫（早稲田大学ビジネススクール大学院国際経営学専攻教授）
⇒プロフィールは「経営戦略ライブ」（10ページ）参照

1	ゲスト：内田和成氏（株式会社ボストン・コンサルティング・グループ日本代表）
2	ゲスト：楠木建氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授）
3	ゲスト：古田興司氏（UCC上島珈琲株式会社取締役副社長）
4	ゲスト：森本昌義氏（株式会社ベネッセコーポレーション代表取締役社長兼COO）■
5	ゲスト：古田英明氏（縄文アソシエイツ株式会社代表取締役）
6	ゲスト：大前研一
7	新生日本のビジネスリーダー像シンポジウム

＜経営・戦略＞

社会価値創造企業

2004年10月～2005年3月

番組コンセプト

「金やポストのためでなく社会的に意義あることのために働きたい」、「品質や価格だけでなく環境に優しい企業から買いたい」など企業を取り巻くステークホルダー（消費者、従業員、投資家、地域社会）の価値観が変わってきています。一方、企業側からは、「金やポストで釣れない従業員の扱いが難しい」、「社会や環境問題は企業利益と相反する」といった声も聞きます。この番組では、利益の追求と社会に対する貢献は両立できるだけでなく、社会価値を創造していくことが企業価値増大のために重要なことであることを様々な事例を通じ学びます。

講師

★上山信一（慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科教授）

京都大学法学部を卒業後、運輸省に入省。米プリンストン大学大学院卒（公共経営学修士取得）。マッキンゼー・アンド・カンパニーに勤務し、米ジョージタウン大学政策大学院研究教授を経て現在に至る。上山信一経営顧問事務所を経営しつつ、ウィル・キャピタル取締役、大阪府特別顧問、大阪市立大学教授等を兼務。

1	企業の社会責任（CSR）とは何か ゲスト：井上壽枝氏 （中央青山監査法人環境監査部部長 / 株式会社中央青山サステナビリティ認証機構取締役副社長）
2	社会的責任投資（SRI）とは何か ゲスト：筑紫みずえ氏（株式会社グッドバンカー代表取締役社長兼CEO）
3	実践企業事例 ゲスト：岩田喜美枝氏（株式会社資生堂 取締役執行役員） 山口 隆氏（JSR株式会社 専務取締役）
4	市民バンクの歩みと可能性 ゲスト：片岡勝氏（プレス・オールタナティブ・グループ代表
5	中小企業の地域貢献と社会価値 ゲスト：坂井茂樹氏（商工組合中央金庫理事）
6	ソーシャルアントレプレナー（社会企業家）の可能性 ゲスト：小島靖子氏（有限会社ヴィ王子取締役）

<経営・戦略>

医療マネジメント革命

2005年4月～2005年7月

番組コンセプト

今、医療経営における「医療の質」の向上と医療経営改革の必要性が叫ばれている。　これまでの日本における医療の水準は、ただ漠然と世界でも高い水準にあると信じられてきた。しかし、日米間での比較や様々な分析結果から、日本における医療マネジメントの現状が明らかになった。本シリーズでは、医療経営における「医療の質」　とは何かという問題から、実際に改革に取り組むための方法論について、具体的な事例と共に解説する。また、番組で取り上げる様々な「ファクト」から医療経営における意味合いを抽出し、解説する。

講師

★宇田左近（マッキンゼ−・アンド・カンパニー・インク・ジャパン プリンシパル）

金融プラクティスの中心メンバー。金融分野の全社戦略、マーケティング戦略、組織変革を得意とする。その他、国際コングロマリットでの２年間にわたる組織変革や鉄道・輸送関連企業、サービス企業の全社構造改革を手がける。

1	医療の質とは何か▲
2	医療の質の日米比較▲
3	品質改善に向けた新たな問題解決手法▲
4	医療経営者および医療従事者、政策・制度、企業・起業家に対する意味合い ゲスト：川渕孝一氏（東京医科歯科大学大学院 教授）▲

<経営・戦略>

戦略発想法

2006年4月～2006年9月

番組コンセプト

企業経営者や株主の関心は、これまでの主なコスト削減による利益の創出から、企業価値を向上させる「成長戦略」へと移っています。本シリーズでは、　「儲かる事業戦略をどう創るのか」をテーマに、教科書的な一般論としての戦略の知識ではなく、皆様の抱える実際の戦略課題を解決するための実践的な「技」＝（戦略思考の型）を伝授します。

講師

★本島康史

（株式会社ボストン コンサルティング グループ パートナー アンド マネージング・ディレクター）

東京大学法学部卒、青山学院大学大学院国際政治経済学研究科修士（国際経営学）。株式会社住友銀行企画部、業務統括部にて予算策定、収益管理、業務企画、日銀対応等を担当。その後、A.T.カーニー株式会社を経て現在に至る。銀行、証券、保険等の金融機関を中心にM&A、PMI（M&A後の統合）、資本戦略、中期経営計画策定、マーケティング戦略策定・実行支援、組織能力構築、企業文化改革等のコンサルティングを数多く経験している。

1	総論：２１世紀型ビジネスマンの頭の使い方 「ホワイト・スペース」
2	「因数分解」と「ロジック計算式」
3	「マトリクス」と「3C」
4	「バリューチェーン」と「経験曲線」
5	「バリュープライシング」と「異同の視点」
6	「戦略方程式」

＜経営・戦略＞

戦略的 M&A と統合マネジメント

2006 年 10 月～2007 年 3 月

番組コンセプト

M&A は日本でも経営のツールとしての市民権を得ました。しかし、M&A のプロセスでは、案件の選定から合意に至り、実際に統合完了するまでの間に、多くの陥し穴が存在しています。なぜ、M&A は失敗するのか、成功するにはどうすればよいのでしょうか。本講座では、M&A の技術論ではなく、企業の戦略立案・実行者の立場から、M&A を成功に導く方法を解説します。

講師

★重竹尚基
（株式会社ボストン コンサルティング グループ パートナー アンド マネージング・ディレクター）
早稲田大学政治経済学部卒。シカゴ大学経営学修士(MBA)。三井物産株式会社、BCG ロンドン事務所を経て現在に至る。幅広い業界に対し、マーケティング・営業戦略策定・実行支援、組織・意識改革等のコンサルティングに従事。特に、コーポレートガバナンス、バリューマネジメント、グループマネジメントの経験が豊富。

1	戦略的 M&A とは何か
2	戦略的 M&A の視点
3	戦略的 M&A の進め方 ゲスト：岩上順一氏（株式会社 ボストン コンサルティング グループ プロジェクト・マネジャー）
4	「敵対的買収にどう備えるか ～技術論を超えて～ ゲスト：加藤広亮氏 （株式会社ボストン コンサルティング グループ ヴァイスプレジデント・ディレクター）
5	統合プロセス全体像と陥し穴
6	成功する統合マネジメント

＜経営・戦略＞

BCG 戦略リーダーシップ

2007 年 9 月～2008 年 2 月

番組コンセプト

優れた経営者はどのようなリーダーシップを発揮しているのか。
日本企業では往々にして、準備のないままに、ある日突然経営者に指名されます。たとえば、ある事業部門しか経験がないといった状況から、急に全体を見る立場に置かれた場合、リーダーとして必要なスキルや知識が手薄になりがちなのではないでしょうか。
本講座では、様々なリーダーシップ論の中から特に、今後日本企業に必要なリーダーシップについて「スキル」と「知識」に重点を置き、具体例を交えながら解説していきます。

講師

★太田直樹（株式会社ボストン コンサルティング グループ パートナーアンドマネージング・ディレクター）
東京大学文学部卒。ロンドン大学経営学修士(MBA)。モニターカンパニーを経て現在に至る。ハイテク、情報通信、製造業を中心に、組織戦略策定・実行支援、企業ビジョン、事業開発、業務プロセス改革等のプロジェクトを数多く手掛けている。特に、グループ経営に関するプロジェクトの経験が豊富。

1	リーダーの視座
2	グローバル・リーダーシップ
3	変革リーダーシップ
4	イノベーション・リーダーシップ
5	規範リーダーシップ
6	ソーシャル・リーダーシップ

<経営・戦略>

製薬業界

2007年11月～2008年1月

番組コンセプト

「グローバルな競争に勝ち抜くためには規模を拡大することが不可欠だ」
世界規模で実施されている医療費削減の動き、その中で研究開発の生産性は年々低下するという局面を迎えた製薬業界では、この危機を打開する戦略として世界的な「合従連衡」(M&A) が相次いでいます。
しかしながら、かつて同じように世界規模での競争を経験した自動車業界や航空機業界において、競争を生き抜き、勝ち残った企業を支えたものは"規模"だったのでしょうか。
このシリーズでは、激変する環境下に立たされた製薬業界に注目し、「環境の変化にいかにして対応するか」という企業経営における普遍的なテーマを真正面から取り上げ、合従連衡に潜む陥し穴も明らかにしながら、真に長期的な競合優位性を構築するための施策を提唱します。

講師

★矢吹博隆（株式会社ボストン コンサルティング グループ パートナーアンドマネージング・ディレクター）

東京大学工学部卒及び同大学機械工学修士。ハーバード大学経営学修士(MBA)。株式会社東芝を経て現在に至る。医薬、医療機器等を中心としたヘルスケア業界に対する、中長期戦略、国際事業戦略、M&A・アライアンス、研究開発、マーケティング、営業改革、新規事業参入等の戦略策定から実行支援まで数多くのプロジェクトを経験。

1	製薬業界を取り巻く環境変化と各企業にとっての課題
2	生き残り、勝ち残りのための先進企業の戦略 ゲスト：田中龍夫氏（日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社執行役員　営業本部　本部長）
3	製薬企業のビジネスモデルの変革

<経営・戦略>

異業種格闘技

2008年4月～2008年9月

番組コンセプト

異業種格闘技とは、異なる事業構造を持つ企業が、異なるルールで、同じ顧客ないし市場を奪い合う競争のことであり、近年急激に増加している。
本シリーズでは、異業種格闘技とは何かを総合的に俯瞰し、この時代を生き抜くためにはどのような戦略・戦術が必要なのかを考える。

講師

★内田 和成（株式会社ボストン コンサルティング グループ シニア・アドバイザー/早稲田大学ビジネススクール 教授）
東京大学工学部卒。慶應義塾大学経営学修士（ＭＢＡ）。日本航空株式会社を経て、現在に至る。
ハイテク企業、情報通信サービス企業を中心に、マーケティング戦略、新規事業戦略、中長期戦略、グローバル戦略策定等のコンサルティングを数多く経験。

1	異業種格闘技とは
2	異業種格闘技はなぜ起こるのか
3	異業種格闘技のタイプ
4	異業種格闘技を分析する視点
5	異業種格闘技の勝ち方
6	異業種格闘技を戦い抜くリーダーシップ

＜経営・戦略＞

平均寿命 100 歳時代のビジネス

2008 年 11 月～2009 年 1 月

番組コンセプト

2008 年の日本は、総人口の 22%が 65 歳以上になり、20 年後には団塊の世代が 80 歳代に達し、高齢者中心の社会に突入すると予測される。
本シリーズでは、東北大学加齢医学研究所特任教授であり海外の高齢者サービス事情に詳しい村田氏を講師に迎え、“平均寿命 100 歳時代”のニーズをとらえた先駆的ビジネスについて、住まい方、健康づくり、コミュニケーションの３つの観点から研究する。
シリーズ第１回の今回は、平均寿命 100 歳時代の到来の根拠となる人口動態や求められる基本ニーズを解説し、「住まい方」の事例として、老人ホームの概念を一新したクラブ・アンクラージュ御影の取り組みを紹介する。

講師

★村田 裕之(村田アソシエイツ株式会社 代表取締役社長／財団法人　社会開発研究センター理事長／東北大学特任教授)
新潟生まれ、東北大学大学院工学院工学研究科修了。民間企業勤務後、仏国立ポンゼジョセ工科大学院国際経営学部修了。ＭＢＡ。仏最大の国営石油会社エルフ・アキテーヌ（現トタール）勤務を経て９１年株式会社日本総合研究所入社。０２年４月村田アソシエイツ設立、同社代表に就任。

1	住まい方▲
2	健康つくり ゲスト：坂本眞樹氏（株式会社カーブスジャパン 代表執行役兼 COO）▲
3	コミュニケーション ゲスト：中村吉伸氏（株式会社ＮＴＴドコモ プロダクト部第三商品企画担当部長）▲

＜経営・戦略＞

企業統合

2008 年 11 月～2009 年 4 月

番組コンセプト

企業統合（M＆A）を成功させる鍵は、形式上の統合後の新しい事業としての組織化（いわゆる「PMI；Post Merger Integration」）を円滑に行うことである。
そして､そのＰＭＩを円滑に行う更なる鍵は組織の底辺に流れる人の感情をコントロールすることにある。
このシリーズでは、コンサルタント会社在籍時代に IBM とのM＆Aの当事者として自らマネジメントした経験を持つＩＢＭビジネスコンサルティングサービスの金巻龍一氏を講師に迎え、心理的側面を重視した組織統合プロジェクトの手法を紹介する。

講師

★IBM ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞｻｰﾋﾞｽ
金巻龍一（IBM ビジネスコンサルティングサービス戦略グループ パートナー常務取締役）
丸山 洋（IBM ビジネスコンサルティングサービス戦略グループ アソシエイト・パートナー）

1	PMI プロジェクト成功の心理的メカニズム ～モチベーションの限界は１００日～▲
2	コンポーネントビジネスモデリング ～「変革の海図」の作成方法～▲
3	プログラムマネジメントオフィス ～個別最適化の推奨とシナジー確保の方法～▲
4	Day1 シナリオ ～自社視点での「足し算」から、顧客視点での「引き算」へ～▲
5	コックピット・マネジメント ～例外管理の徹底と部門間の競争意識を醸成する仕組み～▲

グローバリティ戦略

2010 年 5 月～2010 年 5 月

番組コンセプト

競争のステージは、欧米や日本などの先進国企業が一方的に活動の拠点を拡大する「グローバリゼーション時代」から、新興国企業と先進国が入り乱れて、縦横無尽に駆け回る「グローバリティ時代」へと変化した。いわばヒエラルキーからパラレルへのパラダイムシフトである。この新しい時代を生き抜くヒントはどこにあるのか。個別銘柄を追いかけるのではなく、新興国のプレーヤーがいかにして成長を遂げたのか、その戦い方を紹介する。

講師

★水越 豊(ボストンコンサルティンググループ 日本代表)
1979 年東京大学経済学部卒。1988 年スタンフォード大学経営学修士（ＭＢＡ）。新日本製鐵株式会社を経て、現在に至る。
金融、通信、情報システム、エンタテイメント等幅広い業界に対し、Ｅコマース、ＩＴ戦略を中心に戦略面／組織面でのコンサルティングを数多く手掛けている。

1	グローバルチャレンジャー
2	グローバリティ時代の勝ち方

＜経営・戦略＞

プラットフォーム戦略

2010 年 3 月～2010 年 5 月

番組コンセプト

21 世紀の勝ち組と言われるグーグルや楽天の強さの根底にはプラットフォームという共通の概念が使われている。
これからプラットフォームを運営しようとする方、またはプラットフォームを活用しようとしているビジネスパーソンに向けて
戦略としてのプラットフォームを全三回のシリーズでお伝えする。

講師

★平野 敦士 カール(株式会社ネットストラテジー 代表取締役/ビジネス・ブレークスルー大学 教授/ハーバード・ビジネススクール 招待講師/沖縄大学大学院 非常勤講師)
元楽天オークション取締役、元ドコモ・ドットコム、元タワーレコード取締役。
日本における「プラットフォーム戦略」の第一人者。
米国イリノイ州生まれ。麻布中学・高校卒業。東京大学経済学部卒業。日本興業銀行を経て、ＮＴＴドコモに転職。アライアンス推進担当部長として、おサイフケータイの普及に成功。2006 年、米国コンサルティング会社ＭＰＤシニア・アドバイザー就任。007 年、ハギウハーバードビジネススクール准教授とともに戦略コンサルティング会社株式会社ネットストラテジーを創業。

1	プラットフォーム戦略とは
2	ケースで学ぶプラットフォーム戦略構築のフレームワーク
3	プラットフォームの横暴

＜経営・戦略＞

経営システムとしての オープン・イノベーション

2010年4月～2010年7月

番組コンセプト

オープン・イノベーションとは製品や技術が多様化、高度化、複雑化する中で自分たちの会社内だけでは開発しきれない技術を、
社外の組織から取り入れて開発する経営手法である。
しかし社内の意識や風土の問題もあり、いきなり社外の技術や方法を取り入れようとしてもうまくいかないことが多い。
今回は、経営システムとして機能するオープン・イノベーションの仕組みを確立するためにはどのような方法論や実施体制が必要なのかを紹介致します。

講師

★諏訪 暁彦（株式会社ナインシグマ・ジャパン代表取締役）
米国マサチューセッツ工科大学院　材料工学部修了。マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク・ジャパン、日本総合研究所を経て、2006年に技術仲介・コンサルティング会社、株式会社ナインシグマ・ジャパン設立し、代表取締役社長に就任。米NineSigma Inc.取締役兼務。ナインシグマ・グループにおけるアジア地域の統括責任者。

1	オープン・イノベーションの考え方と適用範囲
2	オープン・イノベーション活動の詳細な流れ
3	目指すべきオープン・イノベーションの姿 ゲスト：松本 毅氏（大阪ガス株式会社 技術戦略部 オープン・イノベーション室長）
4	機能するオープン・イノベーション・システムを確立するまでの道のり

＜経営・戦略＞

ストーリーとしての競争戦略

2010年6月～2010年12月

番組コンセプト

戦略の真髄とは“思わず人に話したくなるような面白いストーリー”にある。
成功を持続している企業には一連の動きや流れに沿って組立てられた一貫したストーリーがあるものである。
シリーズでは、競争戦略の専門家である講師が企業に究極の競争優位をもたらす
ストーリーとしての競争戦略論を豊富な事例をもとに解説する。
第1回目の今回は、従来の分析的な戦略論との比較においてストーリーとしての競争戦略とは何かを解説する。

講師

★楠木 建(一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授)
専攻はイノベーションのマネジメント。新しいものを生み出す組織や戦略について研究している。とくにコンセプトを創造する組織やリーダーシップに関心をもっている。一橋大学大学院商学研究科博士課程修了(1992)。一橋大学商学部専任講師(1992)、同大学同学部およびイノベーション研究センター助教授(1996)を経て、2000年から現職。

1	戦略は「ストーリー」
2	競争戦略の基本論理
3	静止画から動画へ
4	始まりはコンセプト
5	「キラーパス」を組み込む
6	戦略ストーリーを読解する
7	戦略ストーリーの「骨法１０ヶ条」

<経営・戦略>

現場発！新事業創造アプローチ

2010年5月～2010年11月

番組コンセプト

本講座では「研究開発の効率が低下している」「"成長戦略が見えない" と投資家・銀行・アナリストから鋭く指摘されている」
「新規事業開発が停滞している」「創造性のない指示待ち技術者が増えている」という課題を全6回の講義で明らかにしていく。

講師

★時吉 康範(株式会社日本総合研究所　社会・産業デザイン事業部ディレクター)
早稲田大学政経学部政治学科卒業後、JSR株式会社に入社。在職中に、ニューヨーク大学経営大学院でMBAを取得した後、日本総合研究所に入社。日本総合研究所では、技術開発でのプロジェクトにおける要職を歴任し、数多くの業界で新規事業開発・新製品開発戦略策定に携わる。

1	研究開発テーマの小粒化の要因と研究開発テーマの再構築・創造の全体像ならびに評価
2	研究開発テーマの評価と再構築
3	研究開発テーマの再構築の事例
4	技術コンセプトの策定
5	研究開発テーマの創造
6	座談会

<経営・戦略>

市場としてのアジアへの挑戦

2010年8月～2010年10月

番組コンセプト

経済成長率が伸び悩む日本企業では海外、特にアジア地域への進出が注目されている。
新興国の市場開放が進み出生率が高く人口大国が多いことから、巨大なマーケットとして成長を続けているこの地域は、
グローバル企業からも期待を集めている。本講座は、かつての生産拠点から消費地へ変ぼうしたアジアの魅力と、
これから海外市場を狙う企業が直面すると思われる課題の克服策について解説して頂く。

講師

★恩田達紀（株式会社三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング グローバルコンサルティング部・部長）
★池上一希（株式会社三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング グローバルコンサルティング部・コンサルタント）

1	市場としてのアジア
2	ベトナム市場に学ぶ成功の鍵
3	インドネシア市場の機会と課題 ゲスト：藤井真治氏（元トヨタアストラモーター 副社長）

＜経営・戦略＞

情報＝フリー（無料）時代の メディア化戦略

2011 年 5 月～2011 年 5 月

番組コンセプト

昔からタダより怖いものはないと言われているが、インターネットの世界では新しいフリー（無料）とも言うべきビジネスモデルができつつある。
今回は古くからあるフリー・ビジネスを紹介するとともに、新しいフリーの代表である
「フリーミアム」というビジネスモデルについて解説し、なぜインターネットの世界では、
フリー・ビジネスが成立するのか、また、どうすればフリー・ビジネスが成功するのかについて説明する。

講師

★小林 弘人(株式会社インフォバーン代表取締役 CEO。東京大学大学院情報学環教育部非常勤講師。ビジネス・ブレークスルー大学教授。)
「ワイアード」「ギズモード・ジャパン」など紙とウェブの両分野で多くの媒体を立ち上げる。また、インターネット黎明期より数多くの企業ウェブ、著名人ブログやソーシャルメディア・プロモーション等のプロデューサーとして活躍中。

1	フリー（無料）を探る：フリーへの誤解と正しい見方
2	注目資本を集めよ：企業自身によるメディア化戦略
3	情報＝フリー時代におけるメディア企業の挑戦 ゲスト：田端信太郎氏（コンデナスト・デジタル カントリー・マネジャー）

＜経営・戦略＞

BOP 市場の事業開発とイノベーション

2011 年 5 月～2011 年 6 月

番組コンセプト

年間所得３千米ドル（約 30 万円）以下の低所得者層は、世界の人口の 72%、約 40 億人のＢＯＰ（Base of the pyramid）市場を形成する。ＢＯＰ層の人口と所得を掛けた総経済規模は約４兆８千億ドルで、日本市場・インド市場に匹敵する。本番組では、企業がＢＯＰ市場の事業開発を行うことによって得られるイノベーションを、６回のシリーズで検証する。

講師

★槌屋 詩野(株式会社日本総合研究所ヨーロッパ研究員)
国際協力 NGO 勤務後、株式会社日本総合研究所、創発戦略センター入社。2009 年より株式会社日本総合研究所ヨーロッパ（ロンドン）にて BOP（Base of the pyramid）市場、新興国調査を行う。

1	ＢＯＰビジネスとは？その期待と背景
2	製品・サービスのイノベーション
3	研究・開発手法のイノベーション
4	販売戦略とパートナーのイノベーション
5	組織と人材のイノベーション
6	全体解を求める企業へ

＜経営・戦略＞

プラットフォームビジネスの将来展望

2011年1月～2011年10月

番組コンセプト
カテゴリーにとらわれない多様な商材を一元的に提供できるプラットフォームとして、アップル、グーグル、アマゾンが広く社会に認知されているが、当該事業者が目指すところはそれぞれに異なり、複雑な相互関係と競争環境の中で現在のプラットフォーム事業が展開されている。本番組では、５回シリーズで、プラットフォームの内実を浮き彫りにし、事業の現状と課題、日本企業の参入可能性などについて検証する。
講師
★クロサカタツヤ（株式会社　企代表取締役） 1975年生まれ、慶應義塾大学大学院政策メディア研究科修士課程を終了後、株式会社三菱総合研究所にて情報通信事業のコンサルティングに従事、その後IPV6やRFIDなど次世代技術の推進、また国内外の政策調査や推進プロジェクトを手掛けられた後、2007年１月に独立、現在は「株式会社　企」代表取締役として戦略立案や事業設計を中心としたコンサルティング、経営管理・資本政策などの経営アドバイス、政府系プロジェクトの支援等を提供している。

回	内容
1	プラットフォームの理想と現実
2	プラットフォームの勝者と敗者
3	プラットフォームの行く末
4	総務省のプラットフォーム戦略 ゲスト：谷脇康彦氏（総務省 大臣官房企画課長）
5	インターネットとプラットフォーム ゲスト：村井純氏（慶應義塾大学環境情報学部 教授）

＜経営・戦略＞

Google時代のビジネス戦略

2011年4月～2011年6月

番組コンセプト
ICT技術が発達したこんにち、企業はインターネットなどのネットワークインフラを最大限に活用して事業を展開する。ビジネスパーソンにとって、多彩なクラウドサービスを提供するGoogleは、日常的に欠かせないツールとなっている。 本番組では、日々新しいサービスが投入されアップデートを続けるGoogleの使い方を改めて学び、Google時代のビジネス戦略構築を目指す。
講師
★クロサカタツヤ（株式会社　企代表取締役） 1975年生まれ、慶應義塾大学大学院政策メディア研究科修士課程を終了後、株式会社三菱総合研究所にて情報通信事業のコンサルティングに従事、その後IPV6やRFIDなど次世代技術の推進、また国内外の政策調査や推進プロジェクトを手掛けられた後、2007年１月に独立、現在は「株式会社　企」代表取締役として戦略立案や事業設計を中心としたコンサルティング、経営管理・資本政策などの経営アドバイス、政府系プロジェクトの支援等を提供している。

回	内容
1	Googleの様々なツールの使い方を改めて学ぶ ゲスト：深川岳志氏（フリーライター）
2	SEOやマーケティングに使う ゲスト：渡辺隆広氏（株式会社アイレップ 取締役CSO）
3	ビジネスパーソンとして理解しておくべきGoogleの注意点

＜経営・戦略＞

日本企業の鎖国を解け

2011 年 2 月～2011 年 6 月

番組コンセプト

日本の大企業の多くは、低成長経済下での閉塞感を感じつつ、新たな次元でのグローバル競争にも遅れをとりつつある。日本企業が今後成長していくためには、鎖国状態を解いて、開国することが不可欠である。日本企業が真のグローバル化を成し遂げるための問題点とその解決方法について語る今シリーズの第一回は、新たな黒船であるグローバル市場で業界の再編を促している「５つの大波」の正体と、それにどう立ち向かうのかを解説する。

講師

★岸本 義之（ブース・アンド・カンパニー株式会社 ディレクター）
東京大学経済学部卒業、ノースウェスタン大学ＭＢＡ、慶応義塾大学大学院経営管理研究科博士課程修了、博士（経営学）。15 年以上にわたり、銀行・証券・保険・ノンバンクなどの金融機関に対し、全社戦略、営業マーケティング戦略、リスク管理、グローバル戦略、組織改革などのプロジェクトを行ってきた。マッキンゼー・アンド・カンパニー（マネジャー）を経て、現職。

1	新たな黒船：グローバル競争の新局面
2	鎖国を続けてきた日本企業：閉塞感の根底にあるもの
3	日本特殊論？戦略なき大企業の低迷
4	日産の改革 ゲスト：川口均氏（日産自動車株式会社 常務執行役員）
5	日本企業開国論：マーガニック成長戦略

＜経営・戦略＞

ＣＥＯアジェンダとしての中国戦略

2011 年 2 月

番組コンセプト

世界同時不況の長期化予想を横目に、アジア新興国特需で業績が急回復する日本企業が増えている。新興国のＧＤＰ成長は世界の５割以上を占めると見られている。巨大なアジア新興国市場における経営戦略が、日本企業の国際的な立ち位置を決めるといっても過言ではない。中でも圧倒的な存在感を示し始めた中国市場への対策は、日本企業のＣＥＯにとって最重要経営課題だ。本シリーズでは中国で日本企業が勝ち切るための条件を探る

講師

★市井 茂樹（ボストンコンサルティンググループパートナー＆マネージング・ディレクター）
一橋大学法学部卒業後、コロンビア大学経営学修士（MBA）を取得。三菱商事を経て現在に至る。

1	ＣＥＯアジェンダとしての中国戦略

＜経営・戦略＞

ジャパン・ショック

2011 年 5 月～2011 年 6 月

番組コンセプト

日本の国債発行総額は年々増加し、2011 年度では過去最大の約 170 兆円に膨らむ見込みとなった。景気悪化に伴う所得低下で国民が保有する貯蓄総額は減少し、日本国債のファンダメンタル（基層）は最悪の状況に向かっている。このままでは日本は財政危機に陥り、政府は国家予算が組めずに破綻、世界経済に大きな影響を及ぼすこととなる。
本番組では、世界の金融財政問題に詳しい成長戦略総合研究所理事長の山﨑養世氏を講師に迎え、日本国債の暴落を防御し、今後の経済再生を果たしていく道を明示する。

講師

★山﨑養世(株式会社　成長戦略総合研究所　理事長)
1958 年福岡県生まれ。東京大学経済学部卒業後、米ゴールドマン・サックス社勤務などを経て、2009 年 12 月からは株式会社成長戦略総合研究所理事長を務め、石油経済から脱し再生可能な自然エネルギーの促進を柱とした「太陽経済」を提唱。国・地方・企業に対して新たな成長戦略の政策提言を行っている。

1	ジャパン・ショック ～国債メルトダウンをどう防ぐのか～
2	ジャパン・ショック ～自然エネルギーこそ日本の再生エネルギー～

＜経営・戦略＞

シナリオ・プランニング

2011 年 7 月～2011 年 8 月

番組コンセプト

不確実性の高い時代に未来を予測することは難しいし、現在に足場を置いて未来を想像しても主観的な希望が入りがちだ。経営上でのシナリオ・プランニングでは、未来の状況をいくつか想定し、一度未来にジャンプして、そこから客観的に現在を見返すような手法を取る。「もしも」の事態に真剣に取り組み対策を講じることで、想定外の出来事に慌てることは少なくなる。

講師

★西村 行功(株式会社　グリーンフィールドコンサルティング　代表取締役)
一橋大学卒業。1985 年立石電機株式会社（現オムロン）入社。マーケティング戦略及び全社経営戦略の策定に従事。1992 年ミシガン大学経営大学院修士課程修了。1995 年グリーンフィールドコンサルティングを設立、現在に至る。

1	不確実性の高い時代を乗り切るシナリオ・シンキングとは
2	シナリオ・シンキングの実際－シナリオ・プランニング

＜経営・戦略＞

ビジネスパーソンから見た Facebook の本質

2011 年 7 月～2011 年 9 月

番組コンセプト

現在インターネットには多くのＳＮＳ（ソーシャルネットワーキング）が存在するが、中でも Facebook の進展は目覚ましいものがある。アメリカでのシェアはナンバーワンであり、次いでツイッターが続くが、日本では逆で、2010 年、映画の公開から話題となり、ツイッターの方が先行している。当番組では３回シリーズで、Facebook のパワーと発展の秘策を、講師の小林弘人氏が解き明かす。

講師

★小林 弘人（株式会社インフォバーン代表取締役 CEO。東京大学大学院情報学環教育部非常勤講師。ビジネス・ブレークスルー大学教授。）

「ワイアード」「ギズモード・ジャパン」など紙とウェブの両分野で多くの媒体を立ち上げる。また、インターネット黎明期より数多くの企業ウェブ、著名人ブログやソーシャルメディア・プロモーション等のプロデューサーとして活躍中。

1	Facebook 基礎編
2	企業の Facebook 活用
3	Facebook が変える広告の未来

＜経営・戦略＞

インド事業創造の日本企業の課題と打ち手

2011 年 9 月～2012 年 2 月

番組コンセプト

日本企業は、生き残りを懸けて新たな事業や市場を開拓しているが、少子高齢化などにより縮小する国内市場においては、必ずしも結果が伴わない。次世代を視野に入れた成長戦略を考えた場合、企業が発展を続けるために採るべき道の一つとして、インド市場への進出が挙げられる。
本番組では、日本企業がインドで事業を創造する場合に鍵となる課題と打ち手について、５回シリーズで紹介する。

講師

★時吉 康範（株式会社日本総合研究所　社会・産業デザイン事業部ディレクター）

早稲田大学政経学部政治学科卒業後、JSR 株式会社に入社。在職中に、ニューヨーク大学経営大学院で MBA を取得した後、日本総合研究所に入社。日本総合研究所では、技術開発でのプロジェクトにおける要職を歴任し、数多くの業界で新規事業開発・新製品開発戦略策定に携わる。

1	なぜ、インドなのか？インドの基礎知識
2	「インフラ」分野のビジネスチャンス ゲスト：山野泰宏氏（株式会社日本総合研究所総合研究部門コンサルタント） 田中靖記氏（株式会社日本総合研究所総合研究部門コンサルタント）
3	「健康と暮らし」分野のビジネスチャンス ゲスト：青山温子氏（株式会社日本総合研究所 コンサルタント） 海老澤淳氏（株式会社日本総合研究所 コンサルタント）
4	日本企業の課題と打ち手
5	インド座談会

＜経営・戦略＞

スマートシティと日本の再活性化

2011 年 6 月～2011 年 10 月

番組コンセプト

オバマ大統領の「グリーンニューディール」演説以降、地球温暖化問題に対応するためのスマートシティやスマートグリッドが、概念としてもビジネスとしても期待されるようになってきた。電力事情が比較的安定していた日本でも、東日本大震災の被災地復興という観点から、スマートシティのコンセプトが俄かに注目を受けている。

講師

★今井 俊哉（ブーズ・アンド・カンパニー　ディレクター）

慶応義塾大学経済学部卒、ノースウェスタン大学 MBA。約２０年にわたり、コンピューターメーカー、IT サービスプロバイダー、電子部品メーカー、自動車メーカー等に対し、全社戦略、営業マーケティング戦略、グローバル戦略、IT 戦略等の立案、組織・風土改革、ターンアラウンドの実行支援等のプロジェクトを多数手がけてきた。ブーズ・アンド・カンパニーのハイテク・通信・メディアプラクティスのリーダー。

1	総論：スマートシティとは何か ゲスト：パウル・デュールロー氏（ブーズ・アンド・カンパニー株式会社 ヴァイスプレジデント）
2	国内編：技術検証を主な目的とする国内の実証実験 ～次世代エネルギー政策 具体化への道筋を探る～
3	海外編：創成発展期を迎える海外のパイロットプロジェクト～実社会への組み込みと効果追求を前提として ゲスト：高見栄造氏（日本ヒューレット・パッカード株式会社 次世代・社会システム事業推進本部　統括本部長）
4	復興編：復興のグランドデザインとスマートシティの役割 ゲスト：佐々木経世氏（イーソリューションズ株式会社 代表取締役社長）
5	まとめ：スマートシティを日本経済再成長の起爆剤としていくために ゲスト：岸本義之氏（ブーズ・アンド・カンパニー株式会社 ディレクター）

＜経営・戦略＞

失敗百選から予見するリスクマネジメント

2011 年 7 月～2011 年 10 月

番組コンセプト

失敗学とは、過去に起きた失敗の原因を究明し、防止策を検討、実行することで、未来の失敗を減らしていくことを目的とした学問である。

今シリーズでは、失敗対応を精神論に終わらせず、科学的なプロセスを経て、具体的な防止策につなげていく失敗学の詳細を４回に渡って学ぶ。

第１回目の今回は、失敗学の奥義や精神など全体の概要を示すとともに、2000 年代以降に変化してきている日本の社会の失敗に対する認識について解説する。

講師

★中尾 政之（東京大学大学院工学系研究科産業機械工学専攻教授）

1958 年生まれ、東京大学大学院工学系研究科産業機械工学選考修士課程修了。1983 年４月日立株式会社入社。1992 年４月東京大学大学院工学系研究科産業機械工学専攻助教授。2001 年３月東京大学大学院工業系研究科総合研究機構教授。2006 年４月東京大学大学院工学系研究科産業機械工学専攻教授現在に至る。

1	失敗学の導入～2000 年以降の失敗に対する社会認識の変化～
2	失敗の実践１（工学・設計関連）
3	失敗の実践２（ソフトウェア・組織関連）
4	失敗学の展開

＜経営・戦略＞

顧客ロイヤルティを知る「究極の質問」

2011年8月～2011年10月

番組コンセプト

ビジネス戦略において顧客満足度という言葉の認識度は高いが、顧客のロイヤルティは抽象的な概念であった。
ベイン・アンド・カンパニーのフレデリック・F・ライトヘルドは、分かりやすいたった一つの質問で顧客志向を調査し数値化する方法を考案。「究極の質問」と呼ばれる問いの答えをＮＰＳ（ネット・プロモーター・スコア）指標で表す。
本講座は、３回シリーズで顧客ロイヤルティの概要や企業の実情を紹介。

主な講師

★森光 威文（ベイン・アンド・カンパニー・ジャパン　パートナー）
一橋大学法学部卒業後、ベインに参画。
東京事務所に加え、ソウル事務所、ボストン事務所等において、コンサルティングを経験し、プライベート・エクイティ、ヘルスケア関連、小売、不動産、建設、消費財、総合商社、部品メーカー等の幅広い業界でのコンサルティング経験を有する。ペンシルバニア大学ウォートン経営学修士課程修了。

★火浦 俊彦(ベイン・アンド・カンパニー・ジャパン　マネージングディレクター)
東京大学教養学部教養学科卒業後、日本興業銀行を経てベインに参画。ハーバード大学経営大学院修士課程の２年間を挟んで、約２５年に亘り、様々な分野において、日・米・欧の企業に対するコンサルティング活動に携わる。現在は、ベイン・アンド・カンパニー・ジャパンの代表を務める・

1	顧客ロイヤルティの重要性とNPS(R)（ネット・プロモーター・スコア）のコンセプト紹介
2	NPS(R)の設計・実行におけるポイントや活用方法
3	導入企業トップとのゲスト対談 ゲスト：八木橋孝男氏（三菱地所レジデンス 社長） 中島好美氏（アメリカン・エキスプレス 副社長）

＜経営・戦略＞

中堅企業によるグローバル展開

2011年8月～2012年1月

番組コンセプト

Hidden Champion とは、世界市場のトップ３、アジアや欧米市場の１位に位置し、世界をリードする中小企業のことである。一般に知られていない会社が多いため「隠れた企業」と呼ばれるが、自ら隠れることを好む傾向も指摘される。これらの企業は、1990年以降グローバリゼーションとテクノロジーのイノベーションを受けて大きく成長した。世界約2500社のうち、日本国内には200社ほどのHidden Championがある。日本と海外の事例を参照しながら、Hidden Championとは何かを考察する。

主な講師

★ステファン・リッペルト（ビジネス・ブレークスルー大学大学院 教授）
専門は、企業戦略、マーケティング、国際的M&A。海外企業の日本への誘致、および日本企業の海外進出の補助。独、日、米およびオーストラリアの経済、法律、史学を学び、独キール大学経済史学部助教授、早稲田大学商学部特別研究員、ハーバード法律学校特別研究員のほか、日本および韓国における数多くの主要大学（ビジネス・ブレークスルー大学大学院・一橋大学大学院）にて講義を行い、国際的に講演活動やワークショップのホストを務める。

1	隠れたチャンピオン～Hidden Champion～とは？
2	企業インタビュー：ミヤチテクノス（レーザー加工・溶接機器） ゲスト：小宮山邦彦氏（ミヤチテクノス株式会社 代表取締役社長）
3	企業インタビュー：トレック・ジャパン（静電気計測器） ゲスト：上原利夫氏（トレック・ジャパン株式会社 代表取締役社長）
4	企業インタビュー：エノテカ（ワイン卸・小売） ゲスト：廣瀬恭久氏（エノテカ株式会社 代表取締役）
5	企業インタビュー：ラショナル・ジャパン（業務用厨房機器） ゲスト：赤井 洋氏（株式会社ラショナル・ジャパン 代表取締役社長）
6	企業インタビュー：ヴェスタス（風力発電システム） ゲスト： Luke Eginton氏（ヴェスタスウインドテクノロジージャパン株式会社 代表取締役）

＜経営・戦略＞

ソーシャルシフト

2011年12月～2012年4月

番組コンセプト

ソーシャルメディアの普及は、企業のコミュニケーションのあり方を大きく変えつつあります。商品や企業そのものに対する顧客体験が一瞬のうちに広まる中で、もはや情報をコントロールするという考え方は通用しなくなりました。監視や統制のスタンスではなく、誠実さや傾聴の姿勢にシフトすることが求められています。そして、トップをはじめとするマネジメント層こそが、こうしたパラダイムシフトを理解しなければなりません。本番組では、企業のマネジメント層向けに、ソーシャルメディアをめぐる環境変化や具体的な方策について解説します。

主な講師

★斉藤　徹(株式会社ループス・コミュニケーションズ代表取締役)

1985年3月慶應義塾大学理工学部卒業後、同年4月日本IBM株式会社入社、1991年2月株式会社フレックスファームを創業。2004年同社株式を売却し、2005年7月株式会社ループス・コミュニケーションズを創業する。現在、ソーシャルメディアのビジネス活用に関するコンサルティング事業を幅広く展開している

回	内容
1	生活者は変わった。企業の生活者、新しいコミュニケーションのカタチ
2	先進事例に学ぶ、生活者が参加するコラボレイティブ・バリューチェーン
3	ソーシャルメディア活用の現場から ゲスト：風間公太氏（株式会社良品計画 ＷＥＢ事業部 コミュニティー担当） 緒方恵氏（株式会社東急ハンズ ＩＴコマース部 ＥＣ企画課）
4	ソーシャルメディア活用の現場から ゲスト：末広栄治氏（株式会社トリドール マーケティング推進プログラム部長） 白井明子氏（株式会社ローソン ＣＳＶグループ 広告販促企画部）
5	企業をソーシャルシフトする６つのステップ

＜経営・戦略＞

大成長時代へ漕ぎ出せ

2011年12月～2012年5月

番組コンセプト

世界経済を長期的に見ると、今後、新興国を中心に「大成長時代」を迎えるであろう。本番組は、30年から40年後の将来を予測し、成長の過程や対策を全6回で解説していく。講師の椿進氏は長年、各業種のコンサルタントを経験した中で、今後日本に必要なのは、新たな成長戦略の策定だと痛感。現在はアジアで勝つための企業支援を行っており、当講座にて海外の状況を肌感覚で紹介していただく。

主な講師

★椿　進（株式会社パンアジアパートナーズ代表取締役・代表パートナー）

（株）ボストン・コンサルティング・グループ（BCG)、パートナー・マネージングダイレクターとして、ハイテク、情報通信、インターネット、メディア・コン テンツ分野において、事業戦略、M&A戦略、新事業立ち上げ、グローバリゼーション等のプロジェクトを実施。95年-96年にはサンフランシスコ オフィス勤務。大手通信会社、大手携帯電話会社、大手電機メーカー、大手ハイテク部材企業、大手ゲーム会社、大手テレビ局、IT・ネット企業、消費財企業 などのコンサルティングを15年にわたって経験。

2006年に（株）インデックスホールディングスの代表取締役に就任。(株）タカラトミー、(株）竜の子プロダクション、(株）アトラスなどの社外取締役を歴任。 2008年より現職。

回	内容
1	世界は大成長時代を迎えている
2	「大成長時代のシンドバット」世界で活躍するビジネスパーソン（１） ゲスト：赤井田真希氏（株式会社ユニクロ 人事部長） 横濱潤氏（株式会社ユニクロ グループ 上席執行役員）
3	「大成長時代のシンドバット」世界で活躍するビジネスパーソン（２） ゲスト：繁田奈歩氏（インフォブリッジホールディングス代表）
4	「大成長時代のシンドバット」世界で活躍するビジネスパーソン（３） ゲスト：片岡寛氏（天益成広告有限公司　総経理） 黒岩剛史氏（株式会社イトクロ　代表取締役ＣＥＯ）
5	「大成長時代のシンドバット」世界で活躍するビジネスパーソン（４） ゲスト：関泰二氏（Cross Coop Singapore Pte. Ltd.） 喜洋洋氏（Lang-8　代表取締役）
6	「大成長時代のシンドバット」世界で活躍するビジネスパーソン（５） ゲスト：加藤順彦氏（GMO NIKKO創業者）

＜経営・戦略＞

世界経済と新興国投資

2012 年 2 月～2012 年 3 月

番組コンセプト

リーマンショック後世界経済は緩やかに回復しつつあったが、昨年のギリシャ危機を受けてヨーロッパの景気は再悪化、2012 年、2013 年とマイナス成長が見込まれている。アメリカも 2013 年まで１％台の成長率にとどまるだろう。日本の場合は、東日本大震災によって 2011 年はマイナス成長で、今後の展望も開けていない。先進国の景気が低迷する一方、新興国には６％程度の高い成長率が期待できる。なぜ、いまが新興国投資の好機なのか、先進国と比較しながら説明する４回シリーズ

主な講師

★藤田 勉（シティグループ証券株式会社取締役副会長．シティ資本市場研究所理事長）
一橋大学大学院博士課程修了，経営法博士．慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所客員研究員．慶應義塾大学「グローバル金融市場論」講師．内閣官房経済部市場動向研究会委員，経済産業省企業価値研究会委員，環境省環境金融行動原則起草委員会委員，早稲田大学商学部講師

1	世界経済・株式相場の展望
2	新興国経済・株式相場の展望
3	政権交代が中国経済・株式相場に与える影響
4	先進国ソブリン危機と新興国経済の展望

＜経営・戦略＞

セルフディフェンス

2011 年 11 月～2012 年９月

番組コンセプト

失われた 20 年の間、日本の所得は増えず、資産は減り続けた。家計でも所得が増えないために消費支出は伸びず、今後も大幅に増加する見込みはない。もはや、政府に頼っていては、生き残ることはできない。既に企業は日本の消費市場が縮小していくことを前提に、どうするべきかを考え、実行している。個人であっても、自分の身は自分で守っていかなければならない時代に、何を考え、どう行動するのか。今後の行き方を探るためのヒントを学ぶ。

講師

★廣瀬 光雄（ビジネスブレイクスルー大学大学院／パシフィックゴルフマネージメント株式会社最高顧問）1937 年 3 月 31 日生まれ。1960 年、慶応義塾大学法学部政治学科卒業。1962 年、米国ボストンカレッジ大学院経営学部修了。1964 年～1988 年、大日本印刷株式会社に勤務。その間の 1979 年～1986 年は、同社米国法人社長を務める。1988 年、ジョンソン･エンド･ジョンソン メディカル株式会社 代表取締役社長に就任。後にジョンソン･エンド･ジョンソン ジャパン インコーポレイテッド日本代表、その後もジョンソン･エンド･ジョンソングループにおいて数々の要職を務める。同時に、1993 年から 2000 年に在日米国商工会議所医療機器部会副会長に就任すると共に、在日米国商工会議所理事(1999 年～2000 年)、厚生労働省中央社会保健医療協議会専門委員(1999 年～2005 年)に従事する。1999 年、有限会社マベリックジャパンを設立し、主にコーポレートガバナンス、コンプライアンス、企業倫理確立プログラム等のコンサルタント業務を請け負う。2002 年、パシフィックゴルフマネージメント株式会社取締役に就任。2006 年にはパシフィックゴルフグループインターナショナルホールディングス株式会社代表取締役会長兼社長に就任。全国に広がる 100 を超えるゴルフ場の再生ビジネスに取り組んでいる

1	セルフディフェンス ～家計バランスシートを再構築し今後の生き方を探る～
2	家計バランスシートを再構築し今後の生き方を探る ゲスト：高橋俊介氏（慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科特任教授）
3	家計バランスシートを再構築し今後の生き方を探る ゲスト：内田和成氏（早稲田大学ビジネススクール 教授）
4	家計バランスシートを再構築し今後の生き方を探る ゲスト：齊藤ウィリアム氏（株式会社インテカー 代表取締役社長）
5	家計バランスシートを再構築し今後の生き方を探る ゲスト：村藤 功氏（九州大学ビジネススクール 教授）
6	家計バランスシートを再構築し今後の生き方を探る ゲスト：川上真史氏（タワーズワトソン コンサルタント）

＜経営・戦略＞

内田和成のビジネスマインド

2011 年 11 月～現在

番組コンセプト

元ボストンコンサルティンググループの日本代表であり､早稲田大学ビジネススクール教授の内田和成は、発想がユニークで、人と違うものの見方をすると言われてきた。今シリーズでは、その豊富な経験をもとに、内田流の思考方法や企業の戦略ケーススタディ、キャリア形成のヒント、リーダーシップなどについて語る。

講師

★内田和成(株式会社ボストン･コンサルティング･グループ　シニア･アドバイザー)

⇒プロフィールは「パラダイムシフト・マネジメント」(18 ページ) 参照

1	内田流知的生産の技術 ～第１回 アウトプットから考える～
2	内田流知的生産の技術 ～第２回 デジタルとアナログの使い分け～
3	内田流知的生産の技術 ～第３回 内田のネタはどこから来るか～
4	内田流知的生産の技術 ～第４回 いたずらに情報は集めるな～
5	内田流知的生産の技術 ～第５回 ２０の引き出し～
6	違いに気づけ ～第１回 市場価値と企業内価値～
7	違いに気づけ ～第２回 市場リストと競合リスク～
8	違いに気づけ ～第３回 供給者論理と消費者論理～
9	違いに気づけ ～第４回 技と心～
10	違いに気づけ ～第５回 現象と問題、論点と仮説～
11	違いに気づけ ～第６回 抽象化と具体化、“Why”と “So what～
12	ゲスト対談（１） ゲスト：長井進氏（カゴメ株式会社顧問）
13	違いに気づけ ～第７回 左脳と右脳～
14	日本の家族構成変化を読み解く
15	２０１３年の展望
16	勝ちパターンの研究（１）
17	勝ちパターンの研究（２）
18	勝ちパターンの研究（３）マネーボール
19	勝ちパターンの研究（４）中小企業の価値パターン ゲスト：岡田恵実氏（独立行政法人 中小企業基盤整備機構 新事業支援部ハンズオン支援グループ ハンズオン支援課 課長代理）
20	勝ちパターンの研究（５）公文教育研究会編 ゲスト：角田秋生氏（株式会社公文教育研究会 代表取締役社長）
21	勝ちパターンの研究（６）捨てる経営
22	勝ちパターンの研究（７）国の勝ちパターン
23	勝ちパターンの研究（８）日本のプロ野球
24	勝ちパターン番外編　合従連衡
25	経営者の意思決定（１）科学的アプローチ
26	経営者の意思決定（２）
27	勝ちパターンの研究（９）ＣＶＳ編
28	勝ちパターンの研究（１０）学習塾
29	勝ちパターンの研究（11）地域に生きる
30	勝ちパターンの研究（１２）自動車業界
31	経営者の頭の中（1）
32	経営者の頭の中（2）　リスクマネジメント
33	経営者の頭の中（３）矛盾のマネジメント
34	内田和成のリーダーシップ論（1）～リーダーシップに正解はない～
35	内田和成のリーダーシップ論（２）　～立ち位置を把握～
36	内田和成のリーダーシップ論（３）　～自分のキャラクターを知る～
37	内田和成のリーダーシップ論（４）～ミスマッチの克服～
38	内田和成のリーダーシップ論（特別編） ゲスト：木川眞氏（ヤマトホールディングス株式会社代表取締役社長）
39	内田和成のリーダーシップ論（5）リーダーシップの磨き方

＜経営・戦略＞

コーポレート・スピリット

2012 年 12 月～2012 年 7 月

番組コンセプト

従来経営資源と言われてきたのは、「人」、「金」、「物」だったが、ＩＴの発達に伴って「情報」が加わった。いま第５の資源として、長寿企業（創業家企業）の「Corporate Spirit」が注目されている。日本には長寿企業が多いが、なぜ日本の創業家企業は長寿たり得たのか。今後も持続させるための課題と対策は何か。本講義では Corporate Spirit の重要性に焦点を当て、コーポレートガバナンス（企業統治）を構築するために必要な経営基盤、仕組みを明確にして体系化することを試みる

講師

★矢作憲一(汎総合研究所会長・ビジネス・ブレークスルー大学大学院教授)1966 年、日本アイ・ビー・エム株式会社入社。開発センター， ＩＢＭ本社など海外 IBM 駐在、1980 年後半に製造事業営業統括本部長として CIM 推進。1994 年には事業開発統括本部長として経営企画，リエンジニアリングなど担当。また OA・NII・CRM など新規事業開発担当。1999 年に常勤監査役に就任。2000 年－2003 年：日本監査役協会理事および常任理事、「ＩＴガバナンス委員会」「監査制度委員会」「監査法規委員会」委員歴任。2003 年 10 月、汎総合研究所設立、会長に就任する。現在、複数社の社外役員や顧問として、コーポレートガバナンス実務のコンサルティングに携わる。

1	持続する企業のガバナンスⅠ 第５の経営資源 ～Corporate Spirit の概説～
2	持続する企業のガバナンスⅡ 日本の長寿企業に学ぶ（１）老舗企業：イオン ゲスト：榎本恵一氏（元・イオン株式会社 専務取締役）
3	持続する企業のガバナンスⅡ 日本の長寿企業に学ぶ（２）財閥企業：三菱グループ ゲスト：木内 孝氏（元三菱電機アメリカ 社長兼会長／株式会社イースクエア 代表取締役会長）
4	持続する企業のガバナンスⅡ 日本の長寿企業に学ぶ（３）事業専業企業：ソニー ゲスト：蓑宮武夫氏（元ソニー 執行役員上席常務／有限会社みのさんファーム 代表）
5	持続する企業のガバナンスⅢ 持続するための課題 ～「見える支配」と「見えざる支配」～
6	持続する企業のガバナンスⅣ 第５の経営資源 ～Ｃｏｒｐｏｒａｔｅ Ｓｐｉｒｉｔの体系的構築～

＜経営・戦略＞

組織経営のための意思決定

2014 年 5 月～2014 年 9 月

番組コンセプト

経営は様々な意思決定の上でなされていきます。そこで本番組では、合理的な人間であれば、どう意思決定をすべきかを示す演繹合理的意思決定論と、人間の意思決定プロセスそのものを実証的に解明し、人間が共通して犯しやすい誤り傾向を分析するとともに、個人やグループ・組織がすぐれた意思決定を行うための科学実践的方策を提供する。番組を通じて意思決定そのものに関する理解を深め、｢すぐれた意思決定」を行うための実践的なテクニック・方策を諸分野から選び、整理・検討していきます。

講師

★印南一路（慶應義塾大学総合政策学部教授）１９８２年東京大学法学部卒業。都市銀行、厚生省（現厚労省）を経て、ハーバード大学行政大学院、公衆衛生大学院に留学。１９９２年、シカゴ大学経営大学院にてＰｈ．Ｄ．取得（組織論）。１９９４年から慶應義塾大学総合政策学部教授。専門は、意思決定論・交渉論と医療政策。著作に『「社会的入院」の研究』（東洋経済新報社、２００９年、第５２回日経・経済図書文化賞）等がある。

1	イントロ（全体の構成、意思決定とは何か）
2	個人の意思決定と判断バイアス
3	集団力学の理解
4	組織の創造性を活かす
5	組織の政策を考える

ＢＣＧ経営コンセプト

2014 年 7 月～2015 年 2 月

番組コンセプト

ボストン コンサルティング グループは昨年創立 50 周年を迎えました。
過去 50 年の間に、経験曲線、PPM、タイムベース競争など、今尚通用する経営コンセプトを世に問うてきました。そこで本番組では、「BCG 経営コンセプト今昔」と題し、最初に過去 50 年に BCG が世に問うた主要コンセプトを概観したのち、最前線の経営コンセプトをシリーズでご紹介していきます。

講師

★ボストン コンサルティング グループ（BCG）ボストン コンサルティング グループ（BCG）は、世界的な経営コンサルティングファームとして、政府・民間企業・非営利団体など、さまざまな業種・マーケットにおいて、カスタムメイドのアプローチ、企業・市場に対する深い洞察、クライアントとの緊密な協働により、クライアントが持続的競争優位を築き、組織能力（ケイパビリティ）を高め、継続的に優れた業績をあげられるよう支援を行っています。

1	ＢＣＧコンセプト外観 講師：服部 奨
2	ビッグデータ時代の経営戦略 講師：高部陽平
3	アダプティブ戦略 講師： 丹羽恵久
4	メード・イン・アメリカ再び 講師：服部 奨
5	バリューベース・ヘルスケア 講師：金城聖文
6	スマート・シンプリシティ ～成長を加速する組織・マネジメント～

クロスボーダーM＆A

2014 年 9 月～2014 年 10 月

番組コンセプト

近年、日本企業が成長を求め海外の企業や事業を対象に合併・買収するクロスボーダーM＆Aが活発になってきました。しかし、海外企業を対象とした M&A は非常に難しいとされ、欧米の事例でも海外 M&A は 50%近くが失敗するといわれています。そこで、本番組では今まで多くの M&A を手掛けてこられた一橋大学の伊藤友則教授を講師に迎えて M&A 戦略の意義や失敗しないためのポイントなどを事例とともに紹介していきます。

講師

★伊藤友則（一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授）1979 年 東京大学経済学部卒業東京銀行（現：東京三菱ＵＦＪ銀行）入行。国際企業部、資本市場第一部、ニューヨーク支店などにて勤務。東京銀行在職中にハーバード・ビジネススクールに留学し、経営学修士号（ＭＢＡ1984 年）を取得。1995 年 3 月 スイス・ユニオン銀行（現：ＵＢＳ）東京支店に入社 1998 年 6 月よりＵＢＳ証券会社マネージング・ディレクター投資銀行本部長を務める。その間数々の民営化、ＩＰＯ、公開企業のエクィティーファイナンス、社債発行、M＆Aを手掛ける。2011 年 4 月 一橋大学国際企業戦略研究科特任教授 2012 年 10 月より現職

1	クロスボーダーM＆Ａ（１） 日本企業のクロスボーダーM＆Ａの状況と失敗要因
2	クロスボーダーM＆Ａ（２） M＆Ａのバリュエーションとシナジー

＜組織人事＞

組織人事ライブ

1998 年 10 月～現在

番組コンセプト

企業経営における最重要かつ永遠の課題は「人材」です。番組では、組織、人材活用、そしてキャリア形成などの最新情報をふんだんに盛り込みながら、人事・組織のスペシャリストが、毎回、様々な切り口から、ビジネスの現場で実際に役立つ戦略を惜しみなく提供していきます。経営者必見のライブ番組です。

主な講師

★高橋俊介（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）

組織・人事に関する日本の権威の一人。プリンストン大学大学院工学部修士課程修了。マッキンゼー・アンド・カンパニー、ザ・ワイアット・カンパニーに勤務後、独立。人事を軸としたマネジメント改革の専門家として幅広い分野で活躍中。

★野田稔（明治大学 大学院 グローバルビジネス研究科 教授
／株式会社ジェイフィール代表取締役社長）

1981 年野村総合研究所入社。同社にて組織人事分野を中心に多数のプロジェクト・マネジャーを勤め、経営コンサルティング一部長を経て、現職。 また、株式会社アミューズに所属しテレビ・ラジオ出演、著作・講演活動等でも活躍中

★川上真史（ワトソンワイアット株式会社コンサルタント／早稲田大学　文学学術院　非常勤講師／株式会社アトラクスヒューマネージ　顧問）

京都大学教育学部教育心理学科卒業。産能総合研究所、ヘイ・コンサルティンググープを経て、現職。数多くの大手企業の人材マネジメント戦略、人事制度改革のコンサルティングに従事。また、ヒューマン・アセスメントの第一人者としてアセスメントプログラムの設計から実施に至るまでコンサルティングを展開している。

◆高橋俊介シリーズ（講師：高橋俊介）

1998 年 10 月～現在

1	儲かる仕組みの崩壊で変わる組織像・人材像　～今なぜ自律人材が重要か？～
2	リーダーと管理職では何が違うのか　～経営幹部育成の最前線～
3	人は金で動かせるのか　～給与とは働く者にとって何を意味するのか～
4	ビジョンと倫理で動くプロフェッショナル人材　～いま必要なのは専門職か？～
5	終身雇用の終焉　～日本も米国のような首切り社会になるのか？～
6	優秀な人材はなぜ辞めるのか？　～抱え込まない求心力とは～
7	顧客満足重視の意味と人材マネジメント　～脱マニュアルマネジメントの儲かる仕組み～
8	地アタマを鍛える　～偏差値的学力の時代は終わった～
9	脱序列のマネジメント　～会社ではなぜ序列付けが重視されるのか？～
10	ビジネスマンキャリア幸せの方程式　～キャリアマネジメントの誤解と実際～
11	評価の納得性はなぜ上がらないのか？　～成果主義になると何が変わるのか
12	人事部はなくなるのか　～これからの人事機能のあり方～
13	年金退職金はなぜ危機なのか？　～変化と流動化の時代の年金退職金～
14	経営幹部の構造改革　～これなくして企業変革はありえない～
15	ハコ型組織からプロジェクト型組織へ　～課長制廃止で組織は変わるのか～
16	目標管理はなぜうまくいかないのか　～評価制度運用の新潮流～
17	米国の人事制度改革の最前線　～米国企業は業績主義個人主義か～
18	富士ゼロックスの新人事制度　～役割成果主義組織人材マネジメントへの挑戦～ ゲスト：原井新介氏（富士ゼロックス株式会社コーポレートリソース部人事企画グループグループ長）
19	給与評価制度改革の進め方　～人事の自己満足にならないために～
20	企業による福利厚生はもはや無用の長物か？　～新しい福利厚生の概念～
21	富士通の退職金・年金改革 ゲスト：千田彰子氏（富士通厚生年金基金資産運用課長）
22	企業内教育が変わる！　～教育から人材開発へ～
23	持たざる企業　～外部活用が強い企業を作る～
24	コンサルタントというキャリアとは？　～コンサルタントを目指す人達へ～
25	総集編・大質問大会　～１年を振り返って～
26	人材マネジメントの全体像
27	流動化時代の企業の雇用政策
28	成果主義を経営改革に結びつける
29	新しい企業内教育、コーポレートユニバーシティー
30	外部人材の活用について ゲスト：上田宗央氏（株式会社パソナ副社長）
31	経営ビジョンと人事政策を直結させる
32	ミスミの公募型チーム組織 ゲスト：猪熊洋文氏（株式会社ミスミ代表取締役）
33	自律組織のリーダー像
34	米国企業におけるリーダーシップ開発 ゲスト：増田弥生氏（リーバイ・ストラウスジャパン人事統括本部長 ）
35	コーポレートガバナンスと幹部の評価制度
36	日米人事制度の歴史と現在の課題
37	コーチングとは何か？　～その理論と実際～ ゲスト：榎本英剛氏（コーチング専門家）
38	「雇用か賃金か」の春闘を考える
39	連結時価重視の新会計基準と人事政策
40	個人主導のキャリア開発
41	アセスメントとジョブマッチング ゲスト：泉田雅典氏（キャリパージャパン株式会社代表取締役）
42	キャリアセルフリライアンス（１）
43	キャリアセルフリライアンス（２）
44	スターバックスの人事戦略 ゲスト：松川誠氏（スターバックスコーヒージャパン　ヒューマンリソース部部長）
45	ビジョンによる組織マネジメント
46	ヒューレットパッカード社の個人自立キャリア構築支援
47	給与制度の最新潮流
48	販売職の人材マネジメント
49	インセンティブで人材の能力をどう引き出すか ゲスト：北原佳郎氏（アットワーク株式会社社長）
50	コンピタンシーは救世主か　～コンピタンシーは人事制度改革の万能薬になりうるのか～
51	大質問大会
52	人材開発のこれから　～２１世紀型企業内教育の方向性～
53	米国ＷＢＴ最新事情 ゲスト：坂手康志氏（ＩＱ３代表取締役社長）
54	キャリアショック（１）　～成功のキャリアか幸せのキャリアか～
55	キャリアショック（２）　～自律的キャリア構築の行動、思考パターン～
56	コーポレートユニバーシティー ゲスト：関島康雄氏（日立総合経営研修所取締役所長）
57	キャリアショック（３）　～明日からはじめるキャリア自律～
58	キャリアショック（４）　～キャリア自律を前提とした企業人事～
59	人材活用法　～人材輩出企業リクルートの秘密～ ゲスト：村井満氏（株式会社リクルート人事担当執行役員）
60	年金退職金制度のこれから　～日本版４０１Ｋは救世主となるのか～

61	エニアグラムによるリーダーシップ開発 ゲスト：武田耕一氏（日本エニアグラム学会会長）
62	売れる人材　～外資系を中心に経営幹部へのキャリア事情～ ゲスト：橘・フクシマ・咲江氏（日本コーン・フェリー・インターナショナル株式会社日本担当社長マネージングディレクター）
63	これからの人事部門の課題　～脱人事管理の人事の仕事～
64	序列の制度化と崩壊
65	総合質問大会
66	キャリアカウンセリング ゲスト： ◆　田辺明博氏（株式会社リクルート　ＨＲディビジョン　ＧＣＤＦ　ＪＡＰＡＮマスターインストラクター） ・平田史昭氏（株式会社リクルート　キャリア事業開発室　ＧＣＤＦ　グループマネージャー）
67	フォードの経営改革と人事改革 ゲスト：佐藤勝彦氏（フォード・ジャパン・リミテッド　取締役　執行役員　管理本部長）
68	２１世紀のキャリア構築　～あなたは自分でキャリアを切り開いていますか～ ゲスト：増田弥生氏（リーバイ・ストラウス　ジャパン株式会社　人事統括本部長）
69	解雇と早期退職の実際　～人員整理はどういう場合可能か～
70	百貨店における第一線のリーダー育成 ゲスト：富永佳乃氏（株式会社西武百貨店商品部婦人服飾二部部長）
71	富士ゼロックスの組織改革 ゲスト：小川徹氏（富士ゼロックス株式会社人材開発センター）
72	知的資本経営の人材マネジメント（１）　～人を大切にする経営と知的資本経営～
73	知的資本経営の人材マネジメント（２）　～知的資本経営成功のポイント～
74	成果主義評価の納得性を向上させる
75	青梅慶友病院　顧客指向組織の構築 ゲスト：大塚宣夫氏（青梅慶友病院理事長）
76	成果主義２０の誤解　～成果主義を成功させるために～
77	日本オラクルの人事制度改革 ゲスト：丹野淳氏（日本オラクル株式会社執行役員人事教育本部長）
78	大質問大会
79	オランダの雇用政策に学ぶ　～オランダモデルは日本でも可能か～
80	富士通における人事・総務部門の構造改革への取り組み ゲスト：清水裕子氏（富士通株式会社人事・総務サービスセンターサービス企画部長）
81	成果主義とキャリア自立の補完関係　～成果主義の進展とキャリア自立の関係を整理して理解しよう～
82	政府と公共セクターの改革 ゲスト：上山信一氏（ジョージタウン大学研究教授）
83	失敗の本質に学ぶ　～パラダイムシフトの至難性～ ゲスト：杉之尾宜生氏（元防衛大学校教授／元１等陸佐）
84	人と企業の価値の交換　～ファーストリテイリング　実力主義の人事制度～ ゲスト：松岡保昌氏（株式会社ファーストリテイリング執行役員人事総務部長）
85	自立組織を構築する　～自立組織を必要とする経営環境を理解する～
86	女性のキャリアを考える（１）　～ウーマン・オブ・ザ・イヤー２００２受賞者に学ぶキャリアコンピタンシ～ ゲスト： ◆　野村浩子氏（「日経ウーマン」編集部副編集長） ・松永真理氏
87	自立組織のリーダーシップ　～自立組織で求められるリーダーシップとは何か～
88	ノモンハンからガダルカナルへ　～失敗の拡大再生産の構図～ ゲスト：杉之尾宜生氏（元防衛大学校教授／元１等陸佐）
89	ダイバーシティーとコミットメント　～多様性はなぜ必要か・それを束ねる求心力とは何か～
90	ＭＢＴＩを活用した幸せのキャリア作り（前編） ゲスト：園田由紀氏（Ｐ．Ｄ．Ｓ総合研究所主宰）■
91	大質問大会
92	ＭＢＴＩを活用した幸せのキャリア作り（後編） ゲスト：園田由紀氏（Ｐ．Ｄ．Ｓ総合研究所主宰）■
93	キャリアアップを考える　～「タイプ」が選んだキャリア大賞２００２～ ゲスト： ◆　橘・フクシマ・咲江氏（コーン・フェリー・インターナショナル日本担当代表取締役社長・米国本社取締役） ・佐藤留美氏（「type」編集部）
94	プロフェッショナル・サービス・ファーム（１）　～知識創造企業のマネジメント：ファームの特徴とタイプ分類編～
95	広告業界の環境変化と求められる組織・人材像 ゲスト： ◆　赤木直人氏（株式会社博報堂経営企画局事業開発グループ） ・上原直人氏（同　人事局企画グループ）
96	プロフェッショナル・サービス・ファーム（２）　～知識創造企業のマネジメント：プロフェッショナル人材マネジメント編～
97	ソフト業界のプロフェッショナル人材の育成 ゲスト：内海房子氏（ＮＥＣソフト株式会社執行役員）
98	プロフェッショナル・サービス・ファーム（３）　～知識創造企業のマネジメント：利益と成長の組織マネジメント編～
99	プロフェッショナル人材のアトラクションとリテンション　～プロ人材の要件と採用定着の要諦～
100	組織の序列と機能を流動化する　～年功序列組織からサッカー型組織へ～
101	大前研一が語るプロフェッショナル・サービス・ファームのマネジメント ゲスト：大前研一
102	百貨店における販売職の人材開発 ゲスト：上野和夫氏（株式会社キャリアオン代表取締役社長）
103	大質問大会
104	キャリア自律を前提とした人事　～自律的キャリア開発が前提となると企業人事はどう変わるのか～
105	ＩＴ業界におけるプロフェッショナル人材像とＩＢＭのグローバルプロフェッショナル認定制度 ゲスト：平林久典氏（日本アイ・ビー・エム株式会社人材企画部長）
106	あなたもビジョナリーリーダーになれるか　～ビジョンを構築し人を引っ張るビジョナリーリーダーの能力とは～
107	中国上海ホワイトカラーの人材市場 ゲスト：松村扶美氏（パヒューマ上海 Sales & Marketing Manager）
108	上海発・グローバル人材マネジメントを考える
109	女性のキャリアを考える（２）　～ウーマン・オブ・ザ・イヤー２００３受賞者に学ぶキャリアコンピタンシ～ ゲスト：野村浩子氏（「日経ウーマン」編集部副編集長）
110	高橋俊介が語る、私のキャリアマネジメント　～自分自身のキャリア１０訓を作る～
111	企業におけるコーチングの活用について ゲスト：増田弥生氏（オーセンティック・リーダーシップ・アーキテクト）
112	イオンの次世代リーダー発掘と育成の仕組み ゲスト：下澤茂樹氏（イオン株式会社人事本部人材開発部部長）
113	事業ビジョンと人材マネジメント　～差別性の源泉を創造する人材マネジメントとは～
114	アクセンチュアにおける人材育成の仕組み ゲスト：原田広美氏（アクセンチュア株式会社人事統括部長）
115	学校教育が変える、これからのビジネスパーソン：高橋俊介編　～大学教育の今後と社会人教育～
116	企業年金の危機とこれから ゲスト：村田純一氏（株式会社企業年金研究所代表取締役社長）
117	ＧＥの人材マネジメントに学ぶ ゲスト：八木洋介氏（日本ゼネラル・エレクトリック株式会社シニアＨＲマネジャー）
118	非正社員労働形態人材の活用　～今後の機会と課題について～ ゲスト： ◆　松原浩幸氏（株式会社パソナ営業企画室長） ・山口徳喜氏（同　ＣＳ部長）
119	ソニー流　次世代リーダーの発掘と育成　～Sony University～ ゲスト：田宮謙次氏（ソニー株式会社顧問／ソニーユニバーシティー学長）
120	キャリア論シリーズ（１）　～自律的キャリア形成の実際～
121	企業におけるリーダーシップ開発
122	企業における個人のキャリア開発
123	コールセンターにおける人材マネジメント　～ＣＳＫコミュニケーションズのケース～ ゲスト：川本久敏氏（株式会社ＣＳＫコミュニケーションズ代表取締役社長）
124	キャリア論シリーズ（２）　～自律的キャリア形成の課題～

125	キャリア論シリーズ（３）　～新しいキャリア概念の提案～
126	米国リーダーシップ開発　二大聖地を行く　～クロトンビルとＣＣＬ訪問記～
127	大質問大会
128	２１世紀の福利厚生を考える
129	人材が創るブランド（１）　～理論編～ ゲスト：首藤明敏氏（株式会社博報堂ブランドコンサルティング代表取締役社長）▲
130	人材が創るブランド（２）　～事例編～ ゲスト：首藤明敏氏（株式会社博報堂ブランドコンサルティング代表取締役社長）▲
131	企業内のキャリアカウンセリング ゲスト：淺川正健氏（伊藤忠商事株式会社人事部キャリアカウンセリング室長）
132	若年層の働く意識のトレンド ゲスト：大久保幸夫氏（リクルートワークス研究所所長）
133	成長 IT ベンチャーの人材マネジメント　～ワークスアプリケーションズのケース～ ゲスト：牧野正幸氏（株式会社ワークスアプリケーションズ
134	専門学校の人材マネジメント　～東京工科専門学校のケース～ ゲスト：芦田宏直氏（東京工科専門学校校長）
135	大質問大会
136	コーポレートガバナンスと役員報酬の現状と課題
137	英国における人事関連の認証機関の活動
138	スローキャリア宣言（１）
139	スローキャリア宣言（２）
140	営業マンの育て方
141	やる気を科学するく
142	事業ビジョンを実現する人材の育成確保
143	日産の経営者育成プログラム
144	フルキャストの戦略的アウトソーシング ゲスト：平野岳史氏（株式会社フルキャスト代表取締役社長）
145	星野リゾートの人材マネジメント ゲスト：星野佳路氏（株式会社星野リゾート代表取締役社長）
146	大質問大会
147	中国人才管理入門 ゲスト：キャメル・ヤマモト氏（ワトソンワイアット株式会社グレートチャイナ ヒューマンキャピタルグループ ナショナルプラクティスリーダー）
148	企業にとってのスローキャリア人材の意味と人材マネジメント
149	フリーター人材の実際と新卒人材の位置づけ ゲスト：佐野一郎氏（株式会社リクルート ワークス研究所 Works 編集長） 豊田義博氏（株式会社リクルート ワークス研究所 主任研究員）
150	東横インの人材マネジメント ゲスト：西田憲正氏（株式会社東横イン代表取締役社長）■
151	評価制度の誤解と実際
152	ザ・リッツ・カールトン大阪の人材マネジメント ゲスト：桧垣真理子氏（ザ・リッツ・カールトン大阪クオリティ担当部長）▲
153	女性のキャリアを考える（３）　～ウーマン・オブ・ザ・イヤー 2005～ ゲスト：野村浩子氏（日経ウーマン編集長） 松永真理氏（株式会社バンダイ取締役）
154	松下グループの中国における人事制度改革 ゲスト：西村博昭氏（松下電器産業株式会社 人事グループ 国際人事チーム チームリーダー）
155	ＩＢＭの第一線人材の育成 ゲスト：遠藤恒雄氏（日本アイ・ビー・エム研修サービス株式会社代表取締役）
156	スターバックスにおける顧客接点人材のマネジメント ゲスト：江端徳人氏（スターバックス　コーヒー　ジャパン株式会社人事本部長） 永井真紀氏（スターバックスコーヒー南青山骨董通り店シフトスーパーバイザー）▲
157	セブン-イレブン、その組織の強さの秘密とは ゲスト：勝見明氏（ジャーナリスト）
158	知的資本経営と人のマネジメント
159	大質問大会
160	成長の危機をどう乗り越えるか　～問題提起編～
161	企業における女性活躍支援制度　～資生堂の事例～ ゲスト：岩田喜美枝氏（株式会社資生堂　取締役執行役員）
162	２１世紀型組織への変革 ゲスト：太田肇氏（同志社大学 政策学部 教授）
163	堀場製作所の人材マネジメント ゲスト：野崎治子（株式会社堀場製作所　人事教育部長）
164	戦略的人材マネジメントとは何か、なぜ重要なのか
165	日興コーディアル証券の FA 制度 ～新しい営業ビジョンの新しい働き方～ ゲスト：渡辺裕之氏（日興コーディアル証券株式会社取締役　ＦＡビジネス担当） 木下雅樹氏（日興コーディアル証券株式会社五反田支店　ファイナンシャル・アドバイザー）
166	テーマ：「偶然」からキャリアを作る ゲスト：所 由紀氏（人事コンサルタント）
167	「職業適性とは何か？」 ～キャリパープロファイルで考える～ ゲスト： 泉田雅典氏（キャリパージャパン株式会社 代表取締役）
168	理念を経営に生かす ～ジョンソン・エンド・ジョンソンのクレドー教育～ ゲスト：小林靖志氏（ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー業務推進本部 シニア バイス プレジデント）
169	韓国サムスンの人材育成 ゲスト：大谷清氏（日経 BP 社　上級執行役員）
170	成長の危機をどう乗り越えるか ～OJT 頼みを超えた人材育成の方向性～
171	大質問大会
172	ファシリテーター型リーダーシップ ゲスト：黒田由貴子氏（株式会社ピープルフォーカス・コンサルティング代表取締役社長）
173	「九州産業交通」再生にみる組織人事改革 ゲスト：秋池玲子氏（株式会社産業再生機構マネージング・ディレクター）
174	０代の若者について考える ゲスト：原田曜平氏（博報堂生活総合研究所 研究員）
175	マネジメントとリーダーシップ
176	トレンドリーダーを生み出す伊勢丹の仕組み ゲスト：大西洋氏(株式会社伊勢丹 執行役員 経営企画部 総合企画担当長)
177	ダイバシティが会社を成長させる ゲスト：谷口真美氏（早稲田大学大学院商学研究科助教授）
178	女性のキャリアを考える（４）　～ウーマン・オブ・ザ･イヤー2006～ ゲスト：麓幸子氏（日経ウーマン副編集長）
179	ＮＰＯ法人のマネジメント論 ～ジェンの事例～ ゲスト：木山啓子氏（ＮＰＯ法人 JEN 理事・事務局長）
180	パラサイト・ミドル ～構造変革過渡期における日本の４５歳問題～ ゲスト：三神万里子氏（ジャーナリスト/国立情報学研究所プロジェクト研究員）
181	星野リゾート ～リゾート事業の革新～ ゲスト：星野佳路氏（株式会社星野リゾート代表取締役社長）
182	変化と複雑性の時代の組織マネジメント
183	ネット時代の社会関係資本 ゲスト：宮田加久子氏（明治学院大学社会学部教授）
184	CS 経営と人材マネジメント
185	大質問大会
186	多様な雇用形態の戦略的活用 ～ＩＢＭ　ビジネスコンサルティング　サービスの事例～ ゲスト： 三巻由希子氏(アイ・ビー・エム　ビジネスコンサルティング サービス株式会社人事部長) 佐々木久三子氏　(同　Learning & Knowledge 担当)
187	人材マーケットとエージェントの役割 ～リクルートエージェントの事例～ ゲスト：村井満氏（株式会社リクルートエージェント代表取締役社長）
188	中国企業の市場主義管理<bra> ～ハイアールの事例～ ゲスト：吉原英樹氏（南山大学経営学部教授）
189	女性リーダーを育成せよ ゲスト：石原直子氏（株式会社リクルート　ワークス研究所　研究員） 野澤睦美氏（キャリパージャパン株式会社　キャリア事業部）
190	人が育つ会社をつくる（１） ～人の育つ仕事と職場とは何か～
191	人が育つ会社をつくる（２） ～多様な成長機会を生み出す～

192	人が育つ会社をつくる（３） ～成長を生み出す新しい育成施策～
193	人が育つ会社をつくる（４） 質問編
194	これからのシニアのライフスタイル・ ワークスタイルはどうなるか？ ゲスト：村田裕之氏（村田アソシエイツ代表）
195	シニア人材の活用 ゲスト：大久保幸夫氏（株式会社リクルートワークス研究所所長）
196	自分らしいキャリアの構築
197	大質問大会
198	マネジャーのための組織人材マネジメント論 （１） ～組織をめぐる環境変化と組織人材マネジメント～
199	日本人はグローバルリーダーになれるか？ ゲスト：増田弥生氏（VP, Human Resources Asia Pacific Region Nike, Inc.）
200	マネジャーのための組織人材マネジメント論（２） ～人の能力の多様性を 理解する～
201	学校教育のこれからを考える ～杉並区和田中学の藤原校長に聞く～ ゲスト：藤原和博氏（東京都杉並区立和田中学校校長）
202	マネジャーのための組織人材マネジメント論（３） ～第一線のマネジャーに求められる役割と能力～
203	職場のメンタル問題について考える ゲスト：箕輪尚子氏（有限会社産業心理コンサルタンツ代表取締役臨床心理士・医学博士）
204	京都花街に学ぶプロ人材育成の仕組み ゲスト：西尾久美子氏（神戸大学大学院 経営学研究科 ＣＯＥ研究員 経営学博士）
205	マネジャーのための組織人材マネジメント論（４） ～やる気のマネジメント～
206	人の育成を促す指導とは ～原田総合教育研究所 原田隆史所長に聞く～ ゲスト：原田隆史氏（株式会社原田総合教育研究所 所長/天理大学非常勤講師）▲
207	マネジャーのための組織人材マネジメント論（５） ～人材育成のマネジメント～
208	定年延長時代のライフプランの考え方 ゲスト：米田隆氏（エル・ピー・エル日本証券株式会社代表取締役会長/慶應義塾大学キャリアリソースラボラトリー上席研究員）
209	若者はなぜ３年で辞めるのか？ ～著者 城繁幸氏に聞く～ ゲスト：城繁幸氏（Joe's Labo 代表取締役）
210	大質問大会
211	マネジャーのための組織人材マネジメント論（６） ～質疑応答とまとめ～
212	シリコンバレーの働き方２．０ ゲスト：渡辺千賀氏（Blueshift Global Partners 社長）
213	ひと相手の仕事はなぜ疲れるのか ～感情労働の時代～ ゲスト：武井麻子氏（日本赤十字看護大学教授）
214	脳科学から見たひらめき力 ～諏訪東京理科大学 篠原菊紀教授に聞く～ ゲスト：篠原菊紀氏（諏訪東京理科大学教授）
215	ワーク・ライフ・バランスの視点からの働き方再考 ゲスト：金井篤子氏（名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授）
216	今なぜES経営なのか
217	コーチング再訪 ゲスト：加藤雅則氏（株式会社アクション・デザイン代表取締役/CTI ジャパン コース・リーダー）
218	社内キャリアアドバイザー育成の取り組み ～博報堂の事例～ ゲスト：上原直人氏（株式会社博報堂人事局人事部マネジメントプランニングディレクター）
219	シャドーワーク ～見えない仕事がイノベーションを起こす～ゲスト：徳岡晃一郎氏（フライシュマンヒラードジャパン株式会社 パートナー シニアヴァイスプレジデント）
220	社員よろず相談の日本型EAPを考える ゲスト：花田光世氏（慶応義塾大学キャリアリソースラボラトリー代表）
221	これからの働き方を考える（１）～働く意味の変化を歴史的に考える～
222	大質問大会
223	これからの働き方を考える（２）～変化の激しい時代の働き方とキャリア～
224	これからの組織環境と新しいリーダーシップ

225	これからの働き方を考える（３）～ワークライフ再統合の時代～
226	高齢者雇用の流れと課題 ゲスト：原井新介氏（有限会社HRラボ代表取締役）
227	ＢＴのワークライフ・バランス ～新しい働き方と生き方のモデルを目指して～ ゲスト：北里光司郎氏（BT ジャパン株式会社会長/BT アドバイザリーボードメンバー）
228	Ｊリーグから学ぶ人材育成 ゲスト：重野弘三郎氏（社団法人 日本プロサッカーリーグ HR ディベロップメントグループ）
229	アジアから考えるグローバル人材（１） ゲスト：大滝令嗣氏（早稲田大学ビジネススクール客員教授）
230	これからの働き方を考える（４）～まとめと質疑～
231	アジアから考えるグローバル人材（２） ゲスト：大滝令嗣氏（早稲田大学ビジネススクール客員教授）
232	ワーキングマザーに学ぶ働き方改革
233	菊乃井から学ぶ日本料理界の人材育成 ゲスト：村田吉弘氏（菊乃井 三代目主人）
234	「上司」不要論 ゲスト：豊田義博氏（株式会社リクルート ワークス研究所 主任研究員）
235	ワーキングプアの実際と生産性 ゲスト：森 健氏（ジャーナリスト）
236	これからのキャリア教育について考える ゲスト：佐野一郎氏（NPO 法人 じぶん未来クラブ代表）
237	人事における単純化のわな ～無理な一般化に陥らない人事のために～
238	近代の女性と労働 ゲスト：佐伯順子氏（同志社大学教授）
239	主観を磨く意思決定 ゲスト：長瀬勝彦氏（首都大学東京 大学院教授）
240	会議を見える化するファシリテーション ゲスト：桑畑幸博氏（慶應丸の内シティキャンパス専任講師）
241	日本溶解論 ～ジェネレーションＺ研究～ ゲスト：三浦展氏（カルチャースタディーズ研究所主宰）
242	【高橋俊介スペシャル 沖縄レポート Part.1】 沖縄県が進めるグッジョブ運動 ～若者の就職意識について考える～ ゲスト：安里カツ子（沖縄県副知事）
243	【高橋俊介スペシャル 沖縄レポート Part.2】 沖縄教育出版 ～日本一長くて楽しい朝礼～ ゲスト：川畑保夫氏（株式会社 沖縄教育出版 代表取締役社長）
244	【高橋俊介スペシャル 沖縄レポート Part.3】 グレイスラム ～企業内起業家のキャリア～ ゲスト：金城祐子氏（株式会社グレイスラム 代表取締役）
245	若手ＳＥのインド道場 ～東芝のグローバル人財教育～ ゲスト：山下勝比拡氏（株式会社東芝 技術企画室理事）
246	経験からの学習を科学する ゲスト：松尾 睦氏（小樽商科大学大学院商学研究科 教授）
247	キーフレーズで考えるキャリアと人生（１） ～ワークライフ編・人間としての能力開発編～
248	クールジャパンの技術力 ゲスト：川口盛之助氏（アーサー・D・リトル・ジャパン株式会社 シニアマネジャー）
249	キーフレーズで考えるキャリアと人生（２） ～キャリア形成編・ジョブデザイン編・ネットワーク形成編～
250	インストラクショナルデザイン～研修設定と効果測定の関係～ ゲスト：中原孝子氏（株式会社インストラクショナルデザイン代表取締役社長）
251	キーフレーズで考えるキャリアと人生（３） ～組織の中での成長編・組織の見極め方編～
252	BBT 開局 10 周年記念感謝祭第２弾 これからの働き方を考える／大質問大会
253	シュガー社員が会社を溶かす ゲスト：田北百樹子氏（田北社会保険労務士事務所 所長）
254	アクセンチュアのＢＰＯ戦略～多様性とグローバルについて考える～ ゲスト：田村貴志氏（アクセンチュア株式会社アウトソーシング本部パートナー）

255	組織人事ライブ５００回記念 ～今だからこそ もう一度見て欲しい あの番組～
256	Ｒ＆Ｄ組織の活性化 ～インヴィニオのビジネスＲ＆Ｄ～ ゲスト：高井正美氏（株式会社インヴィニオ 取締役エデューサー）
257	コンプライアンスで価値創造する組織 ゲスト：秋山進氏（プリンシプル・コンサルティング株式会社 代表取締役）
258	幸せに老いる ～Ａｇｉｎｇ Ｗｅｌｌ～ ゲスト：米田 隆氏（株式会社ＡｆｏｒＬ 代表取締役社長）
259	「働きがいのある会社」とは何か ゲスト：斎藤智文氏（Great Place to Work Institute Japan シニアアドバイザー）
260	戦略的「愛社精神」のススメ ゲスト：豊田義博氏（株式会社リクルートワークス研究所 主任研究員）
261	ワークライフバランスを実現する６時に帰る仕事術 ゲスト：小室淑恵氏（株式会社ワーク・ライフバランス 代表取締役）
262	人事機能の変遷と人事のプロフェッショナル化
263	日本の雇用不安の正体 ゲスト：大久保幸夫氏（株式会社リクルートワークス研究所 所長）
264	大人の発達障害～組織の中のちょっと変な人～ ゲスト：加藤進昌氏（昭和大学付属烏山病院 院長／昭和大学医学部精神医学教室 教授）
265	日本発ブランドにみるぶれない経営者 ゲスト:首藤明敏氏（株式会社博報堂ブランドコンサルティング 代表取締役社長）
266	第２の団塊問題 ～バブル入社世代の高齢化と定年延長にどう対応するのか～
267	「うつ病」の復職支援の最前線 ゲスト：五十嵐良雄氏（メディカルケア虎ノ門 院長／メンタルヘルス・リサーチ＆コンサルティング 代表）
268	病院再生におけるプロ人材のマネジメント ゲスト：大石佳能子氏（株式会社メディヴァ 代表取締役社長）
269	日本人の仕事観とキャリア教育（１） ～仕事観形成の歴史的背景～
270	日本人の仕事観とキャリア教育（２） ～日本の仕事観の現状とキャリア教育～
271	大質問大会
272	日本人の仕事観とキャリア教育（３）～日本と世界のキャリア教育～ ゲスト：小杉礼子氏（独立行政法人 労働政策研究・研修機構 人材育成部門統括研究員）
273	モンスター社員にどう向き合うか ゲスト：涌井美和子氏（カウンセリング オフィス・プリズム 臨床心理士 ・社会保険労務士）
274	経営人事入門 戦略的人材マネジメントについて考える（１） ～人材マネジメント３つの視点～
275	経営人事入門 戦略的人材マネジメントについて考える（２） ～人材マネジメント３つの分野～
276	健保経営の改善に向けて ゲスト：大石佳能子氏（株式会社メディヴァ 代表取締役社長）
277	近頃の若者はなぜダメなのか ゲスト：原田曜平氏（株式会社博報堂 研究開発局主任研究員）
278	人事ＩＴインフラの最前線 ゲスト：北原佳郎氏（ラクラス株式会社 代表取締役社長）
279	２１世紀の就活を考える ゲスト：伊藤 豊氏（スローガン株式会社 代表取締役社長）
280	働きがいのある会社 日本一の秘密 ～ワークスアプリケーションズの事例～ ゲスト：小島豪洋氏（株式会社ワークスアプリケーションズ ビジネス・サポート・インフラグループ ゼネラルマネジャー）
281	エンターテイメント産業の人材育成 ～宝塚歌劇団の事例～ ゲスト：西尾久美子氏（京都女子大学現代社会学部 准教授）
282	日本企業がアジアで成功するための人の選び方 ゲスト：泉田雅典氏（キャリパージャパン株式会社 代表取締役）
283	プロフェッショナルの働き方（１）
284	プロフェッショナルの働き方（２）
285	パタゴニア ～理念と組織運営～ ゲスト：辻井隆行氏（パタゴニア 日本支社長）

286	職場の学びを科学する ゲスト：中原 淳氏（東京大学 大学総合教育研究センター 准教授）
287	「就職／採用活動の実態」と今後の就職構造のあり方 ゲスト：草原 繁氏（株式会社リクルート 執行役員 ＨＲカンパニー長）
288	ソニーのグローバル人材活用 ゲスト：足立朋子氏（ソニー株式会社 グループ人事部門 国際人事部 統括部長）
289	文武両道、日本になし ゲスト：マーティ・キーナート氏（東北楽天ゴールデンイーグルス シニアアドバイザー／東北大学 特任教授・総長顧問／仙台大学 副学長・教授）
290	学生の就業力を高める採用活動 ゲスト：辻 太一朗氏（株式会社グロウス アイ 代表取締役）
291	ＭＢＡ流ボスマネの極意 ゲスト：藤野祐美氏（株式会社Ｙ’ｓオーダー 代表取締役）
292	２１世紀型キャリア（１）～仕事観とキャリア観～
293	２１世紀型キャリア（２）～満足度の高い仕事・キャリアとは～
294	検察の人事組織課題を考える ～検察のあり方検討会議報告～
295	ソーシャル・エンターティメントによるダイバーシティ ゲスト：金井真介氏（Ｄｉａｌｏｇ ｉｎ ｔｈｅ Ｄａｒｋ Ｊａｐａｎ 代表）
296	Ｈａｓｈ Ｈｏｕｓｅ Ｈａｒｒｉｅｒｓのグローバル・ダイバーシティー社会性 ゲスト：川端美樹氏（目白大学 社会学部准教授／Tokyo Ladies Hash House Harriettes 代表）
297	ＡＮＡの運航乗務員育成と技倆管理 ゲスト：中村克己氏（全日本空輸株式会社 専務取締役執行役員 運航本部長）
298	ＥＳＭＯＤのプロフェッショナル育成教育 ゲスト：仁野 覚氏（エスモードインターナショナル 代表）
299	社会人学習の歴史とこれから ゲスト：城取一成氏（慶應ＭＣＣ ゼネラル・マネジャー）
300	社会関係資本がもたらす効果 ゲスト：宮田加久子氏（明治学院大学社会学部 教授）
301	承認とモチベーション ～実証されたその効果～ ゲスト：太田 肇氏（同志社大学政策学部 教授）
302	欧州と日本のワークライフバランス ゲスト：吉越浩一郎氏（吉越事務所 代表）
303	２１世紀型生涯プロフェッショナルの働き方（１）
304	２１世紀型生涯プロフェッショナルの働き方（２）
305	ＧＥのリーダー育成 ゲスト：八木洋介氏（日本ＧＥ株式会社 取締役 シニアＨＲマネジャー）
306	サイバーエージェント流 組織開発事例 ゲスト：曽山哲人氏（株式会社サイバーエージェント 取締役 人事本部長）
307	キャリア教育の現状と課題 ゲスト：藤田晃之氏（国立教育政策研究所 生徒指導研究センター 統括研究官）
308	報堂におけるキャリア開発支援施策 ゲスト：田村寿浩氏（株式会社博報堂 人材開発戦略室 マネジメントプランニングディレクター）
309	インドＩＴ企業の人材マネジメント
310	「行動変容」の方法論 ～ＰＤＣＡをクセ化する５つのツボ～ ゲスト：土井 哲氏（株式会社インヴィニオ 代表取締役 エデューサー） 高木進吾氏（株式会社インヴィニオ エデューサー）
311	学生を育成する大学の正課のあり方 ゲスト：辻 太一朗氏 （ＮＰＯ法人大学教育と就職活動のねじれを直し、大学生の就業力を向上させる会 代表理事）
312	近未来の人材マネジメントを考える 第１回　世界経済の展望と人材／マネジメントへの影響 ゲスト：武藤泰明氏（早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）
313	近未来の人材マネジメントを考える 第２回　クラウド／ＢＰＯ時代の人材像 ゲスト：北原佳朗氏（ラクラス株式会社 代表取締役社長）
314	近未来の人材マネジメントを考える 第３回　アジア新興国の動向と人材マネジメント ゲスト：村井 満氏（RGF HongKong Limited 社長／株式会社リクルート 執行役員 アジア担当）
315	２０世紀の人事制度の歴史とこれから

316	近未来の人材マネジメントを考える 第４回　日本の雇用情勢と人材マネジメント ゲスト：樋口美雄氏（慶應義塾大学商学部 教授／大学商学部長）
317	アンガーマネジメントにみるやっかいな「怒り」の本質 ゲスト：安藤俊介氏（一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会 代表理事）
318	想定外変化と多様性の時代の事業経営者育成を考える
319	人材育成企業の要件
320	世界で活躍する日本人プロフェッショナル ゲスト：鈴木健次郎氏（テーラー）
321	世界で活躍する日本人プロフェッショナル ゲスト：河合美宏氏（保険監督者国際機構）
322	世界で活躍する日本人プロフェッショナル ゲスト：合田泰子氏（株式会社ラシーヌ 代表取締役社長）
323	テルモメディカルプラネックスの次世代型顧客関係性構築 ゲスト：高木俊明氏（テルモ株式会社 取締役上席執行役員研究開発本部統括 兼 テルモメディカルプラネックス管掌）
324	世界で活躍する日本人プロフェッショナル ゲスト：宮脇樹里氏（ジュリス オーナーシェフ／料理研究家）
325	現場から見た非正規雇用の課題と解決 ゲスト：平田未緒氏（株式会社働きかた研究所 代表取締役）
326	それはやる気の問題なのか
327	企業から見る採用・大学から見る就職 ゲスト：関 幸彦氏（首都大学東京学生サポートセンターキャリア支援課長）
328	リーダーのフォロワーシップと指導者育成 ゲスト：中竹竜二氏（日本ラグビーフットボール協会 コーチングディレクター）
329	日本人はグローバルになれるか　～世界で活躍する日本人プロフェッショナル まとめ編～
330	社会起業家から学ぶ 巻き込むリーダーシップ ゲスト：今村久美氏（特定非営利活動法人 ＮＰＯカタリバ 代表理事）
331	社会起業家から学ぶ徹底力 ゲスト：横尾良笑氏（特定非営利活動法人 日本ユニバーサルデザイン研究機構 理事長）
332	女性リーダーをめぐる日本企業の宿題 ゲスト：石原直子氏（リクルートワークス研究所 主任研究員）
333	マネジャーのための組織人材マネジメント(1) 組織をめぐる環境変化と組織マネジメント
334	マネジャーのための組織人材マネジメント(2) 組織の自律性を高めるマネジメント
335	マネジャーのための組織人材マネジメント(3) パフォーマンスとコミットメントのマネジメント
336	マネジャーのための組織人材マネジメント(4) 人材育成の課題と人材像の明確化
337	マネジャーのための組織人材マネジメント(5) 組織の人材育成力を高めるマネジメント
338	マネジャーのための組織人材マネジメント(6) マネジャーとしての成長とキャリア
339	組織人事起因のリスクを考える
340	ＬＩＸＩＬの経営改革と人事改革 ゲスト：八木洋介氏（株式会社LIXILグループ 執行役副社長 人事総務担当）
341	ベネッセスタイルケアにおける人財育成の取り組み ゲスト：滝山真也氏（株式会社ベネッセスタイルケア 代表取締役社長）
342	サービス業化する日本の人材育成戦略 第１回：サービス業の課題と人材育成
343	サービス業化する日本の人材育成戦略 第２回：サービス業の人材育成各論（1）人材像とコミュニケーション
344	サービス業化する日本の人材育成戦略 第３回：サービス業の人材育成各論（２）仕事、仕事以外、マインドセット
345	集団主義文化の本質から日本の組織を考える（１） ゲスト：山岸俊男氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科 特任教授）
346	集団主義文化の本質から日本の組織を考える（２） ゲスト：山岸俊男氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科 特任教授）
347	今必要なキャリア教育とインターンシップ
348	がんばると迷惑な人 ゲスト：太田肇氏（同志社大学政策学部教授

◆野田稔シリーズ（講師：野田稔）

1998年10月～現在

No.	タイトル
1	我が国企業の現状　～How to doの闘いからWhat to doの闘いへ～●
2	「合理の組織」の作り方　～ケース・フラッシュ～●
3	「創造の組織」の作り方　～ケース・フラッシュ～
4	「元気な組織」の作り方　～ケース・フラッシュ～●
5	合併の組織論　～企業合併はどうして行われるのか？～●
6	経営意思決定の組織論●
7	我が国企業の経営意思決定の現状
8	複雑性への対応　～２１世紀型経営意思決定体系の構築～●
9	コーポレートガバナンスの新潮流●
10	迷走するグループ経営●
11	新事業創造型組織の創り方
12	ナレッジマネジメントと組織
13	ベンチャー企業の組織論
14	基礎から考える「知識創造」●
15	組織のスキーマ・チェンジ
16	成果主義を活かす組織（１）
17	成果主義を活かす組織（２）
18	新事業・ベンチャー企業の立ち上げ時の組織
19	ソシオカンパニーの組織論
20	人材育成の新潮流
21	ミーティングマネジメント
22	リスク・ナレッジマネジメント
23	ビジネスマン成功の条件　～現役コンサルタントが語る～●
24	プロジェクト・マネジメント（１）
25	プロジェクト・マネジメント（２）
26	パッションマネジメント・序説（１）
27	ステークホルダーマネジメント●
28	会社の品格 ゲスト：浜田正幸氏（株式会社ケアブレインズ取締役パートナーコンサルタント）
29	組織目標とキャリア形成
30	前向きなアウトプレースメント ゲスト：林明文氏（株式会社ライト・ウェイステーション代表取締役社長）
31	プロジェクトＸの組織論　～その１：プロジェクトＸに見るリーダーシップ～
32	真のリーダーは育成できるか　～ＣＣＬの挑戦～●
33	ヤングキャリアショック　～キャンパスデバイドと高校生キャリア教育～ ゲスト：佐野一郎氏（株式会社リクルートキャリアデザインサポートプロジェクトエグゼクティブマネジャー）
34	コミットメントの構造　～コミットメント・エンジンの作り方～
35	あなたの天職　～「なりたい」を「なれる」に変えるセルフマネジメント～
36	キャリアアウェアネスと人事戦略
37	生きる力をつける教育　～わが国教育変貌の兆し～
38	企業組織概論（１）　～モノ作りの組織と戦略～
39	企業組織概論（２）　～流通の組織と戦略～
40	企業組織概論（３）　～サービス業の組織と戦略～
41	パッションマネジメント・序説（２） ゲスト：松盛千佳氏（ＮＲＩラーニングネットワーク株式会社人材開発部）
42	企業組織概論（４）　～営業の組織と戦略～
43	コーポレート・ゲノム ゲスト： ◆　名倉広明氏（株式会社野村総合研究所上級コンサルタント） ・若友千穂氏（同　副主任コンサルタント）
44	感情のマネジメント（１）
45	モチベーションエンジニアリング ゲスト：小笹芳央氏（株式会社リンクアンドモチベーション代表取締役社長）
46	コミットメント・マーケティング　～社員をその気にさせるマーケティング～ ゲスト：高津尚志氏（株式会社リクルートＨＣソリューショングループシニアコンサルタント）
47	野田稔が語る、私のキャリアマネジメント　～キャリア棚卸大作戦：簡単に出来る！　野田稔の作り方～
48	コミットメントを引き出すリーダーシップ
49	学校教育が変える、これからのビジネスパーソン：野田稔編　～キャリア形成における学校教育の役割～
50	入門・会社の仕組み
51	元気の出るグループ経営（１）
52	元気の出るグループ経営（２）　～日本ユニシスの事例より：Re-Enterprising 2003～ ゲスト：島田精一氏（日本ユニシス株式会社代表取締役社長）
53	アイ・カンパニーの時代 ゲスト：小笹芳央氏（株式会社リンクアンドモチベーション代表取締役社長）
54	自己発見の現場から
55	時を制する企業
56	リスクマネジメントの経済・心理学　～マスコミ企業の事例から～
57	知的資本経営の実際 ゲスト：松枝修氏（株式会社リクルートＨＣソリューション部 シニアコンサルタント）
58	次世代社員学 ゲスト：佐野一郎氏（リクルート　ワークス研究所ワークス編集長）
59	社員ポートフォリオと個人のキャリア ゲスト：佐野一郎氏（リクルート　ワークス研究所ワークス編集長）
60	事業創造人材育成の現状 ゲスト：野村滋氏（ドリームゲート編集長）●
61	“負けず組”の勧め ゲスト：古賀康史氏（株式会社プロテック代表取締役社長　理学博士）
62	組織論　再入門　～Ｉ．組織論の体系と今後の進め方～
63	組織論　再入門　～Ⅱ.ミクロ組織論（１）リーダーシップの新潮流　「リーダーは不要か？」～
64	組織論　再入門　～Ⅱ.ミクロ組織論（１）リーダーシップの新潮流　「変革型リーダーと“夢”」～
65	組織論　再入門　～Ⅱ.ミクロ組織論（２）“やる気”の本質「成果主義は機能したか？」～
66	組織論　再入門　～Ⅱ.ミクロ組織論（２）“やる気”の本質「コミットメントは会社の役に立つのか？」～
67	組織論　再入門　～Ⅱ.ミクロ組織論（３）集団の行動～
68	組織論　再入門　～Ⅱ.ミクロ組織論（３）意思決定と集団の行動「組織の中で“伝える”ということ」～
69	組織論　再入門　～Ⅲ.マクロ組織論（１）組織構造論　「組織デザインの方法論」～
70	組織論　再入門　～Ⅲ.マクロ組織論（１）組織構造論　「組織構造のパターン」～
71	組織論　再入門　～Ⅲ.マクロ組織論（２）組織機能論　「組織における調整機能」～
72	組織論 再入門　～Ⅲ.マクロ組織論（２）組織機能論　「組織機能の設計」～
73	組織論 再入門　～Ⅲ.マクロ組織論　（３）組織ネットワーク　「グループ経営　Part.２」～
74	組織論 再入門　～Ⅲ.マクロ組織論　（３）組織ネットワーク　「企業間ネットワーク」～
75	組織論 再入門　～Ⅳ.総括～
76	組織論 応用編　（１）　～生物学の理論で真面目に組織論を考えてみました～
77	組織論 応用編　（２）　～免疫組織論～ ゲスト：志村近史氏（株式会社 野村総合研究所システムコンサルティング事業本部 上席研究員）
78	組織論 応用編　（３）企業のDNA～Part.1～ ゲスト：高津尚志氏(株式会社リクルートＨＣソリューショングループ コンサルティング　ディレクター)
79	組織論 応用編　（４）　企業のDNA ～Part.2～ ゲスト：加藤良平氏（情報ハブ株式会社　代表取締役）
80	組織論 応用編　（５）　企業のDNA ～Part.3～ ゲスト：的場正人氏(リクルートマネジメントソリューションズRDソリューション マネジャー兼シニアコンサルタント)
81	組織論 応用編　（６）　企業のDNA ～Part.４～ ゲスト：加藤良平氏（情報ハブ株式会社　代表取締役）
82	組織論 応用編　（７）ネットワーク理論を組織論に応用したら… ゲスト：鳥山正博氏（野村総合研究所） 安田雪氏（東京大学大学院経済学研究科） 藤川真一氏（野村総合研究所）
83	組織論　応用編（８）コーチングを組織論に応用したら･･･ ゲスト：浜田正幸氏(株式会社 ケアブレインズ取締役 パートナーコンサルタント)

84	組織論　応用編（9）組織における有事の人材マネジメントとメンタルヘルス ～今日的経営戦略における人材の危機～ ゲスト：浜田正幸氏(株式会社 ケアブレインズ取締役 パートナーコンサルタント)
85	組織論応用編（１０）正社員時代の変容 ゲスト：石原直子氏（株式会社リクルートワークス研究所　研究員）
86	組織論応用編（１１）子育て支援策の現状と将来 ゲスト：野村武司氏（野村総合研究所 広報部広報課長）
87	組織論応用編（１２）非正社員のマネジメント ゲスト：白石久喜氏（株式会社リクルートワークス研究所 研究員）
88	緊急報告!! 人材マネジメント調査 2005（１）～リクルートワークス研究所調査より～ ゲスト：豊田義博氏（株式会社リクルートワークス研究所　主任研究員） 白石久喜氏（株式会社リクルートワークス研究所 研究員）
89	緊急報告!! 人材マネジメント調査 2005（２）～リクルートワークス研究所調査より～ ゲスト：豊田義博氏（株式会社リクルートワークス研究所　主任研究員） 白石久喜氏（株式会社リクルートワークス研究所 研究員）
90	人材マネジメント調査の総括と今後の HRM 課題」（１） ゲスト：高橋克徳氏（ワトソンワイアット株式会社　コンサルタント）
91	人材マネジメント調査の総括と今後の HRM 課題（２） ゲスト：高橋克徳氏（ワトソンワイアット株式会社　コンサルタント）
92	ミドルマネジメントの再生 ゲスト：ケビン・D・ワン氏（ワトソン ワイアット株式会社）
93	経営課題調査にみる　ミドル・マネジメントの実態 ゲスト：村橋健司氏（社団法人日本能率協会 経営研究所　所長） 重光直之氏（社団法人日本能率協会　経営研究所　研究部長 兼 主席研究員）
94	経営課題調査にみる　ミドル・マネジメントの実態（２） ゲスト：村橋健司氏（社団法人日本能率協会 経営研究所　所長） 重光直之氏（社団法人日本能率協会　経営研究所　研究部長 兼 主席研究員）
95	ミドルマネジメント・エクセレンス ゲスト：村橋健司氏（社団法人日本能率協会 経営研究所　所長） 重光直之氏（社団法人日本能率協会　経営研究所　研究部長 兼 主席研究員）
96	ミドルマネジメントの創造的育成 ゲスト：浜田正幸氏(多摩大学経営情報学部マネジメントデザイン学科　准教授)
97	「デイトレーダー型」新人の取扱説明書 ゲスト：井上功氏（株式会社リクルートＨＣソリューションエグゼクティブソリューションディレクター）
98	映画で感じるマネジメント
99	ミドルマネジメントの育て方（１） ゲスト：前川孝雄氏（株式会社リクルート リクナビ編集長 リクナビ CAFE 編集長）
100	ミドルマネジメントの育て方（２） ゲスト：前川孝雄氏（株式会社リクルート リクナビ編集長 リクナビ CAFE 編集長）
101	ミドルマネジメントの疲弊問題 ～どう解決すればよいのか～ ゲスト：高橋克徳氏（株式会社アミューズ教育事業準備室コンサルタント） 河合太介氏（株式会社道代表取締役社長）
102	ミドルマネジメント・クライシスを超えて　～スキットを用いたリーダーシップ体感～ ゲスト：高橋克徳氏（株式会社アミューズ教育事業準備室コンサルタント） 河合太介氏（株式会社道代表取締役社長）
103	組織感情を考える
104	2007 年版　人事・組織を振り返って　～激動？・微動？・蠢動？～
105	ミドルマネジメント・エクセレンス ～ミドルマネジメント問題の総括～
106	不機嫌な職場 ～なぜ社員同士で協力できないのか～ ゲスト：高橋克徳氏（株式会社ジェイフィール執行役員） 河合太介氏（株式会社道代表取締役社長）
107	ご機嫌な職場（１）　～プロローグ～
108	ご機嫌な職場（２）～ サイバーエージェントの事例 ～ ゲスト：曽山哲人氏（株式会社サイバーエージェント人事本部長） 河合太介氏（株式会社ジェイフィールフェロー）
109	ご機嫌な職場（３）～ 興研の事例 ～ ゲスト：酒井眞一郎氏（興研株式会社　代表取締役会長）
110	ご機嫌な職場（４）～ヨリタ歯科クリニックの事例 ～ ゲスト：高橋克徳氏（株式会社ジェイフィール執行役員）
111	ご機嫌な職場（５）～バグジーの事例 ～ ゲスト：久保華図八氏（有限会社バグジー代表取締役） 河合太介氏（ジェイフィール　フェロー）
112	ご機嫌な職場（６）～サイボウズの事例 ～ ゲスト：青野慶久氏（サイボウズ株式会社　代表取締役社長）
113	ご機嫌な職場（７）　～ ワークスアプリケーションズの事例 ～ ゲスト：牧野正幸氏（株式会社ワークスアプリケーションズ代表取締役ＣＥＯ）

◆川上真史シリーズ（講師：川上真史）

1999年2月～現在

1	真の成果主義定着のためのキーワード　～目標管理はなぜうまくいかないか？～
2	成果主義定着のためのコンピテンシー
3	コンピテンシーアセスメント
4	コンピテンシーはどうすれば開発できるのか？
5	安定したコンピテンシー発揮を促進する動機づけ
6	コンピテンシー制度への応用
7	武田製品工業の制度改革事例（１）
8	武田薬品工業の制度改革事例（２）ｃｃｘ℃ＸＶＣｖｘｘｖ
9	経営者に求められるパーソナリティとは●
10	これでよいのか新卒採用　～パーソナリティテストと面談の活用法～●
11	成果主義とストレス
12	自分でできるストレスマネジメント
13	チームの心理学　～リーダーシップとグループ～
14	自己認知のゆがみ　～なぜ自分を客観的に見られないのか～
15	対人認知のゆがみ　～こうすれば解決する～
16	知能とはなにか　～その組織にとっての意味～
17	最新のコンピテンシー理論はどうなっているか
18	成果主義・成功と失敗の鍵
19	２０００年の新卒採用を総括する ゲスト：河合太介氏（ワトソンワイアット株式会社コンサルタント）●
20	成果主義・成功と失敗の鍵
21	２０００年新卒採用、勝ち組み企業はこう採用を進めた ゲスト：牛島仁氏（ＡＩＵ保険会社人事部採用担当）●
22	伸びる新人、伸びない新人（１）
23	伸びる新人、伸びない新人（２）　～実例編：新卒社員の育成～ ゲスト：高木稔氏（株式会社アトラクス代表取締役社長）
24	若手社員を動機づける人事制度
25	どうすれば人の真価を見抜けるか　～中途採用の成否はここにある～
26	川上真史氏のひとり質問大会
27	２１世紀に成功する管理者と失敗する管理者 ゲスト：鈴木康司氏（ワトソンワイアット株式会社コンサルタント）
28	間違いだらけの管理者選び
29	これからの経営者に求められる資質
30	コンサルタントはこう活用しよう●
31	真のグローバル人材とは
32	成果主義とストレス
33	強く安定した人格の形成
34	不況期を乗り切る成果主義
35	採用すべき人材、採用すべきでない人材
36	あなたの市場価値はいくらか　～市場価値の尺度変化とその特定～
37	成功事例に学ぶ（１）　～なぜ成果を生み出せたのか～ ゲスト：榎本英剛氏（ＣＴＩジャパン代表）
38	成功事例に学ぶ（２）　～なぜ成果を生み出せたのか～ ゲスト：柳下公一氏（元武田薬品工業株式会社専務）
39	成功事例に学ぶ（３）　～なぜ成果を生み出せたのか～ ゲスト：野村浩子氏（日経ウーマン編集部副編集長）
40	新しいキャリアの考え方
41	成功事例に学ぶ（４）　～なぜ成果を生み出せたのか～ ゲスト：稲増美佳子氏（株式会社ＨＲインスティテュート常務取締役）
42	ハイパフォーマーをどうアトラクトするか？
43	衛生要因を整える　～ストレスコンピテンシーの考え方～
44	新たな時代にむけたリーダーシップ　～最新の心理学研究から～
45	キャリア開発最前線
46	川上真史が語る、私のキャリアマネジメント　～普通の人からプロフェッショナルへ～
47	最強のビジネスパーソナリティ
48	学校教育が変える、これからのビジネスパーソン：川上真史編　～学校教育とパーソナリティ形成～
49	企業とカウンセリング
50	達成動機と企業業績
51	グローバルな「稼ぐ人」を育てる ゲスト：キャメル・ヤマモト氏（ワトソンワイアット株式会社コンサルタント）
52	心理学から見たコンピテンシー　～そもそもコンピテンシーとは何だったのか～
53	もっと心理学を活用しよう　～人事、人材で使える心理学理論～
54	ビジネスに求められる社会性
55	人材論から見る阪神優勝！
56	心理テストの活用 ～そのメリットと功罪～
57	アベレージ・パフォーマーの活性化
58	社員支援の方向性と考え方
59	キャリア支援の現状と課題
60	ＥＡＰの現状と課題 ゲスト：小杉正太郎氏（早稲田大学文学部心理学教室教授）●
61	社員の能力の壁を打ち破る人事制度とは
62	これからの人材開発の方向性
63	ヘイとワトソンワイアットここが違う ゲスト：田中滋氏（株式会社ヘイ コンサルティング グループ代表取締役社長）
64	効果をあげるＯＪＴの進め方
65	従業員満足についての考え方
66	職務満足感を高めるための方策
67	自分を変える鍵はどこにあるか
68	企業における自尊とは
69	企業における共感性とは
70	２００５年の採用傾向 ゲスト：斎藤亮三氏（株式会社アトラクスヒューマネージ代表取締役社長）
71	成果主義の変化とトレンド
72	成果主義研究会の詳報
73	新しいチームの考え方 ～エクスターナル・チーム～
74	２１世紀の OD（組織開発）
75	２１世紀型のマネジメント
76	これからのマネジメント手法
77	楽しさを作るマネジメント
78	楽しさをどう企業の中に組み込むのか
79	M&A と人材マネジメント ゲスト：竹田年朗氏（ワトソンワイアット株式会社コンサルタント）
80	06-07 採用はどうなるのか？
81	グローバル人材の開発く
82	心理学から見た組織の人間関係論
83	企業競争力につながる人間関係の構築
84	最強の企業人を作るための教育 －幼少期編－
85	最強の企業人を作るための教育 －思春期～青年期－
86	グローバルにおける世代論 ゲスト：船川淳志氏(グローバルインパクト代表パートナー)
87	組織パラダイムの大シフト時代をどう乗り越えるか
88	これからの成果主義 ～組織のパラダイム転換を受けて～
89	未来成果の予測 ～最新のコンピテンシー論～
90	ストレス・フリー組織の構築
91	社員をエンゲージさせる
92	07-08 採用はこうなる ゲスト：齋藤亮三氏（株式会社アトラクス　ヒューマネージ代表取締役社長）
93	08 採用の視点
94	ダイバーシティ時代に求められるリーダーシップとは
95	ユニバーサルリーダーを開発する
96	リーダーに求められる普遍的要素をどう開発するか

97	今、リーダーに何が求められているか
98	組織の可視化
99	高いモラールと業績をあげる組織とは
100	意志力とは何か
101	意志力の低下と組織問題（１） ～なぜ意志力は低下したのか～
102	意志力の低下と組織問題（２） ～心理学からみた意志力～
103	意志力の低下と組織問題（３） ～必然性による意志力～ ゲスト：安藤 輝彦氏（株式会社博報堂取締役常務執行役員）▲
104	意志力の低下と組織問題（４） ～自分で作る意志力～ ゲスト：瀬川晶司氏（日本将棋連盟 棋士 四段）
105	意志力の低下と組織問題（５） ～意志力と意思決定～▲ ゲスト：竹村和久氏（早稲田大学意思決定研究所所長/早稲田大学文学学術院教授）
106	意志力の低下と組織問題（６） ～意志力の開発と強化～
107	新しい人事の考え方 ～Ｔｏｔａｌ Ｒｅｗａｒｄｓ～
108	トータル・リウォーズの設計と運用
109	内的報酬を高めるマネジメント
110	どうすれば内的報酬は向上するか
111	０９－１０採用はどう変化するのか？ ゲスト：大柳岳彦氏（株式会社アトラクスヒューマネージ採用ソリューション事業部コンサルタント）
112	これからのタレントマネジメント
113	タレントマネジメントにおける社員の能力管理とは
114	タレントマネジメントにおけるサクセションプラン
115	タレントマネジメントにおけるこれからの人材アセスメント
116	タレントマネジメントにおけるグローバル人材の開発
117	グローバル人材の育成とマネジメント
118	なぜ企業が児童・学生教育を行なうべきなのか ～企業による社会的な人材教育～
119	企業が行なう児童・学生教育のポイント ～企業だからこそできる教育～ ゲスト：毛受芳高氏（ＮＰＯ法人アスクネット 理事）
120	企業が行なっている児童・学生教育の事例 ゲスト：毛受芳高氏（ＮＰＯ法人アスクネット 理事）
121	社会人基礎力の育成 ～経済産業省の取り組み～ ゲスト：内野泰明氏（経済産業省 経済産業政策局産業人材政策室 室長補佐） 壷井秀一氏（経済産業省 経済産業政策局産業人材政策室）
122	子供を育てるということ ～心理学から見た子供教育のあり方～
123	これからの大学教育のあり方

＜組織・人事＞

戦略的アウトソーシング

2001 年 10 月～2002 年 3 月

番組コンセプト

アウトソーシングについては、一般的にコスト削減の手段として捉えられがちです。しかし、選択と集中、つまりバリューチェーンのどこで頑張り、何をしないかを考えることを表裏一体であること、すなわちきわめて戦略的な手段であることを認識すべきです。番組では、実際に戦略的アウトソーシングを実施する場合の事業構築の考え方や留意点を事例を交えながら解説します。

講師

★花田光世（慶應義塾大学総合政策学部教授）

南カリフォルニア大学大学院　社会学　博士課程、Ph.D.-Distinction。カリフォルニア州立大学講師、産業能率大学経営情報学部教授を経て、1992 年より現職。

1	戦略的アウトソーシングの内容及びそれが出てくる背景●
2	戦略的アウトソーシングを実施する上での留意点●
3	第１次・第２次アウトソーシングの事例　～人事機能のアウトソーシング～ ゲスト：古畑仁一氏（慶應義塾大学ＳＦＣ研究所キャリア・リソース・ラボラトリー事務局長）●
4	第３次・第４次アウトソーシングの事例　～戦略アウトソーシングとアライアンス～ ゲスト：程近智氏（アクセンチュア株式会社　戦略グループ統括パートナー）●
5	製造業のアウトソーシング ゲスト：安井敏雄氏（ソレクトロンジャパン株式会社代表取締役社長）●
6	戦略的アウトソーシング　今後の展望 ゲスト： ◆　尾関友保氏（株式会社ＭＦＩジャパン代表取締役社長） ・関島康雄氏（株式会社日立総合経営研修所代表取締役社長）●

＜組織・人事＞

グローバル・ダイバシティ・マネジメント

2006 年 4 月～2006 年 8 月

番組コンセプト

グローバル・リーダーに必要なダイバシティ・マネジメントの視点から、多様性のマネジメントの主要な３つの課題（コンフリクトをいかに解決するか、ミスコミュニケーションを減らすためにはどうすれば良いか、社会的統合の欠如をどのように克服するか）について、考えていきます。第１回～第２回では、理論とコンセプトについて解説します。まず、グローバル・リーダーシップとは何かを定義し、従来の異文化マネジメントの議論を超えたダイバシティ・マネジメントについて考えます。さらに、グローバル・マネジャーに求められるコンピテンシーはどのようなものなのかを明らかにし、日本人マネジャーに特に欠けているスキルとその克服法についても考察します。第３回～第４回では、具体的なケースを取り上げグローバル・リーダーの役割と組織マネジメントについて考えます。

講師

★谷口真美（早稲田大学大学院商学研究科助教授）

1996 年 3 月神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了、同年 3 月博士(経営学)取得。1996 年 4 月～1999 年 3 月広島経済大学経済学部経営学科専任講師。1999 年 4 月～2000 年 3 月同助教授。2000 年 4 月～2003 年 3 月広島大学大学院社会科学研究科マネジメント専攻(社会人対象 MBA)助教授。2000 年 10 月～2001 年 4 月米国ボストン大学大学院組織行動学科・エグゼクティブ・ラウンドテーブル客員研究員。2003 年 4 月より現職。担当科目・大学院:ダイバシティ・マネジメント、国際ビジネス論、グローバル・リーダー特論。

1	グローバル・リーダーシップと▲
2	グローバル・マネジメントの課題とダイバシティ・マネジメント▲
3	ケース：ダイバシティをいかす組織への変革▲
4	ケース：チームマネジメント▲

＜組織・人事＞

新・組織論再入門

2008 年 12 月～2010 年 5 月

番組コンセプト

マクロ組織論では、組織の構造・過程・ネットワークに主眼を置いて、人と人との協働を促す組織作りについて解説します。
ミクロ組織論では、個人・集団の行動と相互関係をテーマとし、動機付け、リーダーシップ、組織活性化についての理論を紹介します。
これらの基礎理論を扱ったのち、ミクロとマクロのリンク、すなわち人と組織の係わり合いに注目します。近年、大きく変化している組織と個人の関係の中で、個人にはどのようなマインドチェンジが求められ、人事の役割として何が求められているのかについての講義を行います。

講師

★野田稔(明治大学 大学院 グローバルビジネス研究科 教授／株式会社ジェイフィール代表取締役社長)

1981 年野村総合研究所入社。同社にて組織人事分野を中心に多数のプロジェクトマネージャーを勤め、経営コンサルティング一部長を経て、現職。 また、株式会社アミューズに所属しテレビ・ラジオ出演、著作・講演活動等でも活躍中

1	イントロダクション　組織論とは何か？
2	マクロ組織論 １ 経営組織論の流れ
3	マクロ組織論 ２ 組織構造論 ～コンティンジェンシー理論～
4	マクロ組織論 ３ 組織デザイン（１） ～戦略と組織～
5	マクロ組織論 ４ 組織デザイン（２） 組織デザインの実際 ～小組織（チーム）の設計～
6	マクロ組織論 ５ 組織デザイン（３） ～組織の基本形～
7	マクロ組織論 ６ 組織過程論 ～ コンフリクト調整の理論～
8	マクロ組織論 ７ グループ経営と企業間ネットワーク
9	ミクロ組織論 １ 組織行動論の流れ
10	ミクロ組織論 ２ 動機づけの理論（１）
11	ミクロ組織論 ３ 動機づけの理論（２）
12	ミクロ組織論 ４ リーダーシップ論（１） ～リーダーシップとは？～
13	ミクロ組織論 ５ リーダーシップ論（２） ～様々なリーダーシップ論～
14	ミクロ組織論 ６ 組織活性化と意識改革
15	ミクロ組織論 ７ 組織感情のマネジメント
16	人と組織を考える １ 戦略的人事マネジメント論
17	人と組織を考える ２ 人材育成を再考する
18	人と組織を考える ３ 幸福なキャリア形成を求めて

＜組織・人事＞

人材育成の本質

2010年8月～2012年3月

番組コンセプト

日本企業は人材育成を重視してきたと一般的に認識されているが、実際には諸外国と比較すると構造化された体系がない。
人材のグローバル化が必須となったいま、構造的戦略的な人材育成へのニーズは高まっており各企業がさまざまな試みをしているところだ。
本シリーズでは、先進的な取り組みをしている企業をケーススタディすると同時に、組織行動論をはじめとする理論を紹介し、
企業目的を達成するために必要な人材の育成方法について考察していく。

講師

★野田稔(明治大学 大学院 グローバルビジネス研究科 教授／株式会社ジェイフィール代表取締役社長)
1981 年野村総合研究所入社。同社にて組織人事分野を中心に多数のプロジェクトマネージャーを勤め、経営コンサルティング一部長を経て、現職。 また、株式会社アミューズに所属しテレビ・ラジオ出演、著作・講演活動等でも活躍中

1	人材育成の全体像
2	人材育成の方法論
3	新人研修・階層別研修の意義と進め方
4	新入社員育成の企業事例 ～三井物産～ ゲスト：瀧口 斉氏（三井物産株式会社 機能材料事業部長）
5	階層別研修の企業事例 ～トヨタ自動車～ ゲスト：山田治義氏（トヨタ自動車株式会社 トヨタインスティチュート 主査）
6	次世代リーダー育成のあるべき姿
7	ＯＪＴの理論と実践
8	戦略的ＯＪＴ研修の企業事例 ～資生堂～ ゲスト：宮崎 真氏（資生堂販売株式会社 沖縄支社長
9	現場力向上、スキル標準を用いた生産性向上教育の概要 ゲスト：石川拓夫氏（株式会社日立ソリューションズ 人財開発部 部長） 出馬幹也氏（株式会社富士ゼロックス総合教育研究所 プリンシパル）
10	現場力向上、スキル標準を用いた生産性向上教育の事例 ゲスト：石川拓夫氏（株式会社日立ソリューションズ 人財開発部 部長） 深澤光賢氏（メック情報開発株式会社 総務部 次長）
11	ミドルに対するキャリアデザイン研修
12	ミドルに対するキャリアデザイン研修の企業事例 ～博報堂～ ゲスト：田沼泰輔氏（株式会社博報堂 人材開発戦略室 室長代理）
13	ダイバーシティとインクルージョン
14	ダイバーシティ活動の企業事例 ～資生堂～ ゲスト：真下隆幸氏（株式会社資生堂 人事部次長 ダイバーシティ推進グループリーダー
15	グローバル人材育成
16	グローバル競争力再考 ゲスト：古野庸一氏（株式会社リクルートマネジメントソリューションズ 組織行動研究所所長）
17	グローバル人事への取り組み事例 ゲスト：上野邦教氏（株式会社資生堂 人事部グローバル人事グループ課長）
18	人材育成の本質 まとめ ゲスト：高津尚志氏（ＩＭＤ 日本代表）

<組織・人事>

戦略的人材マネジメント

2010 年 4 月～2011 年 3 月

番組コンセプト

人事・人材論のパラダイムが今大きく変わっています。
その新たなパラダイムで組織や人材を導くことが出来るビジネスリーダーの存在は、企業の存続を左右する重大な課題です。
成果をもたらす為の戦略的人材マネジメントを提供する番組です。

講師

★川上真史（ワトソンワイアット株式会社コンサルタント／早稲田大学　文学学術院　非常勤講師／株式会社アトラクスヒューマネージ　顧問）
京都大学教育学部教育心理学科卒業。産能総合研究所、ヘイ・コンサルティンググープを経て、現職。数多くの大手企業の人材マネジメント戦略、人事制度改革のコンサルティングに従事。また、ヒューマン・アセスメントの第一人者としてアセスメントプログラムの設計から実施に至るまでコンサルティングを展開している。

1	人事・人材論の歴史的パラダイム転換
2	今までの働き方、これからの働き方
3	急速に個別化する動機づけと報酬論
4	トータルリウォーズという考え方
5	納得感を高める業績考課の設計と運用
6	コンピテンシーに基づく人材のアセスメント
7	ストレスという課題にどう対処するか
8	成果につながるパーソナリティの特性
9	競争力を高める対人関係の開発
10	ダイバーシティにおけるリーダーシップ
11	グローバルで活躍する人材の開発
12	未来型のコンピテンシーとリーダーシップ

<組織・人事>

新時代を乗り越えるための心理学

2011 年 4 月～2012 年 3 月

番組コンセプト

バブル崩壊以前には、人材開発の焦点は知識・ノウハウ・経験を拡大することにあった。1990 年代後半になってコンピューターが普及し情報収集が容易になると、知識を使いこなして成果につなげるコンピテンシー的な能力が重んじられるようになってきた。ますます変化が激しくなる現代、求められるのはどのような状況においても同じようにコンピテンシーを発揮する力だ。どのようにしてこの新時代を乗り越えていけばよいのか。

講師

★川上真史（ワトソンワイアット株式会社コンサルタント／早稲田大学　文学学術院　非常勤講師／株式会社アトラクスヒューマネージ　顧問）
京都大学教育学部教育心理学科卒業。産能総合研究所、ヘイ・コンサルティンググープを経て、現職。数多くの大手企業の人材マネジメント戦略、人事制度改革のコンサルティングに従事。また、ヒューマン・アセスメントの第一人者としてアセスメントプログラムの設計から実施に至るまでコンサルティングを展開している。

1	状況に左右されない安定した心を創る
2	過去の心理学とこれからの心理学 ～ポジティブ心理学の潮流～
3	立ち直りの早さはどこからくるのか
4	「怒り」のコントロール
5	なぜ決断できない人が多いのか
6	創造性を高める心の要因
7	若者の働く意識はどう変化しているのか ゲスト：牛尾奈緒美氏（明治大学情報コミュニケーション学部 教授）
8	成功確率を高める心のトレーニング
9	「好き嫌い」の心理学
10	芸術が心に与える影響 ゲスト：寺本義明氏（東京都交響楽団 首席フルート奏者）
11	心理学と宗教
12	人の可能性を最大限に引き出すために

グローバル人材マネジメント

2008年5月～2008年9月

番組コンセプト

日本企業だけではなく、欧米企業もグローバルな人材不足を抱えており、特に重要なタレント不足は深刻であると考えられている。
グローバルリーダーを育成するためには、全世界レベルでキーポストに最適な人材を配置し、成果と成長を実現する仕組みをつくって運営することが必要である。
本講座では、グローバルリーダー開発の基本的な流れについて解説し、さらに外国人リーダーの育成、および日本人リーダー育成の課題について考える。

講師

★山本 成一（デロイト トーマツ コンサルティング株式会社 ディレクター）
東京大学法学部を卒業後、外務省に入省。エジプト、英国、サウジアラビア、および東京に勤務。その間、エジプトでアラビア語を習得、オックスフォード大学大学院 中東政治履修。青山学院大学大学院異文化マネジメント修士。外務省を退職後、外資系人事コンサルティング会社、アジア太平洋大学大学院講師を経て、現職。

1	課題と解決の方向性
2	グローバルリーダー開発（タレントマネジメント）
3	基本的な人事制度（等級・評価・報酬）
4	クロスボーダーＭ＆Ａ後の組織・人事統合（ＰＭＩ）
5	国際化のモデル（伝道⇒適応⇒連結）と国際異動

グローバルリーダーの視野と視座

2008年11月～2009年4月

番組コンセプト

多彩なゲストと共有したグローバルリーダーの視野と視座を踏まえつつ、全球化（グローバル化）の中でしなければならないことを考える。

講師

★船川 淳志（グローバルインパクト 代表パートナー）
慶応義塾大学法学部法律学科卒業。東芝、アリコ・ジャパン勤務ののち、1990年に渡米。アメリカ国際経営大学院（サンダーバード校）にて、修士号取得（MBA in International Management）後、米国シリコンバレーを拠点に組織コンサルタントとして活躍。帰国後、グロービスのシニアマネジャーを経て独立し、現職。組織開発、企業変革にかかるコンサルティング・プロジェクトを手がける傍ら、組織、リーダーシップ、人材開発等の幅広いテーマにわたるセミナーも行う。

1	スキルを超えた要件とは何か？ ゲスト：今北純一氏（コーポレート・バリュー・アソシエイツ マネージング・ディレクター）
2	自分を見つめればリーダーの道が見えてくる ゲスト：増田弥生氏（前 ナイキ アジア太平洋地域 人事部門長）
3	同質性からの脱却 ゲスト：大滝令嗣氏（エーオンコンサルティングジャパン株式会社 代表取締役社長）
4	日本企業型グローバルリーダーへの道 ゲスト：川名浩一氏（日揮株式会社 執行役員 営業統括本部新事業推進本部長）▲
5	日本企業と日本人、どこから着手すべきか ゲスト：山本成一氏（デロイト トーマツ コンサルティング株式会社 ディレクター）
6	Let’s climb up the next global stage

人と組織の新しいコンセプト

2010 年 5 月～2011 年 3 月

番組コンセプト

この番組シリーズは株式会社リクルートワークス研究所所長の大久保幸夫氏を講師に同社が働く人と組織の調査研究、データを基に研究成果を紹介する。シリーズで展開するテーマには、「OJT の実情」「学生アルバイトや非正規社員の雇用問題」「新入社員の育成等」興味深い内容が続きます。

講師

★大久保幸夫(株式会社リクルートワークス研究所所長)

1983 年一橋大学卒業。同年株式会社リクルート入社。人材総合サービス事業部企画室長、地域活性事業部長などを歴任。1990 年リクルートワークス研究所を立ち上げ、所長に就任。専門は人材マネジメント、労働政策、キャリア論。

1	【リクルートワークス研究所の提起 01】 ミドルマネジャーを蝕む２つの危機　～「課長止まり」が組織をダメにする～ ゲスト：白石久喜（株式会社リクルートワークス研究所 主任研究員）
2	【リクルートワークス研究所の提起 02】 超多忙な現場のＯＪＴ ～顧客創造「１日１５分メモ」の実践～ ゲスト：蒋 麗華氏（株式会社ＷＬデザインラボ 代表）
3	【リクルートワークス研究所の提起 03】 学生アルバイトを戦力化する仕組み ～接客バイトに埋め込まれた「経験」と「触媒」～ ゲスト：見舘好隆氏（北九州市立大学キャリアセンター 准教授）
4	【リクルートワークス研究所の提起 04】 コア業務で活躍できる非正規社員のつくり方 ～雇用システムと能力開発～ ゲスト：石原直子氏（株式会社リクルートワークス研究所 主任研究員）
5	【リクルートワークス研究所の提起 05】 最初の上司が生涯の成長を左右する ～上司がやるべきこと、やってはいけないこと～ ゲスト：笠井恵美氏（株式会社リクルートワークス研究所 主任研究員）
6	【リクルートワークス研究所の提起 06】 将来のリーダーを見極める新卒採用 ～「変化対応力」と見抜く選考法～ ゲスト：松村直樹氏（株式会社リアセック 取締役ＣＯＯ）

＜組織・人事＞

これからのハイパフォーマー

2012 年 6 月～2013 年 5 月

番組コンセプト

ＩＴの進化やグローバリゼーションの拡大、働く意識の変化等において、企業に求められる人材像が大きく変わって来た。当番組では特にハイパフォーマー（高業績者）に焦点を当て、特徴や行動特性の変化を考察していく。講師は、約 25 年にわたって人材アセスメントを手掛け、企業人事を見てきた川上真史氏。

講師

★川上真史（ワトソンワイアット株式会社コンサルタント／早稲田大学　文学学術院　非常勤講師／株式会社アトラクスヒューマネージ　顧問）

京都大学教育学部教育心理学科卒業。産能総合研究所、ヘイ・コンサルティンググループを経て、現職。数多くの大手企業の人材マネジメント戦略、人事制度改革のコンサルティングに従事。また、ヒューマン・アセスメントの第一人者としてアセスメントプログラムの設計から実施に至るまでコンサルティングを展開している。

1	成果主義時代を支えた人材とこれからのハイパフォーマー
2	次世代のハイパフォーマーは何が違うのか
3	矢野燿大さんに聞く、プロ集団におけるリーダーシップ ゲスト：矢野燿大氏（プロ野球解説者／元 阪神タイガース捕手）
4	企業の将来を支える学生は何が違うのか ゲスト：高木秀展氏（株式会社ヒューマネージ ＨＣＭ事業本部 部長）
5	若手ハイパフォーマー社員をどう育てるか ゲスト：和田将人氏（味の素株式会社 人事部 グローバル人事グループ 主任）
6	ゆとり教育世代をどう育てるか
7	今マネージャーに何が求められるのか
8	競争力を高める役員、下げる役員
9	ハイパフォーマーになるために
10	「引退力」自分で自分のキャリアを決める
11	ハイパフォーマーが育つ組織
12	将来のハイパフォーマーを育てる ～社会人基礎力の考えをもとに～ ゲスト：諏訪康雄氏（法政大学 名誉教授）

幸せな働き方を考える

2013 年 6 月～2014 年 4 月

番組コンセプト

人生において究極の目的である幸福は、企業の業績にも相関がある。海外の研究では、幸福度が高い従業員は生産性・売り上げ・創造性が高いという調査結果が出ている。企業は人材競争力を高めるべく、社員の幸福度向上に取り組むべきだろう。
本シリーズでは、企業と従業員、そして社会全体が幸福になる働き方を考えていく。

講師

★川上真史（ワトソンワイアット株式会社コンサルタント／早稲田大学　文学学術院　非常勤講師／株式会社アトラクスヒューマネージ　顧問）

京都大学教育学部教育心理学科卒業。産能総合研究所、ヘイ・コンサルティンググループを経て、現職。数多くの大手企業の人材マネジメント戦略、人事制度改革のコンサルティングに従事。また、ヒューマン・アセスメントの第一人者としてアセスメントプログラムの設計から実施に至るまでコンサルティングを展開している。

1	「満足感」と「幸福感」
2	幸福の心理学
3	社員を幸福にする企業 ゲスト：松本孝利氏（ビジネス・ブレークスルー大学大学院 教授）
4	幸福を創りだすビジネス：音楽と幸福 ゲスト：中村克哉氏（株式会社ブルーノートジャパン 取締役ゼネラル・マネージャー） 塚越慎子氏（マリンバ奏者）
5	企業と社会を幸福につなぐコミュニケーション ゲスト：小西利行氏（株式会社ＰＯＯＬ 代表取締役／クリエイティブ・ディレクター）
6	顧客を幸福にする企業戦略 ゲスト：阪本浩明氏（プルデンシャル生命保険株式会社 執行役員常務）
7	幸福になるための条件
8	人を幸せにする仕事 ゲスト：大空祐飛氏（元 宝塚歌劇団 宙組トップスター／女優）
9	ブータンの幸福感 ゲスト：福永正明氏（岐阜女子大学 南アジア研究センター 客員教授／日本ＧＮＨ学会 副会長）

＜組織・人事＞

これからの教養を考える

2014 年 6 月～2014 年 12 月

番組コンセプト

近頃、多くの企業・大学において教養の重要性が指摘され始めています。しかし「教養」は大学における教養課程で触れる程度で、「ビジネス」はあまり結び付けられてきませんでした。むしろ「専門性」「プロフェッショナル」といった事に注力を置いてきたと思います。しかし、「教養」のあるなしがビジネスにも関係するようになってきました。そこで、本番組では知識偏重の教養ではなく、実際に使える教養とは何か？論じていきます。

講師

★川上真史（ワトソンワイアット株式会社コンサルタント／早稲田大学　文学学術院　非常勤講師／株式会社アトラクスヒューマネージ　顧問）

京都大学教育学部教育心理学科卒業。産能総合研究所、ヘイ・コンサルティンググループを経て、現職。数多くの大手企業の人材マネジメント戦略、人事制度改革のコンサルティングに従事。また、ヒューマン・アセスメントの第一人者としてアセスメントプログラムの設計から実施に至るまでコンサルティングを展開している。

1	今、なぜ教養が注目されているのか
2	リベラル・アーツとは
3	音楽と教養 ゲスト：松田亜有子氏（東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部 部長）
4	科学と教養
5	教養としての宗教
6	推論の力を高める
7	教養を高める

社会人材への道

2014 年 7 月～2015 年 2 月

番組コンセプト

社会人材とは、生涯にわたり能力を発揮し続け、世の中の幸せの総量を増やし続ける人材と定義します。すなわち本来自分が持っている力を発揮し、社会に対して有益な価値を生み出すことのできる、精神的に自立した人間の事を言います。今後、人口減少により大きな社会変革が迫っている日本においては、このような社会人材を多く輩出していく事が必須といえるでしょう。
そこで本番組では野田稔氏を講師に迎えて、社会人材とは何か？社会人材として活躍していくための道筋をお話しいただきます。

講師

★野田稔(明治大学 大学院 グローバルビジネス研究科 教授／株式会社ジェイフィール代表取締役社長)
1981 年野村総合研究所入社。同社にて組織人事分野を中心に多数のプロジェクトマネージャーを勤め、経営コンサルティング一部長を経て、現職。 また、株式会社アミューズに所属しテレビ・ラジオ出演、著作・講演活動等でも活躍中

1	社会人材とは？
2	企業と社会人材
3	社会人材の変遷
4	企業と個人の関係
5	ミドルシニアの流動化
6	ミドルシニア活用の課題～TEIJIN の事例～ ゲスト：藤本治己氏（帝人株式会社人財開発・総務部長）
7	ミドルシニア活用の実際 ゲスト：田中尚雅氏（一般社団法人 社会人材学舎 理事 ファカルティ長）
8	40 歳定年制を考える ゲスト：柳川範之氏（東京大学大学院経済学研究科教授

＜組織・人事＞

ボーダーレス時代の組織・人事マネジメント

2014 年 8 月～2014 年 12 月

番組コンセプト

マーサーは組織・人事、福利厚生、年金、資産運用分野におけるサービスを提供するグローバル・コンサルティング・ファームで、日本においては、35 年余の豊富な実績とグローバル・ネットワークを活かし、あらゆる業種の企業・公共団体に対するサービス提供を行っています。本番組では、マーサージャパンのコンサルタントの方にご出演頂き、グローバル化した組織におけるリーダーシップ、ダイバーシティ、M&A を通じた成果送出、クロスボーダーM&A の組織・人事マネジメントといったテーマについてお話頂き、ボーダーレス時代の組織・人事マネジメントについて考えていきます。

講師

★古森 剛(マーサー ジャパン株式会社 シニア・フェロー/ファー・イースト地域代表 シニアパートナー)日本生命保険相互会社にて営業本部機構及び人事部門を経て、マッキンゼー・アンド・カンパニーに入社。国内外の企業に対する成長戦略、営業組織や研究開発組織のチェンジマネジメント、ガバナンス設計など、幅広い分野でのプロジェクトに多数従事。ヘルスケア業界および消費財・小売業界の研究グループに所属し、同社東京オフィスおよびニュージャージーオフィスにて勤務。
2005 年マーサージャパンに入社、2007 年 3 月に代表取締役社長就任。2010 年シニアパートナー昇格、2013 年 2 月より代表取締役、2014 年 8 月よりシニアフェロー。

★堀之内 順至(マーサージャパン株式会社 グローバル M&A コンサルティング部門 代表, パートナー)
企業統合・変革に伴う組織・人事機能の活性化支援・チェンジマネジメント、新規事業戦略の実行支援、中長期人財ポートフォリオ策定～構造改革施策策定支援、再編・統合に伴うプロジェクトマネジメント
推進(PMO)支援等について国内外企業でのプロジェクトリード経験を有する。最近では、日本企業の海外企業買収に伴う Pre-DD/Post-DD のプランニング支援、多国籍に渡る事業買収に伴う全体プランニング・クロージング実行支援、日本－海外企業の JV 設立支援等をリード。
慶應丸の内シティキャンパスなど講演・セミナー、「M&A Review」「人材教育」など執筆・寄稿多数。
『合併・買収の統合実務ハンドブック』(共著)。
慶應義塾大学経済学部卒、マサチューセッツ工科大学経営学修士(MBA)修了。

★竹田 年朗(マーサージャパン株式会社 グローバルM＆Aコンサルティング部門プリンシパル)
株式会社大林組、マッキンゼー・アンド・カンパニー、ワトソンワイアット 、ベイン・アンド・カンパニーを経て現職。
日本企業の海外企業買収に対して、デュー・デリジェンスから PMI まで、幅広い支援を提供している。特に最近は、買収後のガバナンス・マネジメント体制の構築、インテグレーション、海外子会社の地域再編、人事と戦略に関するグループガバナンスなどをテーマとしている。
2009 年 12 月から M&A 専門誌「MARR」にて、毎月論文を連載中。著書に「クロスボーダーM&A の組織・人事マネジメント」(中央経済社刊、第 7 回 M&A フォーラム賞奨励賞受賞)などがある。クロスボーダーM&A に関するセミナーも、積極的に行っている。

1	グローバル化した組織における日本発人材のリーダーシップ ～自己の個性の再認識と異環境への適応～ 講師：古森剛
2	M&A を通じた日本企業の成果創出 講師：堀之内順至
3	クロスボーダーM&A の勘所（１） ～HR デューデリジェンスと案件のクロージング～ 講師：竹田年朗
4	クロスボーダーM&A の勘所（２） ～経営者リテンションと経営者に対するガバナンス～ 講師：竹田年朗
5	ダイバーシティ・マネジメントの本質 ～「個」を活かすことができるか～ 講師： 古森剛

＜組織・人事＞

現在の人材輩出企業

2014 年 9 月～現在

番組コンセプト

2000 年代中ごろは、人材育成企業という事でコンサルティングファーム、リクルート出身の方から多くの起業家が生まれてきました。しかし 2000 年代後半から楽天、DeNA、CyberAgent 出身の起業家が目立つようになってきています。転職、独立、起業して活躍できる人材を生み出す企業は、社会・産業・技術進歩の度合いによって変わっていきます。企業が成長から成熟期に移る過程で輩出されるという傾向があります。

そこで本番組では、人材育成企業の変遷、今後の人材輩出企業になると思われる会社の方との議論を通じて、企業における人材育成、ビジネスパーソンとしての自己成長に関する示唆を提示していきます。

講師

★伊藤 豊（スローガン株式会社 代表取締役社長）

2000 年に日本 IBM に入社。システムエンジニア、関連会社にて新規ビジネス企画・プロダクトマネジャーを経て、本社のマーケティング部門にてプランニングワークに従事。2005 年末にスローガンを設立。「人の可能性を引き出し、才能を最適に配置することで、新産業を創出し続ける」をミッションに、新興成長企業への成長支援をヒューマンキャピタルを軸に実施。2014 年より投資事業を立ち上げ起業支援もおこなう。協力した著書に、『大手を蹴った若者が集まる知る人ぞ知る会社』（朝日新聞出版）がある。

1	人材輩出企業とは何か
2	ファインドスターの事例 ゲスト：内藤真一郎氏（株式会社ファインドスター代表取締役社長）

＜リーダーシップ＞

リーダーシップライブ

2013 年 12 月～現在

番組コンセプト

BBT では今までビジネス界から様々な方をゲストとしてお招きしてきました。しかしビジネス界以外の分野においても活躍されている方は数多くいらっしゃいます。そこで本番組では、ビジネスという枠をとりはずし、それぞれの分野で活躍されている方をスタジオにお招きし、「リーダーシップ」という観点から切り込んでお話をしていただきます。

講師

★門永 宗之助（ビジネス・ブレークスルー大学大学院教授／Intrinsics 代表）

東京大学工学部化学工学科卒、マサチューセッツ工科大学化学工学修士取得。千代田化工建設株式会社を経て 1986 年マッキンゼー・アンド・カンパニー入社。1992 年に同社パートナー。ヘルスケア研究グループのリーダーなどを歴任、2009 年 6 月同社退職。2009 年 3 月まで東京大学工学系研究所技術経営戦略専攻臨時講師を務める。現在、文部科学省 独立行政法人評価委員会 委員長(他、分科会・部会の会長兼務)。文部科学省科学技術・学術審議会基本計画特別委員会臨時委員。NPO 法人ヘルスケアリーダーシップ研究会相談役。複数の企業や団体の取締役や理事なども務める。

1	早稲田大学競走部の事例 ゲスト：渡辺康幸氏（早稲田大学競走部駅伝監督）
2	ゲスト：香西宏昭氏（プロ車椅子バスケットボールプレーヤー）
3	ゲスト：土屋了介氏
4	J リーグチェアマンの事例 ゲスト：村井満氏（公益社団法人日本プロサッカーリーグチェアマン）
5	海外医療ボランティア医師団の事例 ゲスト：吉岡秀人氏（小児外科医/特定非営利活動法人ジャパンハート代表）

＜イノベーション＞

イノベーションライブ

1998 年 10 月～2009 年 3 月

番組コンセプト

イノベーションをテーマに、竹内弘高、石倉洋子、一條和生、楠木建の４人の論客が、変革を遂げつつある企業のメカニズムを明らかにし革新への道案内をします。企業規模の大小に関わらず、事業構造、組織のマネジメント、経営戦略などについて具体的な事例を取り上げながら、旧秩序を創造的に破壊し新秩序を生み出す方法を伝授します。

主な講師

★竹内弘高（一橋大学大学院国際企業戦略研究科科長）

米カリフォルニア大学バークレー校経営大学院で修士号 （ＭＢＡ）、博士号(Ph．D)を取得。７６年より８３年までハーバード大学経営大学院 助教授。８７年より現職。著書に「企業の自己革新」「ベスト・プラックティス革命」がある。

★石倉洋子（一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授）

上智大学外国語学部卒業。米国バージニア大学にて MBA 取得後、日本人女性で初めてハーバード大学大学院にて DBA(経営学博士)を取得。1985-1992 マッキンゼー社で日本の大企業の戦略、組織、企業革新のコンサルティングに従事。その後大学院で経営戦略論、カーネギーメロン経営大学院と共同で行うマネジメントゲーム、テレビ会議を用いたケース討論などを担当。

★一條和生（一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授）

日本における知識創造理論の権威の一人。１９９６年には「ダイヤモンド・ハーバードビジネス」が行ったアンケート調査で、研修トレーニングに企業からよく求められる２０人の大学教師の一人に選ばれている。一橋大学社会学研究科博士課程卒業。ミシガン大学経営大学院にて博士号（経営学）。専門は組織論。

★楠木建（一橋大学大学院国際企業戦略研究科准教授）

一橋大学商学部にて博士課程終了。エレクトロニクス産業を中心に、製品開発などを対象にしたイノベーションの組織能力の研究を行う。

◆竹内弘高シリーズ（講師：竹内弘高）

1998 年 10 月～2009 年 3 月

1	日本企業の新製品開発における５０年の変遷　～時代と共に変わる競争優位の源泉～
2	イノベーションの源泉としての企業の知識創造（１）　～理論編～
3	イノベーションの源泉としての企業の知識創造（２）　～応用編～
4	コーポレート・グローバル・シチズンシップ　～地球市民としての企業～
5	シリコンバレーに学ぶイノベーションのダイナミズム（１）
6	シリコンバレーに学ぶイノベーションのダイナミズム（２）
7	製品開発革新　～マーケティング革新の時代～
8	コーポレート・アイデンティティーの開発
9	Creativity（創造力）
10	戦略論におけるハーバード vs. スタンフォードの対立

11	顧客が信者に変わる時
12	Experience Economy
13	企業教育におけるイノベーション ゲスト：古川和氏（ティーチング・キッズ・トゥ・ラブ・ディ・アース）
14	日本型競争モデルの再検討
15	「ウォー・フォー・タレント（War For Talent）」時代の到来
16	意思決定力をどうはぐくむか？ ゲスト：中許善弘氏（ジュニア・アチーブメント本部専任理事）
17	ワールド・クラスのＭＢＡプログラムをつくる
18	企業の社員教育を問う
19	ダボス会議の教訓
20	英語力は昇進・昇給の基準？
21	ポーター賞の創設と新しい日本　～新しい日本を作るには新しい賞を作れ～
22	産学協同　～一橋大学の取り組み～
23	日本企業の戦略性とポーター賞 ゲスト： ◆　　亀谷勉氏（ランドーアソシエイツインターナショナルリミテッド　クリエイティブ・ディレクター） ・大薗恵美氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科　専任講師）
24	第一回ポーター賞受賞企業シリーズ（３）　～キヤノン株式会社レンズ事業部～ ゲスト： ・徳原満広氏（キヤノン株式会社イメージコミュニケーション事業本部レンズ事業部事業部長） ・佐々木広之氏（同　レンズ事業企画部部長）
25	日本再生、国際競争力強化の鍵を握るビジネス・スクール ゲスト：田口元一氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科ＩＴディレクター）
26	ワールドカップサッカーというイノベーション
27	ソーシャル・アントレプレナー ゲスト： ・垣見一雅氏（「ＯＫバジ」） ・川田英樹氏（一橋大学大学院ＭＢＡ第１期卒業生）
28	第二回ポーター賞受賞企業シリーズ（１）　～イノベーション大国・日本～ ゲスト：大薗恵美氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授）
29	第二回ポーター賞受賞企業シリーズ（４）　～オリックス株式会社一般ファイナンス事業部門～ ゲスト：レスリー・Ｆ・ホイ氏（オリックス株式会社社長室広報グループ課長）
30	企業経営とコンプライアンス ゲスト：茅野みつる氏（伊藤忠商事株式会社法務部コーポレート・カウンセル）
31	グローバリゼーションにおける日本の敗北
32	世界を舞台に活躍する日本人プロ ゲスト：服部茂章氏（レーシングドライバー）
33	出でよ！　平成の坂本竜馬！ ゲスト：西岡郁夫氏（モバイル・インターネットキャピタル株式会社代表取締役社長）
34	第三回ポーター賞受賞企業シリーズ（１）　～優れた戦略とは～ ゲスト：大薗恵美氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授）
35	第三回ポーター賞受賞企業シリーズ（５）　～株式会社セブン-イレブン・ジャパン～ ゲスト：大薗恵美氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授）
36	熱気集団　Honda ゲスト：小林三郎氏（本田技研工業株式会社経営企画部部長）
37	企業の社会貢献活動　～日本アムウェイの取り組み～ ゲスト：岩城淳子氏（日本アムウェイ株式会社社会貢献担当副本部長）
38	企業永続の秘訣 ゲスト：舩橋晴雄氏（シリウス・インスティテュート株式会社代表取締役）
39	世界の中心で愛を語る
40	第四回ポーター賞受賞企業シリーズ（１）　戦略とトレードオフ ゲスト：大薗恵美氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授）
41	社会人大学院の新たなる試み
42	世界に通じる着こなしの基本
43	東ハトの再生 ゲスト：辺見芳弘氏（株式会社東ハト 代表取締役社長）
44	イノベーション戦略の新しい発想
45	TOKORO 奨学金 ゲスト：所源亮氏（アリジェン株式会社代表取締役社長） 石川由季子氏（一橋大学院国際企業戦略研究科 MBA 課程１年）
46	第五回ポーター賞受賞企業シリーズ（１）戦略とトレードオフ ゲスト：大薗恵美氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授）
47	第五回ポーター賞受賞企業シリーズ（５）～大洋薬品工業株式会社～ ゲスト：新谷重樹氏（大洋薬品工業株式会社 代表取締役）
48	イノベーション最新情報
49	バンガロールからの教訓 ゲスト：ベンカタラマン・スリラム氏（インフォシステクノロジーズ　リミテッド アジア太平洋部門代表）
50	日本の次世代リーダー ゲスト：中許善弘氏（ジュニア・アチーブメント本部 専務執行役理事）
51	第六回ポーター賞受賞企業シリーズ（１）ユニークな戦略 ゲスト：大薗恵美氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授）
52	第六回ポーター賞受賞企業シリーズ（４） ～ブックオフコーポレーション株式会社～ ゲスト：坂本孝氏（ブックオフコーポレーション株式会社 代表取締役会長兼 CEO　）■
53	グローバル時代のリーダー育成
54	新しい国づくりに向けたイノベーション ゲスト：波多野琢磨氏（在アラブ首長国連邦大使）
55	ミッション経営のすすめ■
56	国際舞台の就職戦線におけるイノベーション ゲスト：稲田英理子氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科ＭＢＡプレイスメント・ディレクター）
57	第七回ポーター賞受賞企業シリーズ（１）　知られざる優位性 ゲスト：大薗恵美氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科准教授）
58	今年のダボス会議を振り返る
59	UAE におけるイノベーション ゲスト：サレム・アル・マリ氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科　院生）
60	トヨタの知識創造経営 ～矛盾と衝突の経営モデル～ ゲスト：大薗恵美（一橋大学大学院国際企業戦略研究科准教授）
61	教養の復権 ゲスト：松田義幸氏（尚美学園大学学長）
62	ローソン・チャレンジ ゲスト：新浪剛史氏（株式会社ローソン 代表取締役社長ＣＥＯ）
63	第八回ポーター賞受賞企業シリーズ（１）～逆境に強いオンリーワン戦略～ ゲスト：大薗恵美氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科 准教授）
64	次なるチャレンジ ～総集編～

◆石倉洋子シリーズ（講師：石倉洋子）

1998 年 11 月～2009 年 3 月

1	イノベーションと競争
2	業界の融合と独占
3	インターネットとイノベーション
4	ＰＣ業界のイノベーター　～デルコンピュータ～
5	電気通信業界のイノベーター　～ＭＣＩワールドコム～ ゲスト：池内健浩氏（ＭＣＩワールドコム・ジャパン株式会社代表取締役会長）●
6	情報通信業界のイノベーター　～リムネット～ ゲスト：小林隆氏（株式会社リムネット代表取締役社長）●
7	インターネットを用いたイノベーション　～楽天市場～ ゲスト：三木谷浩史氏（株式会社エム・ディー・エム代表取締役社長）
8	アパレル流通業界におけるイノベーション　～しまむら～
9	成熟業界におけるグローバルなイノベーション　～ＡＢＢ～
10	ノキア　～多くの変化が起こっている移動体通信分野での世界的リーダー～●
11	変身を遂げるヘルスケア業界 ゲスト：太田薫正氏（株式会社ケアネット情報システム事業本部企画部長）
12	ヘルスケア業界におけるイノベーション ゲスト：日野原重明氏（聖路加国際病院理事長／財団法人ライフ・プランニング・センター理事長）
13	アメリカ製薬業界におけるイノベーション
14	文房具業界におけるイノベーション　～アスクルの事例～
15	人材の能力開発、教育分野におけるイノベーション ゲスト：坂手康志氏（株式会社ＩＱ３代表取締役社長）
16	スポーツビジネスにおける最近の変化とイノベーション ゲスト：大門孝行氏（日本ラクロス協会理事）
17	グローバル・リテラシーとイノベーション ゲスト：出張勝也氏（株式会社オデッセイコミュニケーションズ代表取締役社長）
18	チーム・マネジメントのイノベーション：音楽の世界からビジネスへ　～指揮者のいないオーケストラ～
19	e-ビジネスのフロンティア　～Autobytel をケースで学ぶ（１）～▲
20	e-ビジネスのフロンティア　～Autobytel をケースで学ぶ（２）～▲
21	ブランド経営のイノベーション　～LVMH と GUCCI の戦略をディベートで学ぶ（１）～
22	ブランド経営のイノベーション　～LVMH と GUCCI の戦略をディベートで学ぶ（２）～
23	イノベーションを迫る「場」
24	第一回ポーター賞受賞企業シリーズ（４）　～ＨＯＹＡ株式会社ビジョンケアカンパニー～ ゲスト：久喜智氏（ＨＯＹＡ株式会社ビジョンケアカンパニー　プレジデント）
25	活性化するお茶市場におけるイノベーション
26	アパレル業界のイノベーター　～ケーススタディ：ユニクロのこれまでと今後（１）～
27	アパレル業界のイノベーター　～ケーススタディ：ユニクロのこれまでと今後（２）～
28	ハイテクやカタカナ業界や大企業でなくても、イノベーションは可能
29	世界レベルでのイノベーション　～デジタルカメラの事例～●
30	第二回ポーター賞受賞企業シリーズ（３）　～武田薬品工業株式会社～
31	産業クラスター（１）
32	産業クラスター（２）　～ＴＡＭＡ協会の事例～ ゲスト：岡崎英人氏（社団法人首都圏産業活性化協会（ＴＡＭＡ協会）事務局長）
33	産業クラスター（３）　～北海道クラスターとベンチャーキャピタルの役割～ ゲスト：松田一敬氏（北海道ベンチャーキャピタル株式会社代表取締役社長）
34	産業クラスター（４）　～近畿バイオクラスターと大学発ベンチャーの役割～ ゲスト：小谷均氏（アンジェスエムジー株式会社取締役副社長／ジェノミディア株式会社代表取締役社長）
35	演劇界のイノベーション ～創立５０周年を迎えた劇団四季の絶えざるイノベーション～
36	第三回ポーター賞受賞企業シリーズ（３）　～株式会社駿河銀行～ ゲスト：岡野光喜氏（スルガ銀行代表取締役社長兼ＣＥＯ）
37	スペイン出身のグローバル・アパレル企業　～ＺＡＲＡ～
38	フィンランドとノキア
39	ワイン業界におけるイノベーション
40	営業の理　～東京リコー「売る」の変革～ ゲスト：相澤将之氏（東京リコー株式会社取締役相談役）
41	日本の大学から発信するイノベーションと地域の特色 ゲスト：松島克守氏（東京大学工学部 総合研究機構 機構長 教授）
42	イノベーションの源泉？である「場所」「大学」「個人」 ゲスト：堀場雅夫氏（株式会社堀場製作所取締役会長）
43	第四回ポーター賞受賞企業シリーズ（3）～大同生命保険株式会社～ ゲスト：倉持治夫氏（大同生命保険株式会社取締役社長）
44	如何に自分をイノベートするか ～問題意識をもつ/常に実践する～
45	如何に自分をイノベートするか（２）～即興劇から学ぶ～
46	時代を先取りするイノベーション ～高齢化時代のサービスサイエンスとは～ ゲスト：久野譜也氏 （筑波大学大学院 人間総合研究所 助教授/株式会社つくばウエルネスリサーチ 代表取締役社長）
47	科学技術分野のイノベーション：学術会議の改革 ゲスト：黒川清氏（日本学術会議会長、東京大学先端科学技術研究センター客員教授、東海大学教授）
48	第五回ポーター賞受賞企業シリーズ（３）～株式会社 堀場製作所～ ゲスト：堀場厚氏（株式会社堀場製作所代表取締役会長兼社長）
49	科学･技術と未来 ゲスト：毛利衛（日本科学未来館館長）▲
50	いかに自分を常に革新し、国際派プロフェッショナルになるか
51	科学をビジネスに　～日本科学未来館のビジネスモデル～ ゲスト：毛利衛氏（日本科学未来館館長）▲
52	世界レベルのイノベーション・エコシステムとは
53	ハイテク･イノベーションのホットスポット ～経済のグローバル化が進む中、バンガロールや台湾など地域が台頭するのはなぜか～
54	第六回ポーター賞受賞企業シリーズ（２） ～日本電産株式会社～
55	イノベーティブなビジネスマンのキャリアとライフスタイル ～24 時間 7 日体制の世界でイノベーティブなキャリアとライフスタイルを実現するには～ ゲスト：吉越浩一郎氏（吉越事務所代表）
56	Web2.0 時代、イノベーティブになるには？ ゲスト：佐々木かをり氏 （株式会社イー･ウーマン代表取締役社長/株式会社ユニカルインターナショナル代表取締役社長）
57	イノベーション 25 と世界における日本の位置づけ ゲスト：黒川清氏（内閣特別顧問 科学技術 イノベーション担当）
58	GIES 2007　イノベーションの潮流の中の世界と日本 ～世界がイノベーションへ向かっている中日本はどこへいくのか？
59	病院経営におけるイノベーション ゲスト：麻生泰氏（株式会社 麻生 代表取締役社長）
60	第七回ポーター賞受賞企業シリーズ（３）～株式会社良品計画～ ゲスト：松井忠三氏（株式会社良品計画代表取締役社長兼執行役員）
61	技術の力とビジネスマンに必要なスキル
62	消費者を巻き込んだイノベーション ゲスト：西山浩平氏（エレファントデザイン株式会社代表取締役）
63	今日と明日のリーダーの対話 ～スイスの St.Gallen シンポジウム～ ゲスト：フィリップ・クーン・レニエー氏（サンガレン・シンポジウム リレーションシップ・マネジャー）
64	素材のイノベーション ～炭素繊維～ ゲスト：吉永稔氏（東レ株式会社 生産本部参事）
65	第八回ポーター賞受賞企業シリーズ（３）～オイシックス株式会社～ ゲスト：高島宏平氏（オイシックス株式会社 代表取締役社長）
66	個人にも組織にも「戦略シフト」の時代 ゲスト：小暮真久氏（NPO 法人 TABLE FOR TWO 事務局長）
67	第九回ポーター賞受賞企業シリーズ（３）～株式会社ポイント～ ゲスト：石井稔晃氏（株式会社ポイント 代表取締役社長）

◆一條和生シリーズ（講師：一條和生）

1998年11月～2009年3月

1	ルールブレーキング（１）（２）　～旧秩序の創造的破壊を経て生まれる新秩序～
2	ルールブレーキング（３）　～新秩序の原則：近代を超えて～
3	ルールブレーキング（４）　～知的資本の最大活用をめざす～
4	ルールブレーキング（５）　～変革を名実共に実行に移す：リーダーシップ・エンジンを組織に作る～
5	ソニー　～デジタル時代の競争戦略～●
6	ニュー系列　～インターネット時代のビジネスモデル～
7	トヨタのイノベーション　～自動車会社はいかなる進化を目指しているか～
8	ナレッジ・マネジメントを通じた競争優位性
9	インターネット＆ニュービジネスモデル　～ＩＢＭの変身～●
10	プライスラインが提示する新しいコマース・モデル●
11	idea lab：インターネットにおける知識創造のプラットフォーム●
12	「デルのダイレクト・モデル」再考
13	経営のシステム化が問われる日本企業●
14	２１世紀を切り開く企業　～今、彼らにとって最大の関心は何か～●
15	目覚め出した伝統企業・ネット化に向けて邁進（１）●
16	目覚め出した伝統企業・ネット化に向けて邁進（２）●
17	ファッション産業を近代化するワールドの変革（１）
18	ファッション産業を近代化するワールドの変革（２）
19	企業が重視すべき三つの価値：株主価値、社員価値、顧客価値
20	「知識の搾取」と「知識の創造」：知識創造企業にとって重要な二つの活動
21	ＩＴとリーダー革命（１）
22	ＩＴとリーダー革命（２）
23	ＩＴ革命成功の条件：Business Architecture と Social Architecture の同時並行的改革
24	組織のイマジネーションとコミュニケーション：事業創造に不可欠な二つの組織能力
25	Ｅ－ＣＲＭ：顧客知を価値に変える
26	ネットワーク時代の価値創造：インターネット時代にデファクト・スタンダードはいかにして形成されるか
27	日本企業における人材育成に関する新潮流
28	ＳＩＰＳの最新動向●
29	ＣＲＭとブランディング
30	シックスシグマ：成功の秘訣
31	ナレッジ・マネジメントからナレッジ・イネーブリングへ　～真の知識創造企業をめざして～
32	カルチャー作りの担い手としてのリーダー：ドットコム・クラッシュに学ぶ
33	リーダーシップとオーソリティー　～なぜカルロス・ゴーンは改革に成功したのか～
34	リーダーとマネジャー　～違いはどこにあるのか～
35	ナレッジ・イネーブリング：正と負の無形資産
36	日産の改革：何が成功要因なのか　～ＣＦＴに注目して～●
37	社員の考える力を高める：なぜトヨタは強いのか　～無形資産経営と関連づけて～●
38	ビジョン再考：企業の成長にとってビジョンはどのような役割を果たすべきなのか●
39	安易に走らない：日本の製造業の問題から経営の本質を探る●
40	チームワーク再考：日本は何を大事にして改革しないといけないか（１）
41	チームワーク再考：日本は何を大事にして改革しないといけないか（２）
42	新しいパラダイム、新しい組織
43	ＩＭＤによる世界各国の競争力調査：日本の何が問題か（１）　～知識創造理論に基づく分析～●
44	ＩＭＤによる世界各国の競争力調査：日本の何が問題か（２）　～知識創造理論に基づく分析～●
45	ＩＭＤによる世界各国の競争力調査：日本の何が問題か（３）　～知識創造理論に基づく分析～●
46	「ぴあ」第三のイノベーション：出版業から感動創造企業へ●
47	顧客視点での組織再構築●
48	イノベーションのジレンマを克服する（１）
49	イノベーションのジレンマを克服する（２）
50	イノベーションの実践：組織全階層でのリーダーシップ
51	変革のマネジメント：Repeat Small Wins
52	イニシアチブで変革をスタートする：変革実践のためのワークシート
53	ナレッジのブラックボックス化：アーキテクチャの産業論を題材に
54	Execution：経営の鍵は実行にある
55	Global Leadership：ＩＭＤ世界競争力調査に見る
56	Management by Values：組織活動における価値観の役割
57	Global Leadership Development
58	バランスト・スコアカード：成功のための７つのポイント
59	戦略とテクノロジー・マネジメント（１）：インテルから学ぶ
60	戦略とテクノロジー・マネジメント（２）：インテルから学ぶ
61	企業の成長戦略　～グローバリゼーション下で企業の成長を考える～
62	第三回ポーター賞受賞企業シリーズ（２）　～トレンドマイクロ株式会社～ ゲスト：大三川彰彦氏（トレンドマイクロ株式会社執行役員日本代表）
63	Global Growth Strategy●
64	新しい競争の条件：感性と業界を動かす力 自動車業界の新しい動き、そして iPOD に見る競争優位のフロンティア●
65	競争優位としてのカルチャー・競争劣位としてのカルチャー●
66	ＧＥの業務運営メカニズム　～変革を持続させる～
67	変革はビジョンから始まる
68	日本企業の復活：Ｔｒｕｅ　ｏｒ　ｎｏｔ？
69	企業変革のプロフェッショナル
70	レクサス　～北米ナンバーワン高級車ブランドへの道のり～
71	歴史ある企業における新規事業創造　～ネスプレッソのケース～
72	イノベーションと認識の変化
73	Deep Dive　～IDEO の Innovation を起こす方法論～
74	リーダーシップ・サイクル
75	On Demand ～IBM の成長戦略～
76	Leadership for Execution
77	Learn Local, Act Global　～グローバルビジネスの創造に向けて～
78	継続的にイノベーションを行う企業 ～花王～ ゲスト：今村哲也氏（元花王株式会社執行役員）
79	Sony vs. Samsung　～イノベーションの覇権を争う～
80	イノベーションの源泉
81	韓国企業のイノベーション
82	Virtuoso Teams スーパースター･チームのマネジメント
83	グローバル企業を目指した変革のリーダーシップ
84	人材で競争に勝つトヨタのケーススタディー
85	Global Marketing Strategies in Shiseido ゲスト：原良一氏（株式会社資生堂 国際事業部 国際マーケティング部長 兼 アジアパシフィック部長）
86	日本企業 グローバリゼーションへの課題
87	日本企業　グローバリゼーションでの新展開
88	DMM ダイナミック・マネジメントミックス：新しい経営パラダイム　（１）
89	DMM ダイナミック・マネジメントミックス：新しい経営パラダイム　（２）
90	変革のマネジメント
91	イノベーションを起こした経営改革 ゲスト：鈴木忠雄氏（メルシャン株式会社取締役相談役）
92	グローバルリーダーシップ開発の現場から
93	変革へのチャレンジ
94	組織を動かすリーダーシップ
95	New　GE
96	Inorganic Strategy
97	21 世紀の知識創造経営
98	シャドーワーク実践のすすめ ゲスト：徳岡晃一郎氏（フライシュマンヒラードジャパン株式会社 パートナー シニアヴァイスプレジデント）
99	Lexus:ヨーロッパにおける挑戦
100	グローバル企業のマネジメント
101	Must Win Battle　競争に絶対に勝つ実行計画

102	Must Win Battle-競争に絶対に勝つ実行計画(2)
103	Must Win Battle-競争に絶対に勝つ実行計画(3)
104	経営上のジレンマの克服
105	課題解決のためのステップとツール
106	グローバル戦略とそのマネジメント ～ネスレ～
107	グローバル戦略とそのマネジメント（２）～P&G～
108	コーポレート・ガバナンスにおけるイノベーション
109	第七回ポーター賞受賞企業シリーズ（４）～カイハラ株式会社～ ゲスト：貝原潤司氏（カイハラ株式会社代表取締役社長）
110	新しいリーダーシップ　～リーダーシップとリーダーシップスタイル～
111	サイズを強みに活かす： エクセレント・カンパニーの戦略、組織、マネジメント
112	尊敬される企業
113	グローバル・リーダーシップ
114	カルチャーとリーダーシップ（1）
115	カルチャーとリーダーシップ（2）
116	無機的成長戦略でイノベーション （１）戦略的アライアンス
117	無機的成長戦略でイノベーション （２）効果的なポスト・マージャー・インテグレーション
118	知識創造のリーダーシップ
119	知識創造のリーダーシップ（2）
120	第八回ポーター賞受賞企業シリーズ（４）～東海バネ工業株式会社～ ゲスト：渡辺良機氏（東海バネ工業株式会社 代表取締役）
121	思い出に残る言葉
122	第九回ポーター賞受賞企業シリーズ（２）～プロパティデータバンク株式会社～ ゲスト：板谷敏正氏（プロパティデータバンク株式会社 代表取締役社長）

◆楠木建シリーズ（講師：楠木建）

1998年10月～2009年3月

1	イノベーションのメカニズム　～「組織」と「市場」～
2	顧客価値志向のイノベーション（１）
3	顧客価値志向のイノベーション（２） ゲスト：郡山龍氏（株式会社アプリックス代表取締役社長）
4	イノベーションとリスクへの挑戦 ゲスト：鈴木尚氏（株式会社デジキューブ代表取締役社長）■
5	ビジネス・イノベーターの条件 ゲスト：酒井雅子氏（未来証券株式会社取締役）
6	Ｅコマースのイノベーション　～インターネット・リテイルの勝ち組の条件～
7	イノベーションのためのキャリア形成
8	コーポレート・アーキテクチャーのイノベーション ゲスト： ・吉田憲一郎氏（ソニー株式会社経営戦略部） ・佐々木繁範氏（ソニー株式会社経営戦略部）●
9	コンセプト創造のための組織モデル ゲスト：小島雄一氏（ソニー株式会社ブロードキャスト＆プロフェッショナルシステムカムパニーシステムプラットフォーム部門ディスクシステム部総括部長）●
10	大学教育のイノベーション●
11	ブランドビジネスのイノベーション ゲスト：吉田勝彦氏（ザ・スーパーモデルプロェジェクト代表／株式会社吉武取締役）
12	ドッグ・イヤーの中でのイノベーション ゲスト：辻野晃一郎氏（ソニー株式会社パーソナルＩＴネットワークカンパニーＩＴＣデスクトップコンピューター部）
13	もう一つのＩＴプラットフォーム ゲスト：松永真理氏（ＮＴＴ移動通信網株式会社モバイルマルチメディア事業本部ゲートウェイビジネス部企画室長）
14	今そこにある起業家精神（前編） ゲスト：床次隆志氏（株式会社エイブルコミュニケーション代表取締役）●
15	今そこにある起業家精神（後編） ゲスト：床次隆志氏（株式会社エイブルコミュニケーション代表取締役）●
16	シリコンバレーモデルの本質　～コンセプトの創造と進化～
17	「やわらかいアーキテクチャー」のマネジメント ゲスト：丸山茂雄氏（株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント代表取締役社長）
18	百貨店における顧客価値の革新 ゲスト： ・富永佳乃氏（西武百貨店商品部婦人服飾二部・三部部長／元有楽町西武店長） ・佐藤宏美氏（一橋大学商学部）
19	ソリューション・ビジネスにおけるイノベーション　～サービスからエクスペリエンスへ～
20	シリコンバレーにおけるコンセプト創造　～佐武氏に聞く～ ゲスト：佐武廣夫氏（伊藤忠テクノサイエンス株式会社取締役会長）
21	コーポレートガバナンスのイノベーション（１） ゲスト：伊藤建彦氏（日本精工株式会社社外取締役）
22	コーポレートガバナンスのイノベーション（２） ゲスト：伊藤建彦氏（日本精工株式会社社外取締役）
23	「戦略論」のイノベーション
24	戦略転換の駆動輪　～ＦＦそれともＦＲ？～
25	ダイナミック・ケイパビリティー：企業イノベーションの組織能力
26	新しい個と組織の関係を求めて ゲスト：藤原和博氏（株式会社リクルートフェロー）
27	企業文化と競争優位　～サウスウエスト航空の事例～
28	e-Learningの可能性と課題 ゲスト：渡邊信光氏（株式会社リクルートＨＲＤ企画室e-Learning担当マネージャー）
29	ビジネスとボランティアの接点　～考学舎の試み～ ゲスト：坂本聰氏（有限会社考学舎代表取締役）
30	ＩＴの企業戦略へのインパクト　～ビジネス・アーキテクチャーの視点から考える～

31	今こそ！　政界にイノベーションの風を！ ゲスト：江田憲司氏（元内閣総理大臣秘書官）●
32	日本のビジネススクール：競争力再生のための人材育成に向けて
33	ビジネスモデルで競争する　～半導体業界におけるロームの戦略～ ゲスト：高須秀視氏（ローム株式会社取締役半導体研究開発本部本部長）
34	基礎研究の新しいモード ゲスト：北野宏明氏（ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー／科学技術振興事業団 ERATO 北野共生システムプロジェクト総括責任者）●
35	ロボカップの可能性 ゲスト： ・北野宏明氏（ロボカップ国際委員会委員長） ・石黒周氏（ロボカップ国際委員会チーフビジネスオフィサー）●
36	ネットビジネスの経験価値 ゲスト：井出光裕氏（株式会社リアラス　代表取締役社長兼ＣＥＯ）
37	ＣＲＭによる差別化と顧客維持　～リッツ・カールトンのケース～
38	ミクロからみる構造改革　～医療制度のイノベーション～ ゲスト：西村紳二郎氏（中央ファーストデンタルクリニック院長）●
39	ミクロからみる構造改革　～官僚機構の創造的破壊～ ゲスト：新原浩朗氏（経済産業省政策企画官）●
40	第一回ポーター賞受賞企業シリーズ（１）　～マブチモーター株式会社～ ゲスト： ・亀井愼二氏（マブチモーター株式会社　代表取締役専務） ・北橋昭彦氏（同　経営企画室室長）
41	第一回ポーター賞受賞企業シリーズ（２）　～松井証券株式会社～ ゲスト：松井道夫氏（松井証券株式会社　代表取締役社長）
42	ビジネス・アーキテクチャーを考える　～ベネッセコーポレーションの事例～
43	何が構造改革を阻むのか ゲスト：江田憲司氏（元内閣総理大臣秘書官／桐蔭横浜大学教授）●
44	ビジネス・アーキテクチャーを考える　～スターバックスの競争優位～
45	ＩＴとビジネス・アーキテクチャー　～ウェブバンの挫折からの教訓～
46	ターンアラウンドとマルチ・ブランド戦略　～グッチ・グループの事例～
47	ミクロからみる構造改革　～中学・高校教育のイノベーション（１）～ ゲスト：漆紫穂子氏（品川女子学院副校長）●
48	ミクロからみる構造改革　～中学・高校教育のイノベーション（２）～ ゲスト：小嶋隆氏（株式会社日能研関東取締役副社長）●
49	競争優位への２つのルート：ＳＰかＯＣか
50	ＲＢＶ（リソースベーストビュー）からみた「優れた経営者」 ゲスト：藤田勉氏（日興ソロモン・スミス・バーニー証券会社株式調査部ストラテジスト）
51	コンセプト基点の経営戦略　～際コーポーレーションの事例～ ゲスト：中島武氏（際コーポレーション株式会社代表取締役社長）
52	第二回ポーター賞受賞企業シリーズ（２）　～アスクル株式会社～ ゲスト：久原義己氏（アスクル株式会社広報室長・環境品質マネジメント室長）
53	次元の見えない競争とコンセプトのイノベーション　～ソニー「コクーン」の事例～ ゲスト：辻野晃一郎氏（ソニー株式会社ネットワークターミナルソリューションカンパニープレジデント）
54	次元の見えない競争とコンセプトのイノベーション　～ソーホーズ・ホスピタリティ・グループの事例～ ゲスト：月川蘇豊氏（株式会社ソーホーズ・ホスピタリティ・グループ代表取締役社長）■
55	次元の見えない競争とコンセプトのイノベーション　～ソニー「ＡＩＢＯ」の事例～ ゲスト：天貝佐登史氏（ソニー株式会社エンタテインメントロボットカンパニープレジデント）
56	政治と政界のイノベーション ゲスト：江田憲司氏（衆議院議員／桐蔭横浜大学教授）●
57	次元の見えない競争　～ミュージック・ビジネスのイノベーション～ ゲスト：丸山茂雄氏（株式会社に・よん・ななみゅーじっく代表取締役社長／エグゼクティブ・プロデューサー）
58	次元の見えない競争　～北米市場でのポケモンの成功～
59	次元の見えない競争　～玉子屋のお弁当サービスのイノベーション～ ゲスト：菅原勇一郎氏（株式会社玉子屋代表取締役副社長）
60	次元の見えない競争　～ソリューション・ビジネスの本質とは？～ ゲスト：今枝昌宏氏（ＩＢＭビジネスコンサルティングサービス　アジアパシフィック）
61	次元の見えない競争　～人材サービス事業におけるインテリジェンスの事例～ ゲスト：鎌田和彦氏（株式会社インテリジェンス代表取締役社長）●
62	次元の見えない競争　～ファッション業界におけるベネトン ジャパンの事例～ ゲスト：渡辺教子氏（ベネトン ジャパン株式会社取締役広報宣伝部長）
63	次元の見えない競争　～デザインで勝つ日産の戦略～ ゲスト：中村史郎氏（日産自動車株式会社常務デザイン本部長）▲
64	次元の見えない競争　～バンダイ「ガシャポン」の事例～ ゲスト：川口勝氏（株式会社バンダイ執行役員ベンダー事業部ゼネラルマネージャー）
65	第三回ポーター賞受賞企業シリーズ（４）　～株式会社シマノ　バイシクルコンポーネンツ事業部～ ゲスト：島野容三氏（株式会社シマノ代表取締役社長）
66	ビジネスモデルのイノベーション　 ～ガリバーインターナショナルの事例～ ゲスト：村田育生氏（株式会社ガリバーインターナショナル代表取締役副社長）●
67	見えない次元：イノベーションの新しいパラダイム（１）
68	見えない次元：イノベーションの新しいパラダイム（２）
69	次元の見えない競争　～タワーレコードの事例～ ゲスト：森脇明夫氏（タワーレコード株式会社代表取締役社長）
70	次元の見えない競争　～ネット・ベンチャーのその後～ ゲスト：井手光裕氏（株式会社リアラス代表取締役社長兼 CEO）
71	次元の見えない競争　～ナルミヤ・インターナショナルの事例～ ゲスト：成宮雄三氏（株式会社ナルミヤ・インターナショナル代表取締役社長）
72	働く女性の身の置き方 ゲスト：酒井雅子氏（有限会社社会責任投資研究所取締役社長）
73	次元の見えない競争　～ネット・ベンチャーのその後／カフェグローブの事例～■
74	WTP を上げる３つの論理　～脱コモディティー化の戦略を考える～
75	次元の見えない競争　～期待に応えるか、期待を超えるか～ ゲスト：岸田雅裕氏（株式会社ローランド・ベルガー　パートナー）
76	第四回ポーター賞受賞企業シリーズ（２）～フェニックス電機株式会社～ ゲスト：斉藤定一氏（フェニックス電機株式会社代表取締役社長）
77	ビジネス・アーキテクチャー　～戦略の「かたち」と「ながれ」～
78	ビジネス・アーキテクチャー　～アリジェン株式会社の事例～ ゲスト：所源亮（アリジェン株式会社代表取締役社長）
79	次元の見えない競争 ～ナムコ「アーケードゲーム」の事例～ ゲスト：石川祝男氏（株式会社ナムコ代表取締役副社長 コンテンツ事業管掌）
80	ビジネス・アーキテクチャー ～建設業界の事例～ ゲスト：岐部一誠氏（前田建設工業株式会社 経営管理本部 総合企画部 部長）
81	ビジネス・アーキテクチャー ～デル株式会社の事例～ ゲスト：浜田 宏氏（デル株式会社　代表取締役社長 ）
82	コンプライアンス革命 ゲスト：郷原信郎（桐蔭横浜大学法科大学院教授／桐蔭横浜大学コンプライアンス研究センター長）
83	モジュラー･アーキテクチャーの罠 ～リナックスの事例～
84	次元の見えない競争 ～アップルコンピュータの事例～ ゲスト：前刀禎明氏（アップルコンピュータ代表取締役）
85	次元の見えない競争 ～ZMP NUVO の事例～ ゲスト：谷口恒氏（株式会社 ZMP 代表取締役社長）
86	ビジネス・アーキテクチャー ～水平分業の終焉～ ゲスト：山本直樹氏（A.T.カーニー株式会社 ヴァイスプレジデント）
87	ビジネス・アーキテクチャー ～焼酎ルネッサンスの事例～ ゲスト：中村鉄哉氏（三井物産株式会社九州マーケティング営業部 営業部長）
88	第五回ポーター賞受賞企業シリーズ（２）～株式会社 ベネッセコーポレーション～ ゲスト：福島保氏（株式会社ベネッセコーポレーション執行役員専務）
89	第五回ポーター賞受賞企業シリーズ（４）～株式会社 バンダイ～ ゲスト：上野和典氏（株式会社バンダイ代表取締役社長）
90	カテゴリー・イノベーション：脱コモディティー化の論理
91	次元が見えるか見えないか　～二つの世界と二種類の住人～ ゲスト：鈴木潤氏（ＹＪブラザース・アンド・カンパニー　代表取締役）
92	次元の見えない競争 ～資本政策を再考する～ ゲスト：水留浩一氏（株式会社ローランド・ベルガー代表取締役日本代表）
93	次元の見えない競争 ～ILM の OCEANS の事例～ ゲスト：大久保清彦氏（株式会社インターナショナル・ラグジュアリー・メディア オーシャンズ編集長）
94	ビジネスモデルと成長戦略　～ガリバーインタナショナルの事例～ ゲスト：村田育生氏（株式会社ガリバーインターナショナル専務取締役）

95	ビジネスモデルのイノベーション ～ZARAの事例～
96	次元の見えない競争 ～日本テレコムのICTソリューションの事例～ ゲスト：安川新一郎氏（日本テレコム株式会社執行役員 インターネット・データ事業本部 事業本部長）
97	次元の見えない競争 ～コンサルティングの戦略とプロフェッショナルのマネジメント～ ゲスト：今枝昌宏氏（コンサルタント）
98	次元の見えない競争 ～セコム医療システムの事例～ ゲスト：小幡文雄氏（セコム医療システム株式会社社長）▲
99	次元の見えない競争 ～バンダイ・たまごっちの事例～ ゲスト：入江耕氏（株式会社バンダイ執行役員 チーフたまごっちオフィサー（ＣＴＯ））
100	次元の見えない競争 ～アドビ システムズの事例～ ゲスト：伊藤かつら氏（アドビ システムズ株式会社 マーケティング本部長）
101	第六回ポーター賞受賞企業シリーズ（３） ～株式会社ガリバーインターナショナル～ ゲスト：羽鳥兼市氏（株式会社ガリバーインターナショナル 代表取締役社長）
102	次元の見えない競争 ～早稲田大学ラグビー部の事例～ ゲスト：中竹竜二氏（早稲田大学ラグビー部監督）
103	次元の見えない競争・特別編 丸山茂雄氏に聞く　価値創造のリーダーシップとスタイル（１）～音楽というビジネス～ ゲスト：丸山茂雄氏 （株式会社 に・よん・なな・みゅーじっく 代表取締役 エグゼクティブ・プロデューサー）
104	次元の見えない競争・特別編 丸山茂雄氏に聞く　価値創造のリーダーシップとスタイル（２） ～「面白さ」を創造する組織とリーダーシップ～ ゲスト：丸山茂雄氏 （株式会社 に・よん・なな・みゅーじっく 代表取締役 エグゼクティブ・プロデューサー）
105	次元の見えない競争 ～株式会社オールアバウトの事例～ ゲスト：江幡哲也氏（株式会社オールアバウト代表取締役社長兼CEO）
106	次元の見えない競争 ～ゴールドマン・サックスにおける個人向け金融商品の事例～ ゲスト：土居雅紹氏（ゴールドマン・サックス証券株式会社エクイティ部門ｅコマース部長）
107	次元の見えない競争～おカネをめぐる消費者の行動～ ゲスト：西村俊彦氏（株式会社オールアバウト金融領域事業部事業部長）
108	次元の見えない競争　～株式会社ウィンキューブの事例～ ゲスト：鈴木潤氏（株式会社ウィンキューブ代表取締役社長）
109	ビジネスモデルのイノベーション　～シダックス株式会社の事例～▲ ゲスト：志太勤一 氏（シダックス株式会社 代表取締役社長）
110	次元の見えない競争 ～株式会社バンダイ人事部の事例～ ゲスト：常見陽平氏（株式会社バンダイ人事部 人材開発チーム新卒採用担当）
111	プロフェッショナルの生き方（1）　～ビジネスコンサルタント編～ ゲスト：金巻龍一氏（IBMビジネスコンサルティングサービス株式会社 常務取締役 パートナー）
112	第七回ポーター賞受賞企業シリーズ（2）～マルホ株式会社～ ゲスト：高木幸一氏（マルホ株式会社代表取締役社長）
113	プロフェッショナルの生き方（2） ～エコノミスト編～ ゲスト：山川哲史氏（ゴールドマン・サックス証券株式会社日本経済担当チーフ・エコノミスト）
114	プロフェッショナルの生き方（3） ～M&Aアドバイザリー編～ ゲスト：佐山展生氏（GCAホールディングス株式会社代表取締役）
115	プロフェッショナルの生き方（4）～弁護士編～ ゲスト：石綿　学氏（森・濱田松本法律事務所　弁護士）
116	プロフェッショナルの生き方（5）～経営コンサルタント編～ ゲスト：菅野 寛 氏（ボストン コンサルティング グループ パートナー＆マネージング・ディレクター）
117	プロフェッショナルの生き方（6）～法律家編～ ゲスト：伊藤真氏（伊藤塾塾長　弁護士）
118	プロフェッショナルの生き方（7）～チームリーダー編～ ゲスト：遠藤紀彦氏（株式会社リクルート　進学カンパニー　進路サポート部　ゼネラルマネジャー）
119	システム再定義としてのイノベーション
120	プロフェッショナルの生き方（8）～女性ベンチャー経営者編～ ゲスト：飯野直子氏（医療情報総合研究所　代表取締役社長）
121	会社のかたち ～コーポレート戦略のイノベーション～ ゲスト：今枝 昌宏氏（ＲＨＪインターナショナル・ジャパン ヴァイス･プレジデント）
122	プロフェッショナルの生き方（9） ～M&Aアドバイザリー編～ ゲスト：泉朋行氏（ＧＣＡサヴィアン株式会社 アソシエイト・ディレクター） 杉浦清美氏（ＧＣＡサヴィアン株式会社 コンサルタント）
123	第八回ポーター賞受賞企業シリーズ（２）～マニー株式会社～ ゲスト：松谷正明氏（マニー株式会社 取締役 兼 代表執行役社長）
124	プロフェッショナルの生き方（10） ～コンテンツプロデューサー編～ ゲスト：鈴木尚氏（楽天株式会社 取締役執行役員）
125	イノベーションの本質 ～総集編～

<イノベーション>

知的財産とイノベーション

2004年11月～2005年6月

番組コンセプト

最近、「知的財産」という言葉への関心が、とみに高まっています。政府も2002年7月「知的財産戦略大綱」をまとめたのを皮切りに、いまや総理を本部長とする「知的財産戦略本部」を組成するなど、この分野での政策強化を図っています。しかし、企業経営の観点から、この問題をどのように捉え、どのように対処していくべきか、となると、多くの経営者が戸惑いを隠せないでいます。或いは、知的財産部のような専門家に任せておけばよい、とタカを括っている人も少なくありません。
本シリーズにおいては、この問題を極力わかりやすく解説・整理し、経営者やビジネスリーダーに肝所を掴んで頂くことを狙いとしています。一方では、法律家をはじめ、この分野を専門とする方々には、企業経営者の真の悩みや課題を、改めてご理解頂ければ幸いです。すなわち、リーガルの世界とマネジメントの世界に橋を架けることが目的です

講師

★西浦裕二（アリックスパートナーズ 日本代表）

⇒プロフィールは「経営者の構想力」（19ページ）参照

1	知的財産法制度・諸政策の動向 ゲスト：中山信弘氏（東京大学法学部・法政治学研究科教授）
2	「日本」としての知的財産戦略 ゲスト：中山信弘氏（東京大学法学部・法政治学研究科教授）
3	特許侵害への対応　～攻撃と防御～ ゲスト：鈴木邦三氏 （日本テキサス・インスツルメンツ株式会社 法務知的財産本部 日本法務知的財産本部長）
4	グローバル企業の知財マネジメント ゲスト：鈴木邦三氏 （日本テキサス・インスツルメンツ株式会社 法務知的財産本部 日本法務知的財産本部長）
5	「攻めの知財」と「守りの知財」 ゲスト：丸島儀一氏（キヤノン株式会社顧問）
6	知財立社から知財立国へ ゲスト：丸島儀一氏（キヤノン株式会社顧問）
7	グローバルな視点から見た特許制度 ゲスト：竹中俊子氏（ワシントン大学ロースクール教授）
8	特許制度・紛争と国境 ゲスト：竹中俊子氏（ワシントン大学ロースクール教授）

<イノベーション>

日本発の価値創造

2009年5月～2010年5月

番組コンセプト

世界的なグローバル化や国際標準への適応が経営上の重要課題として取り沙汰されることが多い今日であるが、そのグローバル化へのバイアスが、真の競争優位を阻害しているとは言えないだろうか。
本来、戦略とは他社との違いをつくり、ユニークであることを志向するものであり、それが価値創造の本質であるはずである。グローバル企業であるトヨタも欧米の先行企業とは異なる独自のローカリティがあったからこそ自らが世界標準となり真のグローバリティを獲得するに至ったのである。「日本発の価値創造」の鍵を明らかにし、あらためて日本というプラットフォームの可能性を探る。

講師

★楠木 建（一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授）

一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授
専攻はイノベーションのマネジメント。新しいものを生み出す組織や戦略について研究している。とくにコンセプトを創造する組織やリーダーシップに関心をもっている。一橋大学大学院商学研究科博士課程修了(1992)。一橋大学商学部専任講師(1992)、同大学同学部およびイノベーション研究センター助教授(1996)を経て、2000年から現職。 主な著書に『Managing Industrial Knowledge』(共著・Sage 2001)、『ビジネス・アーキテクチャ』(共著・有斐閣 2001)、『知識とイノベーション』(共著・東洋経済新報社 2001) など。論文多数。

1	日本発の価値創造 ～Accuphase～ ゲスト：齋藤重正氏（アキュフェーズ株式会社 代表取締役社長・ＣＥＯ）
2	日本発の価値創造 ～日産 GT-R～ ゲスト：水野和敏氏（日産自動車株式会社 Chief Vehicle Engineer & Chief Product Specialist）
3	日本発の価値創造 ～京都花街～ ゲスト：西尾久美子氏（京都女子大学現代社会学部 准教授）
4	日本発の価値創造 ～太陽経済～ ゲスト：山﨑養世氏（一般社団法人太陽経済の会 代表理事）
5	日本発の価値創造 ～ガリバーインターナショナル～ ゲスト：村田育生氏（株式会社ガリバーインターナショナル 顧問）
6	日本発の価値創造 ～プロダクションＩ．Ｇ～ ゲスト：石川光久氏（株式会社ＩＧポート 代表取締役社長）
7	日本発の価値創造 ～AdMob～ ゲスト：ジョン・ラーゲリン氏（AdMob株式会社 代表取締役社長）
8	日本発の価値創造 ～KUMON～ ゲスト：角田秋生氏（株式会社公文教育研究会 代表取締役社長）
9	日本発の価値創造 ～Coller Capital～ ゲスト：水野弘道氏（コラーキャピタル パートナー）
10	日本発の価値創造 ～amadana～ ゲスト：熊本浩志氏（株式会社リアル・フリート 代表取締役社長）
11	日本発の価値創造 ～味千ラーメン～ ゲスト：重光悦枝氏（重光産業株式会社 取締役広報室長）

<イノベーション>

イノベーションが世界を変える

2012 年 4 月～2012 年 6 月

番組コンセプト

現代のビジネスを取り巻く環境は、ＩＴの大きなうねりの中、イノベーションが鍵となることが少なくない。当番組は、うねりの発起点ともいえるシリコンバレーで、長年、日本企業へ未来事業のコンサルティングを提供しているプロフェッショナルをお招きし、シリコンバレー型イノベーションについて考察する。イノベーションの現状をアメリカと日本とで比較させながら、その根幹部分から解説する。

講師

★校條 浩(マッケンナグループ パートナー)

コニカ株式会社にて新製品開発・新規事業開発に従事した後、ＭＩＴマイクロシステムズ技術研究所客員研究員、ボストン・コンサルティング・グループ東京支社を経て、1991 年に再渡米。シリコンバレーの有力ベンチャーキャピタルと連携し日米企業間の戦略提携を進める。1994 年、マッケンナ・グループ（旧社名レジス・マッケンナ・インク）に日本担当プリンシパルとして入社。1996 年同社パートナーに就任。現在に至る。

研究開発、経営戦略立案、国際事業提携、ベンチャービジネス援助等の幅広い分野を統合し、同社日本企業グループ代表としてハイテク分野の事業開発・マーケティグ及びＩＴベースのリアルタイム経営に特化したコンサルティングに注力している。

1	シリコンバレー的イノベーション
2	進化し続けるシリコンバレー
3	リーン・イノベーション

<イノベーション>

日本企業のグローバル成長

2013 年 3 月～2013 年 4 月

番組コンセプト

日本国内のマーケットが縮小する中、右肩上がりの成長を求められる企業にとって、グローバル化は避けられません。 そこで本番組では、一橋大学国際企業戦略研究科教授であり、企業のグローバル展開に詳しい一條和生氏をお迎えして、日本企業のグローバル化における最新事情をお伝えします。

講師

★一條和生(一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授)

日本における知識創造理論の権威の一人。1996 年には、ダイヤモンド・ハーバードビジネスが行ったアンケート調査で、研修トレーニングに企業からよく求められる 20 人の大学教師の一人に選ばれている。一橋大学社会学研究科博士課程卒業。ミシガン大学経営大学院にて博士号（経営学)。専門は組織論

1	Ｇｌｏｂａｌ Ｂｕｓｉｎｅｓｓ Ｇｒｏｗｔｈ ～変革のプロセスとしてのグローバル化～
2	カルビーの成長戦略 ゲスト：松本晃氏（カルビー株式会社 代表取締役会長兼ＣＥＯ

<イノベーション>

途上国をターゲットとした イノベーション

2013年4月～2013年8月

番組コンセプト

開発途上国といえば、主に国連やJICAなどの援助機関が主なアクターであり、営利企業が進出するということは非常に限られていた。しかし、過去10年で、様々なスタートアップが立ち上がり、貧困層の生活を改善するシンプルなテクノロジーが出現してきた。コペルニクは、これらのテクノロジーをラストマイルに届け、貧困を削減するお手伝いを行っている。 一方、日本の企業は業績の悪化で、途上国・新興国それも、農村部を含めた市場に可能性を見出し、様々な試みを行っている。そして、既に途上国で活動をしているコペルニクとのパートナーシップにより市場へ理解を深め、参入の足掛かりをつくることに興味をもっている。当番組では、コペルニクの活動を通じて、途上国の現状、ニーズ、既存のソリューション、そして、日本企業の可能性について紹介したい。

講師

★中村 俊裕（コペルニク共同創設者・CEO） 国連にて国際開発援助で幅広い経験をもつ。過去10年は東ティモール、インドネシア、シエラレオネ、アメリカ、スイスを拠点とし、主に国連開発計画で働く。ガバナンス改革、平和構築、自然災害後の復興（スマトラ沖地震など）、国連改革などに従事。シエラレオネでは、「開かれた政府」プロジェクトを発案し、立ち上げ、大統領や主要大臣のアカウンタビリティーを強化した。前職はマッキンゼー東京支社で経営コンサルタント。京都大学法学部卒業。英国ロンドン経済政治学院で比較政治学修士号取得。大阪大学大学院国際公共政策研究科招へい准教授。2012年、世界経済会議（ダボス会議）のヤング・グローバル・リーダーに選出された。

1	５つの分野でのニーズを考える
2	４つの分野でのテクノロジーを考える
3	テクノロジー導入後のインパクト評価
4	日本企業の課題と解決策　ゲスト: Lisa Heederik（Co-Founder and Director Business Development, Nazawa ）
5	NPOのこれからのあり方 ～ベネッセの事例～ ゲスト：三木貴穂氏（株式会社ベネッセホールディングス グローバルソーシャルイノベーション部 部長）

<イノベーション>

成功するオープン・イノベーション

2014年3月～2014年7月

番組コンセプト

製品や技術が多様化、高度化、複雑化する中で、企業内部と外部のアイデアを有機的に結合させ、価値を創造するオープンイノベーション。
本番組では、学者の研究対象や個別成功事例の紹介にとどまらず、視聴者の皆様の会社でも実践可能な成果に結びつく経営システムである事をお伝えします。

講師

★諏訪 暁彦(ナインシグマ・ジャパン 代表取締役)
米マサチューセッツ工科大学大学院　材料工学部修了。マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク・ジャパン、日本総合研究所を経て、2006年に技術仲介・コンサルティング会社、ナインシグマ・ジャパンを設立し、代表取締役社長に就任。米NineSigma Inc.取締役を兼務。これまで国内50社以上の大手メーカーのオープン・イノベーションを支援してきた実績を持つ。

1	オープン・イノベーションの考え方と適用範囲
2	オープン・イノベーション活動の詳細な流れ
3	目指すべきオープン・イノベーションの姿 ゲスト：尾関雄治氏（東レ株式会社 渉外企画室 部長代理）
4	機能するオープン・イノベーション・システムを確立するまでの道のり ゲスト：尾道一哉氏（味の素株式会社 常務執行役員 研究開発企画部長）
5	自社技術の新規用途開拓におけるオープン・イノベーションの活用可能性

<イノベーション>

スマートフォン時代の ビジネス・イノベーション

2014年4月～2014年8月

番組コンセプト

スマートフォンの普及に伴って求められるビジネスモデルの変革について、講義、事例研究を通じて、さまざまな業種での具体的な取り組みを分析し理解を深めます。
番組講師として、ＮＴＴドコモの創立メンバーとして、また日本の携帯電話市場進展のコアにいた辻村氏をお迎えし、２０１２年まで務めたドコモエンジニアリング社副社長としての経営者視点から、スマートフォン時代のビジネス・イノベーションの本質を紹介します。あわせて、第一線の実務家を招いて、経営現場における課題を共有するとともに今後の展開を議論していきます。

講師

★辻村　清行（ドコモエンジニアリング株式会社　代表取締役社長）

1975年日本電信電話公社入社。1992年7月にNTT移動通信網株式会社（現株式会社NTTドコモ）へ転籍。ドコモ設立メンバーの一人として、ドコモの急成長を牽引し、2001年同社取締役国際ビジネス部長、2004年常務取締役経営企画部長、2005年取締役常務執行役員プロダクト＆サービス本部長、2008年代表取締役副社長を歴任。2012年6月よりドコモエンジニアリング株式会社代表取締役社長。

1	モバイルパワー総論
2	コマース分野におけるリアルとネットの融合
3	セブン＆アイ・ホールディングスのオムニチャネル戦略 ゲスト：鈴木康弘氏（株式会社セブン＆アイ・ネットメディア 代表取締役社長）
4	金融分野におけるリアルとネットの融合
5	マス・メディアとソーシャル・メディア分野におけるリアルとネットの融合

マーケティングライブ

1998 年 10 月～2005 年 6 月

番組コンセプト

マーケティングはビジネスの現場でたいへん重要視されている反面、その理論をきちんと理解し、実践に生かしている人は少ないのも現実です。この番組では、現代マーケティングの最先端を行く理論を集め、そのケース研究を進めることにより、最新理論を習得し、かつその実践の参考にできるような内容となっています。また、「カスタマーズ・アイ＝お客様の視点に立つ」をキーワードに、今の流行や社会現象の具体的事例にスポットあて、その背景とマーケティング戦略、効果についても解説していきます。

主な講師

★谷口正和（株式会社ジャパンライフデザインシステムズ代表取締役社長）

武蔵野美術大学造形学部産業デザイン科卒業。コンセプトプロデュースから経営コンサルテーションまで幅広く活躍。「CS ミサワホームの挑戦」「遊び力をつける」などの多数の著書がある。

★御立尚資（株式会社ボストン・コンサルティング・グループ 日本代表）

⇒プロフィールは「戦略構想力　～頭の使い方を身につける～」(19 ページ) 参照

★田中洋（中央大学ビジネススクール教授）

電通本社マーケティング局マーケティング・ディレクター（部長）を経て、現職（消費者行動論・国際マーケティング論担当）。多くの多国籍業のコンサルティングを経験。日本における実務的ブランドマーケティングの権威の一人として近年その発言は注目されている。

★嶋口充輝（慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授）

1967 年慶應義塾大学経済学部卒業、ミシガン州立大学ＭＢＡ、同博士課程修了（経営博士号)、慶応義塾大学大学院商学研究科修士課程修了、同博士課程修了。

★荒川圭基（ジェリコ・ソフト・ブレーン代表取締役社長）

慶応義塾大学商学部卒業。日本 NCR、マイカルを経て、８３年に独立。総合情報・顧客管理などのコンサルティング会社ジェリコ・コンサルティングとシステム開発会社ジェリコ・ソフト・ブレーンを設立。現在は百貨店、専門店チェーン、印刷会社などに対してデータベース・マーケティングのコンサルティング、フリークエント・ショッパー・プログラム・システムの開発・導入などを行っている。

★小川進（神戸大学経営学部助教授）

神戸大学大学院経営学研究科を修了した後、１９９４年よりマサチューセッツ工科大学（ＭＩＴ）スローン経営大学院に留学。１９９８年経営学博士号取得。新進気鋭のマーケティング学者として多方面にて活躍中。コンビニエンスストアなど新しい流通システムについて論文を多数発表。

★三石玲子（M&M研究所代表）

東京大学文学部社会心理学科卒。流通業等を経て住友ビジネスコンサルティング（現日本総研）入社。主任研究員としてマーケティングコンサルティングに携わる。カード戦略研究チームリーダー 、顧客政策研究チームリーダーを経て、1992 年独立しビジネスアナリストとしての活動を始めるとともにサイバービジネス研究に着手。

★恩蔵直人（早稲田大学商学部教授／博士（商学))

⇒プロフィールは「ビジネス基礎講座　マーケティング・マネジメント」(82 ページ) 参照

★上田隆穂（学習院大学経済学部教授）

1978 年東京大学経済学部経済学科卒業後、株式会社東燃に入社。1980 年に同社を退職し、一橋大学大学院商学研究科に進む。1985 年一橋大学商学部助手、1986 年学習院大学経済学部専任講師、1987 年助教授を経て 1992 年より現職。

★桑原武夫（慶應義塾大学総合政策学部助教授）

★杉田浩章（株式会社ボストン・コンサルティング・グループ　シニア・パートナーアンド マネージング・ディレクター・オブ・ジャパン）

東京工学大学工学部卒。慶應義塾大学経営学修士（ＭＢＡ)。株式会社日本交通公社（ＪＴＢ）を経て現在に至る。消費財、流通及びハイテク、金融サービス企業を中心に、事業立ち上げ及び再構築、マーケティング戦略、営業改革、組織･人事改革、グループマネジメント等のプロジェクトを手掛けている。BCG Worldwide Consumer Practice Group(コンシューマービジネスに関するエキスパートグループ)のコアメンバー。

★今村英明（株式会社ボストン・コンサルティング・グループ　シニア・パートナーアンド マネージング・ディレクター、中部・関西代表）

東京大学経済学部卒。スタンフォード大学経営学修士(MBA)。台湾国立師範大学及び台湾大学にて中国文化研究。三菱商事株式会社、及び、世界銀行を経て現在に至る。 素材、エネルギー、ハイテク、情報通信等幅広い業界を担当している。

★本間充(花王株式会社 デジタルマーケティングセンター デジタルトレード室長　Web 広告研究会 代表幹事 東京大学大学院理学研究科 客員教授)

1992 年、花王に入社。1996 年まで、研究所に勤務。研究所では、UNIX マシーンや、スーパー・コンピューターを 使って、数値シミュレーションなどを行う。研究の傍ら、Web サーバーに遭遇し、花王社内での最初の Web サーバーを立ち上げる。1997 年から研究所を 離れ、本格的に Web を業務として取り組み、1999 年に Web 専業の部署を設立した。現在は、花王の Web の技術グループリーダーを務めている。新しい Web のコミュニケーションの検討・提案や、海外への展開なども担当し、広く花王グループの Web のコミュニケーションに関わっている。北海道大学卒業、 数学修士。日本数学会会員、社団法人 日本アドバタイザーズ協会 Web 広告研究会　代表幹事　オープン・モバイル・コンソーシアム　メンバー。

◆谷口正和シリーズ（講師：谷口正和）

1998 年 10 月～2003 年 9 月

スペシャル	カスタマーズ・アイ●
1	ＲＥ・マーケット●
2	２４×７　～連続する２４時間マーケット～●
3	Ｈ＆Ｂ●
4	スモールメリット●
5	セルフ式●
6	１９９９年のメイントレンド:エナジーゲット　生命力注入市場の到来●
7	ホームリクリエーション:我が家での楽しみがマーケットをつくる●
8	京都に学ぶ～～21 世紀を築く 1200 年の知恵に学ぶ～●
9	エリア・マネジメント～ホームグラウンド・サービスの充実～●
10	ベビー＆キッズ市場～少子化時代の企業戦略～●

11	エンターテイリング～エンターテイメントスピリットが市場を変える～●
12	企業経営とグッドデザイン●
13	クラブ・マーケティング●
14	ハッピー・マーケティング～気をポジティブに回すマーケティング・アクション●
15	願望私様～サービス化社会の頂点は‘独自’と‘固有性’●
16	エコ・マーケティング～未来に向けてつながり直すマーケット～●
17	日常の中の小さな課題に対する解決法が求められている～●
18	谷口正和のワンポイント・コンサルティング●
19	プロセス・ジャッジ●
20	感覚感性●
21	時間創造革命●
22	個性文化流通の時代へ●
23	理想現実●
24	予防戦線マーケット●
25	セカンド・コンセプト●
26	スマートモデライズ●
27	絵に描いた餅●
28	ライフスタイル・ツーリスト●
29	ピーカーの冒険●
30	セクレタリー・ボックス●
31	アテンション・プログラマー●
32	ワンワンテーブル●
33	思い出リサイクル●
34	ワンポイント・コンサルティング●
35	恋愛市場主義
36	スタート・アップ●
37	ピンスポット・ミー
38	ニッチタイム・プログラム●
39	ハイサイクル・マーケティング●
40	新体験市場
41	ワンクリエーション●
42	エモーショナリズム
43	アクト・ミニマム／シンク・マキシマム
44	ほめ鏡●
45	マインドエージング●
46	経験差市場●
47	編集マジック
48	借用の生命学
49	スローモード
50	エンディングファースト●
51	オコノミー●
52	興味研究家●
53	横浜＜Part1＞●
54	横浜＜Part2＞●
55	圧縮点火　～Compression ignition～
56	健康選別●
57	総集編
58	ニュートレンド１０●
59	チェンジタウン渋谷　～渋谷　Part1～
60	メディアシティー渋谷　～渋谷　Part2～●
61	Ｒ指定
62	エデン・コンセプト●
63	『最小単位』市場戦略
64	２１世紀の主婦マーケット ゲスト：あらかわ菜美氏（ライフデザインセンター代表／時間デザイナー）●
65	パワー・サプリメント
66	横織ＭＤ（よこおりmerchandising）●
67	サンプリング・ソサエティ●
68	Ｏ・Ｐ・Ｂ（オールド・パーソン・ビジネス）●
69	インサイド・トレンド
70	マニア・リテーラー
71	ディファレント・クリエーション●
72	ジャパン・リ・ディスカバリー
73	ハッピー・シグナル　～エンジェル・マーケティング～●
74	存在活用術
75	カスタマー・エージェント
76	プレゼンの成功法則（１）
77	パーソナル・プロモーション●
78	プレゼンの成功法則（２）
79	コレクタブル・ソース
80	先生の出前
81	所有の限界
82	デザイン・コレクション●
83	ワンコンテンツ・マーケティング
84	リ・エクスペリエンス●
85	シティ・ツーリズム（１）
86	総集編２００２●
87	コラボリューション
88	青春同窓会●
89	興味検索●
90	シティ・ツーリズム（２）：メディア・シティ・ツーリズム　～汐留～●
91	シティ・ツーリズム（３）：シティ・カルチャー・ツーリズム　～六本木～●
92	トゥー・ミー・インフレ
93	ドラマタイジング●
94	プチ・レッスン・ホリデー

◆データベースマーケティング（講師：荒川圭基）

1999 年 10 月～12 月

1	データベースマーケティングについて　～なぜデータベースマーケティングなのか～●
2	お客様分類方式　～ＲＦＭセルコード手法～●
3	フリークエント・ショッパー・プログラム●
4	パーミッション・マーケティング●
5	ＷＥＢマーケティング●
6	カスタマー・リレーションシップ・マーケティング●

◆ブランド戦略（講師：田中洋）

2000 年 1 月～3 月

1	ブランド戦略入門●
2	ブランドを創る●
3	ＳＨＩＳＥＩＤＯのブランド戦略価値創造戦略 ゲスト：酒井剛氏（株式会社資生堂ブランドエクイティー管理室長）●
4	サービス業のブランド戦略　～フェデックスの事例～ ゲスト：松信章子氏（フェデラルエクスプレス北太平洋地区マーケティング担当マネージング・ディレクター）●
5	ブランド管理の課題●
6	E-branding／グローバルブランドの構築とマネジメント ゲスト：岩村水樹氏（日本ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン株式会社シニアアソシエイト）●

◆流通企業の変革（講師：小川進）

2000年5月～7月

1	サプライチェーンからデマンドチェーンへ ゲスト：柳井正氏（株式会社ファーストリテイリング代表取締役社長）●
2	返品ゼロへの挑戦 ゲスト：大公一郎氏（ダイカ株式会社代表取締役社長）●
3	ネットワークが変える流通 ゲスト：松本秀雄氏（ＮＥＣ第三ソリューション営業事業本部長）●
4	顧客第一主義 ゲスト： ・久保允誉氏（株式会社デオデオ代表取締役社長） ・妹尾芳隆氏（株式会社デオデオ取締役）●
5	営業の革新・組織の革新 ゲスト：大西潔氏（オフィス・ピーアンドシー代表取締役社長）●
6	巨大化したコンビニの死角 ゲスト：泉澤豊氏（株式会社ＣＶＳベイエリア代表取締役社長）●

◆ＷＥＢマーケティング（講師：三石玲子）

2000年9月～11月

1	ＷＥＢマーケティング総論●
2	顧客開発と顧客情報収集 ゲスト：佐々木伸氏（ソニー生命保険販売企画部Ｅマーケティング室主事）●
3	リテンションのマーケティング●
4	チャネル支援にweb活用 ゲスト：小城武彦氏（株式会社ツタヤオンライン代表取締役社長）●
5	e-mailマーケティング ゲスト：山内善行氏（カレン代表取締役社長）●
6	e-branding ゲスト：國賀敬人氏（リクルート「ＩＳＩＺＥ」副編集長）●

◆マーケティング・ルネサンス（講師：御立尚資）

2001年4月～9月

1	マーケティング・ルネサンス
2	カスタマー・アクイジション
3	ｅ－ロイヤリティ
4	金融マーケティング（１） ゲスト：面川秀之氏（日興ビーンズ証券株式会社取締役／チーフ・オペレーティング・オフィサー／事業推進部長）
5	金融マーケティング（２）
6	マーケティングマインド

◆コモディティ化への対応（講師：恩蔵直人）

2001年6月～7月

1	パッケージの革新
2	経験価値の提供と感動の創造

◆ポストモダン・マーケティング（講師：桑原武夫）

2001年8月～9月

1	ポストモダン・マーケティング●
2	マイクロノード・マーケティング ゲスト：星哲夫氏（インターネットノード株式会社代表取締役社長）●

◆プライス・マネジメントの理論（講師：上田隆穂）

2001年10月～11月

1	プライス・マネジメントの理論（１）●
2	プライス・マネジメントの理論（２）●

◆デフレ・サバイバル戦略（講師：御立尚資）

2001年10月～2002年3月

1	経営者にとってのデフレ
2	デフレを追い越す・低価格ビジネスモデル（１）
3	デフレを追い越す・低価格ビジネスモデル（２）
4	デフレに棹差す・プレミアム戦略
5	デフレ下の優良企業・アセットプロダクティビティ
6	デフレ・サバイバルに向けて

◆マーケティング・アンビション（講師：嶋口充輝）

2002年4月～9月

1	ゲスト：伊藤瞭介氏（ゼファー株式会社代表取締役社長）
2	ゲスト：生田昌弘氏（株式会社キノトローブ代表取締役社長）
3	ゲスト：上野照博氏（株式会社インターメスティック代表取締役社長）
4	ゲスト：永山治氏（中外製薬株式会社代表取締役社長）
5	ゲスト：勝又基夫氏（千葉トヨペット株式会社代表取締役社長）
6	ゲスト：園山征夫氏（株式会社ベルシステム２４代表取締役会長兼社長）

◆ブランドを創った人々（講師：田中洋）

2002年10月～2003年3月

1	“ミスターＫ”　～「Ｚ」にかける情熱～ ゲスト：片山豊氏（ニッサン・モータースポーツインターナショナル株式会社オノラリーメンバー）
2	グローバルブランドの本質 ゲスト：小出寛子氏（日本リーバ株式会社取締役・粧業品マーケティング本部長）▲
3	湯布院を愛する人々（前編） ゲスト： ・溝口薫平氏（「由布院　玉の湯」主人／湯布院町商工会会長） ・藤林晃司氏（「山荘　無量塔（むらた）」主人／由布院温泉観光協会副会長）●
4	湯布院を愛する人々（後編） ゲスト： ・中谷健太郎氏（「亀の井別荘」主人） ・新江憲一氏（「草庵　秋桜」料理長）●
5	ソニー　～強力なグローバルブランドの創造と発展～ ゲスト：大木充氏（ソニー株式会社上席常務）▲

6	資生堂：老舗ブランドの「継承」と「革新」　～優れたブランドの条件～ ゲスト： ・福原義春氏（株式会社資生堂名誉会長） ・永嶋久子氏（資生堂美容技術専門学校校長）

◆プライシング・マネジメント（講師：御立尚資）

2003 年 4 月～9 月

1	今何故プライシングか
2	実現価格を上げる：販促コストマネジメント
3	顧客単価を上げる：「何を買ってもらうのか」
4	顧客メリットに価格を合わせる：プレシジョンプライシング
5	価格マネジメントできる組織
6	まとめ

◆ニューラグジュアリーブランドの創造（講師：杉田浩章）

2003 年 10 月～2004 年 3 月

1	ワンランクアップの消費行動の拡がり
2	ニューラグジュアリー台頭の背景
3	米国での先進事例
4	日本での先進事例
5	ニューラグジュアリー構築のポイント
6	価格競争からの脱出　～まとめ～

◆営業 TQM ～現場革新手法の確立～（講師：杉田浩章）

2004 年 7 月～9 月

1	営業現場変革マネジメントの必要性
2	消費財メーカーにおける営業ＴＱＭの実際 ゲスト：二神軍平氏（ユニ・チャームペットケア株式会社代表取締役社長）▲
3	会員型通信販売事業での応用例 ゲスト：西川正明氏（株式会社再春館製薬所代表取締役社長）

◆B2B マーケティング（講師：今村英明）

2005 年 1 月～6 月

1	B2B マーケティング概論
2	医薬品マーケティング ゲスト：矢吹博隆氏（株式会社ボストン コンサルティング グループ　ヴァイスプレジデント）
3	コモディティ・マーケティング ゲスト：重竹尚基氏（株式会社ボストン・コンサルティング・グループ　ヴァイスプレジデント）
4	高機能部材マーケティング ゲスト：椿　進氏（株式会社ボストン・コンサルティング・グループ　ヴァイスプレジデント）
5	法人サービスマーケティング ゲスト：本島康史氏（株式会社ボストン・コンサルティング・グループ　ヴァイスプレジデント）
6	Ｂ２Ｂマーケティング　まとめ

◆デジタルで変わるマーケティング・メディア（講師: 本間 充）

2014 年 4 月～2015 年 2 月

1	デジタルで変わるマーケティング・メディア
2	伝えるということ！ ゲスト：鹿毛康司氏（エステー株式会社 宣伝担当執行役 クリエイティブ・ディレクター）
3	サッポロビールのソーシャルコミュニケーション戦略 ゲスト：森 勇一氏（サッポロビール株式会社 営業戦略部デジタルマーケティング室 主任）
4	ネットビジネスに挑むクレディセゾン ゲスト：磯部泰之氏（株式会社クレディセゾン ネット事業部 マーケティング部長
5	ＪＡＬ ＳＮＳの取り組み ～Ｆａｃｅｂｏｏｋで伝えたい想い～ ゲスト：桑崎彩子氏（日本航空株式会社 Ｗｅｂ販売部 アシスタントマネジャー）
6	日本企業がグローバルマーケティングで成功するための経験則 ゲスト：大泉裕樹氏（株式会社ＬＩＸＩＬ 執行役員 グローバルマーケティング部長）
7	ＭＵＪＩデジタルマーケティングの展望 ゲスト：奥谷孝司氏（株式会社良品計画 ＷＥＢ事業部長）
8	第２回ＷＥＢグランプリ特集 ゲスト：田中滋子氏（ＷＥＢ広告研究会 Ｗｅｂグランプリ プロジェクトリーダー）
9	ぐっとこないものをつくるな ～変わるブランドとエージェンシーの関係～ ゲスト：北風 勝氏（株式会社博報堂 執行役員 エグゼクティブクリエイティブディレクター）

＜マーケティング＞

売れない時代に売る仕組み

1998 年 11 月～1999 年 4 月

番組コンセプト

物が売れないと言われる今だからこそアイディアが必要です。商品を売りまくる企画作りや売り上げアップに即効力を持つ具体的ノウハウを、企画塾代表で数々の企画を成功に導いてきた企画の達人高橋憲行氏が惜しみなく伝授します。

講師

★高橋憲行（「企画塾」代表）

京都工芸繊維大学大学院修了。商品企画、新事業、マーケティングの分野で多数のプロジェクトに関与すると同時に、官公庁、自治体のプロジェクトも数多く手掛ける。現在のビジネスを進める上で必要不可欠な企画書のスタイルと体系をつくり、広く影響を与えたことから、「企画の達人」とも「企画の仕掛人」とも呼ばれる。

1	飲食業の成功の秘訣▲
2	効果的なDM(ダイレクト･メール)の秘訣▲
3	収益向上のためのマーケティング〈例:ファッション店〉▲
4	高額商品を売る方法（１）▲
5	高額商品を売る方法（２）▲
6	顧客〈会員･専門家〉の組織化の方法▲
7	金券による囲い込み戦略▲
8	シェアを拡大させる方法▲
9	営業における ICS（顧客内シェア）の分析▲
10	営業における ICO（顧客内順位）分析▲
11	ICO（顧客内順位）の分析と ICS（顧客内シェア）の分析▲
12	時間市場を考える〈２４時間コンビニ／家電･ファッション販売〉▲
13	不良在庫になってしまった商品を売る方法▲
14	不良在庫を売る：オズボーン法▲
15	高額商品を売る：組み合わせの展開▲
16	コアコンセプト営業生産性▲
17	時間市場を考える▲

＜マーケティング＞

マーケティングとメディアの新たな生態系

2008 年 6 月～2008 年 11 月

番組コンセプト

日本の消費者のメディア接触行動は大きく変化したが、マーケター、メディア、マーケティング・エージェンシーの行動がその変化に対応しきれているとは言い難い。マーケティングの世界は、今後どうなっていくのだろうか。本シリーズでは、マーケティングの「生態系」の変化と考え、特にマーケターの視点から新たな生態系におけるマーケティング活動のあり方を考える。第１回では、米国での消費者調査により消費者のメディア接触行動の変化を確認し､マーケターやメディア企業が取るべき方向性について考える。

講師

★岸本 義之（ブーズ・アンド・カンパニー株式会社 ディレクター）

東京大学経済学部卒業、ノースウェスタン大学ＭＢＡ、慶応義塾大学大学院経営管理研究科博士課程修了、博士（経営学）。15 年以上にわたり、銀行・証券・保険・ノンバンクなどの金融機関に対し、全社戦略、営業マーケティング戦略、リスク管理、グローバル戦略、組織改革などのプロジェクトを行ってきた。マッキンゼー・アンド・カンパニー（マネジャー）を経て、現職。

1	消費者行動の変化：米国調査からの示唆
2	マーケターの行動変化：マーケティング ROI への関心の高まり
3	マーケターの行動変化：日産 GT-R の試み ゲスト：加治慶光氏（株式会社オーテックジャパン 海外事業部部長）
4	メディア業界へのインパクト：グーグルの影響
5	マーケティング・エージェンシー業界の変化：脱 TV の動き
6	新たなマーケティング生態系とは

<マーケティング>

ケータイ時代のビジネスモデル

2008 年 8 月

番組コンセプト

出版不況と言われる現状にあって、ケータイ小説というジャンルが活況を呈している。100 万部を超える大ベストセラーも数冊あれば、10 万部を超える作品がコンスタントにある。もともとケータイ小説とは、一般の人がケータイ向けホームページに書いている小説のことで、殆どは普通の素人人が書いた作品を書籍化したものである。そんなケータイ小説がなぜ大きなビジネスとなっているのか。ケータイ小説の出版プロデュースを手がける伊東寿朗氏に話を聞く。

講師

★伊東 寿朗（フリープロデューサー）

編集プロダクション・出版社勤務などを経て、株式会社魔法のｉらんど入社。ケータイ小説総合サイト「魔法の図書館」を立ち上げ、ケータイ小説の出版をプロデュース。数々のケータイ小説ベストセラーを世に送り出す。2007 年 10 月に独立。フリープロデューサーとして、出版をはじめとする企画を手がける。

1	～ケータイ小説～

<マーケティング>

日本人にはもう売るな！

2008 年 10 月～2008 年 11 月

番組コンセプト

政府の統計によると、2005 年に 1 億 2,777 万人だった日本の人口は、2055 年には 8,993 万人にまで減少する。年齢構成も 15 歳から 64 歳までの働き盛り・消費盛りの人口は減り、リタイアし大きな消費が必要ない 65 歳以上の高齢者人口は増大する。加えて、市場の成熟にともない購買意欲も低下している。

日本人は人類史上初と言っても過言ではない、「市場が小さくなる」という前提の中で商売をしていかなければならない。この課題に対し、番組では、「ロングテールの法則」の著者としても有名な菅谷義博氏を講師に迎え、リアルでの海外進出に比べ、スピーディで低コストで実現可能な海外向け E コマースのノウハウを解説する。

講師

★菅谷 義博（モジ株式会社 代表取締役社長）

明治大学法学部卒業後、アンダーセンコンサルティング（現 アクセンチュア株式会社）に入社。鉄道会社基幹システム構築等を経て、1996 年 12 月エンプレックス株式会社を設立、取締役に就任。その後大手プリンタメーカーでのオンデマンドプリンティングシステム構築、大手自動車メーカーでのインターネット対応カーナビ向けコンテンツ開発などのプロジェクトに携わった後、エンプレックス株式会社取締役を経て、現職。

1	鎖国するニッポン
2	ネットで世界に挑む

<マーケティング>

Google 時代のビジネス

2009 年 1 月～2009 年 2 月

番組コンセプト

ネット検索サービスで世界シェア６割を占める Google が誕生して 10 年。同業他社の追随を許さず、高い利益率を保って成長を続ける Google の強さの秘密はどこにあるのか。ＳＥＯ（Search Engine Optimization；検索エンジン最適化）の重要性に早くから着目し、「グーグる」という言葉の生みの親でもある大内範行氏を講師に迎え、２回にわたり、知って得する Google 徹底活用法、そしてＳＥＯの基本知識を解説する。

講師

★大内 範行（大内プロデュース 代表/ウェブプロデューサー）

アユダンテ株式会社エグゼクティブプロデューサー。日本アイ・ビー・エムで SI のプロジェクトマネジャー、マイクロソフトでポータルサイトのプロデュー サーを経て、2000 年 6 月に SEO コンサルティングの会社を設立、日本に SEO 市場を創造する。2005 年より現職。2009 年、アクセス解析の協議会 「アクセス解析イニシアチブ」を立ち上げ、代表を務める。Google Analytics の IQ 認定資格を取得

1	Google を知る、Google を使いこなす
2	Google とウェブビジネス

<マーケティング>

情緒価値をつくるブランディング

2009 年 2 月～2009 年 4 月

番組コンセプト

「ブランディング」という言葉が日本に入ってきて久しいが、なぜか日本では十分に浸透していない。そこにはブランドに対する誤解があるのではないだろうか。高級ブランド、企業ブランドといった連想は実はブランドに関わる社員、そしてブランド価値を作る消費者の心から商品を遠ざけているのだ。
このシリーズでは、“誰もが食べたことがあるけれど、ブランドとしての価値を持っていなかった”チョコレート「キットカット」に“高校生を応援する”という新たな価値を付加したクリエイティブ戦略家の関橋英作氏を講師に迎え、「ブランディングとは何か」、「ブランド価値のもととなる『情緒価値』をつくるプロセスとは何か」を考える。

講師

★関橋 英作（クリエイティブ戦略家）

青森県生まれ。外資系広告代理店 JWT でコピーライターから副社長まで歴任。ハーゲンダッツ、キットカット、デビアス・ダイアモンド、NOVA 英会話学校など、数多くのブランドを担当。その多くを、トップブランドに導き、ギャラクシー賞グランプリをはじめ、NYADC 賞、ACC 賞など数多く受賞した。日本メンタルヘルス協会公認心理カウンセラーを取得。消費者インサイトを深く洞察する。女子美術大学・拓殖大学非常勤講師でもある。

1	ブランドとは何か？
2	キットカットのブランディング
3	ブランド再生のプロセス

＜マーケティング＞

逆境から成長するマーケティング戦略

20011 年 2 月～20011 年 4 月

番組コンセプト

逆境つまり窮地に陥った企業・商品・ブランドが見事に復活を遂げたというケースが多く見受けられる。そのような企業・商品・ブランドの事例をシリーズで見ながら逆境から成長するマーケティングについて考える。

講師

★田中 洋(中央大学ビジネススクール 教授)

電通マーケティングディレクター、法政大学経営学部教授、コロンビア大学ビジネススクールフェローなどを経て現職。マーケティング戦略論、ブランド戦略論、消費者行動論専攻。ＧＥなど多くのグローバル企業で研修講師・アドバイザーを務める。日本におけるブランド戦略の権威の一人として、近年その発言が注目されている。

1	サントリー　ビール事業自立への道のり ゲスト：久保田和昌氏（サントリービジネスエキスパート株式会社 執行役員 宣伝・デザイン本部 副本部長 兼 宣伝部長）
2	ABC クッキングスタジオ　集いの場の創造 ゲスト：志村なるみ氏（株式会社ＡＢＣ Ｈｏｌｄｉｎｇｓ 取締役）
3	小田急箱根ホールディングスの箱根再活性化 ゲスト：金野祥治氏（小田急電鉄株式会社 ＣＳＲ 広報部長）

＜マーケティング＞

今若者が楽しんでいる事

20011 年 4 月～20011 年 8 月

番組コンセプト

若者のクルマ離れなど消費離れが言われて久しいが、その側面の事象を見ているだけではビジネスは成り立たない。実際には現代の若者は何かを楽しんでいるはずで、その生活をじっくりと見てみることが必要である。ベストセラー「下流社会」など多数の著作を持つ消費社会とマーケティングの専門家である三浦展が、今、若者が楽しんでいることを探るシリーズ

講師

★三浦 展(消費社会研究家、マーケティング・アナリスト)

1958 年生まれ。1982 年一橋大学社会学部卒業。株式会社パルコ入社。マーケティング情報誌「アクロス」編集室勤務。同士編集長。1990 年、三菱総合研究所入社。1999 年、「カルチャースタディーズ研究所」設立。団塊ジュニア世代、団塊世代などの世代マーケティングを中心に調査を行うほか、家族、若者、階層、都市などを研究し新しい社会デザインを提案。各方面から注目されている。

1	女性の趣味における多様化 ゲスト：牛窪恵氏（有限会社インフィニティ 代表取締役）
2	デジタル系デート（ラブプラス） ゲスト：原田曜平氏（株式会社博報堂 若者生活研究室 アナリスト）
3	シェアハウスが人気の理由 ゲスト：藤田将友氏（株式会社Ｒｂａｎｋ 代表取締役）
4	高円寺　新女子街 ゲスト：佐久間ヒロコ氏（株式会社 HOT WIRE GROUP 代表取締役）
5	現代における仕事とモチベーション ゲスト：菊入みゆき氏（株式会社ＪＴＢモチベーションズ モチベーション・コンサルタント）

＜マーケティング＞

消費トレンドの変化と未来予測

2014 年 10 月～2015 年 3 月

番組コンセプト

牛窪氏が代表を務めるインフィニティでは、定量調査だけでなく、数多くの個別およびグループインタビューを通じ、さまざまな世代の消費者に対する定性調査を行っています。調査を通じて下記をはじめとする消費者の特徴が見えてきました。
☆団塊ジュニアを節目とし、その上世代、下世代での世代間ギャップ
☆所得格差のみならず、親との二世代、三世代消費や近接居住による「エリア格差」「階級格差」
☆S クラスのベンツを買う富裕層がユニクロや H&M に行き、１５０円のわさびを「もったいない」と節約する新ロウワーミドル層がルンバやルクルーゼの鍋を買う、という、「超メリハリ消費」
そこで本番組では「消費者の実像が見えにくくなった」と言われていますが、上記のような消費者調査を通じて見えきた、消費者のナマの声とそこに埋もれる潜在ニーズから、未来に向けたキーワードを届けていきます。

講師

★牛窪　恵（マーケティングライター／世代・トレンド評論家 有限会社インフィニティ代表取締役）
日大芸術学部 映画学科（脚本）卒業後、大手出版社に入社。5 年間の編集及び PR 担当の経験を経て、フリーライターとして独立。2001 年 4 月、マーケティングを中心に行う有限会社インフィニティを設立。「おひとりさま（マーケット）」（05 年）、「草食系（男子）」（09 年）は、新語・流行語大賞に最終ノミネート。

1	最新「おひとり様」消費
2	現代若者消費 ～草食系世代、さとり世代の財布とライフスタイル～ ゲスト：安田洋祐氏（大阪大学大学院 経済学研究科 准教授）
3	二世代・三世代消費 ～団塊ジュニア以降の家族観と「親ラブ」消費～ ゲスト：高橋寿夫氏（三菱総合研究所 事業予測情報センター 主任研究員）
4	Ｎｅｏシニア消費 ～フロンティア欲求とおひとりシニア市場～ ゲスト：石原進一氏（野村総合研究所 消費サービス・ヘルスケアコンサルティング部 上級コンサルタント）
5	「バブル世代」男女とは？ ゲスト：小原直花氏（伊藤忠ファッションシステム株式会社 ナレッジ室 室長）

＜Information Technology＞

ＩＴライブ

1999 年 10 月～現在

番組コンセプト

経営戦略、経営変革を語るうえで、情報技術は欠かすことのできないツールとなりました。また、インターネットなど情報技術を駆使して新しいビジネスモデルを構築し、急成長する会社も数多く出現しています。この番組では、最新の情報技術、また、それを活用して経営改革を行っている企業の最新事例の分析を通じて、視聴者の方がそれを応用し、ビジネスに実践できるような情報を提供します。

主な講師

★村井純（学校法人慶應義塾常任理事・環境情報学部教授兼政策・メディア研究科委員）
慶応義塾大学工学部数理学科卒業、同大学院博士課程修了。東京工業大学総合情報処理センター助手、東京大学大型計算機センター助手を経て同職。

★伊藤穰一（株式会社ネオテニー代表取締役社長）
アメリカタフツ大学にてコンピューターサイエンスを、シカゴ大学にて物理学を専攻。日本を代表するマルチメディア分野のオピニオン・リーダー。インターネットに関連した著書多数。検索エンジン Infoseek 日本版をたちあげ話題になる。

★國領二郎（慶應義塾大学環境情報学部教授）
⇒プロフィールは「テクノロジーマネジメント」（51 ページ）参照

★稲増美佳子（株式会社ＨＲインスティテュート副社長）
富士通にて流通システム部のフィールドＳＥ、全社システムとしてのＭＩＳ、ＤＳＳ、ＥＩＳ構築ならびに各業務システムの構築をサポート。退社後、国際経営学修士号取得、現在データベースマーケティング等の分野を中心にコンサルタントとして活躍中。

★根来龍之（早稲田大学ＩＴ戦略研究所所長／商学部・大学院商学研究科教授）
京都大学卒業（社会学専攻）。慶應義塾大学大学院経営管理研究科（ＭＢＡ）修了。鉄鋼メーカー、英ハル大学客員研究員、産能大学、文教大学などを経て、現職。ビジネスモデル学会ネットビジネス研究分科会座長。ＣＲＭ協議会研究委員会委員長。Systems Research 誌 Editorial Board。Systems Practice 誌 International adviser。専門はシステム方法論、情報システム論、戦略経営論の統合分野。

★堀田徹哉（アクセンチュア株式会社戦略グループエグゼクティブパートナー）
京都大学工学部卒業。スタンフォード大学ＭＳＣＥ（建設管理工学）、同ＭＳＥＭ（経営工学）修了。大手ゼネコンで都市インフラの設計および施行を手がけた後、１９９８年にアクセンチュア入社。アクセンチュア入社後は、幅広い顧客企業のｅコマースを中心とした事業戦略の立案および新規事業立ち上げに従事。現在はデジタルＴＶ、ブロードバンド、次世代モバイルを活用した事業戦略、新規事業立ち上げのコンサルティングを中心に手がける。また２０００年の電子商取引推進協議会（ＥＣＯＭ）と共同で実施したＥＣ（電子商取引）調査にも従事。

★中村 修（慶應義塾大学環境情報学部助教授）
慶應義塾大学理工学部数理工学科卒業、同 理工学研究科数理科学専攻修士課程終了、同 理工学研究科数理科学専攻博士課程終了。東京大学大型計算機センター助手、慶應義塾大学環境情報学部助手、慶應義塾大学環境情報学部専任講師を経て、現職。専門領域は計算機科学。

★　江崎 浩(東京大学大学院情報理工学系研究科教授)
工学博士(東京大学)。1987 年九州大学修士課程修了後、(株)東芝入社。1990 年より 2 年間、米国ニュージャージー州ベルコア社客員研究員。1994 年より 2 年間米国ニューヨーク市コロンビア大学 CTR にて客員研究員。高速インターネットアーキテクチャの研究に従事。1994 年 MPLS 技術のもととなるセルスイッチルータ技術を提案、その後、セルスイッチルータの研究・開発・マーケティングに従事

★　本間充（ＷＥＢ広告研究会代表幹事）
北海道大学卒業、数学修士。1992 年に化学メーカーに入社後、研究所でスーパーコンピュータを使った数値シミュレーションなどを行う。1997 年より Web マーケティングに本格的に取り組み、現在はグループ各社全体の Web マーケティングを統括しているほか、公益社団法人 日本アドバタイザーズ協会 Web 広告研究会 代表幹事も務める。週末のビールと NFL アメリカンフットボールを愛する。

◆村井純シリーズ（講師：村井純）

1999 年 10 月～現在

1	コミュニケーションのインフラが変わる●
2	モバイルコンピューティング● ゲスト：坂本仁明氏（ＮＴＴ情報流通プラットフォーム研究所次世代ネットワークプロジェクト研究主任）
3	ＩＰアプライアンス●
4	転送技術●
5	花開く光通信技術●
6	インターネットサービス●
7	ウワサのゲーム機、Ｘｂｏｘの全貌とは？ ゲスト：古川享氏（マイクロソフト株式会社代表取締役会長）●
8	マイクロソフトが考える家庭までのネットワーク ゲスト：古川享氏（マイクロソフト株式会社代表取締役会長）●
9	花咲く光ファイバー技術 ゲスト:小池康博氏（慶應義塾大学理工学部教授）●
10	情報発信者のあるべき姿 ゲスト： ・糸井重里氏（コピーライター） ・小西克哉氏（ジャーナリスト）
11	パネルディスカッション「The future of the internet layer」●
12	インターネット社会での情報産業革 ゲスト：島田精一氏（三井物産株式会社代表取締役副社長・ＣＩＯ）●
13	ＩＰｖ６とインターネットの未来●
14	ＩＰネットワーク　～放送と通信の統合～ ゲスト：中川晋一氏（郵政省通信総合研究所）●
15	インターネットセキュリティー ゲスト：山口英氏（奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授）●
16	２００１年のインターネットビジネスを占う！ ゲスト：高橋徹氏（日本インターネット協会前会長・インターネット戦略研究所代表取締役会長）●
17	電子政府 講師：山口英（奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授）●
18	インターネットＩＴＳ　～ＩＴＳと２１世紀の自動車交通～ ゲスト：藤井治樹氏（財団法人自動車走行電子技術協会常務理事）●
19	ブロードバンド時代のインターネットの行方 ゲスト：藤原洋氏（インターネット総合研究所代表取締役所長）●
20	ブロードバンド時代のコンテンツ配信 ゲスト：佐々木隆一氏（株式会社ミュージック・シーオー・ジェーピー取締役会長）●
21	ワイヤレス・インターネット ゲスト：真野浩氏（ルート株式会社代表取締役社長）●
22	NSPIXP-2 の分散拡張化プレス発表●
23	ブロードバンド化におけるインターネット基盤ビジネス ゲスト：吉村伸氏（メディアエクスチェンジ株式会社代表取締役社長）●
24	グローバルインターネットの本当の意味 ゲスト：伊藤穰一氏（株式会社ネオテニー代表取締役社長）
25	自動車とＩＴ ゲスト：吉田博昭氏（トヨタ自動車株式会社取締役コーポレートＩＴ部長）●
26	ＩＴと経営 ゲスト：松本孝利氏（アカデミーキャピタルインベストメンツ株式会社代表取締役）
27	インターネットビジネスの展望　～メディア～ ゲスト：井芹昌信氏（株式会社インプレスコミュニケーションズ　代表取締役社長）
28	現状肯定型インターネットビジネスの発想 ゲスト：西村博之氏（東京アクセス／イレギュラーアンドパートナーズ株式会社）
29	モービル・インターネット　～グローバル展開と日本の役割（１）～ ゲスト：夏野剛氏（株式会社ＮＴＴドコモｉモード企画部長）▲
30	モービル・インターネット　～グローバル展開と日本の役割（２）～ ゲスト：桑折恭一郎氏（Ｊーフォン株式会社専務取締役サービス開発本部長）●

No.	内容
31	ＩＰｖ６の現状と将来展望 ゲスト： ・江崎浩氏（東京大学大学院情報理工学系研究科助教授） ・中村秀治氏（株式会社三菱総合研究所Ｅ-ガバメント研究センター）●
32	NETWORLD+INTEROP 2002 TOKYO から見るネットワークの未来像 ゲスト： ・山口英氏（奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授） ・大嶋康彰氏（キースリーメディア・イベント株式会社コンベンション事業局局長）
33	モービル・インターネット　～グローバル展開と日本の役割（３）：ＰＤＡ～ ゲスト：溝口哲也氏（株式会社東芝取締役専務・モバイルコミュニケーション社社長）●
34	インターネットプロバイダからの日本のインターネット巨大変革と未来展望 ゲスト：鈴木幸一氏（株式会社インターネットイニシアティブ代表取締役社長）●
35	ブロードバンドから広げるインターネット先進国へ ゲスト：柏尾敬秀氏（ＮＴＴブロードバンドイニシアティブ株式会社常務取締役・ビジネス営業本部長）●
36	ＩＣタグの現状とこれから ゲスト：石川俊治氏（大日本印刷株式会社開発機器・システム営業本部ＩＣタグ推進センターセンター長）
37	日本オートＩＤセンター開設とオートＩＤの世界展開 ゲスト：湯本由起子氏（サン・マイクロシステムズ株式会社ソリューション営業本部担当部長・Auto ID 担当）●
38	ＴＣＰ／ＩＰ準拠ミドルウェアによる新生活体系 ゲスト：野村淳二氏（松下電工株式会社取締役・新規事業推進部長）●
39	ＩＴによる日本再生プラン ゲスト：黒澤保樹氏（シスコシステムズ株式会社代表取締役社長）●
40	電子自治体のあるべき姿（１）　～三重県での取り組み～ ゲスト：北川正恭氏（前三重県知事／早稲田大学大学院公共経営研究科教授）●
41	電子自治体のあるべき姿（２）　～ＮＥＣの取り組み～ ゲスト：鹿島康平氏（ＮＥＣ公共ソリューション事業部事業推進部長）
42	ＩＴ利活用による社会経済システム変革　～国民生活向上へ～ ゲスト：成毛眞氏（株式会社インスパイア代表取締役社長）
43	情報インフラとしてのネットワーク　～日立製作所の取り組み～ ゲスト：和田宏行氏（株式会社日立製作所ＩＰネットワーク事業部事業部長）
44	電子タグ日本の現状と今後の展望 ゲスト：阿部眞氏（オムロン株式会社事業開発本部ＲＦＩＤプロジェクトプロジェクトリーダ）
45	大学からアプローチする地方自治へのＩＴ推進 ゲスト：小林和真氏（倉敷芸術科学大学産業科学技術学部コンピュータ情報学科教授）
46	市役所からアプローチする自治体へのＩＴ推進 ゲスト：伊東香織氏（倉敷市役所総務局長）
47	NHK のインターネットの取り組みと将来の放送イメージ ゲスト：和田郁夫氏（日本放送協会マルチメディア局業務主幹）
48	携帯端末の世界的進化と未来 ゲスト：山田純氏（クアルコムジャパン株式会社専務執行役員）
49	デジタル放送・放送開始と民放の未来　～朝日放送～ ゲスト：香取啓志氏（朝日放送株式会社技術ディビジョン放送技術局情報技術センター局次長(兼)開発担当部長）▲
50	新メディア！地上波デジタルラジオ放送の挑戦 ゲスト：園城博康氏（株式会社エフエム東京常務取締役）
51	ネットワークゲームの現状と将来展望 ゲスト：伊勢幸一氏（株式会社スクウェア・エニックス ネットワークシステム部部長）
52	ＩＴによる地域中小企業の活性化 ゲスト：古谷幹則氏（日本ヒューレット・パッカード株式会社執行役員マーケティング統括本部統括本部長） 今井俊哉氏（ＳＡＰジャパン株式会社バイスプレジデント公共・金融事業本部長）
53	インターネットと放送の融合に向けてのトライアル ～CCBank(CATV Contents Bank)構想～ ゲスト：山下達也氏（NTT コミュニケーションズ株式会社 IP インテグレーション事業部 担当部長）
54	無線 LAN 携帯電話とモバイル環境の未来 ゲスト：王清氏（ネットツーコム株式会社代表取締役社長）
55	衛星インターネットとアジアブロードバンド化の展望 ゲスト：泉山英孝氏（ウィッシュネット株式会社取締役）
56	アラクサラネットワークスの挑戦　～ギャランティード・ネットワーク～ ゲスト：和田宏行氏（アラクサラネットワークス株式会社 代表取締役 取締役社長）
57	ブロードバンドがオフィスを変える！～ユビキタス時代のビジネススタイル～ ゲスト：瀧澤三郎氏（日本電気株式会社取締役常務）
58	愛知万博から発信する日本のＩＴ技術 ゲスト：福井昌平氏（財団法人 2005 年日本国際博覧会協会 チーフプロデューサー）
59	モバイル環境における情報インフラのあり方 ゲスト：溝口哲也氏（モバイル放送株式会社代表取締役）
60	ファイバーインフラが導く次世代インターネット ゲスト：山本節夫氏（グローバルアクセス株式会社代表取締役社長）
61	次世代ブロードバンドコンテンツ配信技術の胎動 ゲスト：市川晴久氏（日本電信電話株式会社 未来ねっと研究所所長）
62	公衆無線 LAN が拓くユビキタス社会 ゲスト： 照井知基氏（株式会社ライブドア 執行役員上級副社長）
63	FeliCa が描くユビキタス社会像 ゲスト：大塚博正氏(ソニー株式会社　コーポレート・エグゼクティブシニア・バイス・プレジデント)
64	情報ネットワークが導く天文学の未来 ゲスト：大江 将史氏（国立天文台　天文学データ解析計算センター上級研究員）
65	次世代情報技術がもたらす社会的変革 ゲスト：下條真司氏（大阪大学サイバーメディアセンターセンター長）
66	次世代コンテンツ配信とデータセンターのあるべき姿 ゲスト：大和田廣樹氏（株式会社ブロードバンドタワー代表取締役社長）
67	最先端インターネットテクノロジーのビジネス化 ゲスト：石田 宏樹氏（フリービット株式会社　代表取締役社長）
68	Power of the Internet ～Innovation of Governance, Culture and the future～ ゲスト：Carl Malamud(Center for American Progress Senior Fellow and CTO)
69	デジタル放送で可能になる新・地域密着型放送形態 ゲスト：織田稔之氏（株式会社日立製作所 経営戦略室 新事業推進部 主任技師） 水石賢一氏（株式会社日立メディアエレクトロニクス コンポーネント事業本部 技師長）
70	無線ブロードバンドへの期待と課題 ～WiMAX の可能性～ ゲスト：荻野 司 氏（株式会社 IRI ユビテック代表取締役社長）
71	企業ネットワークのセキュリティソリューション ゲスト：金海 好彦氏（NEC キャリアネットワーク企画本部主任）
72	Interop Tokyo 2006 が描く通信と放送の未来像 ゲスト：大嶋康彰氏（CMP ジャパン株式会社 メディアライブ事業部 事業推進本部長）
73	電子自治と電子行政の未来像 ゲスト：三谷 慶一郎氏（株式会社ＮＴＴデータ経営研究所 情報戦略コンサルティング本部 パートナー）
74	PHS の未来像～ウィルコム「W-ZERO3」の戦略～ ゲスト：土橋 匡氏(ウィルコム株式会社 常務執行役員 コンシューマ営業本部長)■
75	RFID の実用化に向けた挑戦と未来像 ゲスト：巴　祥平氏（株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン 半導体事業部　マーケティング）
76	インターネットにおける認証技術とその未来 ゲスト：前田 司 氏（RSA セキュリティ株式会社 取締役　技術統括本部長）
77	医療現場におけるIT 活用最前線 ゲスト：平澤英紀氏（セコム医療システム株式会社ネットワークグループ統括企画部部長）
78	ＩＰコミュニケーションが築く企業競争力 ゲスト：大久保忠崇氏（ソニーブロードバンドソリューション株式会社取締役 執行役員副社長）
79	高セキュリティ無線 LAN 技術の最新動向 ゲスト：林元徳氏（株式会社トリニティーセキュリティーシステムズ代表取締役社長）
80	コンピュート・プール ～超大規模システム時代のソリューション～ ゲスト：辻孝夫氏（日商エレクトロニクス株式会社　代表取締役社長 CEO）
81	SaaS が導く企業イノベーション ゲスト：藤本寛氏 （日本オラクル株式会社 執行役員　アプリケーション事業統括アプリケーションマーケティング本部長）
82	Web2.0 時代のマーケティング ゲスト：山中理恵氏（オーバーチュア株式会社マーケティングシニアディレクター）
83	ＩＰ映像配信の潮流 ゲスト：橋本太郎氏（クラビット株式会社代表取締役社長）
84	インターネット時代の AV エンターテイメントの発展 ゲスト：大朏直人氏（オンキヨー株式会社　代表取締役会長兼社長）
85	地域密着型 ワンセグ放送サービスの展望 ゲスト：加藤恂一氏（エリアポータル株式会社代表取締役社長）

No.	内容
86	バーチャル東京～セカンドライフを利用した新たな挑戦～ ゲスト：粟飯原健氏（株式会社電通 メディアコンテンツ計画局企画調査部）
87	日本版 SOX 法と IT による企業内部統制の現状 ゲスト：小野寺清人氏（株式会社 NTT データ経営研究所 パートナー）
88	最先端技術の創生とロボットテクノロジーの未来像 ゲスト：高橋智隆氏（ロボ・ガレージ代表）
89	パーソナルエレクトロニクスにおける新たな挑戦 ゲスト：本間毅氏（ソニー株式会社ネットメディア開発室チーフプロデューサー）
90	IP 通信とデジタルテレビの近未来 ゲスト：久松龍一郎氏（株式会社アクトビラ代表取締役副社長）
91	IP ネットワークとデジタルサイネージの進化 ゲスト：伊能美和子氏（日本電信電話株式会社　研究企画部門　担当部長） 矢本成恒氏（株式会社プラットイーズ　取締役）
92	大手町・丸の内・有楽町における環境共生への取組み ゲスト：井上 成氏（三菱地所株式会社 都市計画事業室　副室長）
93	ネットワーク技術の進化と次世代ＩＰインフラのあるべき姿 ゲスト：南 陽氏（NTT コミュニケーションズ株式会社ネットワーク事業部 IP ネットワーク部 担当部長）
94	CISO と企業セキュリティのあり方 ゲスト：テルミ・ラスカウスキー氏（株式会社シマンテック　コンサルティングサービス ディレクター）
95	Open Internet による銀行システムの運用 ゲスト：佐藤芳和氏（株式会社新生銀行執行役 システム企画部長） ピーテル・フランケン氏（株式会社新生銀行システム企画部部長）
96	コンテンツインフラのビジネスモデルと将来像 ゲスト：白石 清氏（株式会社Ｊストリーム 代表取締役会長兼社長）
97	IT 戦略の立案と CIO の役割～ビジネステクノロジーの実践～ ゲスト：横浜信一氏（マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク・ジャパン BTO 日本代表）
98	Ｓｕｉｃａがもたらすイノベーション ゲスト：椎橋章夫氏（東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 IT・Suica 事業本部 副本部長）
99	平城遷都祭と IT の可能性 ゲスト：福井昌平氏（平城遷都 1300 年記念事業チーフプロデューサー）
100	IT 活用による農業イノベーション ゲスト：山本謙治氏（株式会社グッドテーブルズ 代表取締役社長）
101	地域キャリアの将来像 ～地域コンテンツ IX とコンテンツの地産地消～ ゲスト：馬場聡氏（北海道総合通信網株式会社 S.T.E.P ソリューション部 部長）
102	モバイルＷｉＭＡＸの可能性と使命 ゲスト：田中孝司氏（ＵＱコミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長）
103	シリアスゲームがもたらす新しい教育のカタチ ゲスト：藤本 徹氏（シリアスゲームジャパン 代表）
104	クラウドコンピューティング時代の情報システム像 ゲスト：内田仁史氏（株式会社セールスフォース・ドットコム シニア プリンシパル アーキテクト）
105	ｔｗｉｔｔｅｒが創る新たなコミュニケーションとビジネス ゲスト：佐々木智也氏（株式会社会社デジタルガレージ 上級執行役員／株式会社ＣＧＭマーケティング 取締役ＣＯＯ）
106	広島モデル ＩＣＴ地域おこし ゲスト：豊田麻子氏（広島市副市長／広島市ＣＩＯ）
107	コンテンツデリバリーの未来像 ゲスト：松栄立也氏（株式会社デジタルメディアマート 代表取締役社長）
108	2010 年 IT の重要トピックと展望 ゲスト：藤原 洋氏（株式会社インターネット総合研究所 代表取締役所長／株式会社ナノオプトニクス・エナジー 代表取締役社長）
109	アジアにおけるＩＴプラットフォームの広がり ゲスト：久保田則夫氏（Ｈ３Ｃテクノロジージャパン株式会社 代表取締役社長）
110	次世代ネットワークへの取り組みと挑戦 ゲスト：片山泰祥氏（日本電信電話株式会社 常務取締役 技術企画部門長）
111	グリッドコンピューティングによるビジネスイノベーション ゲスト：稲葉雄一氏（ブランドダイアログ株式会社 代表取締役社長兼ＣＥＯ）
112	スマートグリッドの標準化とビジネスチャンス ゲスト：木下 剛氏（シスコシステムズ合同会社 専務執行役員テクノロジー担当）
113	地域医療の課題とＩＴによる解決 ゲスト：本多周一氏（株式会社ＮＴＴデータ経営研究所 ソーシャルイノベーションコンサルティング本部アソシエイトパートナー）
114	映像ソーシャルメディアの台頭と将来像 ゲスト：中川具隆氏（ＵＳＴＲＥＡＭ Ａｓｉａ株式会社 代表取締役社長）
115	自治体クラウドで見えてきた日本の将来像 ゲスト：伊藤元規氏（株式会社デュオシステムズ 常務取締役）
116	デジタル放送とテレビの使命 ゲスト：元橋圭哉氏（日本放送協会 経営企画局デジタル放送推進専任部長）
117	Ｙａｈｏｏ！ＪＡＰＡＮがインターネットライフスタイル ゲスト：喜多埜裕明氏（ヤフー株式会社 取締役最高執行責任者／常務執行役員兼Ｒ＆Ｄ統括本部長）
118	放送局の新たなメディア戦略と挑戦 ゲスト：香取啓志氏（朝日放送株式会社 技師長）
119	電気自動車の技術・産業イノベーション ゲスト：清水 浩氏（株式会社シムドライブ 代表取締役社長／慶応義塾大学環境情報学部 教授）
120	ＬＴＥの展開とモバイル環境の将来 ゲスト：尾上誠蔵氏（株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 執行役員 研究開発推進部長）
121	災害に対する情報インフラの在り方 ゲスト：林 雅之氏（ＩＴｍｅｄｉａ オルタナティブ・ブログブロガー） 大江将史氏（国立天文台 天文データセンター助教）
122	次世代コンピューティング基盤研究開発への期待と課題 ゲスト：市川晴久氏（電機通信大学 情報理工学研究科 教授／ユビキタスネットワーク研究センター長）
123	クラウド時代のＩＴ ～Ｗｅｂブラウザの進化～ ゲスト：及川卓也氏（グーグル株式会社 シニアエンジニアリングマネージャー）
124	クラウド時代のＩＴ ～災害復興とクラウド～ ゲスト：及川卓也氏（グーグル株式会社 シニアエンジニアリングマネージャー）
125	Ｓｏｃｉａｌ時代のＣＲＭ ゲスト：萩原雅之氏（トランスコスモス株式会社 エグゼクティブリサーチャー）
126	人材が支えるソリューション戦略 ゲスト：郡 信一郎氏（デル株式会社 代表取締役社長）
127	ペイパルから見たＥコマースの未来 ゲスト：大橋晴彦氏（ペイパルジャパン株式会社 マーチャントサービス部長） 水野博商氏（ペイパルジャパン株式会社 マーチャントサービスマネージャー）
128	クラウド時代における IT サービスの姿 ゲスト：長谷川幸成氏（日本ユニシス株式会社 ビジネス創出センター コンサルティング室長）
129	新たな企業ネットワークへの挑戦 ゲスト：大木 聡氏（日本ヒューレット・パッカード株式会社 ＨＰネットワーク事業本部長）
130	Ｉｎｔｅｒｏｐ２０１２が描き出すＩＣＴの潮流 ゲスト：大嶋康彰氏（株式会社ナノオプト・メディア 取締役
131	オンライン動画市場の現状と動画配信のあり方 ゲスト：中川恵介氏（株式会社エビリー 代表取締役社長
132	ネット社会の最先端セキュリティ対策 ゲスト：河村浩明氏（株式会社シマンテック 代表取締役社長
133	グリーのソーシャルメディア戦略 ゲスト：藤本真樹氏（グリー株式会社 取締役 執行役員ＣＴＯ 開発本部長
134	米国発のＯ２Ｏ（オンラインｔｏオフライン）ソリューションの提供 ゲスト：保積弘康氏（リーチローカル・ジャパン株式会社 代表取締役社長 ＣＥＯ） 野澤 裕氏（リーチローカル・ジャパン株式会社 最高執行責任者 ＣＯＯ）
135	ＩＴベンチャーへの道 ゲスト：畑野仁一氏（株式会社ネットマイル 代表取締役ＣＥＯ）
136	オウンドメディアマーケティング ゲスト：井浦知久氏（株式会社ユラス 代表取締役）
137	デジタルコンバージェンス ゲスト：友澤大輔氏（ヤフー株式会社 マーケティングイノベーション室 室長）
138	成功するネット通販のはじめ方 ゲスト：大久保幸世氏（ＧＭＯメイクショップ株式会社 取締役）

◆伊藤穰一シリーズ（講師：伊藤穰一）

1999年10月～2000年3月

1	渋谷にネット企業が集積・ビットバレー ゲスト：松山太河氏（ネットイヤーグループ）▲
2	インターネットサービスプロバイダから見たＩＴビジネス▲
3	ＩＴビジネス　～インターネットバブルとインターネット時代の国とは～▲ ゲスト：岩村充氏（早稲田大学教授）
4	インキュベーターとは ゲスト：小池聡氏（ネットイヤーグループ）▲
5	ネット標準化のルールと電子商取引 ゲスト：鈴木尚氏（デジキューブ会長）■
6	日本の国としてＩＴをどう考えていくべきか、伊藤穰一が語る●

◆ＩＴとビジネスモデル（講師：國領二郎）

2000年4月～9月

1	オープン・ネットワーク上のビジネスモデル●
2	ものづくりの情報化 ゲスト：山田眞次郎氏（株式会社インクス代表取締役）●
3	ネット上における顧客との『関係』構築 ゲスト：小松廣之氏（アスクル株式会社執行役員経営戦略統括）●
4	ＩＴと日本の金融のあり方 ゲスト：釡野真宏氏（ジェット証券株式会社代表取締役社長）●
5	ミスミのオンライン戦略 ゲスト：猪熊洋文氏（株式会社ミスミ代表取締役副社長）●
6	ＮＰＯとビジネスインキュベーション ゲスト：浅野令子氏（ＳＣＣＪ＝日本サスティナブル・コミュニティ・センター）●

◆新世紀のＩＴ活用戦略（講師：稲増美佳子）

2001年4月～9月

1	企業戦略をＩＴ戦略にどう結びつけるか！ ゲスト：鈴木貴博氏（ネットイヤーグループ株式会社取締役ＳＩＰＳ事業部長）●
2	実現したいシステム・ビジョンをどうプラン化するのか！ ゲスト：小幡博氏（プロミス株式会社常務取締役）●
3	信頼できるＩＴパートナーをどう見つけるのか！ ゲスト：野崎尚宏氏（ＮＴＴ－ＭＥヒューマンパワーグループ課長）●
4	効率的なプロジェクト運営をどうマネージするのか！ ゲスト：冲中一郎氏（新日鉄ソリューションズ株式会社　常務取締役）●
5	出来上がったシステムをどう活用していただくのか！ ゲスト：佐藤正史氏（株式会社ジェイティービー　取締役）●
6	導入されたシステムをどう評価・改良していくのか！●

◆ＩＴビジネス、ビジョン型ミドルが動く・仕掛ける！（講師：稲増美佳子）

2003年10月～2004年3月

1	流通が変わる！世界最小ＩＣチップで仕掛ける！　～日立のミューチップビジネスの展開～ ゲスト：井村亮氏（株式会社日立製作所ミューソリューションズベンチャーカンパニーカンパニー長＆ＣＥＯ）
2	ケータイが変わる！第３世代を支える技術！　～クアルコムＣＤＭＡの次世代展開～ ゲスト：山田純氏（クアルコムジャパン株式会社専務執行役員）
3	コンテンツビジネスが動く！日本が仕掛ける！　～Ｊａｐａｎ　Ｂｒａｎｄの創出～ ゲスト：清田智氏（株式会社クリーク･アンド･リバー社プロフェッショナルエデュケーションセンターグループマネージャー）
4	インフォメーションワークで変わる！生産性があがる！　～マイクロソフトが提唱する 21 世紀のオフィスワーク～ ゲスト：高橋克之氏（マイクロソフト株式会社ビジネスプロダクティビティソリューション本部本部長）
5	ＩＴとコンサルで仕掛ける！顧客起点で変える！ ゲスト：伊藤大挙氏（富士通株式会社常務理事コンサルティング事業本部長）▲
6	ワークスタイルが変わる！広がる！　～IT で「人」を自由に～ ゲスト：渡辺善子氏（日本アイ・ビー・エム株式会社理事 ITS 事業部システム・テクニカル・サービス・センター担当）▲

◆ビジネスモデルと差別化戦略（講師：根来龍之）

2003年10月～2004年3月

1	ビジネスモデルの構造分析 ゲスト：牛口順二氏（株式会社紀伊國屋書店営業推進本部本部長）
2	資源ベースの差別化戦略 ゲスト：南場智子氏（株式会社ディー・エヌ・エー代表取締役）▲
3	モジュール化と競争戦略 ゲスト：小林英夫氏（イー・アクセス株式会社執行役員経営企画本部長）
4	産業構造変化とビジネスモデル ゲスト：松井道夫氏（松井証券株式会社代表取締役社長）
5	サプライチェーンの関係マネジメント
6	顧客関係戦略とＣＲＭ ゲスト：穐田誉輝氏（株式会社カカクコム代表取締役社長兼ＣＥＯ）

◆IT を活用したサービスビジネス（講師：根来龍之）

2004年4月～2004年9月

1	ゲスト：青木政明氏（東京エムケイ株式会社代表取締役社長）■
2	ゲスト：佐藤治夫氏（株式会社スタッフサービス・ホールディングス取締役経営企画室 IT 担当）
3	ゲスト：北上真一氏（株式会社ジェイティービー Web トラベル事業部 事業部長）
4	ゲスト：吉田憲正氏（株式会社エヌ・ティ・ティ・データ法人ビジネス事業本部アウトソーシングビジネスユニット長）
5	ゲスト：覚張正浩氏（ぴあ株式会社コーポレート本部 全社戦略室 室長）
6	ゲスト：高木尚二氏（株式会社もしもしホットライン代表取締役）

◆ビジネスモデルと差別化戦略（講師：根来龍之）

2003年10月～2004年3月

1	ビジネスモデルの構造分析 ゲスト：牛口順二氏（株式会社紀伊國屋書店営業推進本部本部長）
2	資源ベースの差別化戦略 ゲスト：南場智子氏（株式会社ディー・エヌ・エー代表取締役）▲
3	モジュール化と競争戦略 ゲスト：小林英夫氏（イー・アクセス株式会社執行役員経営企画本部長）
4	産業構造変化とビジネスモデル ゲスト：松井道夫氏（松井証券株式会社代表取締役社長）
5	サプライチェーンの関係マネジメント
6	顧客関係戦略とＣＲＭ ゲスト：穐田誉輝氏（株式会社カカクコム代表取締役社長兼ＣＥＯ）

◆攻めの経営時代のおける成長戦略とIT（講師：堀田徹哉）

2005年10月～2006年3月

1	販売・マーケティングの高度化とIT ゲスト：三谷宏治氏（アクセンチュア株式会社 戦略グループ 統括 エグゼクティブ・パートナー）
2	M&A時代のIT戦略 ゲスト：相澤利彦氏（アクセンチュア株式会社 戦略グループ エグゼクティブ・パートナー）
3	Human Performanceの向上とIT戦略 ゲスト：波多野徹氏（アクセンチュア株式会社 ヒューマンパフォーマンスグループ 統括 エグゼクティブ・パートナー）
4	次の成長をドライブするイノベーションとIT戦略 ゲスト：桐原慎也氏（アクセンチュア株式会社 戦略グループ シニア・マネジャー）
5	先端テクノロジーによるビジネス創造 ゲスト：森泰成氏（アクセンチュア株式会社 グローバル・テクノロジー・コンサルティング統括パートナー）
6	顧攻めの経営時代のITマネジメント ゲスト：宇佐見　潮氏（アクセンチュア株式会社 テクノロジー＆システムインテグレーション統括エグゼクティブ・パートナー）

◆中村 修シリーズ（講師：中村 修）

2001年8月～20012年12月

1	データコミュニケーションと音声の統合 ゲスト：村田利文氏（株式会社ソフトフロント 代表取締役社長）●
2	GISが切り拓くユビキタス社会 ゲスト：中井章文氏（株式会社ＮＴＴデータ ビジネスイノベーション本部 位置情報サービスビジネスユニット長）
3	仮想化による企業情報システムの変革 ゲスト：山中理恵氏（シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社 マーケティング本部　本部長）
4	ｅコマースの成功要因と将来展望 ゲスト：吉田卓司氏（オイシックスＥＣソリューションズ株式会社 代表取締役社長）
5	ＧＩＳによる不動産業界のイノベーション ゲスト：荒井勝彦氏（株式会社ジアース 取締役営業本部長）
6	モバイルの進化による日本のネットワークインフラの展望 ゲスト：大和敏彦氏（ＺＴＥジャパン株式会社 副社長兼ＣＴＯ）
7	テクノロジートレンドとビジネス ゲスト：山中理恵氏（アバナード株式会社 ビジネスデベロップメント ディレクター）
8	日本の出版流通のしくみ ゲスト：高見真一氏（株式会社トーハン 取締役プラットフォーム事業部長
9	デジタルで変わるマーケティングメディア ゲスト：本間 充氏（花王株式会社 デジタルコミュニケーションセンター企画室長／日本アドバタイザーズ協会 Ｗｅｂ広告研究会 代表幹事）

◆江崎 浩シリーズ（講師：江崎浩）

2010年8月～現在

1	インターネット技術と２１世紀のＳｍａｒｔなインフラ設計
2	なぜ東大は３０％の節電に成功したのか？ ～東京大学グリーンＩＣＴプロジェクト～
3	インターネット型スマートシティー ゲスト：池田宜之氏（日本生命保険相互会社 不動産部 本店不動産部長
4	グリーンヒルズ構想とこれからのエネルギー ゲスト：伊原 学氏（東京工業大学大学院理工学研究科 化学専攻／環境エネルギー機構 准教授）
5	最先端・次世代スマートビルへの挑戦 ゲスト：田丸健三郎氏（日本マイクロソフト株式会社 技術統括室本部長）
6	スマートグリッドからスマートシティーへ ゲスト：勝又淳旺氏（東光電気株式会社 顧問）
7	クラウドの課題と解決 ゲスト：町田栄作氏（デル株式会社　執行役員／ＯＳＣＡ理事会 会長）
8	ＩＴインフラの省エネの実際 ゲスト：田中邦裕氏（さくらインターネット株式会社 代表取締役社長）
9	２０２０年のプロフェッショナル オーディオ ゲスト：池田雅弘氏（ヤマハ株式会社 音響営業統括部 事業企画課 課長）
10	サステイナブルな街づくり ～三井不動産のスマートシティ～ ゲスト：永矢 隆氏（三井不動産株式会社 スマートシティ企画推進部 業務グループ長）
11	ビッグデータ時代を支えるコグニティブ・コンピューティング ゲスト：森本典繁氏（日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所 所長）
12	Ｇｕｎｏｓｙが変える「情報」の未来 ～情報を世界中に快適に届ける～ ゲスト：石橋雅和氏（株式会社Ｇｕｎｏｓｙ 取締役ＣＴＯ）

◆本間充シリーズ（講師：本間充）

2013年4月～20012年12月

1	広告の未来像 ゲスト：川邊健太郎氏（ヤフー株式会社 副社長兼ＣＯＯ）
2	スマーター・マーケティング ゲスト：浅野智也氏（日本アイ・ビー・エム株式会社 スマーター・コマース パートナー）
3	広告ビジネスの変化 ゲスト：有馬 誠氏（グーグル株式会社 代表取締役）
4	朝日新聞：未来メディアへの期待 ゲスト：西村陽一氏（朝日新聞社 デジタル・国際担当取締役／ザ・ハフィントン・ポスト・ジャパン 代表取締役）
5	新しいコミュニケーションへのチャレンジ ゲスト：久保田和昌氏（サントリービジネスエキスパート株式会社 常務取締役 宣伝・デザイン本部長兼宣伝部長）
6	リアル店舗とＥＣの融合の可能性 ゲスト：長谷川秀樹氏（株式会社東急ハンズ 執行役員／ハンズラボ株式会社 代表取締役）
7	東洋経済オンラインのデジタル戦略 ゲスト：佐々木紀彦氏（東洋経済新報社 デジタルメディア局 東洋経済オンライン編集長）
8	第１回Ｗｅｂグランプリ特集 ゲスト：田中滋子氏（ＷＥＢ広告研究会 Ｗｅｂグランプリ プロジェクトリーダー）
9	情報取得手法の変遷とコンテンツマーケティング 今田素子氏（株式会社メディアジーン 代表取締役／株式会社インフォバーン 代表取締役）

<Information Technology>

ＩＴ投資の意思決定

2002 年 10 月～2003 年 3 月

番組コンセプト

ＩＴを活用して経営改革を行ういわゆる「オールドエコノミー」が増加しています。大企業同士の提携、経営機能の外注化、関連企業の情報化、顧客との関係構築などにおいて、ＥＡＩ、ＥＭＳ、Ｂ２Ｂ、ＥＲＰ、ＣＲＭ、ＳＦＡ、ＫｎＭなどのＩＴのフル活用が始まったのです。このような状況下において、企業の経営にとっては、ＩＴ活用における「投資の判断」と「現場活性化」は大きな課題となっています。そこでこのシリーズでは、「投資の考え方」、及び「企業の活性化」に焦点を当て、金融業、流通業、製造業、物流業などの産業カテゴリーごとに、企業事例を検討していきます。

講師

★新谷文夫（株式会社インタークロッシング　代表取締役）

東京大学工学部卒。小松製作所を経て、米国カーネギーメロン大学大学院修了。 日本総合研究所理事、オープンタイドジャパン（サムスン SDS ジャパン）CEO を経て、2003 年 11 月より現職。

1	ＩＴ投資をどのように考えるか●
2	流通系金融業のＩＴ投資　～ＩＹバンク銀行の事例研究～ ゲスト：安斎隆氏（株式会社アイワイバンク銀行代表取締役社長）●
3	製造系流通業のＩＴ投資　～ロジスティクス・プランナーの事例研究～ ゲスト：椎橋治男氏（株式会社ロジスティクス・プランナー代表取締役社長）●
4	情報系製造業のＩＴ投資　～マイクロソフトの事例研究～ ゲスト：岩崎光洋氏（マイクロソフトアジアリミテッドプログラムマネジャー）●
5	ＩＴ投資をどう評価するか　～「e-Judge」の検討～ ゲスト：井上英也氏（日本情報通信コンサルティング（ＮＴＣ）株式会社代表取締役社長／ＥＲＰ研究推進フォーラム副会長）●
6	韓国のＩＴ事情とサムスングループのＩＴ戦略 ゲスト：リー・フヨン氏（オープンタイドコリア株式会社ＣＥＯ）●

<Information Technology>

テクノロジーマネジメント

2002 年 4 月～9 月

番組コンセプト

いわゆるネットバブル崩壊の要因として、「アプリケーションの不足」が挙げられます。せっかく技術が進歩しているのに、それを使ったアプリケーションが貧弱なため消費者には魅力的には見えないのです。テクノロジーをどうビジネスに応用できるのかは、ドットコム企業だけの問題だけでなく、全産業にとって共通の課題と言えます。特に日本の教育の中では、「理系」「文系」と分けられ、早くから狭い領域でしか学んでこなかったため、その問題は根深いものとなっています。この番組では、テクノロジーとビジネスを上手に結実させた事例、産学連携、知的所有権などのテーマを盛り込み、テクノロジーマネジメントのヒントを探ります。

講師

★國領二郎（慶應義塾大学環境情報学部教授）

1982 年、日本電信電話公社入社。1986 年までに計画局、新規事業開発室などに在籍。1988 年、ハーバード・ビジネススクール経営学修士号を取得。1992 年、ハーバード大学経営学博士。

1	テクノロジーとマネジメントの結合 ゲスト：相磯秀夫氏（東京工科大学学長）●
2	技術の種をどう結実させるか？● ゲスト：佐々木正氏（元シャープ株式会社代表取締役副社長／株式会社国際基盤材料研究所代表取締役会長）
3	テクノロジーがいかにしてニーズに応えるか？ ゲスト：藤崎清孝氏（株式会社オークネット代表取締役社長）●
4	産学連携の鍵　～東京大学ＴＬＯの現在～ ゲスト：山本貴史氏（株式会社先端科学技術インキュベーションセンター<ＣＡＳＴＩ>代表取締役社長）
5	産業競争力強化と知的財産 ゲスト：丸島儀一氏（キヤノン株式会社顧問／日本経済団体連合会知的財産問題部会長）
6	テクノロジーベンチャーに投資する　～どう見極め、どう育てるか？～ ゲスト：村口和孝氏（日本テクノロジーベンチャーパートナーズ投資事業組合代表）

<Information Technology>

ＩＴ革命とビジネスモデル

2001年4月～2002年4月

番組コンセプト

経営戦略を立案する上で、ＩＴを抜きにしては考えられない時代となりました。しかし、急速に発展し複雑化するＩＴの全てを常に理解するのは、経営者や一般のビジネスパーソンにとって極めて難しい状況になっています。この番組では、ＩＴ経営を実現するために、ＩＴについて今、何をどこまで知っていなければいけないかを分かりやすく解説し、ＩＴを駆使したビジネスモデル策定の要諦について展開します。

（協力：ビジネスモデル学会）

講師

★ビジネスモデル学会

- 松島克守（ビジネスモデル学会会長／東京大学教授）
- 根来龍之（早稲田大学商学部教授／慶應義塾大学大学院講師／産能大学大学院講師）
- 松川孝一（ＰｗＣコンサルティング株式会社執行役員パートナー）
- 毛利峻治（株式会社日立製作所生産技術研究所主管研究員／工学博士）
- 太田秀一（経営コンサルタント）
- 森田進（ストラテジック・リサーチ代表取締役）
- 藤末健三（東京大学工学部総合研究機構助教授）
- 玄場公規（東京大学工学部総合研究機構助教授）

1	２１世紀のＩＴ環境とビジネスモデル 松島克守（ビジネスモデル学会会長／東京大学教授）●
2	ビジネスモデル特許の現状と見通し　～産業発展の視点から～ 根来龍之（早稲田大学商学部教授／慶應義塾大学大学院講師／産能大学大学院講師）
3	事業モデルの変革方向性とその評価 松川孝一（ＰｗＣコンサルティング株式会社執行役員パートナー）▲
4	バリューチェーン変革とサプライチェーンマネジメント 毛利峻治（株式会社日立製作所生産技術研究所主管研究員／工学博士）●
5	ナレッジ・マネジメントの基本構造と主要論点 太田秀一（経営コンサルタント）
6	戦略フレームワークとしてのバランススコアカード 森田進（ストラテジック・リサーチ代表取締役）●
7	Ｂ２Ｂ／e-マーケットプレイスをめぐる新たな展開と戦略 森田進（ストラテジック・リサーチ代表取締役）▲
8	ネットビジネスのビジネスモデル設計 根来龍之（早稲田大学商学部教授／慶應義塾大学大学院講師／産能大学大学院講師）▲
9	ＡＢＭを活用したホワイトカラー業務の見直し 松川孝一（ＰｗＣコンサルティング株式会社執行役員パートナー）▲
10	成果につながるナレッジ・マネジメント 太田秀一（経営コンサルタント）●
11	ＩＴ時代は知的資産が企業価値を決める 藤末健三（東京大学工学部総合研究機構助教授）●
12	イノベーションとビジネスモデル 玄場公規（東京大学工学部総合研究機構助教授）●

<Information Technology>

ＩＴ経営

2000年10月～2001年3月

番組コンセプト

最近、ＩＴ（Information Technology）という言葉がまるでブームのようにもてはやされ、イメージだけがひとり歩きした感がありますが、いったいＩＴとは、どのように日常生活あるいは企業運営に活用されているのでしょうか。この番組では、毎回具体的な事例を取り上げながら、ＩＴ導入の成功のポイントや今後の課題について検証していきます。

講師

★新谷文夫（株式会社インタークロッシング　代表取締役）

⇒プロフィールは「ＩＴ投資の意思決定」（50ページ）参照

1	ＩＴ経営とその課題●
2	企業経営革新モデルの実際●
3	企業－企業間モデルの実際 ゲスト：川口敏弘氏（阪和興業株式会社ＥＣ推進チーム）●
4	企業－消費者モデルの実際 ゲスト：淡路祐司氏（インターピーシー・セル）●
5	日本型ＩＴモデルの実際 ゲスト：四家千佳史氏（株式会社ビッグ・レンタル代表取締役）●
6	行政におけるＩＴ推進の実際 ゲスト：廣川聡美氏（横須賀市企画調整部情報政策課長）

＜Information Technology＞

Ｅビジネスワールド

2000 年 5 月～2001 年 7 月

番組コンセプト

Ｅビジネスと言うと、とかくベンチャー企業に目を奪われがちです。しかし、マネジメント力、実務能力に勝る既存の企業がうまくネットを活用して大きな成果を挙げる事例も出てきました。成功の要因はいかに既存の組織や販売チャネルの抵抗を克服し、過去の成功体験を否定できるかにかかっています。番組では、そのような事例の分析を通じ、e-business の世界が今後どうなっていくかを洞察します。

（協力：ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン株式会社）

講師

★西浦裕二（アリックスパートナーズ 日本代表）

⇒プロフィールは「経営者の構想力」（19 ページ）参照

1	Ｅビジネス入門　～スモールｅからラージＥへ～ ゲスト：岸本義之氏（日本ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン株式会社アドバイザー）●
2	Ｅ顧客　～気まぐれな消費者へのパワーシフト～ ゲスト：宇治則孝氏（株式会社ＮＴＴデータ取締役・新世代情報サービス事業本部長）●
3	Ｅチャネル　～コンフリクトからコンプリメントへ～ ゲスト：佐藤一雅氏（ソニースタイルドットコム・ジャパン株式会社代表取締役社長）
4	Ｅチョウタツ　～サプライチェーンからウェブへ～ ゲスト：山近隆氏（株式会社東芝調達センター長）●
5	Ｅ組織　～Ｅ時代の大企業組織とは～ ゲスト：岸本義之氏（日本ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン株式会社アドバイザー）●
6	Ｅビジネスに勝つ　～日本企業生き残りの条件～●
7	放送メディアの新しい可能性（ＢＳデジタル放送／ＣＳ１１０°Ｅ） ゲスト：白根英路氏（株式会社東京放送経営企画局Ｃ－ＴＢＳ設立準備室部長）●
8	ブロードバンド（或いはＥプラットフォーム）が目指すもの ゲスト：井上友二氏（株式会社ＮＴＴデータ取締役ビジネス企画開発本部主席ＩＴパートナー）●
9	Ｅプラットフォームが実現するもの ゲスト：戸田長作（株式会社イー・ピー・エフ・ネット代表取締役社長）●
10	コンテンツ・アーカイブの開く未来 ゲスト：佐藤聡俊氏（グルーオン・パートナーズ株式会社代表取締役社長兼ＣＥＯ）●
11	Ｅビジネス時代のＣＲＭ戦略 ゲスト：藤本直樹氏（日本オラクル株式会社システムエンジニアリング本部ＣＲＭ－ＳＣ部シニアディレクター）
12	新しいプラットフォームと広告ビジネス／まとめ●

＜Information Technology＞

経営変革のためのＩＴ

1999 年 4 月～2000 年 4 月

番組コンセプト

世界の企業が先端ＩＴ技術をもとにネットワークを通じて統合し、経営システムそのものを変えつつある今、日本企業も最新のＩＴ技術をもとに事業を再構築していかないとデジタル革命の波に乗り遅れ、２１世紀のグローバルな自由競争の中で生き残れなくなります。企業はＩＴ技術を用いてどのように経営を変革させて行けば勝ち残れるか、各種先進ＩＴ技術と経営戦略との関わりについて解説していきます。

講師

★村藤功（ベリングポイント株式会社アドバイザー・九州大学大学院経済学研究院産業マネジメント専攻教授）

⇒プロフィールは「日本の財務再構築」（60 ページ）参照

1	「経営変革のためのＩＴ」の趣旨●
2	ミッションマネジメントとＩＴ●
3	ナレッジマネジメント（１）●
4	ナレッジマネジメント（２）●
5	インテグレーティッド・カスタマー・ソリューション（１）●
6	インテグレーティッド・カスタマー・ソリューション（２）●
7	サプライチェーンマネジメント●
8	経営とＥＲＰ●
9	ＩＴのコスト●
10	e Business （１）●
11	e Business （２）●
12	アウトソーシング●

<Information Technology>

ＩＴ活用最前線

1999年10月～2000年9月

番組コンセプト

２１世紀に生き残る企業となるため、ＩＴの導入と活用は今や必須の戦略となりました。この番組では、ＩＴを導入・活用し成果をあげている企業の事例を紹介しながら、最新のＩＴ情報をお届けします。

（協力：日経ＢＰ社）

講師

★上村孝樹（日経ＢＰ社コンピュータ局主席編集委員）

1	投資効果の新常識とビジネスモデル特許▲
2	持たざる情報化を加速するＡＳＰ　企業事例：リコー▲
3	最新コールセンター事情　企業事例：J-PHONE▲
4	３ＰＬ　企業事例：近鉄エクスプレス社▲
5	サプライチェーンマネジメント　ＣＲＭ＋ビジネスプロセスリエンジニアリング　事例：P&G▲
6	ナレッジマネジメント　事例：ＮＴＴ東日本▲
7	ネットビジネスのポイント①　事例：エンタテインメントプラス●
8	ネットビジネスのポイント②インターネットが変える保険業界　事例：チューリッヒ生命／ウェブクルー●
9	インターネットが変える証券業界 ゲスト： ・沖津嘉昭氏（岩井証券株式会社取締役社長） ・臼田琢美氏（日本オンライン証券株式会社社長付経営戦略担当）●
10	ＷＥＢマーケティング ゲスト：稲垣佳伸氏（ドゥ・ハウス）●
11	取引先とのコラボレーション戦略 ゲスト： ・仙石通泰氏（株式会社三技協代表取締役社長） ・杉山裕幸氏（日経コンピュータ副編集長）●
12	今、企業のＩＴの何が大事か？●

<Information Technology>

IT革命の本質

2009年3月～2009年9月

番組コンセプト

ｉモード成功の立役者の一人で、数多くのＩＴ企業の役員を務める夏野剛氏を講師に迎え、ＩＴの進歩を通して過去約１０年間を振り返るとともに、１９９０年後半から始まったＩＴ革命によって、音楽配信、電子書籍、ゲーム、ショッピングといった業界で起きた変化を検証する。

講師

★夏野 剛(慶応義塾大学政策メディア研究科特別招聘教授／株式会社ドワンゴ取締役)

1988年早稲田大学政治経済学部卒、東京ガス入社。95年ペンシルバニア大学経営大学院卒。９６年ハイパーネット取締役副社長。97年NTTドコモ。榎啓一氏、松永真理子氏らと「ｉモード」を立ち上げた。2005年ドコモ執行役員マルチメディアサービス部長。08年にドコモ退社。現在は慶応義塾大学政策メディア研究科特別招聘教授のほか、ドワンゴ、セガサミーホールディングス、SBIホールディングス、ぴあ、トランスコスモス、NTTレゾナントの取締役を兼任。

1	ＩＴ革命とは何か　～何が変わり、何が変わらないのか～
2	ＩＴの環境変化とビジネスモデル、主要プレーヤーの分析 ～先行者利得と後発者利得～
3	標準化の意義と功罪
4	ＩＴ革命への複雑系的アプローチ
5	マーケティングと顧客リレーションシップの変貌
6	貨幣流通システムの変貌

<Information Technology>

クラウドの中で多彩に湧き上がる集合知の活用

2009年7月〜2010年2月

番組コンセプト

日々進化を続けるインターネットは web2.0 の時代に突入し、世界中の人々のコミュニケーションを容易にし、ネット上の不特定多数が参加するコミュニティーが業務を請け負うクラウドソーシングを可能にした。本番組では、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）研究の日本の第一人者である山崎氏を講師に、メディア論や社会心理学といった視点から、クラウドが巻き起こす社会変革に柔軟に対応して業績を伸ばしている企業の事例を検証し、クラウドソーシングが生まれるメカニズムと、その無限の可能性に迫る。

講師

★山崎 秀夫(株式会社野村総合研究所 上席研究員)

1972年、東京大学経済学部を卒業。1986年、野村総合研究所入社。情報戦略論、情報組織論が専門で、ナレッジマネジメント、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の研究では日本の第一人者。

1	Web2.0とポストテレビに代表されるメディア転換の本質
2	企業内のソーシャルネットワーキングはなぜ必要か（１） ゲスト：竹倉憲也氏（株式会社ＮＴＴデータ 第四金融事業本部 企画担当課長）
3	企業内のソーシャルネットワーキングはなぜ必要か（２） ゲスト：中島 周氏（キユーピー株式会社 常務取締役）
4	企業内のソーシャルネットワーキングはなぜ必要か（３） ゲスト：槻木清隆氏（株式会社損害保険ジャパン ＩＴ企画部企画グループ 課長）
5	ネット上での学び合いのあり方 ゲスト：兼元謙任氏（株式会社オウケイウェイブ 代表取締役社長）
6	クラウドとテレビの融合 ゲスト：杉本誠司氏（株式会社ニワンゴ 代表取締役社長）■
7	クラウドとシミュレーションの結合 ゲスト：小林 昇氏（バーチュオシティ株式会社 代表取締役社長）
8	クラウドマーケティングの新しい芽〜Twitterとマイクロ取引〜

<Information Technology>

ソーシャルゲームの衝撃

2011年11月〜2012年1月

番組コンセプト

世界的に急成長しているソーシャルゲームは、既存のゲーム産業のビジネス構造を変えてしまうと予測されている。コンピューティング急進化時代にゲーム産業はどのような戦略をとるべきか。シリーズ第１回の今回は、ソーシャルゲームが引き起こしたインパクトを検証しながら、ゲーム産業の発展とコンピュータの歴史、ソーシャルゲーム市場がこれほど急成長してきた背景、そして、そもそもソーシャルゲームが今までのゲームと何が違うのかを解説する。

講師

★新 清士(ゲームジャーナリスト)

慶応義塾大学商学部及び環境情報学部卒。ゲーム会社で営業、企画職を経験後、ゲーム産業を中心にリサーチするジャーナリストに。ゲーム開発者個人を対象とした国際 NPO、国際ゲーム開発者協会日本（IGDA日本）初代代表。現副代表。

1	ソーシャルゲーム産業隆盛の背景
2	新時代に蓄積すべきノウハウ
3	競争激化時代の海外進出戦略

＜Information Technology＞

企業ITにクラウドがもたらす価値

2012年2月～2012年5月

番組コンセプト

クラウド・コンピューティングという言葉が登場し６年が経過した今、クラウドは、グローバル経営の実現に欠かせないツールの一つとなった。クラウドがもたらすメリットは、コスト削減にとどまらず、急変するIT技術への追従（ITアジリティ）、事業継続計画（BCP）の効率的構築、新ビジネスの創出にまで及ぶ。本番組では、４回のシリーズで、最新のグローバルリサーチに基づいた、効果的なクラウド活用法を提案する。

講師

★沼畑 幸二(アクセンチュア株式会社　テクノロジー コンサルティング本部 イノベーション&アライアンス統括　エグゼクティブ・パートナー)

外資系コンピューターメーカーにてSE、ネット系コンサルティング会社のテクノロジー担当副社長を経て2003年アクセンチュア入社。通信・ハイテク産業、メディア、製造、流通、金融、化学、公共サービスなど、多岐に渡る業界での IT コンサルティングおよびシステムインテグレーションに携わる。現在、IT でどう経営に貢献するかを支援すべく、 クラウド・コンピューティングやモバイル等新しい IT の利活用に注力 している。

回	タイトル
1	クラウド活用の夜明け ～グローバルリサーチから～
2	クラウドが企業にもたらす様々な価値 ～事例から学ぶ～
3	どうクラウドに向かい合っていくべきか ～ロードマップ、適応アプローチ～
4	立ち上がれニッポンのクラウド ～ITサービスでアジアの発展に貢献～

＜Information Technology＞

シリコンバレーの企業に学ぶ新ビジネスモデル

2012年3月～2013年4月

番組コンセプト

ＩＴ時代の最先端を走り続けるシリコンバレー。世界的に資本主義の根幹が揺らぎ始めた現在も、止まることなく成長を続けている。その風土、仕組み、ビジネスモデルはいかなるものか。スタンフォード大学でＭＢＡを取得し、シリコンバレーでの起業経験を持つ石黒氏を講師に迎え、最新動向を学ぶ。 第 1 回目である今回は、シリコンバレーの特徴や現状を紹介。次回以降は、現地で成長しているベンチャー企業から、日本の代表の方を招き、ビジネスモデルを伺う。

講師

★石黒 不二代（ネットイヤーグループ株式会社　代表取締役社長兼CEO)

名古屋大学経済学部卒業後、1981年にブラザー工業へ入社。海外向けプロダクトマーケティングに従事。1988年、スワロフスキー・ジャパンに転職し、新規事業マネージャーを務める。その後、スタンフォード大学ビジネススクールに留学し、MBA 取得。1994 年９月、米国シリコンバレーでコンサルティング会社Alphametric Inc.を起業。1999年１月よりネットイヤーグループに参画。2000年５月、同社代表取締役社長に就任。経済産業省産業構造審議会情報経済分科会及び新産業構造部会委員。経済産業省 IT 経営力大賞審査委員。2002年と2010年から名古屋大学工学部の客員教授。

回	タイトル
1	シリコンバレーの企業に学ぶ新ビジネスモデル ～日本のビジネスモデルの再構築～
2	シリコンバレーの企業に学ぶ新ビジネスモデル ～Netyear Group～ ゲスト：佐々木裕彦氏（ネットイヤーグループ株式会社 取締役ＳＩＰＳ事業部長） 金澤一央氏（同 ＡＯＧグループリーダー） 篠塚良夫氏（同 取締役クラウドテクノロジー事業部長）
3	シリコンバレーの企業に学ぶ新ビジネスモデル ～Ｔｗｉｔｔｅｒ～ ゲスト：菓村真樹氏（Ｔｗｉｔｔｅｒ Ｊａｐａｎ株式会社 営業戦略統括）
4	シリコンバレーの企業に学ぶ新ビジネスモデル ～Ｇｏｏｇｌｅ～ ゲスト：岩村水樹氏（グーグル株式会社 執行役員マーケティング本部長）
5	シリコンバレーの企業に学ぶ新ビジネスモデル ～Ｓａｌｅｓｆｏｒｃｅ．ｃｏｍ～ ゲスト：宇陀栄次氏（株式会社セールスフォース・ドットコム 代表取締役社長）
6	シリコンバレーの企業に学ぶ新ビジネスモデル ～Unity Technologies～ ゲスト：大前広樹氏（ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン合同会社 日本担当部長）
7	シリコンバレーの企業に学ぶ新ビジネスモデル ～Ｒｅｓｐｏｎｓｙｓ～ ゲスト：鈴木 望氏（レスポンシス 日本地区セールスマネージャー）
8	シリコンバレーの企業に学ぶ新ビジネスモデル ～ＤＣＭ～ ゲスト：伊佐山 元氏（ＤＣＭ パートナー）
9	シリコンバレーの企業に学ぶ新ビジネスモデル ～Ｇｌａｍ Ｍｅｄｉａ～ ゲスト：山村幸広氏（グラムメディア・ジャパン株式会社 代表取締役ＣＥＯ
10	シリコンバレーの企業に学ぶ新ビジネスモデル ～ＰａｙＰａｌ～ ゲスト：大橋晴彦氏（ペイパル マーチャントサービス部長）
11	シリコンバレーの企業に学ぶ新ビジネスモデル ～ＩＤＥＯ～ ゲスト：野々村健一氏（ＩＤＥＯ）

<Information Technology>

世界で成功する日本の Web サービス

2012 年 7 月～2012 年 12 月

番組コンセプト

Google、Facebook など海外発 Web サービスが猛烈な勢いで世界市場を席巻する中、日本から世界へ進出し、成功しているインターネットビジネスはほとんど存在しない。しかしながらニコニコ動画、ｐｉｘｉｖなど、国内市場で絶大なファンを獲得し海外へ挑戦を始めた事業者も出現している。これらの企業は、先人たちの乗り越えられなかった世界市場の壁を乗り越えることができるのか。そのポテンシャルはあるのか。ユーザー・経営者それぞれの視点から検証する。

講師

★塚崎秀雄（WillVii 株式会社代表取締役社長） カリフォルニア大学バークレー校経営大学院卒、東京証券取引所勤務を経て、A.T.カーニーでは戦略コンサルタントを、ソニーでは商品企画統括を務めた。2007 年に WillVii を起業、現在は、クチコミサイト、クチコミマーケティングに関する事業を展開すると同時に、ニコニコ動画上にて活躍する若者たちと積極的に交流している。

1	生まれた挑戦者たち
2	ニコニコ動画の現状と将来分析（1） ～ユーザーへの質問～
3	ニコニコ動画の現状と将来分析（2） ～経営への質問～ ゲスト：杉本誠司氏（株式会社ニワンゴ代表取締役社長）
4	Pixiv の現状と将来分析 ～経営への質問～ ゲスト：片桐孝憲氏（ピクシブ株式会社代表取締役社長）

<Information Technology>

ビッグデータのビジネス活用に向けて

2012 年 10 月～2012 年 12 月

番組コンセプト

社会のさまざまなシーンにおいて、よりパーソナルで、リアルタイムで、多面的な施策が求められる現代。事業に役立つ知見を導出するための「高解像」「高頻度生成」「多様・非構造」な特性を持つビッグデータは、世界で注目を集めている。その世界で注目が集まるビッグデータについて、定義や登場の背景、先鋭的な活用事例、事業者がビッグデータを活用する際に直面する三つの課題と、その具体策などを紹介する。

講師

★鈴木良介（株式会社野村総合研究所　ICT・メディア産業コンサルタング部主任コンサルタント） 情報・通信業界や行政機関等に対する調査および提言を実施。情報・通信の効率的かつ安全な活用について、クラウドおよびビックデータ利用の観点から検討を行なっている。

1	経営視点におけるビッグデータとは？その定義
2	海外事業者、国内事業者におけるビッグデータ活用事例
3	ビッグデータの活用に向けた課題

<Information Technology>

スマートフォンを用いた決済市場の現状

2014年4月～2014年7月

番組コンセプト

スマートフォンを用いた決済市場が日本で立ち上がりつつあります。Twitterの創業者でもあるジャック・ドーシーが立ち上げ、米国で始まったSquare, スタートアップベンチャーとして早くからサービスを立ち上げたCoiney, 楽天が仕掛ける楽天スマートペイ、ソフトバンクが仕掛けるPaypal Hereが日本におけるメジャープレイヤーとなります。
各社は決済手数料、入金サイクルなどでサービスを競っている一方、各社が狙っている日本における現金決済市場は約160兆円と巨大な市場となります。
そこで本番組では、スマートフォン決済の各プレイヤーからキーパーソンをお呼びして、各社および今後の市場の動向をお伝えします。

講師

★平野敦士カール(ビジネス・ブレークスルー大学教授　株式会社ネットストラテジー代表取締役)

日本興業銀行にて、13年間国際業務・投資銀行業務のマネージャーを務めた後、NTTドコモにて「おサイフケータイ」の普及に成功。元ドコモ・ドットコム取締役、元楽天オークション取締役、元タワーレコード取締役。2007年、ハーバード・ビジネススクール准教授ハギウ博士とともに、戦略コンサルティング会社ネットストラテジーを創業社長に就任。2012年より早稲田大学ビジネススクール非常勤講師。社団法人プラットフォーム戦略協会理事長としてプラットフォーム戦略®の普及に努めている。

1	スマートフォン決済事例（１）Ｃｏｉｎｅｙ ゲスト：佐俣奈緒子氏（コイニー株式会社 代表取締役社長）
2	スマートフォン決済事例（２）Ｓｑｕａｒｅ ゲスト：水野博商氏（Ｓｑｕａｒｅ株式会社 カントリーマネージャー）
3	スマートフォン決済事例（３）ＰａｙＰａｌ ゲスト：杉江知彦氏（ＰａｙＰａｌ Ｐｔｅ．Ｌｔｄ．東京支店 部長）

<Information Technology>

Google時代のビジネス-2014-

2014年6月～2014年9月

番組コンセプト

Googleは「検索」「メール」「カレンダー」といった基本的なサービスから「マップ」「翻訳」「文章共有」など様々なWebサービスを提供しており、またこれらは日々進化を続けています。Googleのサービスの使いこなし方次第で、ビジネスのアウトプットが大きく変わるといっても過言ではありません。
そこで本番組では2014年においてGoogleが提供する各種サービスを解説していく事で、Google時代のビジネスの進め方について学んでいきます。

講師

★林　信行(ITジャーナリスト)

技術的視点にとどまらず、未来のライフスタイルやワークスタイルといった視点を重視して取材を続けるIT系ジャーナリスト。90年代から主要なIT系媒体で記事を執筆。近年はグローバル化への対応を迫られる日本企業に、アップル、グーグルやシリコンバレーの起業家の考え方やノウハウを伝えている。日本の媒体だけにとどまらず、米英仏などの海外の媒体にも記事を提供する。

1	グーグル時代のビジネス流儀　基礎・概略
2	グーグル流仕事術 ゲスト：山路達也氏（テクニカルライター）
3	クラウドとモバイルの活用 ゲスト：山路達也氏（テクニカルライター）
4	グーグル以外のツールとの連携

<Information Technology>

21世紀のカタチ

2015年1月～現在

番組コンセプト
パソコンと共に普及したデジタル情報処理とインターネット技術は、その後、スマートフォンという形になって数十億人のポケットに忍び込みました。デジタル社会は、まさにこれからが本番。　我々はこれからの社会をどのようにデザインしていけばいいのでしょうか。 デジタル技術がIT業界だけのものだったのは昔の話。今では、ITにはおよそ縁遠いと思われていた農林水産業や教育、医療・ヘルスケア・介護、ファッション業界、飲食店なども急速にデジタル化が進んでいます。それどころか、実は元々、デジタル化されていなかった分、こうした領域の方が進化の伸びしろが大きく、チャンスも大きいかもしれません。 そこで本番組では21世紀におけるデジタル時代のあるべき姿をITジャーナリストの林信行さんと考えていきます。
講師
★林　信行(ITジャーナリスト) 技術的視点にとどまらず、未来のライフスタイルやワークスタイルといった視点を重視して取材を続けるIT系ジャーナリスト。90年代から主要なIT系媒体で記事を執筆。近年はグローバル化への対応を迫られる日本企業に、アップル、グーグルやシリコンバレーの起業家の考え方やノウハウを伝えている。日本の媒体だけにとどまらず、米英仏などの海外の媒体にも記事を提供する。

1	スポーツとテクノロジー ゲスト：暦本純一氏（東京大学大学院情報学環 教授 ）
2	ファッションとテクノロジー ゲスト：森田修史氏（デジタルファッション株式会社 代表取締役社長）

＜起業・ベンチャー＞

アントレプレナーライブ

1999年10月～現在

番組コンセプト

創業期、成長期における企業経営は安定期、成熟期のそれとはおのずと違ったものになります。この番組では、ベンチャー企業の戦略や、実際にベンチャーを立ち上げ成功に導いた起業家の「アントレプレナーシップ」を、事例を交えながら実務に役立つように分析・解説します。

講師

★千本倖生（イー・アクセス株式会社代表取締役ＣＥＯ）
第二電電創業メンバー。京都大学工学部電子工学科卒業後、フロリダ大学大学院修士課程・博士課程修了・工学博士(電子工学)。日本電信電話公社（現NTT)、京セラ勤務、平成６年第二電電株式会社副社長に就任。2001年カルフォルニア大学バークレー校経営大学院客員教授。

★米倉誠一郎（一橋大学イノベーション研究センター教授）
1953年、東京都生まれ。一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了。1990年、ハーバード大学で歴史博士号を取得。早くからアメリカ・シリコンバレーのＩＴ起業の状況などを見てきた。日米のベンチャー政策に詳しい。著書に『経営革命の構造』『ネオＩＴ革命』など多数。

★柳孝一（早稲田大学アジア太平洋研究センター教授）
早稲田大学第一政治経済学部卒。野村総合研究所第一期生として入所。スタンフォード研究所派遣。経営コンサルティング部・部長／主席コンサルタント。多摩大学経営情報学部教授。早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授。早大アントレプレヌール研究会代表世話人。日本ベンチャー学会理事。

★鈴木克也（公立はこだて未来大学システム情報科学部情報アーキテクチャ学科教授）
株式会社ジャフコベンチャーキャピタリストを経て、現職。

★高橋俊介（慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）
⇒プロフィールは「組織人事ライブ」(26ページ）参照。

★内田和成（株式会社ボストン･コンサルティング・グループ　シニア・アドバイザー）
⇒プロフィールは「パラダイムシフト・マネジメント」(18ページ）を参照

◆ベンチャー経営編（講師：千本倖生）

1999年10月～2001年3月

1	「アントレプレナー学」を学ぼう
2	起業機会・事業化アイディア ゲスト：スティーブ・チャン氏（トレンドマイクロ株式会社代表取締役社長兼ＣＥＯ）▲
3	事業計画書・ベンチャー企業のマーケティング戦略 ゲスト：金丸恭文氏（フューチャーシステムコンサルティング株式会社代表取締役社長）
4	ベンチャー経営の組織人事戦略 ゲスト：進藤晶弘氏（株式会社メガチップス代表取締役社長）
5	ベンチャー企業の資金調達戦略　～ベンチャーキャピタルの存在～ ゲスト：松木伸男氏（シュローダー・ベンチャーズ株式会社代表取締役）
6	株式公開、上場後のベンチャー経営戦略■
7	起業機会を見つける ゲスト：笹沼泰助氏（株式会社アドバンテッジ・パートナーズ共同代表パートナー）
8	事業計画書を作成する ゲスト：孫泰蔵氏（インディゴ株式会社代表取締役）
9	経営チームを構成する ゲスト：成本慶弘氏（ルネサンスマルチメディア株式会社代表取締役）
10	必要資金を調達する ゲスト：村口和孝氏（日本テクノロジーベンチャーパートナーズ代表取締役）
11	ビジネスを成長させる ゲスト：大山彰久氏（ｅグループ株式会社代表取締役社長）
12	ベンチャーの成功と失敗 ゲスト：村本理恵子氏（株式会社ガーラ代表取締役会長）
13	ＭＢＡがベンチャー経営に如何に役立つか　～ベンチャー企業と経営学～ ゲスト：竹内弘高氏
14	日本のネットビジネスのビジネスモデル ゲスト：鈴木康正氏（日本ネットワーク・アプライアンス株式会社代表取締役社長）
15	日本のベンチャーと人材 ゲスト：清成忠男氏（法政大学総長／日本ベンチャー学会会長）●
16	女性起業家 ゲスト：佐藤玖美氏（株式会社ウーマンジャパンドットコム／株式会社コスモ・ピーアール代表取締役社長）
17	通信業界におけるベンチャー ゲスト：エリック・ガン氏（イー・アクセス株式会社代表取締役ＣＯＯ）
18	ベンチャー経営編総括

◆ベンチャー成功の要諦（講師：①～⑤柳孝一／⑥⑦鈴木克也）

2001年4月～11月

1	ベンチャー組織の体系とベンチャー企業経営論
2	アントレプレナーの起業力
3	アントレプレナーの市場戦略
4	経営システムにおける成功のポイント
5	ベンチャーマネジメントの変革理論
6	ベンチャー企業の財務戦略
7	ベンチャー企業のビジネスプラン

◆アントレプレナーシップ編（講師：米倉誠一郎）

2002年1月～現在

1	精神論を越えて、アントレプレナーシップを科学する
2	子会社出向・転籍はチャンス！ ゲスト：小川善美氏（株式会社インデックス代表取締役副社長）■
3	エンジニアにチャンス！ ゲスト：飯塚哲哉氏（ザインエレクトロニクス株式会社代表取締役社長）
4	キャリア・フレキシビリティー ゲスト：家本賢太郎氏（株式会社クララオンライン代表取締役）
5	ビジネスモデルをつくる！ ゲスト：折口雅博氏（グッドウィル・グループ株式会社代表取締役会長）■
6	デファクト・スタンダード ゲスト：荒川亨氏（株式会社ＡＣＣＥＳＳ代表取締役社長）
7	テクノロジーの解放　～Linuxをめぐるビジネスモデル～ ゲスト：小椋一宏氏（株式会社ホライズン・デジタル・エンタープライズ代表取締役社長）
8	ベンチャーキャピタリストの視点から見る日本ベンチャービジネス ゲスト：田中邁氏（株式会社ワールドビューテクノロジーベンチャーキャピタル代表取締役社長）
9	永田町のアントレプレナーシップ ゲスト：鈴木寛氏（参議院議員）▲

10	情熱と希望の創業　～ほっかほっか亭からフレッシュネスバーガーへ～ ゲスト：栗原幹雄氏（株式会社フレッシュネスバーガー代表取締役）
11	インターネット技術者集団の夢 ゲスト：藤原洋氏（株式会社インターネット総合研究所代表取締役所長）
12	都市再開発にかける情熱　～貸しビル業からデベロッパーへ～ ゲスト：森稔氏（森ビル株式会社代表取締役社長）
13	小布施ルネッサンス　～地方都市から世界へ～ ゲスト：セーラ・マリ・カミングス氏（桝一市村酒造場取締役）
14	老舗旅館１５代目、価格破壊への挑戦 ゲスト：小川晴也氏（株式会社一の湯代表取締役社長）
15	アルバイトから年商１０００億企業の社長へ　～自己変革を続ける吉野家の原動力に迫る～ ゲスト：安部修仁氏（株式会社吉野家ディー・アンド・シー代表取締役社長）
16	突然の社長解任、逆境からの新たなる起業　～躍進を続けるユニバーサルホームの「住宅革命」～ ゲスト：加藤充氏（株式会社ユニバーサルホーム代表取締役社長）
17	市場ニーズを形に変える　～携帯動画の立役者、オフィスノアの挑戦～ ゲスト：加治木紀子氏（株式会社オフィスノア代表取締役）
18	虚業を実業に変える　～証券業界のパラダイムシフトを見極めろ～ ゲスト：松井道夫氏（松井証券株式会社代表取締役社長）
19	ベンチャー政治家が横浜を変える！ ゲスト：中田宏氏（横浜市長）▲
20	ワンコインビジネス“１００円ショップ”の成功　--デフレ時代を生き抜くための経営手腕に迫る-- ゲスト：矢野博丈氏（株式会社大創産業代表取締役社長）
21	大企業の牙城を崩すネットベンチャー　～サイボウズが変えるワークスタイルの未来像～ ゲスト：高須賀宣氏（サイボウズ株式会社代表取締役社長）
22	ハリウッドスタイルが生み出す起業家たち ゲスト：藤本真佐氏（デジタルハリウッド株式会社代表取締役社長）
23	流通革命に挑む！ ～華僑から学んだビジネススタイル～ ゲスト：小方功氏（株式会社ラクーン代表取締役）
24	ニュービジネスと２１世紀型社会に向けて ゲスト：志太勤氏（シダックス株式会社代表取締役会長）
25	成功し続けるための３つの方程式 ～内なる願望・外なる刺激・ 貫徹する執念～ ゲスト：高原慶一朗氏（ユニ・チャーム株式会社代表取締役会長兼 CEO）
26	高い志、大きい夢５５年計画 ゲスト：熊谷正寿氏（グローバルメディアオンライン株式会社代表取締役会長兼社長）
27	地方から日本を動かす　～神奈川県知事・既得権益への挑戦～ ゲスト：松沢成文氏(神奈川県知事)
28	カスタマーセントリックが規制秩序を破壊する ゲスト：坂本孝氏（ブックオフコーポレーション株式会社代表取締役社長）
29	気分は上場！！ ゲスト：出縄良人氏（ディー・ブレイン証券株式会社代表取締役社長）
30	究極のソリューションビジネス ゲスト：岡村勝正氏（株式会社毛髪クリニックリーブ２１代表取締役社長）
31	川上に立とう ゲスト：後藤玄利氏（ケンコーコム株式会社代表取締役社長）
32	コンシューマー・オリエンテッドという妖怪が徘徊している ゲスト：西野伸一郎氏（株式会社富士山マガジンサービス代表取締役社長）
33	コアなきコアビジネス ゲスト：西川潔氏（株式会社ネットエイジグループ代表取締役社長））
34	起業はエキサイティング ゲスト：石黒不二代氏（ネットイヤーグループ株式会社代表取締役社長兼 CEO）
35	モノからソリューション ゲスト：森本剛民氏（株式会社ウィークエンドホームズ社代表取締役 CEO）
36	立て!　団塊の世代 ゲスト：高橋忠仁氏（株式会社 PALTEK 代表取締役社長）
37	夢を仕事に ゲスト：北原照久氏（株式会社トーイズ代表取締役）
38	大風呂敷 ゲスト：堀 主知 ロバート氏（株式会社サイバード代表取締役社長）
39	サービス経済の企業家精神 ゲスト：森下篤史氏（株式会社テンポスバスターズ代表取締役社長）

40	化学と心の経営 ゲスト：山形圭史氏（株式会社関門海代表取締役社長）
41	急がば回れ！　金融＝IT 産業 ゲスト：齋藤正勝氏（カブドットコム証券株式会社 代表執行役社長）
42	ネット流通の新業態 ゲスト：佐藤輝英氏（株式会社ネットプライス代表取締役社長兼 CEO）
43	新たな情報投資という視点 ゲスト：成瀬直邦氏（株式会社デスティナ・ジャパン代表取締役 CEO）
44	文理ハイブリッド ゲスト：松田憲幸氏（ソースネクスト株式会社 代表取締役社長）
45	ポータブルなコアコンピタンス ゲスト：近藤太香巳氏（株式会社ネクシィーズ 代表取締役社長）
46	環境適応論 ～ザ・プロフェッショナル～ ゲスト：松本洋氏（株式会社アルファパーチェス 代表取締役社長 兼 CEO）
47	百聞は一見にしかず ゲスト：鈴木清幸氏（株式会社アドバンスト・メディア代表取締役社長）
48	プロフェッショナルマーケットを探せ ～柔よく剛を制す～ ゲスト：高乗正行氏（株式会社チップワンストップ代表取締役社長）
49	イノベーションとは新しい組み合わせ ゲスト：保知宏氏（株式会社プロピア代表取締役社長）■
50	ニッチは深い！ ゲスト：江幡哲也氏（株式会社オールアバウト代表取締役社長兼 CEO）
51	みんなの意見はやっぱり正しい ゲスト：近藤淳也氏（株式会社はてな代表取締役）
52	Web 1.5 ニッチ×ニッチ ゲスト：家入一真氏（株式会社 paperboy&co.代表取締役社長）
53	知識集約型　ビジネスモデル（１） ゲスト：加藤一郎太氏（株式会社エムケーキャピタルマネージメント代表取締役社長）
54	外資系企業経営という仕事 ゲスト：吉越浩一郎氏（トリンプ・インターナショナル・ジャパン株式会社代表取締役社長）
55	カタチから入る ゲスト：森正文氏（株式会社一休代表取締役社長）
56	経営進化論 ～失敗を梃に～ ゲスト：飯塚克美氏（バイ・デザイン株式会社代表取締役社長）
57	競争のディメンションシフト（新次元） ゲスト：高島宏平氏（オイシックス株式会社代表取締役社長）
58	社内ベンチャーの光と影 ゲスト：村田岳彦氏（株式会社サイバーマップ・ジャパン代表取締役社長）
59	使いやすい＝大きなビジネスチャンス ゲスト：内藤 裕紀氏（株式会社ドリコム　代表取締役）
60	熱さの裏のロジック　～Cool Head, Warm Heart～ ゲスト：杉本宏之氏（株式会社エスグラントコーポレーション代表取締役兼 CEO）■
61	Live to Work から Work to Live ゲスト：髙島郁夫氏（株式会社バルス代表取締役社長）
62	社内ベンチャー：有形無形資産の活用 ゲスト：井上 直也氏（マガシーク株式会社代表取締役社長）
63	ウエディングという名の地域再生 ゲスト：浅田剛治氏（株式会社ノバレーゼ代表取締役社長）
64	コアのある事業再生 ゲスト：広野道子氏（２１ＬＡＤＹ株式会社代表取締役社長 兼 CEO）
65	インターネットのバックヤード：テクノロジー・ベンチャー登場 ゲスト：石田宏樹氏（フリービット株式会社代表取締役社長兼 CEO）
66	デジ転び八起き ゲスト：大島康広氏（株式会社プラザクリエイト代表取締役社長）
67	ギフトの循環 ～起業家が起業家に投資する～ ゲスト：須賀等氏（丸の内起業塾塾長）
68	ネットベンチャー　第２ステージ ゲスト：宇佐美進典氏（株式会社ＥＣナビ 代表取締役ＣＥＯ）
69	華ある人生 花あるビジネス ゲスト：井上英明氏（株式会社パーク・コーポレーション代表取締役）

70	営業からエンジニアリング ゲスト：高山雅行氏（株式会社アイレップ代表取締役社長）
71	ＸＭＬ時代のパイオニア ゲスト：平野洋一郎氏（インフォテリア株式会社代表取締役社長/CEO）
72	モバイルと仕組み ゲスト：宮嶌裕二氏（株式会社モバイルファクトリー　代表取締役）
73	人類の半分は女性です ゲスト：中村紀子氏（株式会社ポピンズコーポレーション代表取締役 CEO）
74	本当の大学発ベンチャー ゲスト：山海嘉之氏（筑波大学大学院システム情報工学研究所教授/CYBERDYNE 株式会社ＣＥＯ）
75	マズローとスローン ゲスト：高岡 壮一郎 氏（アブラハム・グループ・ホールディングス株式会社　 代表取締役社長）■
76	ネットビジネス 知の再生産 ゲスト：実藤裕史氏（株式会社もしも代表取締役）
77	今日は規格外品です ゲスト：坂本桂一氏（株式会社フロイデ会長）
78	やっぱり夢　～世界で日本は２番目の経済大国～ ゲスト：宮沢俊哉氏（株式会社アキュラホーム 代表取締役社長）
79	ＮＰＯという名のイノベーション ゲスト：駒崎弘樹氏（ＮＰＯ法人フローレンス 代表理事）
80	マイナスからの再起 ゲスト：川又三智彦氏（ツカサグループ 代表）
81	創業家社長のかたち ゲスト：谷田千里氏（株式会社タニタ 代表取締役社長）
82	おくりびとの裏側 ゲスト：中川貴之氏（株式会社アーバンフューネスコーポレーション 代表取締役）
83	ネットベンチャー健在 ゲスト：柴田 啓氏（株式会社ベンチャーリパブリック 代表取締役社長ＣＥＯ）
84	モーレツ社員の穏やかな起業 ゲスト：今野誠一氏（株式会社マングローブ 代表取締役社長）
85	ホームレスから上場 ゲスト：兼元謙任氏（株式会社オウケイウェイヴ 代表取締役社長）
86	システム発想とブランド ゲスト：竹内 拓氏（株式会社デファクトスタンダード 代表取締役社長）
87	占いというＣＲＭ ゲスト：杉山全功氏（株式会社ザッパラス 代表取締役会長兼社長）
88	小さくて豊かなラグジュアリービジネス ゲスト：上野照博氏（株式会社インターメスティック 代表取締役社長）
89	市場ギャップを埋める「婚カツ」というマーケットニーズ ゲスト：佐伯猛氏（株式会社エクシオジャパン 代表取締役）
90	人を育てるファクトリー ゲスト：子安裕樹氏（株式会社ファクトリージャパン 代表取締役会長）
91	趣味が仕事に！ ゲスト：田中良和氏（グリー株式会社 代表取締役社長）
92	地頭・創造性・好きな事 ゲスト：前澤友作氏（株式会社スタートトゥデイ 代表取締役）
93	ジョブマッチングの新しい形 ～情報価値と雇用～ ゲスト：砂川 大氏（株式会社ロケーションバリュー 代表取締役ＣＥＯ）
94	死の谷を越えて 死の谷に戻る ゲスト：杉本哲哉氏（株式会社マクロミル 代表取締役会長兼社長）
95	シェアするというライフスタイル ゲスト：新井香奈氏（ヴィーナスキャピタル株式会社 代表取締役）
96	『ノウ』と言えるニッポン ゲスト：西辻一真氏（株式会社マイファーム 代表取締役）
97	経営資源の多重利用 ゲスト：坂見鹿郎氏（株式会社レンタス 代表取締役）
98	ニッチの集積＝総合 ゲスト：寺井良治氏（イービストレード株式会社 代表取締役社長）
99	ビジネスフロンティアとしての標準化 ゲスト：岩崎辰之氏（株式会社エプコ 代表取締役社長）
100	新黒船がやってきた ～グローバリゼーションの今～ ゲスト：森デイブ氏（ピク メディア株式会社 代表取締役）
101	偶然に頼らない価格差ビジネス ゲスト：水永政志氏（スター・マイカ株式会社 代表取締役社長）
102	中古ビジネスの心理 ～腕よりも道具～ ゲスト：藤本伸也氏（株式会社タックルベリー 代表取締役）
103	やはりクリック＆モルタル ゲスト：石坂信也氏（株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン 代表取締役社長）
104	イノベーション 新しい組み合わせ ゲスト：田坂正樹氏（株式会社インフロー 代表取締役）
105	プロフェッショナル集団のイノベーション ゲスト：元榮太一郎氏（オーセンスグループ株式会社 代表取締役社長／弁護士）
106	ＩＴプラットフォーム企業 ゲスト：和田憲治氏（株式会社オンザボード 代表取締役）
107	ソーシャルビジネス ゲスト：工藤 啓氏（ＮＰＯ法人育て上げネット 理事長）
108	本当の適材適所経営 ゲスト：大山泰弘氏（日本理化学工業株式会社 取締役会長）
109	ネット進化論 ～継続は力なり～ ゲスト：神原弥奈子氏（株式会社ニューズ・ツー・ユー 代表取締役社長）
110	付加価値事業継承 ゲスト：寺田航平氏（株式会社ビットアイル 代表取締役社長）
111	成熟産業の嘘 ゲスト：米山 久氏（株式会社ＡＰカンパニー 代表取締役社長）
112	通過点としての上場 ゲスト：村上太一氏（株式会社リブセンス 代表取締役社長）
113	ソーシャルという他力本願 ゲスト：須田将啓氏（株式会社エニグモ 代表取締役 共同最高経営責任者） 田中禎人氏（株式会社エニグモ 代表取締役 共同最高経営責任者
114	日本の成長産業 ゲスト：吉田太一氏（キーパーズ有限会社 代表取締役）
115	教育イノベーション到来 ゲスト：永谷研一氏（株式会社ネットマン 代表取締役社長／発明家
116	キャリアダイバーシティの時代 ゲスト：小沼大地氏（ＮＰＯ法人クロスフィールズ 代表理事
117	不遇から生まれた幸福な会社 ゲスト：林 高生氏（株式会社エイチーム 代表取締役社長
118	業態進化論 ゲスト：川島勝士氏（株式会社スタッフブリッジ 代表取締役ＣＥＯ）
119	医療ソーシャルビジネス ゲスト：川添高志氏（ケアプロ株式会社 代表取締役社長）
120	老舗革新と経営理論 ゲスト：石渡美奈氏（ホッピービバレッジ株式会社 代表取締役社長）
121	ＥＣサイトへチョイスを！ ゲスト：向畑憲良氏（ＧＭＯメイクショップ株式会社 代表取締役社長）
122	事業コンセプトの再定義 ゲスト：小森伸昭氏（アニコムホールディングス株式会社 代表取締役社長）
123	あるものないもの ゲスト：経沢香保子氏（トレンダーズ株式会社 代表取締役）
124	ついに来た！ブロックバスターの予感 ゲスト：窪田 良氏（Ａｃｕｃｅｌａ Ｉｎｃ．代表取締役会長・社長 兼 ＣＥＯ）
125	日本型ナレッジ・ベースド・カンパニー ゲスト：出雲 充氏（株式会社ユーグレナ 代表取締役）
126	情報非対称性解消ビジネス ゲスト：山本 強氏（地盤ネット株式会社 代表取締役）
127	正しい社内ベンチャーの創り方 ～ＬＣＣは格安航空ではない～ ゲスト：井上慎一氏（Ｐｅａｃｈ Ａｖｉａｔｉｏｎ株式会社 代表取締役ＣＥＯ）
128	伝統と革新 ～本当のクールジャパン～ ゲスト：橋本隆志氏（株式会社八代目儀兵衛 代表取締役社長）

129	ITナレッジ・コンサルの時代 ゲスト：漆原 茂氏（ウルシステムズ株式会社 代表取締役社長）
130	女性の時代を創り出す ゲスト：米倉史夏氏（株式会社Ｗａｒｉｓ 代表取締役） 田中美和氏（株式会社Ｗａｒｉｓ 代表取締役）
131	ネット時代の革命的モノづくり ゲスト：岩佐琢磨氏（株式会社Ｃｅｒｅｖｏ 代表取締役）
132	ブラック体験からの教訓 ～顧客・従業員満足の同時実現～ ゲスト：岩槻知秀氏（レバレジーズ株式会社 代表取締役）
133	ネットなのにストックビジネス ゲスト：白砂 晃氏（株式会社フォトクリエイト 代表取締役社長）
134	成熟という幻想 ゲスト：田中 仁氏（株式会社ジェイアイエヌ 代表取締役社長）
135	サービス進化論 ～かつて起こった未来～ ゲスト：白石徳生氏（株式会社ベネフィット・ワン 代表取締役社長）

◆人材育成企業　コンサルティング会社編（講師：高橋俊介／内田和成）

2005年5月～7月

1	ゲスト：南場智子氏（株式会社ディー・エヌ・エー代表取締役社長）▲
2	ゲスト：谷村　格氏　（ソネット・エムスリー株式会社代表取締役 CEO）
3	ゲスト：石川真一郎氏（株式会社 GDH 代表取締役社長兼 CEO）
4	ゲスト：姜 裕文氏（株式会社リプラス 代表取締役 CEO）■
5	ゲスト：青松英男氏（アクティブ・インベストメント・パートナーズ株式会社代表取締役）
6	ゲスト：秋山咲恵氏（株式会社サキコーポレーション代表取締役社長）

＜起業・ベンチャー＞

アタッカーズ・ビジネススクールアワー

1998年10月～現在

番組コンセプト

大前研一が塾長を務めるアントレプレナー（起業家）養成講座から選りすぐりの講演をお届けします。現在活躍しているトップ起業家が成功するまでの苦労話をおりまぜながら、その成長要因や戦略の本質を本音で語ります。アタッカー型組織･人材の構築ビジョンや起業家心理強化のためのノウハウ満載です。事業機会の捉え方、未来の経営者育成に最適の番組です。

1	社内企業制度運営の成功の秘訣 田口弘（株式会社ミスミ代表取締役社長）
2	中小企業が事業を拡大し、大企業に対向するためキーは何か 堀威夫（株式会社ホリプロ代表取締役会長）■
3	ブックオフコーポレーションの成功要因　～過去の失敗から学ぶ成功法則～ 坂本孝（ブックオフコーポレーション株式会社代表取締役）■
4	富士ゼロックスの成功要因 小林陽太郎（株式会社富士ゼロックス代表取締役会長）
5	シリコンバレーのニュービジネス成功の秘訣 トム・サトウ（バーゲンアメリカＣＥＯ）
6	株式会社はせがわの成功要因 長谷川裕一（株式会社はせがわ取締役社長）
7	ベッコアメの成功要因 尾崎憲一（ベッコアメ・インターネット代表取締役社長）■
8	起業するチャンスは身近なところにある■ 猿橋望（株式会社ＮＯＶＡ代表取締役社長）
9	イトーヨーカ堂の成功要因 伊藤雅俊（株式会社イトーヨーカ堂取締役名誉会長）
10	インテリジェンスの成功要因 宇野康秀（株式会社インテリジェンス代表取締役社長）■
11	アジアの観光拠点をつくる 神近義邦（ハウステンボス株式会社代表取締役社長）■
12	ディー・ブレインの成功要因 出縄良人（ディー･ブレイン証券代表取締役会長）
13	折口雅博（グッドウィル・グループ株式会社代表取締役会長）■
14	証券業界サバイバル戦略 松井道夫（松井証券株式会社代表取締役社長）
15	渡邉美樹（ワタミフードサービス株式会社代表取締役社長）▲
16	競合乱立の業界で、常に一歩先を歩む経営戦略 鳥羽博道（ドトールコーヒー代表取締役社長）
17	２１世紀のアントレプレナー精神 南部靖之（パソナグループＣＥＯ）▲
18	ダスキンに学ぶ成功する起業の実践と理論 千葉弘二（株式会社ダスキン代表取締役社長）■
19	ソフト化時代の経営戦略 山内溥（任天堂株式会社取締役社長）▲
20	青木定雄（エムケイグループオーナー）
21	これからの起業家に必要なもの 片岡勝（市民バンク代表）

22	社会の矛盾に挑む 樋口行雄（河内屋酒販代表取締役社長）▲
23	大きなプレッシャーがビジネスを飛躍させる 西川清（パーク２４株式会社代表取締役社長）
24	おもしろく、楽しく、豊かに、カッコよく 北村陽次郎（イタリヤード株式会社社長）■
25	インフラにおける新しい挑戦 孫正義（ソフトバンク株式会社代表取締役社長）
26	デジタルコンテンツ時代の流通革命　～その発想と戦略～ 鈴木尚（株式会社デジキューブ会長兼ＣＥＯ）■
27	マツモトキヨシの成功要因 松本和邦（株式会社マツモトキヨシ代表取締役社長）
28	フューチャーシステムコンサルティングの成功要因 金丸恭文（フューチャーシステムコンサルティング株式会社代表取締役社長）
29	ハイパーネットの失敗要因 板倉雄一郎（元株式会社ハイパーネット代表取締役社長）
30	起業家心理強化　～起業家精神について～ 福島正伸（アントレプレナーセンター代表）
31	今後求められる人材と企業におけるアウトソーシングの実態 上田宗央（株式会社パソナ副社長）■
32	アップルの成功要因 原田永幸（アップルコンピュータ株式会社代表取締役社長）■
33	マイクロソフトの成功要因 成毛真（元マイクロソフト日本法人社長）■
34	ベンチャーリンクの成功要因 小林忠嗣（ベンチャーリンク）
35	２１世紀に求められる企業理念 竹内弘高（一橋大学教授）
36	パソナグループの成功要因 南部靖之（パソナグループ）▲
37	カンキョーの失敗要因 藤村靖之（元カンキョー株式会社代表取締役社長）
38	グッドウィルの成功要因 折口雅博（グッドウィル・グループ株式会社代表取締役会長／株式会社コムスン代表取締役）■
39	エアーリンクの成功要因 瀧本泰行（株式会社エアーリンク代表取締役会長）
40	ＩＴＡＳＨＯグループの成功要因 板越ジョージ（ＩＴＡＳＨＯグループＣＥＯ）■
41	ファーストリテイリングの成功要因 柳井正（株式会社ファーストリテイリング代表取締役社長）▲
42	ＴＡＹＡの成功要因 田谷哲哉（株式会社田谷代表取締役社長）■
43	ドン・キホーテの成功要因 安田隆夫（株式会社ドン・キホーテ代表取締役社長）
44	まんだらけの成功要因 古川益蔵（株式会社まんだらけ代表取締役社長）
45	ガリバーインターナショナルの成功要因 羽鳥兼市（株式会社ガリバーインターナショナル代表取締役社長）
46	サイバーエージェントの成功要因 藤田晋（株式会社サイバーエージェント代表取締役社長）
47	ウェザーニューズの成功要因 石橋博良（株式会社ウェザーニューズ代表取締役社長）■
48	ベンチャーコントロールの成功要因 田中美孝（株式会社ベンチャーコントロール代表取締役社長）
49	オービックビジネスコンサルタントの成功要因 和田成史（株式会社オービックビジネスコンサルタント代表取締役社長）
50	ＡＮＪＯインターナショナルの成功要因 安生浩太郎（株式会社ＡＮＪＯインターナショナル代表取締役社長）■
51	シダックスの成功要因 志太勤（シダックスグループ代表）

52	グローバルダイニングの成功要因 長谷川耕造（株式会社グローバルダイニング代表取締役社長）■
53	ワタミフードサービスの成功要因 渡邉美樹（ワタミフードサービス株式会社代表取締役社長）
54	ファンケルの成功要因 池森賢二（株式会社ファンケル代表取締役社長）
55	日本マクドナルドの成功要因 藤田田（日本マクドナルド株式会社代表取締役会長兼ＣＥＯ）■
56	２１世紀に求められる企業理念 竹内弘高（一橋大学大学院国際企業戦略研究科科長）
57	ファーストリテイリングの成功要因 柳井正（株式会社ファーストリテイリング代表取締役会長兼ＣＥＯ）▲
58	オン・ザ・エッヂの成功要因 堀江貴文（株式会社オン・ザ・エッヂ代表取締役社長）■
59	イー・アクセスの成功要因 千本倖生（イー・アクセス株式会社代表取締役社長）
60	ベンチャー企業の組織・人材マネジメント 高橋俊介
61	ヤオハン失敗の教訓 和田一夫（元国際流通グループヤオハン代表／現株式会社アイ・エム・エー代表取締役社長）
62	ソフトバンク・ファイナンスの成功要因 北尾吉孝（ソフトバンク・ファイナンス株式会社代表取締役社長）
63	起業家心理強化 福島正伸（株式会社アントレプレナーセンター代表取締役社長）
64	加ト吉の成功要因 加藤義和（株式会社加ト吉代表取締役社長）
65	ダイヤル・サービスの成功要因 今野由梨（ダイヤル・サービス株式会社代表取締役社長）
66	サイバードの成功要因 堀主知ロバート（株式会社サイバード代表取締役社長）
67	タニタの成功要因 谷田大輔（株式会社タニタ代表取締役社長）
68	壱番屋の成功要因 宗次徳二（株式会社壱番屋会長）
69	明光ネットワークジャパンの成功要因 渡辺弘毅（明光ネットワークジャパン株式会社代表取締役社長）
70	ペイントハウスの成功要因 星野初太郎（株式会社ペイントハウス代表取締役社長）
71	キュービーネットの成功要因 小西國義（キュービーネット株式会社代表取締役会長）
72	インディゴの成功要因 孫泰蔵（インディゴホールディングス株式会社代表取締役会長）
73	ローランドの成功要因 梯郁太郎（ローランド株式会社特別顧問）
74	京セラの成功要因 稲盛和夫（京セラ株式会社取締役名誉会長）
75	サンブリッジの挑戦 講師：アレン・マイナー（株式会社サンブリッジ代表取締役社長）
76	タリーズコーヒージャパンの成功要因 講師：松田 公太（タリーズコーヒージャパン株式会社代表取締役社長）▲
77	ミスミの成功要因 講師：田口弘氏（株式会社ミスミ取締役相談役）
78	グローバルメディアオンラインの成功要因 講師：熊谷正寿氏（グローバルメディアオンライン株式会社代表取締役社長ＣＥＯ）
79	グッドウィルグループの成功要因 講師：折口雅博氏（グッドウィル・グループ株式会社代表取締役会長兼ＣＥＯ）■
80	エステー化学 戦略転換　～成熟企業の活性化～ 講師：鈴木喬（エステー化学株式会社代表取締役社長）
81	際コーポレーションの成功要因 講師：中島武氏（際コーポレーション株式会社代表取締役）▲

82	アクセスの成功要因 講師：荒川亨氏（株式会社ＡＣＣＥＳＳ代表取締役社長）■
83	まぐクリックの成功要因 講師：西山裕之（株式会社まぐクリック代表取締役社長）
84	デジタルハリウッドの成功要因 講師：杉山知之（デジタルハリウッド株式会社取締役学校長）▲
85	フルキャストグループの成功要因 講師：平野岳史（株式会社フルキャスト代表取締役社長）■
86	ギャガ・コミュニケーションズの挑戦 講師：藤村哲哉氏（株式会社ギャガコミュニケーションズ代表取締役 CEO）■
87	規制業界を動かす地動説的発想法 講師：松井道夫（松井証券株式会社　代表取締役社長）
88	ヒット連発・新商品開発における着想 講師：樽見茂（株式会社篠崎屋　代表取締役社長）
89	業界にイノベーションをおこす発想の原点 講師：加藤　充（株式会社ユニバーサルホーム代表取締役）
90	ゼロからのビジネスモデル構築 講師：堀之内九一郎（株式会社生活創庫代表取締役社長）
91	企業の存在目的とリーダーシップ 講師：小林陽太郎（富士ゼロックス株式会社取締役会長）
92	ケンコーコムの成功要因 講師：後藤 玄利（ケンコーコム株式会社代表取締役社長）
93	ワイズテーブルコーポレーションの成功要因 講師：金山 精三郎（ワイズテーブルコーポレーション株式会社代表取締役社長）
94	事業をおこす着想と起業家精神 講師：福島正伸（株式会社アントレプレナーセンター代表取締役社長）
95	プロフェッショナル経営者の挑戦 講師：倉重英樹（日本テレコム株式会社 代表執行役社長）
96	ファーストリテイリングの世界戦略 講師：柳井正（株式会社ファーストリテイリング代表取締役会長兼 CEO）▲
97	新しい社会に適合した新しい“スタイル”の創造 講師：吉松徹郎（株式会社アイスタイル代表取締役兼 CEO）
98	不動産業界のＮＥＸＴを創り出す！ 講師：井上高志（株式会社ネクスト 代表取締役社長）■
99	創業の精神とＴＯＴＯ流新価値創造戦略 講師：木瀬 照雄（ＴＯＴＯ株式会社　代表取締役社長）
100	豊かさと自分らしさを提供する“デザイン・コンツェルン” 講師：髙島郁夫（株式会社バルス　代表取締役社長）
101	富裕層ビジネス成功の鍵 講師：臼井 宥文（株式会社イー・マーケティング　代表取締役社長）■
102	ＩＴを活用した新たなビジネスの創造 講師：中村 利江（夢の街創造委員会株式会社　代表取締役社長）
103	資源の可能性を最大活用するデジタル・ビジネスデザイン 講師：上田満弘（株式会社パシフィックネット 代表取締役社長）
104	世界初のネット生保の立上げと新たなる挑戦 講師：出口治明（ライフネット生命保険株式会社 代表取締役社長）
105	跡取り娘から経営者への道のり 講師：伊藤麻美（日本電鍍工業株式会社 代表取締役）
106	儲かる農業を目指すトップリバーの挑戦 講師：嶋崎秀樹（有限会社トップリバー 代表取締役）
107	コミュニティが良き社会を創る！ 講師：上田祐司（株式会社ガイアックス 代表執行役社長ＣＥＯ）
108	シニアマーケットの第一人者が語るシニアビジネスけん引の鍵 山崎伸治氏（株式会社シニアコミュニケーション 代表取締役社長）
109	通信業界のパイオニアが語る「起業家」という生き方 講師：千本倖生（イー・モバイル株式会社 代表取締役会長兼ＣＥＯ）
110	アサヒビール奇跡の復活とさらなる挑戦への歩み 講師：中條高徳（アサヒビール株式会社 名誉顧問）
111	弁護士ドットコムの事業化戦略 講師：元榮太一郎（オーセンスグループ株式会社 代表取締役社長）
112	投資対効果を追求したＷｅｂ構築で経営にインパクトを！ 講師：大前創希（株式会社クリエイティブホープ 代表取締役社長）
113	らでぃっしゅぼーやが創る日本の食卓・農業の未来 講師：緒方大助（らでぃっしゅぼーや株式会社 代表取締役社長）
114	飲食業界に革命を起こすダイヤモンドダイニングの挑戦 講師：松村厚久（株式会社ダイヤモンドダイニング 代表取締役社長）
115	「儲かる農業」を可能としたナチュラルアートの革新的手法 講師：鈴木 誠（株式会社ナチュラルアート 代表取締役ＣＥＯ）
116	カカクコムの今後の成長戦略に迫る！ 講師：田中 実（株式会社カカクコム 代表取締役社長）
117	世界中の生活インフラとなるプラットホームを創りだすＬＩＮＥの挑戦 講師：森川 亮（ＬＩＮＥ株式会社 代表取締役社長）
118	既成概念を打ち破り顧客の“おいしい”を目指す獺祭 講師：桜井博志（旭酒造株式会社 代表取締役社長）
119	ファスト・エンタテイメントという新たな市場を切り開いたＤＬＥの成長戦略とは？ 講師：椎木隆太（株式会社ディー・エル・イー 代表取締役ＣＥＯ）

<起業・ベンチャー>

プレゼンテーションＴＶ２０００

2000年4月～2003年6月

番組コンセプト

「起業家の登龍門」として新規事業をプロデュースするためのプラットホーム、ビジネスジャパンオープン。独創的なアイディアや革新的技術を持つ起業家の事業の成長を支援することを目的としており、また起業家が自らの事業計画を世の中に発表する場として年２回開催されます。この番組では、大前研一が総合プロデューサーを務めるこのコンテストの最終発表会の中から選りすぐりのプレゼンテーションをお届けします。

1	第１回ビジネスジャパンオープン<Part1> ゲスト：孫正義氏（ソフトバンク株式会社代表取締役社長）▲
2	第１回ビジネスジャパンオープン<Part2>　～新しいビジネス：ネットビジネス～▲
3	第１回ビジネスジャパンオープン<Part3>　～ネット市場を開拓する企業～▲
4	第１回ビジネスジャパンオープン<Part4>▲
5	第１回ビジネスジャパンオープン<Part5>▲
6	第２回ビジネスジャパンオープン<Part1>▲
7	第２回ビジネスジャパンオープン<Part2>▲
8	第２回ビジネスジャパンオープン<Part3>▲
9	第３回ビジネスジャパンオープン<Part1>▲
10	第３回ビジネスジャパンオープン<Part2>▲
11	第３回ビジネスジャパンオープン<Part3>▲
12	第４回ビジネスジャパンオープン<Part1>▲
13	第４回ビジネスジャパンオープン<Part2>▲
14	第４回ビジネスジャパンオープン<Part3>▲
15	第５回ビジネスジャパンオープン<Part1>▲
16	第５回ビジネスジャパンオープン<Part2>▲
17	第５回ビジネスジャパンオープン<Part3>▲
18	第６回ビジネスジャパンオープン<Part1>▲
19	第６回ビジネスジャパンオープン<Part2>▲
20	第７回ビジネスジャパンオープン<Part1>▲
21	第７回ビジネスジャパンオープン<Part2>▲

<起業・ベンチャー>

起業家スピリッツＴＶ

1998年11月～1999年10月

番組コンセプト

ゼロからスタートして巨額の財産を築くことができる起業家の条件とは何か？　起業家にとって、一番大切なもの、それは「スピリッツ＝思い」と説く福島正伸氏の起業家精神養成講座です。常に高いモチベーションと志で事業展開をしていくことは起業家に限られたことでなく、全ての仕事に関わることです。この番組では、ビジネスマンのメンタルトレーニング及びパフォーマンスへの活かし方を多彩なゲスト・事例と共に検証します。

講師

★福島正伸（株式会社アントレプレナーセンター代表取締役）

早稲田大学卒業後、株式会社ビーボードを設立。株式会社就職予備校(現・アントレプレナーセンター)を設立。通産省、労働省をはじめとした各種政府諮問機関で委員を歴任。社団法人ニュービジネス協議会主催の第１回アントレプレナー大賞人材育成賞受賞。「自立創造型社会の創生」をビジョンに掲げ、起業家及び自立型人材育成のための各種支援を行う。

1	起業家精神五箇条 ゲスト：旗禮泰永氏（株式会社ハウジナコーポレーション代表取締役社長）●
2	みんなに夢を見せてやりたいという思い ゲスト：船津泰彦氏（博多金龍・ヒロコフーズ社長）●
3	２４歳で社団法人設立、その事業展開を学ぶ ゲスト：荒木なぎさ氏（社団法人ユースボウル・ジャパン専務理事）●
4	新価値の創造「コペルネット」 ゲスト：川合アユム氏（イーディーコントライブ代表取締役社長）●
5	感動を与えるビジネス ゲスト：山田納生房氏（株式会社モック社長）●
6	起業のきっかけは人との出会いから ゲスト：高橋進氏（株式会社ルート８８社長）●
7	夢を追いつづける６５歳起業家 ゲスト：荒柴雅美氏（ファモティク株式会社社長）●
8	若者を支援する様々な事業展開 ゲスト：水谷治郎氏（株式会社コミュニティ・サービス代表取締役）●
9	たまごっち開発者に聞く ゲスト：横井昭祐氏（株式会社ウィズ社長）●
10	元番長の起業家 ゲスト：石塚篤氏（香辛飯屋株式会社社長）●
11	知識も経験もない野坂氏がどのように起業したのか ゲスト：野坂英吾氏（株式会社トレジャーファクトリー社長）●
12	野球一直線からベンチャー社長へ ゲスト：藤田牧男氏（株式会社小松屋社長）●

<起業・ベンチャー>

営利組織と非営利組織の パートナーシップ

2008年3月～2008年10月

番組コンセプト

営利組織と非営利組織の境界が曖昧になりつつある。特に欧米では、ビジネススクールを出た優秀な学生が非営利組織のマネジメント職につくことが１つのトレンドとなっており、ソーシャル・マーケティングが具体的に根付きつつある状況が窺える。当シリーズでは、日本のビジネスパーソンに非営利組織の新たな可能性や営利組織とのパートナーシップのあり方、社会起業家（ソーシャル・アントレプレナー）というキャリアを考えるきっかけを提供していく。

講師

★稲増 美佳子(株式会社ＨＲインスティテュート 副社長)

学習院大学文学部心理学科卒業。富士通のフィールドSEを経験した後、サンダーバード国際経営学大学院修士課程修了。1993 年、HRインスティテュート設立メンバー。以来、組織と個人における「WAY(らしさ、ならでは)」づくりをミッションとしたコンサルティング活動や人材開発プログラムを実践。ソシアル・エンタープライズとしての活動(ベトナムでの小学校づくり、など)も推進。
HRI著作物の主要執筆メンバー。

1	営利組織と非営利組織の違いは何か
2	ＣＳＲ（企業の社会的責任）を仕掛ける ゲスト：石田寛氏（経済人コー円卓会議 日本委員会専務理事）
3	社会起業家を支援する ゲスト：井上英之氏（慶應義塾大学 総合政策学部専任講師）
4	カンボジアの児童買春撲滅に人生をかける ゲスト：村田早耶香氏（ＮＰＯ法人かものはしプロジェクト 共同代表）
5	病児保育サービスで、社会を変える ゲスト:駒崎弘樹氏（NPO 法人フローレンス 代表理事）
6	路上生活者の自立を応援する ゲスト:佐野章二氏（有限会社ビッグイシュー 日本代表）
7	巨大ＮＰＯ／ＮＧＯが世界を変える ゲスト：熊野 優氏（ＮＰＯ法人世界の医療団 広報マネージャー）
8	つながりが創りだす新しい可能性

<起業・ベンチャー>

インターネットスタートアップ最前線

2012年6月～2013年1月

番組コンセプト

現代では、クラウドコンピューティングなど IT 技術の進歩によって、インターネット関連事業を興す敷居は低くなり、若き創業者たちが多数出現している。起業家たちによって繰り返された試行錯誤は、蓄積整理され、インターネット事業スタートアップにおける戦略として体系化されつつある。
本番組では、実例を交えながら、インターネットベンチャースタートアップの最前線に迫る。

講師

★小林 雅（インフィニティ・ベンチャーズＬＬＰ 共同代表パートナー）東京大学工学部卒業後、1998 年アーサー・D・リトル（ジャパン）に入社。エレクトロニクス・情報機器・通信関連の新規事業戦略立案に従事後、ベンチャー・インキュベーション事業の立ち上げを経験。2001 年エイパックス・グロービス・パートナーズ（現グロービス・キャピタル・パートナーズ）入社。2004 年同社パートナー就任。累計約 400 億円のベンチャーキャピタル・ファンドを運用。グリー株式会社などのインターネット・モバイル・ソフトウエア産業の投資を担当。2007 年８月に独立し、2008 年１月インフィニティ・ベンチャーズ LLP 共同代表パートナー。インフィニティ・ベンチャーズ・サミットの企画・運営責任者を務める。

1	ゲスト：林 信行氏（IT ジャーナリスト）/武石幸之助氏（株式会社ワンオブゼム CEO）
2	若手起業家インタビュー ゲスト：鈴木仁士氏（Wondershake CEO）/鶴田浩之氏（株式会社 Labit 代表取締役
3	若手起業家に聞く～インフィニティー・ベンチャーズ・サミット～ ゲスト：石田言行氏（trippiece CEO）
4	スマートエデュケーションの事例 ゲスト：池谷大吾氏（株式会社スマートエデュケーション代表取締役）
5	gumi の事例 ゲスト：國光宏尚氏（株式会社 gumi 代表取締役社長）
6	チームラボの事例 ゲスト：猪子寿之氏（チームラボ株式会社代表取締役社長）
7	Amazon Web Services（AWS） の事例 ゲスト：玉川憲氏（アマゾン データ サービス ジャパン株式会社 技術統括本部長）

＜起業・ベンチャー＞

インターネットスタートアップ 最前線～特別編～

2013年2月～現在

番組コンセプト

Infinity Ventures Summit（IVS）とは、IT業界の国内外の経営者・経営幹部を対象とした年2回の招待制のオフサイト・カンファレンスです。こちらではその模様をお伝えすると共に、参加者をお招きして、IT業界・スタートアップ業界の現状を伺います。

講師

★小林　雅（インフィニティ・ベンチャーズLLP共同代表パートナー）

東京大学工学部卒業後、1998年アーサー･D･リトル(ジャパン)に入社。エレクトロニクス･情報機器･通信関連の新規事業戦略立案に従事後、ベンチャー･インキュベーション事業の立ち上げを経験。2001年エイパックス･グロービス･パートナーズ(現グロービス･キャピタル･パートナーズ)入社。2004年同社パートナー就任。累計約400億円のベンチャーキャピタル･ファンドを運用。グリー株式会社などのインターネット･モバイル･ソフトウエア産業の投資を担当。2007年8月に独立し、2008 年1月インフィニティ･ベンチャーズLLP共同代表パートナー。インフィニティ･ベンチャーズ･サミットの企画･運営責任者を務める。

1	IVS 2012 Fall Kyoto ゲスト：佐藤光紀氏（株式会社セプテーニ・ホールディングス代表取締役社長） 光本勇介氏（株式会社ブラケット代表取締役）
2	IVS 2013 Spring Sapporo ゲスト：川田尚吾氏（株式会社DeNA共同創業者/投資家） 佐々木大輔氏（CFO株式会社代表取締役）
3	IVS 2013 Fall Kyoto ゲスト：佐々木紀彦氏（株式会社東洋経済新報社 東洋経済オンライン編集長） 久川真吾氏（株式会社鳥人間 代表取締役）
4	IVS 2014 Spring Sapporo ゲスト：山田敏夫氏（ライフスタイルアクセント株式会社 代表取締役） 溝口勇児氏（株式会社FiNC 代表取締役社長 CEO）
5	IVS 2014 Fall Kyoto ゲスト：金谷元気氏（akippa株式会社代表取締役社長） 小林晋也氏（株式会社ファームノート代表取締役）

＜起業・ベンチャー＞

20代起業家の今とこれから

2015年1月～現在

番組コンセプト

2010年ごろより20代から起業して実績を出している起業家が増えてきました。

その背景として、起業に掛かるコストが近年大幅に下がってきた事、および若者に投資する投資家の数が増えてきたことなどがあげられます。

そこで、本番組では独立系VCとして様々な若手に投資をしている佐俣アンリ氏を講師に迎え、20代の起業家をお呼びして彼らが今考えている事、行っているビジネスを伺っていきます。

講師

★佐俣アンリ（ANRI GeneralPartner）

慶應義塾大学経済学部卒業後リクルートに入社、モバイルコンテンツ･ソーシャルゲームの新規事業立ち上げに携わる。

EastVentures にて FreakOut(2014 年マザーズ上場)、CAMPFIRE の投資と事業立ち上げを行う。また個人として Raksul やスマポ(2013年楽天に売却)の立ちあげを支援する。

2012年ANRI設立、独立系ベンチャーキャピタルとして24社に投資実行し、事業立ち上げを行っている。

現在20億円規模のファンドを運営中。主な投資支援先としてRaksul、Coiney、CrowdWorks(2014年12月マザーズ上場)、MERY(2014年DeNAに売却)、UUUM、Schooがある。

1	スク―の事例 ゲスト：森健志郎氏（株式会社スク―代表取締役社長）
2	トランスリミットの事例 ゲスト：高場大樹氏（株式会社トランスリミット代表取締役）

＜財務・会計＞

日本の財務再構築

2001年6月～2002年5月

番組コンセプト

２１世紀の幕は開けましたが、日本はいまだバブル崩壊後の長いトンネルから抜け出せません。世界のリーダー諸国の一員であり続けるために、革命的な変革を求められていると言えます。この番組では、事業法人・金融・政府・家計の４つのセクターについて、Ｂ／Ｓ（バランスシート／貸借対照表）を明確にディスクローズし、どのように日本の財務を再構築してゆけばよいか、分析、提言していきます。

講師

★村藤功（ベリングポイント株式会社アドバイザー・九州大学大学院経済学研究院産業マネジメント専攻教授）

東大法学部卒業後、ロンドン・ビジネススクールにてMBA取得。ベイン＆カンパニー、メロン銀行、CS First Boston, Inc.、ペレグリン証券（投資銀行部門の日本代表）、アンダーセン取締役などを経て現職。

1	日本の財務再構築総論（１）：バブルの崩壊と日本のＢ／Ｓへの影響
2	日本の財務再構築総論（２）：セクター別連結時価経営
3	日本の財務再構築総論（３）：自己責任の原則と業績評価
4	事業法人セクター（１）：事業法人セクターの財務分析
5	事業法人セクター（２）：事業法人セクターの再構築施策
6	金融法人セクター（１）：金融法人セクターの財務分析
7	金融法人セクター（２）：金融法人セクターの再構築施策
8	一般政府セクター（１）：一般政府セクターの財務分析
9	一般政府セクター（２）：一般政府セクターの再構築施策
10	家計セクター（１）：家計セクターの財務分析
11	家計セクター（２）：家計セクターの再構築施策
12	まとめ：２１世紀の日本のビジョン

＜財務・会計＞

２１世紀の財務戦略

2000年5月～2001年4月

番組コンセプト

激変する経営環境の中、日本の事業会社の経営形態は革命的な変化を迫られています。まず、自由主義型経営として、連結時価開示、自己責任の原則による投資家重視経営が求められています。これに加えてインターネットの発達による情報の流れの変化が起こり、ＩＴによる経営革命も必要となってきました。このような経営環境の変化に対し、各企業はどのように自社の財務を再構築していけば良いのか、この番組では財務にフォーカスして、その再構築の方法と問題点について検討します。また、前半に理論的な話をし、後半には事例を行った企業の代表者をゲストに迎えお話を伺います。

講師

★村藤功（ベリングポイント株式会社アドバイザー・九州大学大学院経済学研究院産業マネジメント専攻教授）

⇒プロフィールは「日本の財務再構築」参照

1	事業価値の評価
2	カンパニー制の導入
3	カンパニー制と業績評価基準
4	事業売却
5	合併
6	株式交換制度
7	会社分割制度
8	民事再生法
9	トラッキングストック
10	証券化
11	ＩＰＯと資本政策
12	ＭＢＯとＬＢＯ

＜財務・会計＞

会計ビッグバン

1999年5月～2000年4月

番組コンセプト

経営者、そして企業会計のグローバルスタンダード化による経営への影響に興味を持っている方々を対象に、会計に関するトピックスを取り上げ、それがどのようにビジネスに影響を与えるか、どう対処すればよいかを解説していきます。会計技術的な内容について、簡潔でわかりやすく説明でお送りします。

講師

★山田辰巳（中央監査法人）　他

1	税効果会計（１）
2	税効果会計（２）
3	法人税の改正について
4	退職給付会計基準（１）
5	退職給付会計基準（２）
6	研究開発費の新会計基準
7	キャッシュフロー計算書とキャッシュフロー経営
8	金融商品の会計基準（１）
9	金融商品の会計基準（２）
10	連結情報開示制度の改正と連結経営
11	連結決算に馴染む
12	２０００年３月決算を迎えて　～変貌する会計基準～

＜財務・会計＞

国際会計基準

1999年4月～5月

番組コンセプト

国際会計基準の導入により、財務諸表だけでなく、企業経営がどう変わるのか、何がリスクとなり企業経営者としてどう対応すべきかについて解説していきます。

講師

★山田辰巳（中央監査法人）

慶応義塾大学商学部卒業。公認会計士。

1	IASとは何か、なぜ注目されるのか
2	IASのわが国の会計基準への影響
3	主要なＩＡＳの解説
4	主要なIASの解説（２）　IASCの今後とわが国への影響
5	2000年3月期決算を迎えて　～変貌する会計基準～

<財務・会計>

確定拠出型年金
～年金問題をどう解決するか～

1999年10月

番組コンセプト

今、新聞紙上などで何かと話題になっている「日本版４０１Ｋ」。企業にとってもサラリーマンにとっても無視することのできない年金の問題です。今後、各企業は様々な年金形態に対応していかなければなりませんが、同時に個人も会社任せではなく、自分自身でしっかりと理解していなければ、損をしてしまうということになりかねない、そんな時代に突入したのです。「自分の年金はどうなるの？」「ホントに将来もらえるの？」「日本版４０１Ｋは、我々の生活に役に立つものなの？」こうした素朴な疑問から、年金の様々な問題点を分かりやすく解きほぐしていき、今後の日本の年金制度の展望やその対応策を考えます。

講師

★村田純一（株式会社企業年金研究所代表取締役）

1949年、神奈川県横浜市生まれ。74年、中央大学文学部卒業後、社会保険広報社に入社。企画営業部長、月刊「厚生年金」編集長を経て退社、85年、株式会社企業年金研究所を設立。

1	年金はどうなる？●
2	急がれる年金構造改革●
3	日本版４０１Ｋはどうなる？●

<財務・会計>

中小企業サバイバルLIVE
財務・資金編

1998年10月～1999年9月

番組コンセプト

経営者、そして企業会計のグローバルスタンダード化による経営への影響に興味を持っている方々を対象に、会計に関するトピックスを取り上げ、それがどのようにビジネスに影響を与えるか、どう対処すればよいかを解説していきます。会計技術的な内容について、簡潔で分かりやすい説明でお送りします。

講師

★出縄良人（株式会社ディー・ブレイン代表取締役）

慶応義塾大学経済学部卒業。公認会計士試験に合格、株式公開準備会社の経営指導を中心にコンサルティング活動を行う。1993年ディー・ブレイン証券を設立し、ベンチャー企業資金援助を開始し、日本版ビッグバンで規制緩和が進む中、インターネットを活用した新しいビジネスのあり方にチャレンジしている。

スペシャル	未公開企業専門の株式市場「VIMEX」開設▲
1	プライベートエクイティー（私募形式による株式発行）▲
2	未公開株式市場VIMEXを活用した公募増資▲
3	プライベートボンド（私募形式による社債発行）▲
4	匿名組合ファンド（リミテッドパートナーシップ）によるプロジェクトファイナンス▲
5	株式公開（店頭登録）による資金調達▲
6	コーポレートファイナンス（事業提携先、ベンチャーキャピタル等からの調達）▲
7	銀行融資･公的助成金等の活用▲
8	海外投資家からの資金調達▲
9	ナスダック公開とグローバルファイナンス▲
10	公的助成金等の活用（２）▲
11	直接金融の拡大にむけて▲
12	ベンチャー企業のアライアンス▲
13	ベンチャーキャピタルファンドの投資スキーム▲
14	未公開株式市場の現状と今後▲
15	証券市場間競争とベンチャー企業の資金調達▲
16	ベンチャー企業の財務・資金問題解決のための知識と戦略　総まとめ▲

<財務・会計>

企業再生マネジメント

2004年4月～2005年3月

番組コンセプト

日本経済を再活性化するには、退出すべき企業は退出させる一方、潜在ポテンシャルはあるが低迷している企業には、本来のパワーを回復させ、強い企業として蘇らせる必要があります。
それには経営者及びそのスタッフが企業再生への強い意志、痛みへの覚悟、そして、リバイバルマネジメントのノウハウと経営力が必要です。
この番組では、企業の再生・再建・再編を課題とする企業経営者とスタッフに必要な経営知識と手法を具体的な事例を交えながら解説します。

講師

★安田隆二（一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授・株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズ取締役会長）

東京大学経済学部卒業後、カリフォルニア大学バークレー校で政治学博士(Ph.D)取得。モルガン銀行(ニューヨーク)、マッキンゼー・アンド・カンパニーのディレクターを経て、1995 年よりスタンフォード大学客員研究員、1996 年より A.T.カーニー社アジア総代表、2003 年 6 月より現職。専門は企業戦略論、企業再生経営、M&A およびバイアウト、金融機関経営論。

1	企業再生マネジメントはダイナミックな経済活動
2	銀行の不良債権処理は債務者企業の再生と一体に
3	ステップ（１）企業の危機度を緊急診断する
4	モデル企業の危機度と課題を診断してみよう
5	ステップ（２）何よりも緊急止血
6	アブナイ社のキャッシュフローを至急確保せよ
7	ステップ（３）事業ポートフォリオ再構築なくして企業価値は上がらない
8	グッド事業とバッド事業をどう料理するか
9	ステップ（４）私的整理・法的整理により企業蘇生
10	日本リースとそごう・西武百貨店のケース
11	バイアウト・ファンドによる企業再生
12	ポスト・リストラクチャリング・マネジメント

<財務・会計>

経営者に贈るＩＦＲＳからのメッセージ

2010年2月～2010年3月

番組コンセプト

2015 年にも日本の全上場企業に適用が義務化されるといわれる国際会計基準（IFRS：International Financial Reporting Standards）。これは単なる財務会計の報告ツール変更には止まらず、日本企業の様々な経営課題を浮かび上がらせ、経営者に“意識改革”を迫るインパクトを持つものである。会計の「黒船」とも言われる IFRS が導入されることで、日本企業にどのような影響が及び、またその影響は企業経営にどのような課題を突きつけるのか。公認会計士の石田正氏に聞く。

講師

★石田正（公認会計士）

1974 年～1990 年まで、アーンストアンドヤングおよび朝日監査法人（現あずさ監査法人）において日本および米国基準の会計監査業務に従事、代表社員。監査法人在籍中に通算１０年間、業務提携先である大手会計事務所のシンガポールおよびロンドン事務所に出向し、東南アジアおよび欧州日系企業部門の統括責任者を経験。1996 年～2008 年まで日本マクドナルド株式会社代表取締役副社長およびセガサミーホールディングス株式会社専務取締役を CFO という立場で歴任。

1	IFRS が企業の経営管理に与える影響
2	ディスクロージャーと脆弱な税務戦略

<ビジネストピックス>

ビジネスの達人

1999年10月～2006年6月

番組コンセプト

なぜ、あの人はあんなに忙しいのによく勉強しているのか、なぜあの人は人に好かれるのか、など、できるビジネスパーソンには共通の考え方、行動特性があります。この番組では単なるノウハウ披露ではなく、そのベースとなっている基本的な考え方まで掘り下げた本質的な議論を展開することにより、真剣に人生を考えるビジネスパーソンにヒントを授けます。次はあなたが変わる番です。

講師

★中谷彰宏（株式会社中谷彰宏事務所代表取締役）

早稲田大学第一文学部演劇科卒業、博報堂でCMプランナーを担当。その後、中谷彰宏事務所を設立。ベストセラー書の就職マニュアル「面接の達人」以来、就職、ビジネス、恋愛でつまずく若者向けに数々の指南書を提供。

1	大人の勉強法
2	大人の危機管理塾●
3	大人の成功塾
4	大人の時間塾
5	大人のスピード塾
6	スピード説得術
7	スピード交渉術
8	スピード・整理術
9	スピード・ファイル術
10	ナニワ成功道
11	ナニワ人脈道
12	生産的欲望のススメ
13	ケンカに勝つ方法
14	やる気を出す方法
15	自信をつける方法
16	スピード・時間術
17	スピード・変化術
18	自己アピール・人脈術
19	自己アピール・話し方術
20	スピード意識革命
21	スピード発想法
22	大人の教育法
23	子供の教育法
24	自分「リストラ」術
25	自分「構造改革」術
26	スピード開運術
27	スピード強運術
28	スピード加速術
29	電撃仕事術
30	スピード読心術
31	スピード動心術
32	スピード集中術
33	スピード精神力術
34	スピード落ち込み脱出法
35	スピード精神力強化法
36	スピード人望術
37	メンタルリーダー術
38	ストレス活用術
39	本番突破術
40	最後までやする方法
41	壁を乗り越える方法
42	スピード書き方術
43	右脳書き方術
44	スピード会話術
45	右脳会話術
46	スピード金運術
47	スピード金銭感覚術
48	美人の仕事術
49	美人の生活術
50	スピード質問術
51	スピード自問自答術
52	フィジカル・エリート術
53	スーパー・コンディショニング術
54	４０代のリセット術
55	４０代のチャレンジ術
56	スピード説明術
57	スピードプレゼン術
58	スピードバランス術
59	スピード調整術
60	スピード実現術
61	スピード具体術
62	成功体質改善術
63	スピード吸収術
64	ナニワ会話術
65	ナニワ初対面術
66	スピード雑音排除法
67	スピード迷い脱出法
68	お金持ちのスピード仕事術
69	お金持ちのスピード生活術
70	スパのサービスとビジネスチャンス ゲスト：和月さおり氏（美容家）
71	医療のサービスとビジネスチャンス ゲスト：西川史子氏（形成外科医）
72	時間資産活用法
73	富裕層ビジネス成功法
74	セレブビジネス成功法
75	バージョンアップ仕事術
76	ファインプレー術
77	成功センス術
78	ビジネス・メール術

＜ビジネストピックス＞

一新塾アワー

2000 年 10 月～2004 年 3 月

番組コンセプト

環境問題、教育問題や介護問題などこれまで行政や政治が主役であった分野にもビジネスチャンスが広がってきています。この番組は、大前研一が主催する主体的市民の育成のための「一新塾」より、特に経営に関係の深い講義を抽出し、お届けします。

1	２１世紀ルネッサンス　～新しい時代創造のための自己改革～● 大前研一
2	東儒孝（ディベート技術研究所）
3	開発経済学からのアプローチ「市場の失敗」「政府の失敗」 絵所秀紀（法政大学経済学部教授）●
4	政策提言の手法 青山貞一（環境総合研究所所長）●
5	物質文明対精神文化● 中沢新一
6	波動説とＩＴ革命 公文俊平（グローバル・コミュニケーションセンター所長）●
7	ボーダレス時代の日本の外交戦略 志方俊之（帝京大学教授）●
8	市民事業立案戦略 片岡勝（市民バンク代表）
9	台湾が変わる！　～台湾総統選挙の後～ 金美齢（台湾総統府国策顧問）●
10	三重県での行政評価の実践例 北川正恭（三重県知事）●
11	福祉立国への挑戦 浅野史郎（宮城県知事）●
12	未だ見えぬ日本経済復興のシナリオ 塩崎恭久（衆議院議員）●
13	ビジネススキルを活用した政策立案技法● 都村長生
14	家族の崩壊　～新しい家族のカタチの研究～ 上野千鶴子（東京大学教授）●
15	市民活動のアントレプレナーに求められるもの 川北秀人（ＩＩＨＯＥ代表）●
16	世界と日本の金融大革命 宮内義彦（オリックス会長）●
17	国民の歴史 西尾幹二（電気通信大学名誉教授）■
18	アットマーク・インターハイスクールの挑戦 日野公三（アットマーク・ラーニング代表）●
19	国会議員・政党への提言 加藤秀樹（「構想日本」代表）●
20	第３の教育「ラーンネット・グローバルスクール」 炭谷俊樹（ラーンネット・グローバルスクール代表）
21	行政改革　～霞ヶ関改革から地方主権まで～ 並河信乃（行革国民会議事務局長）●
22	米国民主主義は日本のモデルになり得るのか 吉原欽一（アジアフォーラム・ジャパン常務理事）●
23	ＮＰＯとマネジメント　～事業と組織を育てる視点～ 川北秀人（ＩＩＨＯＥ代表）●
24	金融問題で忘れていること　～地域金融からの視点～ 櫻井充（参議院議員）●
25	政治の構造改革 曽根泰教（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）●
26	みどりの時代 中村敦夫（参議院議員）●
27	シンクタンク「デモス」／危機迫る経済問題 枝野幸男（衆議院議員）▲
28	憲法と地方自治　～地方から日本を変える～ 伊藤真（伊藤塾塾長）●
29	不良債権処理にみる失敗の本質 曽根泰教（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）●
30	台湾民主主義　～日台の絆が拓くアジアの新世紀～ 金美齢（台湾総統府国策顧問）●
31	郵政民営化へのシナリオ 松沢成文（衆議院議員／現神奈川県知事）●
32	アントレプレナー輩出の課題・慣習と商法 松山大河（ビットバレーアソシエイション　ディレクター）●
33	２１世紀型ライフスタイル　～リスクを取って生きる～ 片岡勝（市民バンク代表）●
34	首相公選制 講師：小田全宏（首相公選の会代表）●
35	個性ある“まち”を目指して　～開発型行政からの脱却～ 講師：藻谷浩介（日本政策投資銀行地域企画部調査役）●
36	長野県発、新しい民主主義への挑戦　～市民参加の新しいモデル～ 講師：杉原佳尭（元長野県知事特別秘書）●
37	政界再編のシナリオ　～日本再生への条件～ 講師：山口二郎（北海道大学大学院法学研究科教授）●
38	デリバラティブ・デモクラシー 講師：鈴木寛（参議院議員）●
39	地方主権への挑戦 講師：石田芳弘（犬山市長）●
40	～大前研一塾長講義～　目覚めよ！主体的市民 講師：大前研一（経営コンサルタント）●

＜ビジネストピックス＞

Gartner IT Summit 2002

～ブロードバンド＆モバイル・ワイヤレスコンファレンス～

2002年8月

番組コンセプト

ADSL、FOMAを初めとする２１世紀通信サービスがスタートを切りました。しかしＩＴ不況により、通信インフラストラクチャの利点を生かした企業での事業基盤整備、再構築は進展していないのが現状です。ＩＴユーザーとしての企業およびビジネス・パーソンに焦点をあて、通信事業者の視点、ベンダーの視点、ユーザーの視点でブロードバンド、モバイル、ワイヤレス通信における現状と課題を多面的に分析、今後のビジネス機会創出に向けた提言を行うイベント「Gartner IT Summit 2002 ～ブロードバンド＆モバイル・ワイヤレス コンファレンス～」。番組では、その中から、選りすぐりのセッションをお届けします。

1	ブロードバンド＆モバイル・ワイヤレス：近づく幻滅の谷▲
2	（１）ユビキタス通信の現状と将来展望 （２）ブロードバンドとＩＴサービス▲
3	（１）モバイル＆ブロードバンドのユーザー・ニーズ分析 （２）ブロードバンドが拓く未来、モバイル・ワイヤレスが創る機会▲

＜ビジネストピックス＞

オーセンティアビジネスレポート

2002年4月・8月

番組コンセプト

国境を越えた競争の時代に生き残り、さらなる高みを目指すためには、巷に氾濫する情報の中から常に「一歩先」を読み解く必要があります。オーセンティアビジネスレポートは、真に企業に役立つ情報だけをセグメントした実践的な企業戦略番組です。

1	COMDEX FALL 2001戦略レポート▲
2	モバイル戦略レポート▲

＜ビジネストピックス＞

B2B Big Bang
～企業間取引の大変革～

2000年10月～2001年3月

番組コンセプト

企業間電子商取引（Ｂ２Ｂ）は日本市場でも急速にインターネット型へと進展していますが、米国ではすでに、複数のバイヤーとセラーからなる会員制のインターネット電子市場（e-Market）への移行が活発化しています。インターネットの先進ビジネスモデルであるこの e-Market は米国を基点に世界中に急速に普及し始めています。この番組では、COMMERCENET が主催するカンファレンス“B2B Big Bang”の模様を通して、世界の最先端をいく米国の e-Market で何か起きつつあるのかを紹介し、日本でのビジネスチャンスのヒントをお伝えします。

1	基調講演「Ｂ２Ｂネット市場の世界を語る」／デモンストレーション「Uworks」▲
2	ケーススタディ「Vertical 市場で何が起きているか」／急進するヨーロッパの建設業界と eMarket▲
3	Net Market Maker の機会と挑戦／VerticalNet▲
4	eMarket Platform に期待されるもの／BizBotz／バーティカル市場の探求▲
5	グローバルな視点から見たアジアの e-Market Place▲
6	次世代 web 間取引とサプライ・“非”チェーン・マネジメント▲
7	相互運用性と標準／同じ言葉で話そう！▲
8	どこにでも供給できるセラー・ビジネスと eMarket place▲
9	パネルディスカッション「次世代の eMarket を語る」▲
10	（１）パネルディスカッション「これからの課題を日本の産業界はどのように対処するか」 （２）Interworld デモンストレーション （３）クロージング▲

＜ビジネストピックス＞

サプライチェーンマネジメント

1999年2月～6月

番組コンセプト

サプライチェーンとは材料の供給から製造（加工・組み立て）、流通（物流・販売・小売）を経て、商品を顧客に引き渡すまでの物の流れ/加工プロセスの連鎖（チェーン）を指します。この連鎖を総合的に管理しようとする経営手法がサプライチェーン・マネージメントです。この概念は従来から『Just in Time』とか『ロジスティスクス』という言葉で語られてきましたが、今日の SCM は IT（インフォメーション･テクノロジー）を駆使して、連鎖内の情報の共有化を行い、リードタイムの短縮や顧客満足度の向上を図ることを目的としています。

1	サプライチェーン経営による企業革新 大前研一（経営コンサルタント）▲
2	マスメディアから見た SCM 上里譲（日経ＢＰ社日経情報ストラテジー）▲
3	製販戦略提携の新次元 太田秀一（日本 EDI 推進協議会）▲
4	企業の IT システムにおける SCM の役割と展望 株式会社アイ・ティー・アール　若井直樹▲
5	新しい経営構造におけるロジスティクスの役割 稲束原樹（社団法人日本ロジスティクスシステム協会）▲
6	新たな経営の仕組みとしての SCM 半田純一（A.T.カーニー株式会社）▲
7	企業価値向上のためのサプライチェーンマネジメント 金塚厚樹（アーサーアンダーセンビジネスコンサルティング）▲
8	サプライチェーンマネジメントの目的 入江仁之（アーンスト＆ヤング）▲
9	実践！サプライチェーン経営 今岡善次郎（有限会社ダイナミックス研究所）▲
10	サプライチェーン経営革命の実践展開ポイント 福島美明（株式会社日本ビジネスクリエイト）▲
11	J.D.Edwards が提唱する SCM ソリューション SCOREx 石田雅久（日本ジェイ・ディ・エドワーズ）▲
12	TOC（制約条件）ベースのサプライチェーン構築 竹之内隆（株式会社日本総合研究所）▲
13	連結決算時代においてＳＣＭを経営に生かす 太田昭和・澤村淑郎（株式会社ビジネス・ブレイン）▲
14	IBM の実践 SCM 東正則（日本 IBM 株式会社）▲
15	グローバルサプライチェーンとネットワーク技術 更井孝一（日本電信電話株式会社）▲
16	Manugistics5 と SAP R/3 の統合 大谷真弘（住商情報システム株式会社）▲
17	HP 社におけるグローバルサプライチェーン 日本ヒューレットパッカード株式会社　李昌律氏▲
18	企業を強くする富士通エンタープライズ・ソリューション 吉田和憲（富士通株式会社）▲
19	店頭からのサプライチェーンの再編 島田恭一（株式会社平和堂商品管理部）▲

20	コンパックにおけるSCMソフトの導入による効率化 引地久之（コンパックコンピュータ株式会社）▲
21	Manugistics5no 導入の実際 牟礼宏（新日本製鉄株式会社）▲
22	マンシムを用いた計画系総合システムの構想 福田悦生（株式会社東芝）▲
23	ネットワークコンピューティングでのアウトバウンドＳＣＭの構築 鶴田裕史（日本サン・マイクロシステムズ）▲
24	サプライチェーンコンパス トーマス・Ｅ・ヤング（マニュジスティックス社）▲
25	PC業界におけるサプライチェーン・マネジメント 尾西克治（マニュジスティックス社）▲
26	ビジネスアプリケーションの統合化(Open Application Integration) トーマス・Ｅ・ヤング（マニュジスティックス社）▲
27	Manugisticsが実現する製販協働作戦 江澤正博・伊藤寿夫（マニュジスティックス社）▲
28	企業間SCMへの指針 トーマス・Ｅ・ヤング（マニュジスティックス社）▲
29	シスコシステムズのネットワーク・ビジネス 大和敏彦（日本シスコシステムズ株式会社）▲
30	液体・ガス等の連続補充計画手法 望月竹弥（マニュジスティックス社）▲

＜ビジネストピックス＞

ロングテール戦略

2007年10月・11月

番組コンセプト

ロングテール戦略とは、顧客の獲得と維持を自動化することによって、そのコストを最小化し、利益をもたらすようにすることです。 番組では、ロングテール戦略とは何かという基本的な考え方に始まり、検索連動型広告やブログを具体的にどのように活用していけばよいのかを解説します。 また、将来のインターネット世界ではどういったことが起こるのか、という未来の予測にも果敢に挑戦します。

講師

★菅谷義博（モジ株式会社代表取締役社長）

明治大学法学部卒業後、アンダーセンコンサルティング（現アクセンチュア株式会社）に入社。鉄道会社基幹システム構築等を経て、1996年12月エンプレックス株式会社を設立、取締役に就任。
その後大手プリンタメーカーでのオンデマンドプリンティングシステム構築、大手自動車メーカーでのインターネット対応カーナビ向けコンテンツ開発などのプロジェクトに携わった後、エンプレックス株式会社取締役を経て現職。

1	ロングテール戦略／検索連動型広告編
2	ブログ編／2010年、ブロードバンドでビジネスはどう変わる？

<ビジネストピックス>

Google のビジネスインパクト

2007 年 9 月

番組コンセプト

新時代のインターネット社会で大きな存在感を示す巨人「Google」の新しいサービスの紹介を通じて、日本の企業が今後のインターネットの流れにどう取り組むべきかを考えます。“Web2.0”といった流行言葉に惑わされず、いかに自分の生活を豊かにするか、自分の会社のコアサービスを伸ばすために使いこなすか、に焦点を当てた番組です。

講師

★大内範行 (大内プロデュース代表/ウェブプロデューサー)

1985 年、日本 IBM にシステムエンジニアとして入社。その後 SI のプロジェクトマネジャーを勤めた後、マイクロソフトへ。MSN (Microsoft　Network) の立ち上げをプロデューサーとして行い、コンテンツ部門のマネジャーとなる。2000 年にマイクロソフトを退社し、イージャパン（現 EC ジャパン）を設立、代表取締役に就任。2005 年から現職。

1	世界の Google　日本の Google●確認中
2	Google 時代のウェブビジネス●確認中
3	Google の３年後を語る●確認中 ゲスト：大前研一

<ビジネストピックス>

哲学とリーダーシップ

2009 年 7 月

番組コンセプト

現代哲学のリーダーの一人、今道友信氏が自らの経験で綴るリーダーシップ論を語る。「リーダーとは職務や職責と異なり、自ら名乗るものではなく、周りから呼ばれるようになるものだ。」今道氏は世界中で倫理が疎かにされていることを憂い、1980 年代に生圏倫理学（エコ・エティカ）の国際会議を立ち上げた。その会議自体にリーダーという職務は存在しないが、約 20 年間、70 歳台の後半まで、オーガナイザーの職務を遂行した結果、メンバーから「リーダー」と呼ばれるようになったのだという。ビジネスの世界にもリーダーと呼ばれる人は存在するが、哲学という歴史ある学問の領域におけるリーダーへの道も本質は同じといえるのではないだろうか。

講師

★今道 友信(哲学美学比較研究国際センター所長)

1922 年、東京生まれ。東京大学文学部哲学科卒。パリ大学。ヴュルツブルク大学で非常勤講師を経て、東京大学文学部教授（退官後、東京大学名誉教授）1981 年、哲学美学比較研究国際センターを創設。その後、パリ哲学国際研究所所長、国際形而上学会会長、国際エコエティカ学会会長などを歴任。

1	哲学とリーダーシップ

＜ビジネストピックス＞

デザインマネジメント

2009年7月～2009年8月

番組コンセプト

企業経営とデザインは一見無関係に思われるが、多様な商品があふれる現代のビジネスにおいて、ビークル（伝達手段）としてのデザインは、企業の運営効率、コスト、イメージに大きな影響を及ぼす。ビジネスデザインの最適化は、企業の基盤強化につながる。本番組では、幅広い業界でブランド戦略の構築・クリエーティブディレクションを数多く担当した実績をお持ちの亀谷氏をお迎えし、経営者の視点でデザインとは何かを理解することにより、ビジネスパーソンがデザインとどう付き合えばいいかを検討する。

講師

★亀谷 勉(株式会社グラビティー・ワン 代表取締役)

アメリカと日本の外資系ブランディング会社勤務を経て、2004年にグラビティー・ワン株式会社を設立。食料、飲料、ファッション、ホテル、金融、不動産など幅広い業界で、ブランド戦略の構築・デザイン・クリエイティブディレクションを担当。ブランドとデザインを専門に、一貫した経験を持つ。

1	企業経営とデザイン
2	デザインを運営する視点

＜ビジネストピックス＞

日本の介護ビジネス

2009年4月～2009年5月

番組コンセプト

介護ビジネスの市場は、昨今の金融危機、少子高齢化による閉塞感漂う社会においても将来の成長が見込まれる数少ない分野として有望視されている。番組では、企業の経営戦略に詳しくコムスンのＶ字回復などに携われた山崎氏を講師に、自ら代表を努める株式会社ＨＣＭの介護サービス事業を題材にして、日本の介護ビジネスを成功に導くための思考法と実践的手法を２回にわたって紹介する。

講師

★山崎 明敏(株式会社ＨＣＭ 代表取締役社長)

慶応大学経済学部卒業、コロンビア大学経営大学院修士課程修了（ＭＢＡ）。住友商事にて新規事業立ち上げ・自動車輸出事業などに従事した後、マッキンゼー・アンド・カンパニー・ジャパンにて、外資系企業・中小企業の全社戦略、Ｒ＆Ｄ・開発・マーケティング・小売と幅広い経営コンサルティングを行い、ディズニーストアジャパンにて新規事業開発・経営企画業務に携わる。その後、上場前のグッドウィル・グループにマネジメントチームとして参加し、グッドウィルの大型ＩＰＯの実現からコムスンのＶ字回復などに携わる。2002年に株式会社ヘルスケアマネジメント（現 株式会社ＨＣＭ）、介護からたのしいシニアライフの提案、シニア向け生活創造支援ビジネスまで展開。

1	介護市場のマクロ的動向と事業の成功条件
2	実践的手法の紹介

＜ビジネストピックス＞

次世代環境ビジネス

2009 年 9 月～2010 年 8 月

番組コンセプト

従来の化石燃料を中心としたエネルギーからクリーンな次世代エネルギーに代替するためには、経済的な問題が大きく、課題が山積であると言われるが、次世代環境ビジネスは、様々な段階で技術革新を進め、環境問題と経済の持続的な発展が両立する仕組みである。グローバル化が進み、大きなビジネスとして成長し続ける環境ビジネスが、今後どのような方向に発展していくのかを投資銀行からベンチャー企業に至る実務経験が豊富な尾崎弘之氏に聞く。

講師

★尾崎 弘之(東京工科大学大学院ビジネススクール教授)
東京大学法学部卒業後、野村證券に入社。ニューヨーク大学大学院スターン・スクール・オブ・ビジネス修了（ＭＢＡ）。モルガン・スタンレー証券バイス・プレジデント、ゴールドマン・サックス投信執行役員を歴任後、ベンチャー業界に転進。ソフトバンク・インベストメント株式会社バイオ事業準備室長、バイオビジョン・キャピタル株式会社常務取締役、ディナベック株式会社取締役ＣＦＯを経て、現職。
早稲田大学博士（学術)。

1	次世代環境ビジネスとは何か
2	バイオ・環境ビジネス ゲスト：出雲 充氏（株式会社ユーグレナ 代表取締役社長）
3	日本の農業技術は世界に誇れる資源である ゲスト：村上真一氏（株式会社泰雅 代表取締役）
4	自動車産業の未来 ゲスト：千葉一雄氏（株式会社日本エレクトライト 技術担当取締役）
5	温泉大国の資源を活用する ゲスト：トーマス・ジュフレ氏（HOT EARTH 代表取締役ＣＥＯ）
6	エコカーとスマートグリッドの鍵を握る電池ビジネス ゲスト：小澤浩典氏（エナックス株式会社 海外営業部部長）
7	環境浄化ビジネス ゲスト：二宮利彦氏（株式会社ダイセキ環境ソリューション 代表取締役社長）
8	環境緑化ビジネス ゲスト：大林修一氏（株式会社プラネット 代表取締役社長）
9	太陽光発電成長のボトルネック ゲスト：古村雄二氏（株式会社フィルテック 代表取締役社長）

＜ビジネストピックス＞

農業をビッグバンしよう

2010 年 8 月～2011 年 2 月

番組コンセプト

日本農業が内包するポテンシャルは大きい。農業ビッグバンで成功をつかみ取れ。就農者の高年齢化、耕地面積の減少など衰退が叫ばれる日本の農業だが、立地を生かすことで生まれるチャンスは広大無辺となる。本番組では、既に成功しているビジネスモデルを紹介し、新たな視点で日本農業発展の道筋を示す。講師は 30 年以上農林水産省に在籍し、ＧＡＴＴウルグアイラウンド交渉、農村振興などに尽力、現在キヤノングローバル戦略研究所で農業政策などを研究している。

講師

★山下 一仁(キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹/東京財団・経済産業研究所 上席研究員)東京大学法学部卒業後、農林省入省。その後、農林水産省ガット室長、欧州連合日本政府代表部参事官などを歴任。日本の農政改革の必要性を訴え、講演、執筆など精力的な活動を展開中。

1	日本農業の特徴とポテンシャル
2	日本農政の概要と問題点
3	企業が育てる農業 ゲスト：緒方大助氏（らでぃっしゅぼーや株式会社 代表取締役社長）
4	農業を企業化する ゲスト：松本泰幸氏（株式会社日本アグリマネジメント 代表取締役社長）
5	成功した農業経営の秘訣 ゲスト：青山浩子氏（農業ジャーナリスト）
6	日本農業発展の鍵

＜ビジネストピックス＞

水ビジネス 110 兆円の攻防

2010 年 8 月～2011 年 1 月

番組コンセプト

水の惑星とも言われる地球であるが水資源が無限にあるというのは大きな誤解であり、今や人類最大の環境問題は水不足だといわれている。あらゆる生態系に必要な水だからこそ、日本の高い技術が世界に貢献する大きなチャンスであるといえよう。１１０兆円規模ともいわれる水関連ビジネスの全体像を学ぶ。

講師

★吉村 和就（グローバルウォータ・ジャパン代表/国連テクニカルアドバイザー）

荏原製作所勤務を経て、グローバルウォータ・ジャパンを設立。その間、国連ニューヨーク本部で環境審議官として発展途上国の水インフラ指導を行う。豊富な国際経験を活かし、日本の環境技術を世界に広めるべく積極的な活動を展開中。日本を代表する水環境問題の専門家。

1	地球をとりまく水資源問題
2	世界水ビジネス市場 ゲスト：菊山薫子氏（日本アイ・ビー・エム株式会社 未来価値創造事業 グリーン・イノベーション事業推進エネルギー、政策マネージャー）
3	先進国、新興国の水戦略 ゲスト：竹村公太郎氏（日本水フォーラム 事務局長）
4	中国水ビジネス市場の攻防 ゲスト：内藤康行氏（チャイナ・ウォーター・リサーチ 代表）
5	海水淡水化市場の攻防
6	日本の水戦略

＜ビジネストピックス＞

本当の自分が見えているか？

2010 年 10 月～2011 年 2 月

番組コンセプト

ギリシャの経済危機などで噴出した経済不安は世界へ広がり、現在の社会情勢は混乱を極める。持続可能社会の構築が叫ばれる中、多くの企業は目指すべき方向を見失った。混迷する世の中では、個々人が本当の自分を認識し、信念を持って将来に向かうしか道はない。

本番組では、石田寛氏に、個人が自身の価値観を再確認し、本当の自分を見つけるための方法と、企業と個人の在り方についてお話しいただく。

講師

★石田 寛(経済人コー円卓会議日本委員会事務局長)

1999 年から 10 年間日本興業銀行の第一線で活躍、現在は経済人コー円卓会議日本委員会事務局長を務める

1	本当の自分が見えているか？
2	会社人間から社会人間への脱皮 ゲスト：菊永泰正氏
3	己を磨く ゲスト：船川淳志氏（株式会社グローバルインパクト 代表パートナー）
4	中国古典とともに探る日本人の自覚と誇り ゲスト：守屋 洋氏（中国文学者）
5	新たな自分に出会う

＜ビジネストピックス＞

実践・英文Ｅメールの正しい書き方

2010 年 11 月～2011 年 1 月

番組コンセプト

本番組では３回にわたり、英文ビジネスＥメールの基礎知識を身に付け、英文を書くコツを理解する。構文を用いた「英文ビジネスＥメールのまとめ方」を捉え、英語初心者でも、素早く上達する方法を紹介する。企業、大学院などで多くの実績があるプログラムを、英語の先生ではなく、海外での営業経験豊富なビジネスパーソンが教える。

講師

★松崎 久純（経済産業省所管社団法人中部産業連盟 主任コンサルタント/慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 非常勤講師）1967 年生まれ。南カリフォルニア大学東アジア地域研究学部卒業、名古屋大学大学院経済学研究科修了。メーカー勤務を経て、現職。組織マネジメント、マーケティング、生産業務改善、国際事業などの幅広い分野で、企業におけるコンサルティング・研修講師の経験が豊富。受注後のリピート率は 80%以上。すべての分野で、コミュニケーション能力の強化をベースとしている。著書に、『英文ビジネスレター＆Ｅメールの正しい書き方』、『英語で学ぶトヨタ生産方式』、『音読でマスターするトヨタ生産方式』、『究極の速読法―リーディングハニー６つのステップ』（いずれも研究社）、『ものづくりの英語表現』（三修社）、ほか。海外翻訳版、ＤＶＤも多数。

1	「全体の構成」と「書き方のコツ１」
2	「書き方のコツ２」～構文を使ったまとめ方～
3	「効率的な仕上げ方」と「ネチケット」

＜ビジネストピックス＞

東電の破綻処理と日本の電力産業の再生シナリオ

2011 年 6 月

番組コンセプト

東日本大震災で起きた福島第一原子力発電所事故に対する被災者の補償について、政府の発言、対策案は混迷を極めている。東京電力が株式上場したまま、破綻をさせないことを前提としているが、果たしてそれでよいのか。原子力事故の損害賠償には特殊な事情もあるが、現状の制度や法律に照らして、どういう処理ができるかをいまのうちにきちんと整理しておく必要がある。主管省庁の古賀氏をお迎えして、東電破綻処理の在り方と今後の電力産業の再生シナリオについて、具体的に説明していただく。

講師

★余語 邦彦(ビジネス・ブレークスルー大学院教授)

元産業再生機構 執行役員・マネージングディレクター、元カネボウ化粧品 会長兼 CEO　1983 年、東京大学工学部機械工学科修士を卒業後、科学技術庁に入庁。原子力局、通産省通商政策局などに勤務。原子力局課長補佐を経て退官。1989 年 に米国ダートマス大学エイモスタックビジネススクールで経営学修士（MBA）課程を修了。1991 年、マッキンゼー・アンド・カンパニーに入社。情報通 信、インターネットなどハイテク分野における新規事業・アライアンスを中心に多彩な分野の戦略立案及び組織改革プロジェクトを手掛ける。2000 年５月、 株式会社光通信 取締役副社長兼共同最高経営責任者（CO-CEO）として経営を再建する。2003 年８月、産業再生機構 執行役員・マネージングディレクター、2004 年５月に株式会社カネボウ化粧品 会長兼 CEO に就任し、経営を再建する。

1	東電の破綻処理と日本の電力産業の再生シナリオ ゲスト：古賀茂明氏（経済産業省 大臣官房付）

<ビジネストピックス>

競争優位の本質を探る

ブロードバンド限定配信

番組コンセプト

閉塞感が強まってきた資本主義の再構築において、企業の果たすべき役割・期待はますます大きくなっています。このような時代に生き残れるのは、想定外の事象に対して臨機応変に対応できる組織力をもった企業、そして創造力と実行力を発揮できる人材を多く抱えている企業だと言えるのではないでしょうか。これからの時代に求められる企業の競争優位とはどのようなものなのか、社会の仕組みを変革する企業が果たすべき役割な何か、短期的な利益を追求する企業ではなく、持続可能な社会の実現に向けて挑戦し続ける企業となるためには何を考える必要があるのか、企業事例をとりあげながら解説します。

講師

★石田 寛(経済人コー円卓会議日本委員会事務局長)1999 年から 10 年間日本興業銀行の第一線で活躍、現在は経済人コー円卓会議日本委員会事務局長を務める

1	社会の仕組みを変革する企業●
2	競争優位の本質を探る●
3	競争優位を高めるためのグローバル企業の果たすべき責任●
4	企業の潜在的リスクは何か？●
5	先駆者利益を狙うための秘訣●
6	経営とＣＳＲのインテグレーション●

<ビジネストピックス>

探究型で生きる若者たち

2012 年 3 月～2012 年 5 月

番組コンセプト

経済や社会が大きく変化しつつある現在の日本。いままで当たり前だった「偏差値型」の教育や生き方に限界が見えてきた。しかし、型から外れることに不安を抱く人も多いのではないだろうか。
本番組では、全３回にわたり、今必要とされる「探究型」の生き方について考えていく。既成の枠にとらわれることなく、生き生きと活躍する５人の若者を招き、それぞれの考え方や育ち方に迫る。インタビューをとおして、これから必要とされる生き方、子どもの育て方についてのヒントを学ぶ。

講師

★炭谷 俊樹(ビジネス・ブレークスルー大学大学院 経営学研究科教授)東京大学理学部修士課程修了。経営コンサルティング会社マッキンゼーにて 10 年間日本企業及び北欧企業のコンサルティングに携わる。新人コンサルタント採用・研修の責任者も担当。1996 年神戸で子どもの個性を活かす「ラーンネット・グローバルスクール」を開校、同代表。1997 年大前研一らとともに事業の立ち上げを行う株式会社大前・アンド・アソシエーツを設立。同社の人材開発事業の責任者（パートナー）として、企業のビジネスリーダー育成に携わる。経営管理者育成プログラム「本質的問題解決コース」講師。2005 年 4 月よりビジネス・ブレークスルー大学院大学教授。

1	インタビュー　光本朱美氏／藤田承紀氏
2	インタビュー　田中伶氏／玉置沙由里氏
3	インタビューとまとめ ゲスト：占部友春氏（ラングリッチ 代表）

＜ビジネストピックス＞

目撃せよ！
いま起こっている義務教育改革

2012 年 3 月～現在

番組コンセプト

杉並区立和田中学校は、元リクルートの社員である藤原和博氏が、2003 年に都内公立中学校初の民間人校長として就任して以降、169 名だった生徒数は 454 名に増え、下位だった学力も杉並区でトップとなり、東京都のモデル校といわれるまでになった。藤原氏とその後任の代田氏が教育現場に持ち込んだ様々な改革は、経営におけるマネジメントの手法を応用したものだった。べき論や理想論ではなく、現場主義の立場から義務教育改革の現状を語る。

講師

★藤原 和博 （杉並区立和田中学校・前校長・東京学芸大学客員教授）1955 年東京生まれ。1978 年東京大学経済学部卒業後、株式会社リクルート入社。東京営業統括部長、新規事業担当部長などを歴任後、1993 年よりヨーロッパ駐在、1996 年同社フェローとなる。2003 年より 5 年間、都内では義務教育初の民間校長として杉並区立和田中学校校長を務める。08 年～11 年、橋下大阪府知事ならびに府教委の教育政策特別顧問。

1	義務教育改革の現場 ゲスト：代田昭久氏（東京都杉並区立和田中学校 校長）
2	義務教育改革の現場 ゲスト：福田晴一氏（東京都杉並区立和田小学校 校長）
3	企業の資源を学校教育に活かせ ゲスト：若江眞紀氏（株式会社キャリアリンク 代表取締役）/神山典子氏（ダイソン株式会社 コミュニケーションズ統括マネジャー）
4	大阪府教育委員会 ゲスト：藤井睦子氏（大阪府教育委員会 事務局 教育次長）
5	大阪府池田市立池田中学校 ゲスト：横山泰介氏（前・大阪府池田市立池田中学校 校長）
6	大阪府の教育改革 民間人校長 ゲスト：鈴木貴雄氏（大阪府豊中市立寺内小学校 校長）/山下善久氏（大阪府大阪狭山市立南第二小学校 校長）/尾塚理恵子氏（大阪府守口市立橋波小学校 校長）
7	宮城県石巻市立雄勝中学校 ゲスト：佐藤淳一氏（前・宮城県石巻市立雄勝中学校 校長）/長田 徹氏（文部科学省 生涯学習政策局 地域・学校支援推進室 係長）
8	私立中高一貫校の取り組み ゲスト：漆 紫穂子氏（品川女子学院 校長）/佐野和之氏（西武学園文理中学・高等学校 進路主導主任）
9	受験・学習塾から学ぶ 公教育の未来 ゲスト：平松 享氏（安田教育研究所 副代表）/小嶋 隆氏（株式会社日能研関東 代表取締役社長
10	「よのなか科」体験ＯＢに聞く ゲスト：宮本貴文さん 牧浦土雅さん 荒井和人さん
11	新しい学びのカタチ　石巻、バングラデシュで起きていること ゲスト：税所篤快氏（ｅ－Ｅｄｕｃａｔｉｏｎプロジェクト 代表）/油井元太郎氏（公益社団法人 ｓｗｅｅｔ ｔｒｅａｔ ３１１）
12	子どもたちの学力と教育環境 ゲスト：陰山英男氏（大阪府教育委員会 委員長／立命館小学校 副校長）
13	学校って何だろう？教師って何だろう？ ゲスト：久保一之氏（ＮＰＯ法人 東京コミュニティスクール 理事長）/松田悠介氏（ＮＰＯ法人 Ｔｅａｃｈ Ｆｏｒ Ｊａｐａｎ 代表理事）
14	新しい時代の学校マネジメント実践（前編）
15	新しい時代の学校マネジメント実践（後編）
16	「できない」という教育の力 ゲスト：乙武洋匡氏（東京都教育委員会 委員）
17	変人をつくろう ゲスト：中原 徹氏（大阪府教育委員会 教育長）
18	若き民間人校長の奮闘 ゲスト：北角裕樹氏（大阪府大阪市立巽中学校 校長） 山口照美氏（大阪府大阪市立敷津小学校 校長）
19	変人市長が地方自治体に革命を起こす ゲスト：樋渡啓祐氏（佐賀県武雄市 市長）
20	どうなる？ 日本の教育改革 ゲスト：前川喜平氏（文部科学省 初等中等教育局長）
21	メシが食える人を育てる教育 ゲスト：高濱正伸氏（株式会社こうゆう 代表／花まる学習会 代表）
22	反転授業が学びを変える ゲスト：代田昭久氏（佐賀県武雄市教育委員会 教育監）

＜ビジネストピックス＞

新・女性市場に対応せよ!

2012 年 4 月～2012 年 6 月

番組コンセプト

ものが売れないといわれる現代に新しい消費の鍵を握るのは女性である。企業がこれから売上を伸ばすためには、女性の消費を理解しなければならない。「下流社会」などの著作で知られ若者文化に造詣の深い三浦展氏が、新しい女性市場の実態を探る全 3 回のシリーズである

講師

★三浦 展(消費社会研究家、マーケティング・アナリスト)1958 年生まれ。1982 年一橋大学社会学部卒業。株式会社パルコ入社。マーケティング情報誌「アクロス」編集室勤務。同士編集長。1990 年、三菱総合研究所入社。1999 年、「カルチャースタディーズ研究所」設立。団塊ジュニア世代、団塊世代などの世代マーケティングを中心に調査を行うほか、家族、若者、階層、都市などを研究し新しい社会デザインを提案。各方面から注目されている。

1	オヤジ化する女性たち ゲスト：深澤真紀氏（タクト・プランニング 代表取締役社長）
2	シェアと日本趣味 ゲスト：石鍋仁美氏（日本経済新聞社 編集委員兼論説委員）
3	ビジネスからみた現代の女性市場 ゲスト：小原直花氏（伊藤忠ファッションシステム）

＜ビジネストピックス＞

シェアが変えるビジネス

2012 年 4 月～2012 年 9 月

番組コンセプト

シェアリング・エコノミー（共有型経済）がアメリカ、中国、欧米を中心に台頭し、日本でも徐々に広がりを見せ始めている。シェアというと、おすそ分けや貸し借り、アイデアを出し合う、一緒に何かをするということを思い浮かべるが、生活全般にわたって「ヒト」、「モノ」、「コト」を分け合うことと捉えてよい。かつては互助・共有として無償で行われていたが、いまではそれが市場を形成している。

講師

★小林 弘人(株式会社インフォバーン代表取締役 CEO。東京大学大学院情報学環教育部非常勤講師。ビジネス・ブレークスルー大学教授。)「ワイアード」「ギズモード・ジャパン」など紙とウェブの両分野で多くの媒体を立ち上げる。また、インターネット黎明期より数多くの企業ウェブ、著名人ブログやソーシャルメディア・プロモーション等のプロデューサーとして活躍中。

1	コラボ消費とは
2	ソーシャルレンディングとは ～AQUSH の事例～ ゲスト：大前和徳氏（株式会社エクスチェンジコーポレーション 取締役副社長）
3	シェアリングサービスと消費者 ゲスト：中川亮氏（シェアゼロ株式会社代表取締役）
4	今度のシェアリング・エコノミー

<ビジネストピックス>

社会変革型リーダーの挑戦

2012年6月～2013年3月

番組コンセプト

今の日本の状況を見ると、財政赤字、競争率低下、自殺率増等、非常に厳しい状態だと言える。そういうときこそ、国や社会のことを強烈に意識しながら変革に向けてアクションを取れるリーダーが必要である。当番組は、この「社会変革型リーダー」について、9回シリーズで考察していく。

講師

★朝比奈一郎（青山社中　筆頭代表（ＣＥＯ））1973年東京都生まれ。東京大学法学部卒業。ハーバード大行政大学院修了（修士)。97年、経済産業省（当時通産省）に入省、行政改革、エネルギー政策、経済協力政策、インフラ輸出などを担当する。2003年に「プロジェクトK（新しい霞が関を創る若手の会)」を立ち上げ、初代代表に就任。10年同省を退職、坂本竜馬の誕生日かつ命日である11月15日に青山社中を創立。

1	社会変革型リーダーについて　1
2	社会変革型リーダーについて　2
3	【ゲスト対談（1)】社会～教育～ ゲスト：　松田悠介氏（Teach For Japan）
4	【ゲスト対談（２)】社会～教育～ ゲスト：　小林りん氏（軽井沢インターナショナルスクール）
5	【ゲスト対談（３)】社会～児童養護施設～ ゲスト：　慎泰俊氏（Living in Peace）
6	【ゲスト対談（４)】経済～海外での起業～ ゲスト：　金田修氏（游仁堂）
7	【ゲスト対談（５)】経済～起業支援・投資～ ゲスト：小澤隆生氏（小澤総研）
8	【ゲスト対談（６)】政治・行政 ゲスト：鈴木英敬氏（三重県知事）
9	まとめ

<ビジネストピックス>

大阪市営交通事業の民営化

2012年8月

番組コンセプト

第14回大阪府市統合本部会議が2012年6月19日に大阪府咲洲庁舎で開催され、地下鉄事業・バス事業の経営形態の見直しが協議された。市営地下鉄は黒字だと言われているが、日本の高齢化が進み乗客数が減少していて、いずれ赤字化するのは目に見えている。公営地下鉄が民営化した前例はないが、いまのうちに民営化し、合理化するのが望ましい。バス事業については赤字なので、知恵を絞って少しでも赤字を削減しなければいけない。橋下市長の任期中に、後戻りしないところまできちんと道を付ける必要がある。

講師

★余語 邦彦(ビジネス・ブレークスルー大学院教授)
元産業再生機構 執行役員･マネージングディレクター､元カネボウ化粧品 会長兼CEO　1983年、東京大学工学部機械工学科修士を卒業後、科学技術庁に入庁。原子力局、通産省通商政策局などに勤務。原子力局課長補佐を経て退官。1989年 に米国ダートマス大学エイモスタックビジネススクールで経営学修士（MBA）課程を修了。1991年、マッキンゼー・アンド・カンパニーに入社。情報通 信、インターネットなどハイテク分野における新規事業・アライアンスを中心に多彩な分野の戦略立案及び組織改革プロジェクトを手掛ける。2000年5月、 株式会社光通信 取締役副社長兼共同最高経営責任者（CO-CEO）として経営を再建する。2003年8月、産業再生機構 執行役員・マネージングディレクター、2004年5月に株式会社カネボウ化粧品 会長兼CEOに就任し、経営を再建する。

1	大阪市営交通事業の民営化

＜ビジネストピックス＞

中国消費市場と 日本のコンテンツの未来

2012年8月～2013年3月

番組コンセプト

最近の日本では、中国市場が減速傾向にあるとの報道が盛んに行われているが、これは一面から見た情報にすぎない。現実の中国市場は、都市の規模により異なった発展段階にあり、日本の戦後バブルを思わせるような地域や、世界最先端のオンライン購買市場が形成されている都市など、それぞれの市場で成長が見込まれる。
本番組では、2011年から中国において日本のクリエイションを羽ばたかせようと事業を展開する金田修氏に、中国消費市場の成長予測と、日本のクリエイションが勝つための戦略をご教示いただく。

講師

★金田　修（遊仁堂（ヨウレンドウ）ＣＥＯ）1974年神奈川県生まれ。東京大学経済学部卒業。ロチェスター大学経営大学院修了。財務省(当時大蔵省)勤務後、マッキンゼーに入社。2007年同社日本支社最年少パートナーに就任。コンサルタントとして、アジア・国内各国において、大手アパレル企業における全社成長戦略、中国生産体制再構築、日本における店舗ペレーション改革に携わる。11年にYo-ren Limited (游仁堂)を創立。

1	中国の消費市場はバブルか？成長を期待していて大丈夫か？ 日本のクリエイションにどういうチャンスがあるか？
2	中国の成長をけん引するオンライン市場の実態 日本と比較すると何が違うのか？
3	日本のコンテンツを武器に中国で活躍するクリエイション（１） ゲスト：朝倉　禅氏（北京朝倉時尚形象設計有限公司　ＣＯＯ）
4	日本のコンテンツを武器に中国で活躍するクリエイション（２） ゲスト：山本亜須香氏（ＦＵＧＡＨＵＭ デザイナー） 小松隆宏氏（株式会社ＷＡＴＯＷＡ 代表取締役ＣＥＯ）
5	日本のブランドが中国Ｅコマースで成功するポイント ゲスト：三浦雄一郎氏（有限会社マーキュリーインベストメントワン 代表取締役社長）
6	日本企業と日本人にとって中国市場での成功のカギ

＜ビジネストピックス＞

イマドキの若者は 内向きで草食なのか？

2012年9月～2013年1月

番組コンセプト

2009年流行語大賞トップテンになった「草食男子」という言葉は、国内外のメディアに広く取り上げられ、今どきの若者を表す言葉としてすっかり定着した。しかし、本来褒め言葉として使っていた深澤氏の意図に反して、今どきの若者を批判する言葉として広がっていってしまった。本当に今どきの若者は、内向きで消極的なのか。草食男子、肉食女子の名付け親である深澤氏に、意外にいいところのある若者の本性とその付き合い方を聞く。

講師

★深澤真紀（コラムニスト・編集者。企画会社タクト・プランニング代表取締役社長）1967年、東京生まれ。早稲田大学第二文学部社会専修卒業。卒業後、いくつかの出版社で編集者をつとめ、1998年、企画会社タクト・プランニングを設立。若者、女性、食、旅など、様々なテーマの企画や執筆や講演も行っている。日経ビジネスオンラインで2006年に「草食男子」や「肉食女子」を命名、「草食男子」は2009年流行語大賞トップテンを受賞し、国内だけはなく世界で話題になる。

1	消費しない若者？
2	恋愛しない若者？
3	海外に興味がない若者？　～起業編 ゲスト：税所篤快氏（ｅ－Ｅｄｕｃａｔｉｏｎ）
4	政治に興味がない若者？　～デモ編 ゲスト：安田浩一氏（ジャーナリスト）
5	イマドキ若者は幸福なのか ゲスト：古市憲寿氏（社会学者）

＜ビジネストピックス＞

クロスコープに学ぶ 最新版！海外進出事情

2012年12月～2013年4月

番組コンセプト

海外進出の拠点として注目が集まる東南アジアで、レンタルオフィスを展開する「クロスコープ」。2011年にオープンし、現在、シンガポールに50社強、インドネシアの首都ジャカルタに30社強が入居する、いわばビジネス界の「トキワ荘」である。
本番組では、クロスコープディレクターの加藤氏を講師に迎え、東南アジアの現状や、入居企業の具体的な取り組みを紹介し、海外で成功するための秘訣を探る。

講師

★加藤 順彦(クロスコープシンガポールディレクター 関西学院大学商学部非常勤講師) 大学在学中に（株）リョーマ、（株）ダイヤルキューネットワークの設立に参画。（株）徳間インテリジェンスネットワークを経て1992年、有限会社日広（現GMONIKKO株式会社）を創業。2008年、NIKKOのGMOインターネットグループ傘下入りに伴い退任し、起業のためシンガポールへ移住。米国広告業界最大手のOgilvy&Mather日本法人 ネオ・アット・オグルヴィ（株）を設立し取締役を務めたほか、（株）オリコン、（株）ディジットブレーンなど上場企業の取締役を歴任。個人エンジェルとして日本国内外の多くのスタートアップベンチャーの第三者割当増資に応じつつ経営参加を通じてハンズオン支援した先は40社を超える。

1	なぜ、「シンガポールでビジネス」なのか？
2	事業支援に取り組む企業 ～スキーム、税制編～
3	海外市場開拓へ向けた取り組み ～収益拡大編～
4	海外で活きる個性派人材 ～人材編～
5	シンガポール（ＡＳＥＡＮ）で成功するためには

＜ビジネストピックス＞

コミュニケーションリーダーシップ

2012年12月～2013年2月

番組コンセプト

ここ10年ほどで、日本のビジネス界はグローバル化が進み、異民族、異文化との交流が求められるようになってきた。さらにＩＴの進化や世代間ギャップ等から、日本特有の「あうんの呼吸」では意思疎通ができなくなっている。本講座は、今の時代に求められているスキル「コミュニケーション」について、コスモ・ピーアール代表取締役社長の佐藤玖美氏が３回にわたって解説していく。

講師

★佐藤玖美（コスモ・ピーアール代表取締役社長)株式会社コスモ・ピーアール代表取締役＆CEO。1986年コスモ入社、取締役開発部長を経て1987年代表取締役に就任。それまでクライアントの約７割が日本企業であったが、対日投資を背景に日本市場に参入する多くの外資系企業のコミュニケーションを支援し、現在ではクライアントの約７割が外資系となっている。米国ウェルズレイ大学（東アジア学専攻）卒業BA取得。1981年から1983年まで米国マッキンゼー・アンド・カンパニー勤務。2000年４月、スター・グループによる「The 50 Leading WomenEntrepreneurs of the World」、『Business Week』Asia版「起業家50人の一人（“The Stars of Asia”）」に選出されたほか、同年、世界経済フォーラム（スイス・ダボス会議）ではグローバル・リーダーズ・フォー・トゥモローに選出される。

1	なぜコミュニケーションなのか
2	戦略的コミュニケーションのフレームワーク
3	いつどこで伝えるかー行動に移す

＜ビジネストピックス＞

雇用から見た日本社会の構造

2013 年 1 月～2013 年 4 月

番組コンセプト

日本型雇用は古いシステムだから壊した方がよいと言うマクロ経済学者は、少なくない。にもかかわらず日本型雇用が続いているのは、どうしてなのだろうか。いまでは批判されるようになったが、実はこのシステムは決して欧米の雇用システムに劣るものではない。日本人は、欧米は能力主義だと思っているが、実際に能力主義を採用してきたのは日本である。

講師

★海老原 嗣生(株式会社ニッチモ代表取締役)1964 年生まれ。大手メーカーを経て、リクルートエイブリック(現リクルートエージェント)入社。事業企画や新規事業立上げに携わった後、リクルートワークス研究所へ出向、「Works」編集長に。2003 年より、リクルートエイブリック(現リクルートエージェント)にて数々の新規事業企画と推進、人事制度設計等に携わる。専門は、人材マネジメント、経営マネジメント論など。2008 年に、HR コンサルティング会社、ニッチモを立ち上げ、代表取締役に就任。同社発行の人事雑誌「HRmics」の編集長。リクルートエージェントソーシャルエグゼクティブ、リクルートワークス研究所特別編集委員も務める。人材育成学会理事。週刊モーニングに連載中の転職エージェント漫画、『エンゼルバンク』の“カリスマ転職代理人、海老沢康生”のモデルでもある.

1	能力主義と職務主義
2	年功階段の功罪
3	全員エリートとジェンダー
4	年功階段が生む老若問題

＜ビジネストピックス＞

ビジネスモデル・イノベーション

2013 年 2 月～2013 年 8 月

番組コンセプト

ビジネスモデル（儲ける仕組み）を構築するためには、全く新しいモデルを一から作る方法と、他社のモデルをヒントにする方法がある。ただし、前例のないモデルを一から作るのは大変であるし、同業他社のマネをしていては、価格競争になってしまう。そこで有効なのが、異業種からヒントを得る方法である。異業種からビジネスモデルを移植する方法について学ぶ。

講師

★山田 英夫 （早稲田大学ビジネススクール 教授）1981 年慶応義塾大学大学院経営管理研究科修了（ＭＢＡ）。三菱総合研究所にて、主に大企業の事業領域策定、新事業開発のコンサルティングに従事。1989 年早大に転じる。専門は競争戦略。学術博士（早大）。デファクト・スタンダードに関する研究では、パイオニア的存在

1	異業種からの移植の例（１） ゲスト：成定竜一氏（高速バスマーケティング研究所）
2	異業種からの移植の例（２）
3	異業種のビジネスモデルを見る視点（１）
4	異業種のビジネスモデルを見る視点（２）
5	異業種のビジネスモデルを見る視点（３） ゲスト：櫻田圭子氏（株式会社宝島社　マーケティング本部長）
6	ビジネスモデル移植における課題 ゲスト：菅原 信氏（日本ヒルティ株式会社 技術本部長）

＜ビジネストピックス＞

メコン経済圏のビジネス動向

2013年3月～2013年5月

番組コンセプト

領土問題を発端に、急速にチャイナリスクに対する危機感が高まりつつある。その結果、ベトナムをはじめとするメコン地域への製造拠点シフトが起こるのではないかとみられている。チャイナプラスワンの筆頭として取りざたされるベトナム。また民政移管でにわかに注目を集めるミャンマー、更に外資誘致を進めるカンボジア・ラオスなど、メコン各国への日本企業の視察は引きも切らない。しかし、これら注目の国々は本当に〝フロンティア〟と呼べるのだろうか。現在の各国の状況を解説すると共に、進出を決めた企業の経験談から、メコン圏のリアルな状況をお伝えする。

講師

★小原 祥嵩 （ハバタク株式会社　取締役）IBMビジネスコンサルティングサービス株式会社（現、日本IBM）へ入社。戦略コンサルタントとして複数業界・業種のクライアントに対する組織・業務変革の支援を行う。2010年、ハバタク株式会社を設立。現在はベトナムを拠点に日本企業・人のメコン地域を中心としたアセアン地域への事業展開支援を行うと共に、各国のイノベーター達と日本人のビジネス共創プラットフォーム構築を行っている。著書「ミャンマー、カンボジア、ラオスのことがマンガで3時間でわかる本」

1	市場としてみたベトナムの現状
2	ベトナム進出企業に聞く、新興国ビジネス展開のポイント ゲスト：薛悠司氏（ソルテックベトナム代表取締役社長/エボラブルアジア取締役会長）
3	ミャンマー、ラオス、カンボジアの現状及び今後の課題

＜ビジネストピックス＞

為替相場が企業経営に与える影響

2013年3月～2013年4月

番組コンセプト

国内における事業機会が減っている中、海外に事業進出をしている企業が増えている。事業リスクについてはそれぞれ綿密に調べている企業があるものの、為替リスクについて詳細に検討している企業は少ない。その一方で、日本円は1971年の360円以降、2011年の75円まで40年間で4.8倍に上昇した。そのため、日本円で負債を作り、海外資産を購入した場合、為替のインパクトがB/Sに与える影響は非常に大きい。そこで本番組においては、為替・金利リスクがビジネス与える影響および、その対応策について考えていく。

講師

★藤田 勉 （シティグループ証券株式会社取締役副会長．シティ資本市場研究所理事長）一橋大学大学院博士課程修了，経営法博士．慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所客員研究員．慶應義塾大学「グローバル金融市場論」講師．内閣官房経済部市場動向研究会委員，経済産業省企業価値研究会委員，環境省環境金融行動原則起草委員会委員，早稲田大学商学部講師

1	為替相場の決定要因
2	「アベノミクス」とシェール革命が円相場に与える影響
3	新興国・資源国通貨の展望
4	企業経営に大きな影響を与えるM&Aと会計制度

＜ビジネストピックス＞

イマドキ女子とどう付き合うか

2013年4月～2013年4月

番組コンセプト

日本では、少子高齢化社会が叫ばれる中、労働人口の減少が懸念材料の一つとなっている。問題解決に移民政策が必要などとの声もあるが、国内事情をよく見ると、即戦力となり得る多くの女性たちが働き場所を見つけられずにいる。政府与党は、女性力発揮を経済成長の具体策の一つに掲げているものの、あまりにも実現性は薄く、掛け声だけに終わっている感が否めない。
本番組では、「肉食女子」の名付け親でもあり、女性をテーマにした著書も多い深澤氏を講師に、イマドキ女子の現状と、本当の「女性活用」策を考える。

講師

★深澤真紀（コラムニスト・編集者。企画会社タクト・プランニング代表取締役社長）1967年、東京生まれ。早稲田大学第二文学部社会専修卒業。卒業後、いくつかの出版社で編集者をつとめ、1998年、企画会社タクト・プランニングを設立。若者、女性、食、旅など、様々なテーマの企画や執筆や講演も行っている。日経ビジネスオンラインで2006年に「草食男子」や「肉食女子」を命名、「草食男子」は2009年流行語大賞トップテンを受賞し、国内だけはなく世界で話題になる。

1	いま、日本の女子はどんな状況なのか
2	スポーツにみる女性指導法 ゲスト：山口香（筑波大学体育系准教授／柔道家）
3	女性が長く働ける環境をつくるために ゲスト：菊入みゆき氏（株式会社ＪＴＢモチベーションズ ワーク・モチベーション研究所 所長）
4	日本と世界の女性政治家たち ゲスト：横田由美子氏（ルポライター）
5	日経ウーマンから見る日本の働く女性 ゲスト：中野恵子氏（日経ウーマンオンライン 編集長）
6	日本の女性がみんな見るクックパッドとは ゲスト：小竹貴子氏（フードエディター）
7	すぼらでマニアな女性がおもしろい

＜ビジネストピックス＞

世界に出て行く日本の農業

2013年4月～2013年6月

番組コンセプト

近年、海外での農業を目指す農業経営者の方が出てきています。雑誌、「農業経営者」では「Made by Japanese」というキーワードにて、単に日本人の農業技術を用いて海外にて生産するだけに留まらず、マーケティング・サービスまで含めた、海外生産・新たなマーケットを開発する事を提唱しています。世界から求められている日本食文化の展開しだいでは、現在以上の巨大なマーケットが農業を待ち受けています。そこで本番組では輸出・グローバルビジネスとして農業を捉えた現状について解説すると同時に、世界を視野に入れて活躍している農業者の方をゲストに迎えて、現場の話しを伺って行きます。

講師

★浅川　芳裕(月刊「農業経営者」副編集長）1995年エジプト・カイロ大学文学部東洋言語学科セム語専科中退。ソニーガルフ（ドバイ）勤務を経て、2000年、農業技術通信社に入社。若者向け農業誌「Agrizm」発行人、ジャガイモ専門誌「ポテカル」編集長を兼務。

1	はじめに：日本は世界５位の農業大国
2	世界が私の農場 ゲスト：渡邉隆信氏（株式会社秀果園代表取締役）
3	農業が日本経済を救う ゲスト：岡本重明氏（有限会社新鮮組 代表取締役）

＜ビジネストピックス＞

アベノミクスと金融市場

2013年7月～2013年10月

番組コンセプト

2012年年末から2013年5月まで株式市場は大きく値をあげてきました。そこで本番組では、株式上昇のキーワードとなった「アベノミクス」とはそもそも何を言うのか？またこれが金融市場に与える影響および、2010年代後半におけるバブルの展望、そして日本の成長戦略・財政再建についてCITIグループ証券副会長の藤田勉氏に解説して頂きます。

講師

★藤田 勉 （シティグループ証券株式会社取締役副会長．シティ資本市場研究所理事長）一橋大学大学院博士課程修了，経営法博士．慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所客員研究員．慶應義塾大学「グローバル金融市場論」講師．内閣官房経済部市場動向研究会委員，経済産業省企業価値研究会委員，環境省環境金融行動原則起草委員会委員，早稲田大学商学部講師

1	アベノミクスとは何か？
2	アベノミクスは何をめざすのか
3	日銀の異次元の金融緩和
4	日本経済の課題と成長戦略
5	アベノミクス相場の展望

＜ビジネストピックス＞

BEソーシャル！

2013年7月～2014年1月

番組コンセプト

ソーシャルメディアによって、企業を壁を超え、人々は深くつながるようになった。IBMの最新調査によると、高業績の企業ほど、社員、顧客、パートナーとの関係性を深め、つながりによる価値創造を目指している。この講義では、つながりからいかに価値を創造するか、また企業経営はいかにあるべきか、実際に経営改革に取り組んでいるゲストも迎えて、明日の経営に役立つ情報を満載してお届けしたい。

講師

★齊藤　徹 （株式会社ループス・コミュニケーションズ代表取締役）1985年慶應義塾大学理工学部卒業後、同年日本IBM入社。2005年ループス・コミュニケーションズを創業。ソーシャルメディアに関するコンサルティング事業を展開。多くの大企業の指南役として業界を牽引するとともに、ビジネスへのインパクトを広く啓蒙している。主な著作に 「BEソーシャル！（日本経済新聞出版社)」 「ソーシャルシフト（日本経済新聞出版社)」 「新ソーシャルメディア完全読本（アスキー出版)」などがある。

1	透明な時代にあるべき企業像、ソーシャル・エンタープライズとは？
2	社員エンパワーメントの革新
3	顧客エンゲージメントの革新
4	パートナー・エンゲージメントの革新
5	インサイドアウト・イノベーション
6	透明の力を経営に活かす。ループス創業物語 ゲスト：福田浩至氏（株式会社ループス・コミュニケーションズ 副社長） 中山敦氏（株式会社アイリサーチ 代表取締役社長）
7	ソーシャルシフトの現場から ゲスト：小濵 裕正氏（株式会社カスミ 代表取締役会長） 高橋 徹氏（株式会社カスミ ソーシャルメディアコミュニケーション研究会 マネジャー）

＜ビジネストピックス＞

「経営と社員のチーム」を作る

2013 年 8 月～2014 年 1 月

番組コンセプト

最近の経営課題の一つに、経営陣と社員の間が物理的にも心理的にも離れているという事があります。経営と社員がチームとなるという事は、聞きなれない言葉ではありますが、この二つが一つのチームとなって活動すると、成果は明らかに出てくると、番組講師の柴田 昌治氏は主張する。そこで本番組では、実際に経営と社員がチームになる事で結果を残してきた方をゲストのお迎えして、今後の企業経営のヒントを探っていきます。

講師

★柴田 昌治 （株式会社スコラ・コンサルト　プロセスデザイナー代表）1979 年東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。 大学院在学中にドイツ語学院ハイデルベルクを創り、30 代の頃には NHK テレビ語学番組の講師を務める。 その後、大学院で学んだ教育学の知見を企業内教育に生かすべく、ビジネス教育の会社を設立。 80 年代後半から、組織風土・体質改革の支援に本格的に取り組む。 社員の働きがいと業績が同時に実現する会社づくりをめざし、対話による信頼を基盤にした経営と社員のチームづくりをサポートしている。

1	企業風土改革のカギ
2	チームが生まれるとき ゲスト：稲生武氏（いすゞ自動車株式会社特別理事/東日本旅客鉄道株式会社顧問）
3	チームが生まれる時（２）
4	ISOWA の事例 ゲスト：磯輪英之氏（株式会社 ISOWA 代表取締役社長） 中村淳二氏（株式会社 ISOWA 取締役執行役員）
5	トヨタカローラ秋田の事例 ゲスト：伊藤哲之氏（トヨタカローラ秋田株式会社 代表取締役社長） 阿部聖子氏（トヨタカローラ秋田株式会社 取締役管理部長）
6	まとめ ゲスト：伊藤哲之氏（トヨタカローラ秋田株式会社 代表取締役社長） 阿部聖子氏（トヨタカローラ秋田株式会社 取締役管理部長）

＜ビジネストピックス＞

サービス産業の海外進出

2013 年 8 月～2013 年 12 月

番組コンセプト

日本企業の海外進出となると、製造業・メーカー系企業を思い浮かべる方が多いと思います。しかしながら近年においては、流通・サービス産業においても積極的に海外進出し、さらには現地での実績を残している企業も出てきています。そこで本番組では、日本のサービス産業における海外進出に詳しい JETRO の北川氏を講師にお迎えし、海外進出に取り組んでいるサービス産業における企業の方々をお迎えして、そのチャレンジについてお話頂きます。

講師

★北川浩伸 （日本貿易振興機構（ジェトロ）生活文化・サービス産業部　サービス産業課　課長）1989 年、日本貿易振興会（当時）入会。 ロンドンセンター、経営企画担当主査、海外調査部主任調査研究員、海外調査部グローバル・マーケティング課長などを経て現職。 慶應義塾大学大学院商学研究科博士後期課程単位満期取得退学。 慶應義塾大学産業研究所共同研究員、早稲田大学総合研究機構 トランスナショナル HRM 研究所招聘研究員。

1	アジア新興国を中心とした我が国サービス産業の海外進出
2	ゲスト対談 ゲスト：藤岡清美氏（株式会社力の源カンパニー 営業本部 ASEAN グループ グループリーダー）
3	ゲスト対談 ゲスト：川上統一氏（株式会社モミアンドトイ・エンターテインメント代表取締役ＣＥＯ）
4	ゲスト対談 ゲスト：北野泰男氏（キュービーネット株式会社代表取締役社長）
5	ゲスト対談 ゲスト：森啓次郎氏（株式会社紀伊國屋書店 常務取締役）
6	ゲスト対談 ゲスト：加藤広慎氏（株式会社吉野家インターナショナル営業部長）
7	ゲスト対談 ゲスト：吉村由則氏（株式会社ハチバン 取締役執行役員 らーめん事業本部長）

＜ビジネストピックス＞

ストーリーで読み解く やさしい 面白い 会計の話

2013 年 9 月～2013 年 11 月

番組コンセプト

企業の現状を知るためには、決算書を読むことが必要です。しかしいざ読み込もうとすると、無機質な数字が並んでいて専門知識、複雑な計算式を使わなければならないとおもうと、多くの方があきらめてしまいます。しかし、決算書はそもそも私たちの常識からかけ離れたものではありません。その構造を正しく理解できれば、複雑な計算式を使わなくてもごく自然に理解できます。そこで本番組では、決算書を読み込むことで会社のストーリーが理解出来る事を目指し、初心者でも会計の基礎が理解できる事を目指した講座です。

講師

★後　正武(株式会社東京マネジメントコンサルタンツ 代表)東京大学法学部卒業。新日本製鉄、ハーバードビジネススクール（ディスティンクション）、マッキンゼー＆カンパニー（プリンシパルパートナー）、ベイン＆カンパニー（副社長）を経て、現職。 ほとんどの産業分野において全社戦略―実行プログラムにいたる一連の組織課題を手がける。

1	損益分岐点は小学校４年生の算数で計算できる
2	損益計算書から会社のおもしろいストーリーが読める
3	貸借対照表には会社の歴史がつまっている
4	連結財務諸表で会社の全容が見えてくる
5	キャッシュ・フローのほんとうの意味
6	キャッシュ・フロー徹底解説

＜ビジネストピックス＞

地域づくりのマネジメント

2013 年 9 月～2014 年 2 月

番組コンセプト

地域活性化は、今日の日本における大きな課題の一つでありまる。本番組の講師である飯盛氏は、SFC でのゼミ・研究会および、総務省の人材力活性化研究会座長(http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/jinzai/index.html)等を通じて地域活性化の現状、求められる人材像など、数々の知見をお持ちです。
そこで本番組では、地域活性化の現場を通じて得られた最新事例を通じて、地域活性化の成功の鍵、リーダーシップの必要性、またそこに潜むビジネスチャンスについて、番組視聴者の方にご紹介したいと思います。

講師

★飯盛　義徳(慶應義塾大学総合政策学部准教授) 1987 年、松下電器産業株式会社入社。富士通株式会社出向などを経て、1992 年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程入学。1994 年、同校修了後、飯盛教材株式会社入社。2002 年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学。2005 年、慶應義塾大学環境情報学部専任講師就任。2008 年から現職。専門は、地域イノベーション、ファミリービジネス、経営情報システムなど。 総務省・過疎問題懇談会委員、総務省・地域づくり懇談会委員、総務省・人材力活性化研究会座長、国土交通省・奄美群島振興開発審議会委員など地域活性化に関する公職を多数務める。

1	地域の資源化プロセス
2	伝統産業の再生 ゲスト：矢島里佳氏（株式会社和える 代表取締役）
3	まちのデザイン ゲスト：西村 浩氏（株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役／建築家・デザイナー）
4	地域資源の展開とネットワーク形成 ゲスト：宮治勇輔氏（株式会社みやじ豚 代表取締役／ＮＰＯ法人 農家のこせがれネットワーク 代表理事）
5	多様な人々の協働 ゲスト：平岩国泰氏（特定非営利活動法人 放課後ＮＰＯアフタースクール 代表理事）
6	食と地域振興 ゲスト：高野誠鮮氏（石川県羽咋市教育委員会 文化財室長／日蓮宗 本證山妙法寺 第４１世住職）

＜ビジネストピックス＞

クラウドファンディング最前線

2013 年 9 月～2013 年 11 月

番組コンセプト

米国プロジェクト支援サイトである「Kickstarter」は、2012 年に前年比 221%増の約 3 億 2,000 万ドルの資金を集め、近年クラウドファンディングに注目が集まっている。日本においても「Ready for?」といったクラウドファンディングを行うサイトにて、プロジェクト支援の資金が集まり始めている。
そこで、本番組では、クラウドファンディングにおける現状を解説すると共に、実際にクラウドファンディングを通じて資金を集めた方をゲストに招き、クラウドファンディングに向くプロジェクト、資金集めのポイント等を聞いていく。
同時に企業経営者・ビジネスパーソンからみたクラウドファンディングの可能性を探っていく。

講師

★小林　雅(インフィニティ・ベンチャーズ LLP 共同代表パートナー)　東京大学工学部卒業後、1998 年アーサー・D・リトル（ジャパン）に入社。エレクトロニクス・情報機器・通信関連の新規事業戦略立案に従事後、ベンチャー・インキュベーション事業の立ち上げを経験。2001 年エイパックス・グロービス・パートナーズ（現グロービス・キャピタル・パートナーズ）入社。2004 年同社パートナー就任。累計約 400 億円のベンチャーキャピタル・ファンドを運用。グリー株式会社などのインターネット・モバイル・ソフトウエア産業の投資を担当。2007 年 8 月に独立し、2008 年 1 月インフィニティ・ベンチャーズ LLP 共同代表パートナー。インフィニティ・ベンチャーズ・サミットの企画・運営責任者を務める。

1	クラウドファンディングの現状と今後の可能性 ゲスト：米良はるか氏（READYFOR?代表） 増島雅和氏（森・濱田松本法律事務所パートナー弁護士）
2	クラウドファンディング活用の事例 ゲスト：丹下大氏（株式会社 SHIFT 代表取締役）

＜ビジネストピックス＞

楠木建のビジネスリーダー「好き嫌い」対談

2013 年 9 月～2015 年 2 月

番組コンセプト

今回は、経営者をお招きしてその方の「好き」「嫌い」を伺っていきます。経営者として仕事の良しあしを伺う機会は数多くありますが、その方が実際は何が好きで嫌いかといった話が外に出てくることは少ないです。しかしながら、「好き嫌い」を伺っていく事で、その経営者の方の特徴や強みがはっきりとわかってきます。また「好きこそものの上手なれ」という言葉がある通り、好きであることが成功のキーポイントだともいえます。そこで本番組では一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授の楠木建氏を講師に迎えて、様々な経営者をお招きしてその方の好き嫌いに迫ります。
（なお、本企画は東洋経済新報社から発刊している実践的ビジネストレーニング季刊誌「Think!」とのコラボレーション企画となります）

講師

★楠木 建(一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授)
一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授
専攻はイノベーションのマネジメント。新しいものを生み出す組織や戦略について研究している。とくにコンセプトを創造する組織やリーダーシップに関心をもっている。一橋大学大学院商学研究科博士課程修了(1992)。一橋大学商学部専任講師(1992)、同大学同学部およびイノベーション研究センター助教授(1996)を経て、2000 年から現職。 主な著書に『Managing Industrial Knowledge』(共著・Sage 2001)、『ビジネス・アーキテクチャ』(共著・有斐閣 2001)、『知識とイノベーション』(共著・東洋経済新報社 2001) など。論文多数。

1	ビジネスリーダー「好き嫌い」対談 ゲスト：大前研一
2	ビジネスリーダー「好き嫌い」対談 ゲスト：中竹竜二氏（日本ラグビーフットボール協会 コーチングディレクター）
3	ビジネスリーダー「好き嫌い」対談 ゲスト：磯﨑憲一郎氏（小説家・芥川賞作家）
4	ビジネスリーダー「好き嫌い」対談 ゲスト：藤田 晋氏（株式会社サイバーエージェント 代表取締役社長）
5	ビジネスリーダー「好き嫌い」対談 ゲスト：星野佳路氏（株式会社星野リゾート 代表取締役社長）
6	ビジネスリーダー「好き嫌い」対談 ゲスト：佐山展生氏（インテグラル株式会社 代表取締役パートナー）
7	ビジネスリーダー「好き嫌い」対談 ゲスト：為末 大氏（元プロ陸上選手）
8	ビジネスリーダー「好き嫌い」対談 ゲスト：宮内義彦氏（オリックス株式会社 シニア・チェアマン）
9	ビジネスリーダー「好き嫌い」対談 ゲスト：髙島宏平氏（オイシックス株式会社 代表取締役社長）

＜ビジネストピックス＞

人口減少時代の住宅市場

2013年10月～2014年2月

番組コンセプト

２０４０年、日本の人口は１億７００万人となり、団塊ジュニア（１９７０年代前半生まれ）が６５歳を超え、１９７３年生まれが６７歳となります。また、１８００万世帯ほどの一人暮らしのうち、762 万世帯が６５歳以上。８５歳以上だけでも２１０万世帯になる。
このような人口減少、超高齢社会において、住宅産業は何をなをすべきか？また、高度成長～バブル期に開発した住宅地を今後どうするべきか？中古住宅の流通戦略は？賃貸住宅の空き室戦略は？
本番番組では様々なゲストをお呼びして、上記疑問について議論をしていきます。

講師

★三浦　展（社会デザイン研究者）1958年生まれ。 82年 一橋大学社会学部卒業。（株）パルコ入社。マーケティング情報誌『アクロス』編集室勤務。86年　同誌編集長。 90年、三菱総合研究所入社。
99年 「カルチャースタディーズ研究所」設立。 消費社会、家族、若者、階層、都市などの研究を踏まえ、新しい時代を予測し、社会デザインを提案している。
著書に、80万部のベストセラー『下流社会』のほか、『第四の消費　つながりを生み出す社会』『データでわかる2030年の日本』『日本人はこれから何を買うのか？』『東京は郊外から消えていく！』『「家族」と「幸福」の戦後史』『ファスト風土化する日本』『東京高級住宅地探訪』など多数。

1	総論：人口減少する大都市 ゲスト：大野秀敏氏（東京大学大学院教授）
2	中古住宅のリノベーション ゲスト：内山博文氏（株式会社リビタ 常務取締役）
3	賃貸住宅の新たな動向「オーダーメイド賃貸」 ゲスト：青木純氏（メゾン青樹）
4	郊外住宅と二世帯家族 ゲスト：松本吉彦氏（旭化成ホームズ株式会社 二世帯住宅研究所 所長）
5	郊外住宅地の将来戦略 ゲスト：東浦亮典氏（東京急行電鉄株式会社 都市開発事業本部 企画開発部 統括部長）

＜ビジネストピックス＞

私もグローバル人材になれるか

2013年10月～2013年12月

番組コンセプト

近年「グローバル人材」という言葉をよく見かけます。しかし多くのビジネスパーソンにとっての「グローバル化」とは、外資の役員クラスを目指すのではなく、海外の取引先、提携先、学会、グローバルチームでのプロジェクトなどで、自分の責任を最低限果たせるようになることを目指す事ではないでしょうか？そこで本番組では、エンジニアとしてのキャリアからスタートした講師の門永氏の経験から、英語だけではなく、論理的思考と表現力を磨く事の重要性、またダイバーシティ世界の中での「常識と気配り」が大切さについて話をして頂きます。

講師

★門永 宗之助（ＢＢＴ大学大学院教授）東京大学工学部化学工学科卒、マサチューセッツ工科大学化学工学修士取得。千代田化工建設株式会社を経て1986年マッキンゼー・アンド・カンパニー入 社。1992年に同社パートナー。ヘルスケア研究グループのリーダーなどを歴任、2009年6月同社退職。2009年3月まで東京大学工学系研究所技術経 営戦略専攻臨時講師を務める。現在、文部科学省　独立行政法人評価委員会 委員長（他、分科会・部会の会長兼務)。文部科学省 科学技術・学術審議会基本計画特別委員会臨時委員。NPO 法人ヘルスケアリーダーシップ研究会相談役。複数の企業や団体の取締役や理事なども務める。

1	自分の日本語を見直す ゲスト：関谷英里子氏（株式会社プレミア・リンクス代表取締役）
2	外国人とのスムーズな関係構築のために

＜ビジネストピックス＞

メガトレンドを読み解く

2013 年 11 月～2014 年 2 月

番組コンセプト

日本企業の近年の経営計画は、事業部ごとの「身の丈」の成長プランを束ねただけの、近視眼的・戦術的なものになってしまってはいないでしょうか。グローバルな競合企業が、野心的な成長戦略を立て、大規模なクロスボーダー合併などを仕掛けているのに対して、「身の丈」成長のままでは、周回遅れランナーに転落してしまいます。そもそも日本企業の本社スタッフは、日本の従来型メディアの情報に頼っているために、グローバルなメガ・トレンドに疎くなってしまってはいないでしょうか。
そこで本番組では、ブーズ・アンド・カンパニーが海外クライアントにも提供しているメガ・トレンドの資料を基に、30 年後の世界を見据えて、日本企業がどのような観点から成長を考えるべきかのヒントを提供していきます。

講師

★岸本　義之(ブーズ・アンド・カンパニー株式会社 ディレクター)
東京大学経済学部卒業、ノースウェスタン大学ＭＢＡ、慶応義塾大学大学院経営管理研究科博士課程修了、博士（経営学)。15 年以上にわたり、銀行・証券・保険・ノンバンクなどの金融機関に対し、全社戦略、営業マーケティング戦略、リスク管理、グローバル戦略、組織改革などのプロジェクトを行ってきた。マッキンゼー・アンド・カンパニー（マネジャー）を経て、現職。

1	環境と資源
2	人口と富
3	社会と文化
4	メガ・トレンドまとめ ～日本企業のとるべき道～

＜ビジネストピックス＞

メイカーズムーブメントとその未来

2013 年 11 月～2014 年 4 月

番組コンセプト

近年、３D プリンタをはじめとするデジタルファブリケーションにかかわる機材が、ハイアマチュア、プロシューマの間でも利用が可能となり、メーカーズムーブメントとして話題となってきています。デジタルファブリケーションについては、様々な文脈で語る事が可能であり、正確な文脈をとらえる事、また、デジタルファブリケーションの限界を正しく認識する事は、ビジネスの観点でこれらを理解する為に大変重要です。そこで本番組では、デジタルファブリケーションの現状と可能性をトピック的に何人かの講師の先生にお話しいただきます

講師

★田川 欣哉(takram design engineering 代表)
99 年東京大学工学部機械情報工学科卒業。01 年英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アート修士課程修了。06 年に takram を設立。主な作品に親指入力機器「tagtype」、レーザードローイングツール「Afterglow」、NTT ドコモ「i コンシェル」「i ウィジェット」の UI デザインなど。2007 年 Microsoft Innovation Award 最優秀賞、独 red dot award: product design 2009 など受賞多数。

★原 雄司（ケイズデザインラボ社長／3D コンサルタント）
ケイズデザインラボにて、製品表面加飾技術デジタルシボ®D3 テクスチャー®プロセスを確立し、2012 年度東京都ベンチャー技術大賞奨励賞を受賞。
現在『アナログとデジタル融合で世界を 変える！』を標榜し、ものづくり、デザイン、アート、医療、エンターテイ メントまで、様々な分野での 3D デジタル活用を推進中。
現在、渋谷・道玄坂 3D スタジオ CUBE の設立を発案、コンセプターとして 3D プリンタや 3D ツールの普及活動を行なっている。

★八木啓太(デザインエンジニア)
1983 年生まれ。大阪大学大学院修了。電子工学を専攻。富士フイルム株式会社にて、医療機器の機械設計に従事。デザインを独学し、2011 年、Bsize 設立。授賞暦、red dot design award。GOODDESIGN award、他。

★坂井 直樹（株式会社ウォーターデザイン代表取締役）
WATER DESIGN 取締役/成蹊大学客員教授/コンセプター/サンフランシスコで Tattoo Company を設立刺青プリント T シャツ販売。帰国後にウォータースタジオ設立。87 年日産「Be-1」89 年には同じく「PAO」の開発に関わり、フューチャーレトロブームを創出。

1	メイカーズムーブメントとそのインパクト 講師：田川 欣哉
2	日本における３D プリンティング 講師：原 雄司
3	一人メーカー 講師：八木 啓太
4	デザインは経営資源 講師：坂井直樹（株式会社ウォーターデザイン代表取締役）

＜ビジネストピックス＞

原発 30 キロ圏「内部被曝」の実態

2013 年 12 月

番組コンセプト

福島では東日本大震災以降、地方自治体および地域病院での活動を通じて被曝を避け、従来通りの生活を続けていくための地道な努力が続いています。そこで本番組では、3.11 直後から 3 年近くにわたって福島県の医療支援を続けている東京大学医科学研究所特任教授の上 昌広氏を講師にお迎えし、原発 30 キロ圏「内部被曝」の実態についてお話しいただきます。

講師

★上 昌広（先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携研究部門特任教授）

1993 年東京大学医学部医学科卒、99 年東京大学大学院医学系研究科修。2001 年-2005 年国立がんセンター中央病院薬物療法部医員、2005 年よりに東京大学医科学研究所に勤務。現在、先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携研究部門特任教授

1	被災者たちの地域復興

＜ビジネストピックス＞

最後のフロンティア!
アフリカビジネスに挑め

2014 年 1 月～2014 年 10 月

番組コンセプト

今、アフリカが世界の投資家・ビジネスパーソンから注目を集めている。多くの地域で政情が安定してきている事と、過去 10 年の資源価格上昇をきっかけとして経済が離陸し、中間所得の台頭による、新たな成長の段階に入ろうとしています。日本においては、アフリカに関わる情報が非常に少ない状況ではあるものの、成長の可能性に気が付いて現地で挑み始めている企業・個人も出てきています。

そこで本番組では、椿氏にアフリカビジネスの概況についてご説明頂いたのちに、現地で活躍しているビジネスパーソンをゲストに招いて、アフリカビジネスについてディスカッションを行っていきます。

講師

★椿進(株式会社パンアジアパートナーズ代表取締役 代表パートナー)

ボストンコンサルティンググループ（BCG)、パートナー・マネージングダイレクターとして、ハイテク、情報通信、インターネット、メディア・コンテンツ分野において、事業戦略、M&A 戦略、新事業立ち上げ、グローバリゼーション等の プロジェクトを実施。95 年-96 年にはサンフランシスコオフィス勤務。

大手通信会社、大手携帯電話会社、大手電機メーカー、大手ハイテク部材企業、大手ゲーム会社、大手テレビ局、IT・ネット企業、 消費財企業などのコンサルティングを 15 年にわたって経験。 2006 年より（株）インデックスホールディングスの代表取締役に就任。（株）タカラトミー、（株）竜の子プロダクション、（株）アトラス、（株）ネットインデックス等 などの社外取締役を歴任。

1	概要/アフリカで活躍する日本企業と日本人
2	行けば道は開ける～事業戦略とチームワーク～ ゲスト：水野達男氏（マラリア・ノーモア・ジャパン専務理事）
3	アフリカ経済の現状と日本の対応 ゲスト：平野克己氏（日本貿易振興機構アジア経済研究所 上席主任研究員）
4	地域と共に成長するビジネスモデル ゲスト：後安孝彦氏（ヤマハ発動機株式会社　執行役員）
5	アフリカ経済の変貌とビジネスチャンス ゲスト：玉川雅之氏（アフリカ開発銀行アジア代表事務所長）
6	最後の成長フロンティア～アフリカ～

＜ビジネストピックス＞

Why TEDx?

2014年1月～2014年6月

番組コンセプト

TED(Technology Design Entertainment)カンファレンスには世界中から最先端の領域で活動している方が集まり、それぞれの知見を発表しています。TEDxとはTEDの精神を受け継ぎ、世界中に広がっているコミュニティです。本番組の講師であるPatrick Newell氏はTEDxTokyoの創設者として2009年からイベントに関わってきました。そこで本番組では、もう一人のTEDxTokyoの創設者であるTod Porter氏や、TEDxTokyoに出演者た方をゲストにお呼びして、TEDとは何か？TEDxイベントに参加する意味、などについて伺っていきます。

講師

★Patrick Newell (TEDxTokyoオーガナイザー)

アメリカ出身。1991年より日本に在住。東京インターナショナ ルスクールの共同創設者をはじめ、児童養護施設の子供達への支援活動「Living Dreams」や21世紀にふさわしい教育法を開発する「21 Foundation」の創設を創設する。2009年よりTodd Poter氏と共にTEDxTokyoを創設する

1	Guest：Todd Porter(TEDxTokyo : Co-Founder)
2	Guest:BLACK(World Yo-Yo Champion)
3	Guest:Alvaro Cedeño Molinari(Ambassador of Costa Rica)
4	Guest:Rene Duignan(Film Director)

＜ビジネストピックス＞

クラウドソーシングの衝撃

2014年4月～2014年7月

番組コンセプト

２０１０年以降、海外ではoDesk, Elance, Freelancer.com, InnoCentiveなど、また日本ではクラウドワークス、ランサーズといったサイトの活用を通じてクラウドソーシング(Crowdsourcing)に関わる市場が急速に拡大しています。クラウドソーシングについては、地方・途上国の低賃金労働力の活用という側面を取り上げられる事が多いですが、その一方で時給$１００以上を稼ぐワーカーも出現しており、低賃金だけがメリットとは言えません。そこで本番組については、クラウドソーシングに関する現状を視聴者の方にお伝えすると同時に、企業経営という切り口から見た、活用方法、注意点、脅威などについて伝えていきます。

講師

★比嘉 邦彦(東京工業大学イノベーションマネジメント研究科教授)

米国アリゾナ大学から1988年に経営情報システム専攻でPh.D.を修得。1999年より現職。テレワークをメインテーマとした21世紀の 情報システムのあり方、組織改革、地域活性化などについて研究。ACM、AIS、INFORMS、経営情報システム学会等の会員であり、日本テレワーク学会の代表幹事である。国土交通省・総務省・厚生労働省・経済産業省の ４省合同で作成した企業へのテレワーク導入ガイドブックの編集委員長を含めテレワーク関係省庁の 各種委員会の委員および委員長を歴任。また、高知県アウトソーシング検討委員会の委員長を務めている。

1	クラウドソーシング概論（海外事例）
2	クラウドソーシング概論（国内事例）
3	日本におけるクラウドソーシングの現状 ゲスト：吉田浩一郎氏（株式会社クラウドワークス　代表取締役社長 兼 CEO）
4	特化型クラウドソーシング ゲスト：福江一起氏（インフォコム株式会社　データサイエンティスト） 西野高秀氏（株式会社チェリッシュライフジャパン 代表取締役）

＜ビジネストピックス＞

フロー経営

2014 年 5 月

番組コンセプト

創業期のソニーは社員が”燃える集団”になって「フロー経営」が行われていた。それがソニーの大躍進の理由であった。CD を開発し、犬型ロボット「AIBO」､「ワークステーション NEWS」を開発、商品化した元ソニー上席常務天外伺朗氏が、ソニーの全盛期に体験した人や組織のパフォーマンスを最大にする「フロー状態」とは何か？ビジネスの分野にて注目をされはじめて”燃える集団”を作る「フロー経営」について話します。

講師

★天外伺朗(天外塾主宰)
本名　土井利忠、元ソニー上席常務、工学博士（東北大学）
１９８０年ＣＤ（コンパクト・ディスク）開発後、業務用デジタル・オーディオ機器のビジネス責任者となる。１９８５年、研究所に戻り、当時としては唯一インターネットに接続できるＯＳ，バークレーＵＮＩＸを搭載したワークステーションＮＥWS を開発、商品化に成功。１９８８年には、別会社として、「ＣＳＬ（ソニー・コンピュータ・サイエンス研究所)」を設立し、初代社長兼所長を兼任。その後、ＣＳＬは、脳科学者の茂木健一郎、システム・バイオロジーという新学問を提唱した北野宏明、エコノフィジックス（経済物理学）という新学問を提唱した高安秀樹など気鋭の研究者を擁する日本有数の研究所へ発展した。
１９９４年より、犬型ロボット「ＡＩＢ0」の開発に着手、１９９９年には商品化に成功。音声対話能力のある２足歩行ロボットＱＲＩ０を開発した後、人工知能と脳科学を統合した新しい学問、｢インテリジェンス・ダイナミクス(動的知能学)」を提唱した

1	天外伺朗のフロー経営 “燃える集団”をつくるフロー経営

＜ビジネストピックス＞

経営とデザイン

2014 年 9 月～現在

番組コンセプト

近年、Google,Apple といった企業においてはデザイン、ファッション系の役員を取り入れている事など、またスタンフォードのＤスクール、東京大学におけるｉスクールがスタートするなど、今後はビジネスパーソンもデザインについての一定の見識・知識を求められる時代がくるかもしれません。
一方で日本企業においてはデザイナーの発言権が弱く、また優秀なデザイナーをマネジメントする知識・経験が不足していると思われます。そこで本番組では、デザインの観点から優れている企業、もしくは優秀なデザイナーを上手にマネジメントしていると思われる企業の関係者をお迎えして、企業がどのように優秀なデザイナーをマネジメントしていくか考えていきます。

講師

★坂井 直樹(WATER DESIGN 取締役/成蹊大学客員教授/コンセプター) サンフランシスコで Tattoo Company を設立刺青プリント T シャツ販売。帰国後にウォータースタジオ設立。87 年日産「Be-1」89 年には同じく「PAO」の開発に関わり、 フューチャーレトロブームを創出。

1	ゲスト：室井淳司氏（株式会社アーキセプトシティ代表取締役）
2	ゲスト：水野学氏（good design company 代表取締役）
3	ゲスト：金井政明氏（株式会社良品計画 代表取締役社長）

＜ビジネストピックス＞

考える力

2014年8月～2015年1月

番組コンセプト

「考える」事が人類の特筆すべき能力である事を知っていながら、私たちは「考える」という事はどういう事か、どうすればその能力を育てる事ができるのか自覚していません。また、いままで「・・・について考える」という事は様々な所で言われていますが、「考えるという事を考える」という事はあまりしてきていませんでした。そこで本番組では、「考えるという事はどういう事か？」という事について、後正武氏が解説していきます。

講師

★後　正武（株式会社東京マネジメントコンサルタンツ　代表）東京大学法学部卒業。新日本製鉄、ハーバードビジネススクール（ディスティンクション）、マッキンゼー＆カンパニー（プリンシパルパートナー）、ベイン＆カンパニー（副社長）を経て、現職。 ほとんどの産業分野において全社戦略―実行プログラムにいたる一連の組織課題を手がける。

1	「考える」とはどういうことか？
2	脳の回路と考える能力の開拓可能性
3	クリティカル・シンキングの考え方
4	知的思考のための方法論
5	情的思考のための方法論
6	意思的思考のための方法論

＜ビジネストピックス＞

営業力向上実践講座

2014年11月～現在

番組コンセプト

「営業力」は生まれ持ったセンスや、運によるものではありません。
営業はその本質を理解し、適切な方法で行なうことにより、誰が行なっても同じ結果を出すことができる、科学（サイエンス）なのです。
トップセールスの行動には、共通点があり、再現性があるといいます。本講義ではIBMをはじめ多くの営業・ビジネスの現場で活躍してこられたスマートライン株式会社の高野孝之氏を講師に迎え、20年以上検証してきた事実法則、理論、再現性について全六回でお伝えします。

講師

★高野　孝之(スマートライン株式会社　代表取締役社長兼CEO) 慶應義塾大学法学部卒業後、日本アイ・ビー・エム株式会社に入社。IBMの営業職最高峰IBMゴールデンサークル、IBM Japanセールス・オフィサーを受賞した。35才のとき最年少（当時）で営業部長に就任。その後、日本IBM副社長補佐、IBM 本社(ニューヨーク）コーポレートストラテジーを経て、５社（三菱商事・日立製作所・東芝・三菱電気・日本IBM ）のジョイントベンチャー株式会社ピープル・ワールドを設立し、30代で代表取締役社長に就任。1997年に日本IBMに帰任し、マーケティング、製品事業、サービス事業、新規事業等の事業部長を歴任後、2001年に理事就任。その後、営業支援・地域社会・社会貢献、IBM東京基礎研究所・エマージング事業、IBMアジア太平洋地域の事業責任者を歴任。2011年にスマートライン株式会社を設立し、現任。
上場企業からベンチャー企業まで多くの企業のセールス＆マネジメントコンサルティングを行うと同時にベンチャー企業への投資事業を行っている。株式会社エクストーン取締役、株式会社コミュニケーション・プランニング取締役を兼務。

1	業績を上げる具体的な営業方法（１）
2	業績を上げる具体的な営業方法（２）
3	業績を上げる具体的な営業方法（３）
4	営業プロセスと営業実践シート

＜ビジネストピックス＞

新時代の物流・ロジスティクス入門

2014 年 12 月～現在

番組コンセプト

物流とは「物資を供給者から需要者へ，時間的及び空間的に移動する過程の活動」と定義され、一般的には，包装，輸送，保管，荷役，流通加工及びそれらに関連する情報の諸機能を総合的に管理する活動をいいます。物流は企業活動のベースを支えます。たとえどれだけマーケティングが成功したとしても、物が届かなければ売上を減じることになりますし、供給活動に多くのムダを発生させます。 つまり、経営効率を著しく低下させてしまうのです。
そこで本番組では日頃あまり意識されない物流の基礎について改めて解説して、現状における課題を整理します。

講師

★芝田稔子(株式会社湯浅コンサルティング コンサルタント) 早稲田大学人間科学部卒業後、株式会社日通総合研究所入社経営研究部、経営コンサルティング部で、官公庁関連の調査研究業務や物流ＡＢＣ導入支援、在庫管理技法の開発等に従事 04 年 4 月 日通総研退職後、株式会社湯浅コンサルティング入社、現職

★内田明美子(株式会社湯浅コンサルティング コンサルタント) 87 年 慶應義塾大学 経済学部卒業、日本債券信用銀行,産業調査部に配属され、流通、物流ほかの業界調査を担当 98 年 株式会社日通総合研究所に入社物流 ABC や在庫管理に関わる調査研究、導入コンサルティングなどに従事。04 年 4 月、株式会社日通総合研究所を退職。現在、株式会社湯浅コンサルティング コンサルタント。

1	物流の最新動向 講師 芝田稔子
2	物流・ロジスティクス・SCM 講師 内田明美子
3	ロジスティクスの技法～在庫管理 講師 芝田稔子
4	物流コスト管理の技法 講師 内田明美子

＜ビジネストピックス＞

人口減少時代における新しい街づくりへの挑戦

2014 年 12 月～現在

番組コンセプト

日本創世会議の消滅可能性市町村予測が話題を呼びましたが、豊島区など東京でも人口消滅の危機のある自治体があります。今後の自治体は若者を集めるだけでなく、彼らが子供を産みたくなる、産んだ後もそこに住み続けたくなるまちづくりが求められてきます。そこで昨年は人口減少時代の住宅市場を特集しましたが、今回は住宅に限らず空き家対策、少子化対策も含めた都市、街づくりの、行政、企業、市民レベルでのそれぞれの新しい挑戦を紹介していきます。

講師

★三浦 展(社会デザイン研究者) 1958 年生まれ。 82 年 一橋大学社会学部卒業。(株) パルコ入社。マーケティング情報誌『アクロス』編集室勤務。86 年 同誌編集長。 90 年、三菱総合研究所入社。
99 年 「カルチャースタディーズ研究所」設立。 消費社会、家族、若者、階層、都市などの研究を踏まえ、新しい時代を予測し、社会デザインを提案している。
著書に、80 万部のベストセラー『下流社会』のほか、『第四の消費 つながりを生み出す社会』『データでわかる 2030 年の日本』『日本人はこれから何を買うのか？』『東京は郊外から消えていく！』『「家族」と「幸福」の戦後史』『ファスト風土化する日本』『東京高級住宅地探訪』など多数。

1	街づくりと経営力 ゲスト：木下斉氏（一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス 代表理事）
2	リノベーションで街づくり ゲスト：嶋田洋平氏（株式会社らいおん建築事務所代表取締役）

＜ビジネストピックス＞

アベノミクスと金融市場-2014-

2014 年 12 月～2015 年 2 月

番組コンセプト

昨年、「アベノミクスと金融市場」として藤田氏にアベノミクスについて解説頂きました。それから一年以上たち、改めてアベノミクスの真価が問われています。
そこで本番組では２０１４年年末時点におけるアベノミクスの振り返りおよび、今後の金融市場のみならず、安倍政権、日本経済の展望について解説いただきます。

講師

★藤田 勉 （シティグループ証券株式会社取締役副会長．シティ資本市場研究所理事長）一橋大学大学院博士課程修了，経営法博士．慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所客員研究員．慶應義塾大学「グローバル金融市場論」講師．内閣官房経済部市場動向研究会委員，経済産業省企業価値研究会委員，環境省環境金融行動原則起草委員会委員，早稲田大学商学部講師

1	アベノミクス総論
2	日銀の異次元の金融緩和
3	成長戦略と日本企業の成長力
4	安倍政権の今後と日本経済の展望

＜ビジネストピックス＞

仮想通貨革命

2015 年 1 月

番組コンセプト

2013 年ごろよりビットコインといった「仮想通貨」に注目が集まっています。
国家といった発行主体を満たない事で､既存の通貨を超えるまたは脅かす可能性があると言われています。
経済の基本である通貨に大きな革命が起きると、ビジネスにも大きな影響が及ぼします。
そこで、本番組では野口悠紀雄氏を講師に迎えて、ビットコインの基礎およびその可能性について論じていきます。

講師

★野口 悠紀雄 （早稲田大学ファイナンス総合研究所顧問一橋大学名誉教授）1940 年東京生まれ。63 年東京大学工学部卒業、64 年大蔵省入省、72 年エール大学 Ph.D.（経済学博士号）を取得。一橋大学教授、東京大学教授、スタンフォード大学客員教授などを経て、2005 年 4 月より早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授。2011 年 4 月より 早稲田大学ファイナンス総合研究所顧問。一橋大学名誉教授。専攻はファイナンス理論、日本経済論。

1	仮想通貨革命 ビットコインのしくみと正体
2	仮想通貨革命 国家権力・金融制度を超えた仮想通貨が社会を変える

＜経済トピックス＞

経済社会ライブ

1998年10月～2001年9月

番組コンセプト

経済社会の注目すべきトピックスを取り上げ、独自の視点から鋭く解説していきます。新聞やニュースだけでは分からない政治・社会問題の裏側や、一般のテレビでは語られない大胆な発想と意見から、時代を読む目を養ってください。

講師

★嶌信彦（経済ジャーナリスト）

慶應義塾大学経済学部卒業。毎日新聞社東京本社経済部、ワシントン特派員として勤務後、独立。経済、政治、外交を主に取材し、執筆活動、テレビ、ラジオでコメンテーターを務める。著書に「メディア影の権力者たち」「日本の品性 Yen の理念」がある。

★日下公人（東京財団会長）

東京大学経済学部卒業。日本長期信用銀行に入行、取締役を経て、現職。多摩大学教授も務める。著書「新・文化産業論」、「人事破壊」など。

◆嶌信彦シリーズ（講師：嶌信彦）

1998年10月～2000年3月

1	サミットは世界を救う　～ケルンから沖縄へ～▲
2	流通産業革命をおこすネットワーク取引▲
3	日本で元気な外国人起業家▲
4	広報力とプレゼンカ▲
5	続・プレゼン力の重要性▲
6	女性が起業家となるために▲
7	日本の魅力を探せ、そして世界に発信せよ▲
8	2010年の暮らし方▲
9	2010 年の学び方▲
10	2010 年の学び方▲
11	2010の遊び＆癒し▲
12	2010年の豊さ指標＆21世紀大好機時代への総括▲

◆日下公人シリーズ（講師：日下公人）

1998年10月～2001年9月

1	「いじめられて成功する人々」ユダヤ人に学べ ゲスト：町田洋次氏（ソフト化経済センター理事・研究主幹）▲
2	宗教とは（１）▲
3	宗教とは（２）▲
4	「中央省庁改革関連法案の大綱案」（１月発表）を考える（１）▲
5	「中央省庁改革関連法案の大綱案」（１月発表）を考える（２）▲
6	大衆消費社会を考える▲
7	経済の外周問題について▲
8	地方分権と東京都▲
9	経済企画庁「経済社会のあるべき姿と経済新生の政策方針（案)」（７月６日発表）について▲
10	２つの中国問題▲
11	ロシア・知られざるその素顔 ゲスト：歌川令三氏（日本財団常務理事）▲
12	日下流・お金との付き合い方▲
13	アジア経済の発展と失速 ゲスト：原田泰氏（大蔵省財政金融研究所）▲
14	２１世紀の世界の潮流▲
15	国作りとは何か？▲
16	２０００年の日米関係 ゲスト：的場順三氏（大和総研理事長）▲
17	宗教問題とアジア ゲスト：莫邦富（も・ばんふう）氏（ジャーナリスト）▲
18	株式市場に見る日米経済の比較 ゲスト：的場順三氏（大和総研理事長）▲
19	「国際社会」とは何か ゲスト：中嶋嶺雄氏（東京外国語大学学長／社会学博士）▲
20	熟年（ゴールド）マーケット ゲスト：町田洋次氏（ソフト化経済センター理事長代行理事）▲
21	ＩＴ革命よりＩＭ創造 ゲスト：野崎祐司氏（東京財団情報交流部長）▲
22	座して待つのか、日本人 ゲスト：的場順三氏（大和総研理事長）▲
23	２１世紀、中国はどう動くか？ ゲスト：三宅久之氏（政治評論家）▲
24	世界標準？　日本のポップカルチャー ゲスト：野崎裕司氏（東京財団情報交流部部長）▲
25	２１世紀、政界はどうなる？ ゲスト：早坂茂三氏（政治評論家）▲
26	ＩＴ革命の第二幕▲
27	２１世紀の危機管理 ゲスト：佐々淳行氏（元内閣安全保障室長）▲
28	新春経済見通し ゲスト：的場順三氏（大和総研理事長）▲
29	ＡＩＢＯ開発秘話 ゲスト：大槻正氏（ソニー株式会社エンタテイメントロボットカンパニーデピュティプレジデント）▲
30	ポケモン・サイドストーリー ゲスト：久保雅一氏（小学館キャラクター事業センターセンター長）▲
31	社会企業家　～よい社会を作る人たち～ ゲスト：町田洋次氏（社団法人ソフト化経済センター理事長代行）▲
32	真の行革とは何か？ ゲスト：加藤秀樹氏（「構想日本」代表）▲
33	なぜインドにＩＴ革命が起こったか ゲスト： ・森尻純夫氏（インド・カルナータカ州立マンガロール大学客員教授） ・星野晶子氏（東京財団情報交流部）▲
34	ガダルカナルから何を学ぶか ゲスト：三野正洋氏（日本大学生産工学部専任講師）▲
35	日本経済デフレのゆくえ▲

シリコンバレーレポート

1999年10月～2000年11月

番組コンセプト

コンサルティング会社マッケンナ・グループの協力を得て西海外シリコンバレーから最新のハイテク技術・トレンド情報をお届けするとともに、今アメリカのＩＴ産業で最も注目される企業・人を取り上げていきます。

講師

★校條浩（マッケンナグループパートナー）

コニカ（株）にて新製品開発・新規事業開発に従事した後、MIT マイクロシステムズ技術研究所客員研究員、ボストン・コンサルティング・グループ東京支社を経て、1991年に再渡米。シリコンバレーの有力ベンチャーキャピタルと連携し日米企業間の戦略提携を進める。1994年、マッケンナ・グループ（旧社名レジス・マッケンナ・インク）に日本担当プリンシパルとして入社。1996年同社パートナーに就任。現在に至る。研究開発、経営戦略立案、国際事業提携、ベンチャービジネス援助等の幅広い分野を統合し、同社日本企業グループ代表としてハイテク分野の事業開発・マーケティグ及びＩＴベースのリアルタイム経営に特化したコンサルティングに注力している。

1	シリコンバレーの魅力 アップル元副社長ビル・キャンベル氏/ヤフー・チーフ　ジェリー・ヤング氏ほか●
2	ベンチャーキャピタル セコイヤキャピタル　マイク・モリッツ氏　/ マッケンナグループ会長　レジス・マッケンナ氏●
3	スタンフォード大学とその役割 ヤフー・チーフ　ジェリーヤング氏　/ 日米技術経営センター　リチャード・ラッシャー博士●
4	リアルタイム・マーケティング（１）　　ライトポイント社長　ゲイル・クロウェル氏●
5	リアルタイム・マーケティング（２）　　ベビーセンター・ドットコム　グレッグ・ゴフ氏　ほか●
6	アプリケーション・サービス・プロバイダー　　コリオＣＥＯ　ジョージ・カディファ氏　/ グローバルセンター　レオ・ヒンデリー氏　ほか●
7	インキュベーター　～ベンチャー支援の新潮流～ＩＢＩアシスタント・ディレクター　イングリッド・ロステン氏　ほか●
8	シリコンバレーで活躍する日本人の起業家　　バーゲン・アメリカ社長　　トム・佐藤氏　ほか●
9	クリック＆モルタル　ウェブバン /ガズーンタイト・ドットコム/セイイット・ドットコム（C2C ビジネスモデル）●
10	シリコンバレーのインド人起業家　シーラス・ロジック（Founder & CEO Emeritus）　スハス・パティル氏 レッドウッド・ベンチャーパートナーズ（Founder & Managerial Partner）　ラジ・シンハ氏●
11	ワイヤレスのセキュリティ　サン・マイクロシステムズ　名誉エンジニア　ウィット・ディッフィー氏ソネラ・スマートトラスト　副社長　タパニ・カートゥネン氏スタンフォード大学　マーチン・ヘルマン名誉教授 X..com CEO　エロン・マスク氏●
12	シリコンバレーにおける女性の台頭 ヒューレット・パッカード　ビジネス・カスタマ・オーガニゼーション CEO アン・リバーモア氏アンプリファイ・ドット・ネット　ＣＥＯ　ポーリン・アルカー氏●
13	データの同期化プーマ･テック　CEO 創始者　ブラッド・ロウ氏インタビューフュージョン　ワン　CEO　リック・オニオン氏インタビューフュージョン　ワン　CEO　ビル・ダノウ氏インタビュー●
14	エンド・トゥ・エンドソリューション、ブロードバンド　アンプリファイ・ドット・ネット　CEO　ポーリン・アルカー●

イーストコーストレポート

1999年1月～2000年11月

番組コンセプト

ボストンに本部を置くコンサルティング・ファーム「モニターカンパニー」と提携してお届けする、アメリカ東海岸ハイテク産業の最新動向及びニュービジネスを次々に紹介します。ノーベル賞候補の経済学者ポール･クルーグマンも登場します。

1	日本の経済システムの欠陥　ポール・クルーグマン氏(経済学者)●
2	優れたサービスマネジメントとは：サウスウエスト航空
3	ボストンを拠点とするハイテク企業紹介●
4	未来のオフィス環境について考える●
5	ドットコム革命（１）会社設立から売却まで●
6	ドットコム革命（２）インターネットのパーソナル化●
7	オンライン就職　モンスター・ドットコム/ホットジョブ・ドットコム●
8	ボルテックス・カンファレンスシリーズ（１）ブロードコム CEO　ヘンリー・ニコラス氏●
9	ボルテックス・カンファレンスシリーズ（２）フェデラル・コミュニケーションズ元会長　リード・ハント氏●
10	ボルテックス・カンファレンスシリーズ（３）AOL　CTO　マイク・アンドリューセン氏●
11	ボルテックス・カンファレンスシリーズ（４）ノーテル・ネットワークス元社長　デーブ・ハウス氏●
12	ボルテックス・カンファレンスシリーズ（５）AT＆T ブロードハント社長　レオ・ヒンデレー氏●
13	ボルテックス・カンファレンスシリーズ（６）テルコーディア研究所副所長　ボブ・ラッキー氏●
14	ボルテックス・カンファレンスシリーズ（７）シスコ・システムズ　ＣＥＯ　ピーター・ソルビック氏●
15	ボルテックス・カンファレンスシリーズ（８）ロータス創業者　ミッチ・カーポル氏●
16	ボルテックス・カンファレンスシリーズ（９）エンキド創業者　ナエル・シャフェイ氏●
17	ボルテックス・カンファレンスシリーズ（10）78年ノーベル賞物理学受賞者　アルノ・ペンジアス氏●
18	ボルテックス・カンファレンスシリーズ(11) イノベーションは組織、文化、環境を変革することで起こる●
19	ボルテックス・カンファレンスシリーズ(12)テクノロジー・マーケットプレイスに移行するにつれて重要になるマーケティング●
20	アメリカ版「i-mode」と未来（1）●
21	アメリカ版「i-mode」と未来（2）●
22	インターネット界のパラダイムシフト●
23	Sky Dayton 氏（eCompanies 共同創設者、EarthLink 創設者）●
24	広帯域通信網を作り上げる●
25	Jean-Louis Gassee(Chairman & CEO, Be, Inc)/ Eric Schmidt (Chairman & CEO, Novell, Inc) ●

＜海外レポート＞

マネーハント

1998 年 11 月～2001 年 11 月

番組コンセプト

アメリカの若き起業家が自分のビジネス・プランやアイデアをプレゼンテーションする番組です。現役のコンサルタントや事業家が客観的なアドバイスを送り、また視聴者は出演者に直接コンタクトすることもできます。

1	ボストン地ビール／自然・健康食品▲
2	インターネットで高校生スポーツ選手の情報提供／インターネットのコンサルティング▲
3	家庭用汎用アダプター／非常用モジュラー▲
4	インタラクティブなウェブサイト／自分専用のウェブＴＶ番組表▲
5	モバイル形式のカード決済システム＆データ処理サービス／太陽エネルギー利用のモバイルＰＣ用電源装置▲
6	ヘルシースナック／ＤＩＹ式のパーソナルブルワリ▲
7	インターネット広告／カスタマイズ・ソフトウェア▲
8	無痛歯科治療システム／顎関節炎のエクササイズ器具▲
9	インターネットによるカスタムサービス▲
10	ドライクリーニング／ツインヘッドのシャワー▲
11	ソフトウェア／セキュリティー・システム▲
12	オンラインゲーム／マルチメディア教材▲
13	レジ袋用プラスチックハンドル／中小企業のための共同購入代理店▲
14	「暗い中でも見える」ウェア／バッテリー▲
15	テニス用ラインコールシステム／ヘアケア＆スキンケア商品▲
16	マルチメディアソフトウェア／エネルギー購入のコーディネートサービス▲
17	ニッチマーケット専門の企業情報サービス／高校スポーツ選手の情報サービス▲
18	マネーハントスペシャル（１）▲
19	マネーハントスペシャル（２）▲
20	オンラインモール▲
21	テクノロジー▲
22	インターネットカジノ／バーチャルテーマパーク▲
23	インターネット研修／オンラインドラッグストア▲
24	高性能マウンテンバイク／ＷＥＢパーソナルアルバム▲
25	Ｅコマースのオーダーメイドパッケージ／携帯電話アクセサリー▲
26	ソフトウェア／サーチエンジン▲
27	インターネット用ソフトウェア／ニュースレター配信サイト▲
28	オンライン･ファイナンス▲
29	ヘルスサービス▲
30	スポーツ▲
31	インターネットツール▲
32	インターネット関連企業▲
33	インターネット関連企業▲
34	スモールビジネスを巡る問題点▲
35	食品と飲料▲
36	スポーツグッズとスポーツウェア▲
37	テクノロジー商品▲
38	コミュニケーション・インターネットツール▲
39	ネットオーダー・サービス▲
40	ハイテク機器▲
41	デザイン関連企業
42	子供用グッズ▲
43	メディア＆エンターテインメント▲
44	高級志向がターゲット▲
45	エンターテインメント▲
46	リベンジマッチ▲
47	ファイナンシャル・サービス▲
48	ソフトウェア▲
49	美容とファッション業界▲
50	ヘルスケア▲
51	スモール・ビジネスでの挑戦　～ファースト・シャトル～▲
52	スモール・ビジネスでの挑戦　～フード・エッジ・ドットコム～▲
53	ドットコム企業▲
54	オンライン・ビデオ▲
55	ドットコム企業の女性経営者▲
56	ドットコム▲
57	エンターテインメント▲
58	医療▲
59	インキュベーションレベルのベンチャー▲
60	マネーハント・グッド・アイディア・コンテスト▲

＜海外レポート＞

シリコンバレーの真実

2000 年 12 月～2001 年 2 月

番組コンセプト
最新のビジネスモデルやシリコンバレーのキープレーヤーから本音を引き出し、「シリコンバレー・システム」を徹底分析します。また「シリコンバレー・システム」を日本人の立場からどう活かせるのかを探ります。
講師
★手嶋雅夫（ティー・アンド・ティー株式会社代表取締役社長／アイベックスコーポレーション株式会社代表取締役会長）

1	シリコンバレーはどんな仕組みになっているのだろうか？ コメンテーター： ・手嶋雅夫氏（マクロメディア株式会社代表取締役社長） ・スティーブン・ウォーカー氏（バリュークリックジャパン株式会社経営企画室シニアマネージャー）▲
2	ベンチャービジネスは成功するのだろうか？ コメンテーター： ・手嶋雅夫氏（マクロメディア株式会社代表取締役社長） ・スティーブン・ウォーカー氏（バリュークリックジャパン株式会社経営企画室シニアマネージャー）▲
3	シリコンバレーはどうして人を魅了するのだろうか？ コメンテーター： ・手嶋雅夫氏（マクロメディア株式会社代表取締役社長） ・小口日出彦氏（日経ＢＰ社日経Ｅ―ＢＩＺ編集長）▲
4	シリコンバレーの現状はどうなっているのだろうか？ コメンテーター： ・手嶋雅夫氏（マクロメディア株式会社代表取締役社長） ・スティーブン・ウォーカー氏（バリュークリックジャパン株式会社経営企画室シニアマネージャー）▲
5	シリコンバレーを支える人々 コメンテーター： ・手嶋雅夫氏（マクロメディア株式会社取締役特別顧問） ・スティーブン・ウォーカー氏（バリュークリックジャパン株式会社新規事業開発部シニアマネージャー）▲
6	手嶋雅夫の起業と新たなビジネス コメンテーター：手嶋雅夫氏（ティー・アンド・ティー株式会社代表取締役社長／アイベックスコーポレーション株式会社代表取締役会長）▲

＜ビジネス講座＞

マネジメント講座 M＆A（ver.２）

講座コンセプト

日本の経営者にとって、経営のための選択肢の一つとして確実に定着しつつあるM＆A。企業を成長させるために、どうしたら最強の選択ができるのか？株主価値を向上させる成長戦略のためのM＆Aについて解説します。M＆Aが注目される背景、戦略上のM＆Aの意義に始まり、ターゲットの選定、企業価値評価などの実行プロセス、また最近の法改正による新しい動きについても解説します。

講師

★服部暢達（服部暢達事務所　代表取締役・一橋大学大学院国際企業戦略研究科客員助教授）

元ゴールドマン・サックス証券会社マネージング・ディレクター

1981 年 3 月、東京大学工学部金属工学科卒業。日産自動車を経て、1989 年 6 月、マサチューセッツ工科大学（ＭＩＴ）スローン・スクール経営学修士課程卒業。ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー入社。1998 年 2 月、同社のマネージング・ディレクターに就任、日本におけるM＆Aアドバイザリー業務を統括。

1	世界と日本のＭ＆Ａ市場動向／主なＭ＆Ａ手法の比較
2	企業価値評価の基本コンセプト／株式公開買付制度の概要と問題点
3	株式交換制度の概要と問題点
4	会社分割制度の概要と問題点
5	Ｍ＆Ａ意志決定メカニズム
6	敵対買収とその防衛策
7	日本のＭ＆Ａ雑感

＜ビジネス講座＞

マネジメント講座 資金調達

講座コンセプト

資金調達には大きく分けて、借入によるもの（デットファイナンス）と株式発行によるもの（エクイティファイナンス）があります。その中にも様々な方法があり、其々に異なった特徴があるので、資金のニーズに合わせて適したものを選ぶ必要があります。この講座では、其々の特徴、メリット・デメリットに加え、最新の動向についても解説します。また、近年新たな資金調達法として注目を集めているアセットファイナンスについても解説します。

講師

★小高功嗣　（ゴールドマン・サックス証券会社マネージング・ディレクター）

１９８３年慶應義塾大学法学部卒業。佐藤・津田法律事務所にて弁護士として勤務し、１９９０年シカゴ大学ロースクール修士課程修了後、ゴールドマン・サックス証券会社入社。１９９８年同社のマネージング・ディレクターに就任、現在同社投資銀行部門のアドバイザリー・グループを共同統括。

★諸江幸祐　（ゴールドマン・サックス証券会社マネージング・ディレクター）

慶応義塾大学経済学部卒業。南カリフォルニア大学経営大学院修了(MBA)。小売業界に 5 年間勤務した後、野村證券を経て 88 年同社入社。1998 年にマネージング･ディレクター就任。1999 年～2005 年東京支店投資調査部長。

★中島努　（マネックス証券株式会社　CEO 室長）

元ゴールドマン・サックス証券会社金融商品本部部長。１９８０年東京大学経済学部卒業後、日本長期信用銀行に入行、ボストン大学経営大学院留学後、８８年長銀金融商品開発部、頭取秘書役、長銀証券商品開発室長を歴任。９８年にゴールドマン・サックス証券に入社、ストラクチャードファイナンス部長から、現職へ。１０数年間に亘り金融商品開発業務に従事、特に、証券化・流動化業務に注力。

◆デットファイナンス編（講師：小高功嗣）

1	コーポレートファイナンスにおけるデットファイナンスの位置づけ
2	社債のプライシングと格付

◆エクイティファイナンス編（講師：諸江幸祐）

1	企業価値と株価
2	ＲＯＥと資本構成

◆アセットファイナンス編（講師：中島努）

1	アセットファイナンスの基本
2	アセットファイナンスの実践

＜ビジネス講座＞

マネジメント講座 シックスシグマ

講座コンセプト

品質改善手法として知られるシックスシグマ。ＧＥやモトローラなど多くの先進企業では、製品の品質管理のみならず、ビジネスプロセスのあらゆる場面で活用されています。
この講座では、シックスシグマの考え方や実施プロセスについて、全６回のシリーズで解説します。まず、シックスシグマ概論として、そのコンセプトと意義、ＴＱＭとの違い等について解説します。次に、シックスシグマ導入のための組織の受け入れ態勢やプロジェクトチーム･メンバーへのトレーニング方法について解説します。さらに、実施段階では、ロードマップの設計方法について具体的な手順に沿って、考え方や関連するツールの使い方等、具体的なケースを用いて分かりやすく解説していきます。
また、実施の際のプロセス改善のポイントや再設計、改善効果を持続させるための継続的測定と実施の管理方法についても解説します。

講師

★眞木和俊（株式会社ジェネックスパートナーズ　代表パートナー）

慶応義塾大学院理工学修士課程修了、ＩＲＣＡ主任審査員、ＣＥＡＲ審査員補
ＧＥ横河メディカルシステム（株）にて全社業務改革運動「シックスシグマ」の立ち上げに従事。その後、経営コンサルタントに転じ、日本企業再生を目指して GE 流戦略実行マネジメントをベースにした企業変革活動の支援を推進。また同時に中小企業に対する ISO9000 認証取得支援も数多く手がけ、主任審査員の資格を有する。2002 年 11 月株式会社ジェネックスパートナーズを設立、現職に至る

1	シックスシグマ概論
2	導入準備（１）　メンバー選定と活動管理体制の構築
3	導入準備（２）　活動ロードマップの設計とトレーニング
4	実践プロセス（１）　チャンピオンによる課題設定
5	実践プロセス（２）　ブラックベルトによる課題解決
6	シックスシグマ実践への提言

<ビジネス講座>

マネジメント講座 技術戦略

講座コンセプト

もともと MOT(Management of Technology)は 80 年代に米国で始まった研究開発、技術開発において必要な専門的経営能力向上を目指す教育プログラムをさします。現在アメリカの大学・大学院では、既に 200 を数える MOT コースが設置され、年間約１万人の卒業生を輩出しています。日本でも、最近 MOT への期待が高まっており、正に注目の講座と言えるでしょう。

この講座では「ＭＯＴアドバンスト技術戦略」をベースに日本企業の技術戦略の要諦を解説致します。中長期技術戦略の構築、技術戦略のための事業環境分析、未来製品コンセプト創造法などを全７回に分けて放送致します。

講師

★山本尚利（早稲田大学ビジネススクール経営専門職大学院教授（MOT 担当））

1970 年東京大学工学部船舶工学科卒業。石川島播磨重工業(株)において造船設計、新造船開発、プラント設計,新技術開発などを担当。1986 年 SRI インターナショナル(スタンフォード研究所)東アジア本部に入り、コンサルタントとして企業戦略、事業戦略、技術戦略などのコンサルティングを行う。2000 年独立し、(有)ISP 企画代表取締役となる。2003 年 4 月 1 日より、早稲田大学ビジネススクール MOT(技術経営)専修専任客員教授を兼務

1	ＭＯＴと技術戦略
2	技術戦略のための事業環境分析
3	未来製品コンセプト創造法
4	技術戦略シナリオの策定法
5	技術戦略のための技術評価法
6	技術戦略のための技術ナレッジマネジメント
7	技術戦略による新事業創造法

<ビジネス講座>

マネジメント講座 チームマネジメント

講座コンセプト

各部署の精鋭を集めたプロジェクト・チームが上手く機能しないなど、プロジェクト・チームの成否を分ける要因について考察し、「生産性の高いチーム作りとその運営方法」について検討します。

また、本講座では、１９８３年に講師自らが海兵隊「最適組織構成プロジェクト」に参加し提唱したＦＦＳ（Five Factors & Stress）　理論（最適組織編成のための個性分析と組織編成法）やチーム・ビルディング（組織編成）の手順について分かり易く解説し、組織心理学に基づいた科学的なチーム編成の考え方を学びます。

講師

★小林惠智（株式会社インタービジョン代表取締役会長・組織経営心理学者）国際基督教大学を経てウィーン大学基礎総合学部哲学専修科修了。フロリダ州立大学博士課程で教育心理学・経営心理学を研究。1983 年に米軍・国防総省　国際戦略研究所　組織戦略・組織編制専門研究員。海兵隊「最適組織編成プロジェクト」に参加し、FFS 理論（最適組織編成のための個性分析と組織編成法）を提唱。1997 年に「株式会社インタービジョン」代表取締役会長、「インタービジョン　コンソーシアム」会長、NPO「組織人事監査協会」会長、NPO「ヒューマンサイエンス研究所」会長、TLO「技術移転機構」代表、など多数。

1	自分を知る
2	仲間を知る

＜ビジネス講座＞

マネジメント講座
経営コンサルティング講座

講座コンセプト

入門編と実践編に分けてお送りします。入門編はBBT講師としてもおなじみの内田和成氏がお届けする経営コンサルティング講座です。内田氏は、これまで２０年にわたり様々な企業の戦略コンサルティングに従事され、その中で培ったノウハウやコンサルティングマインドを講座形式で解説します。実践編ではボストン・コンサルティング・グループのコンサルタント８人が各回ご自分の専門分野についての事例をまじえて実践的な解説をします。コンサルタントを目指す方やコンサルティング能力を身に付けたい方、必見の講座です。

講師

★内田和成（株式会社ボストン・コンサルティング・グループ　シニア・アドバイザー）

⇒プロフィールは「パラダイムシフト・マネジメント」（18ページ）参照

★斎藤英明・太田直樹・秦充洋・酒井香紀・佐藤崇史・岩上順一・古宮聡・北沢真紀夫

（株式会社ボストン・コンサルティング・グループ）

◆入門編（講師：内田和成）

1	経営コンサルティングとは何か
2	経営コンサルタントの一日 ゲスト：高谷月子氏（株式会社ボストン コンサルティング グループ　コンサルタント） 松山達氏（株式会社ボストン コンサルティング グループ　コンサルタント）
3	経営コンサルタントの基本スキル（１）
4	経営コンサルタントの基本スキル（２）
5	経営コンサルタントの基本スキル（３）
6	経営コンサルタントの基本スキル（４）
7	顧客から見た上手なコンサルタントの使い方 ゲスト：関口康氏（ヤンセン ファーマ株式会社代表取締役社長）
8	大前研一さんに聞く ゲスト：大前研一氏

◆実践編（講師：斎藤英明・太田直樹・秦充洋　他）

1	経営コンサルティングのスキル習得（１）～基本技法：仮説構築・定量分析・インタビュー～ 講師：斎藤英明
2	経営コンサルティングの実践（1）～「イノベーションのジレンマ」～ 講師：太田直樹
3	経営コンサルティングの実践（2）～大企業における新規事業立ち上げ～ 講師：秦充洋
4	経営コンサルティングの実践（3）～BCGコンセプト～ 講師：酒井香紀
5	経営コンサルティングの実践（4）～チャネルマネジメントの革新による利益向上～ 講師：佐藤崇史
6	経営コンサルティングの実践（5）～M&Aの活用のポイント～ 講師：岩上順一
7	経営コンサルティングのスキル習得（2）～顧客に「伝える」プレゼンテーション～ 講師：古宮聡
8	経営コンサルティングの実践（6）～属人芸の営業に科学のメスをいれる～ 講師：北沢真紀夫

◆応用編（講師：内田和成）

1	顧客の期待に応える　～顧客インタビューと期待値マネジメント
2	企業を変革する ～チェンジマネジメント～
3	プロジェクトマネジメント（１）　～コンサルタントチーム編～ ゲスト：森 健太郎氏（株式会社ボストン コンサルティング グループ ヴァイス・プレジデント）
4	プロジェクトマネジメント（２）　～顧客プロジェクトチーム編～ ゲスト：内田 有希昌氏（株式会社 ボストン コンサルティング　グループ ヴァイスプレジデント）
5	コンサルタントの育て方
6	顧客との信頼関係構築 ～リレーションシップマネジメント～
7	ネットワーキング ～仕事に役立つ人脈形成～
8	まとめ ゲスト：大前研一

＜ビジネス講座＞

マネジメント講座
新・会社法

講座コンセプト

各大企業にとっては５０年ぶり、中小企業にとっては１００年ぶりの大改定となる「会社法」。制度の簡素化や内部統制システムの義務化、組織再編行為に係る規制の見直し等、企業経営に与える影響は大きなものです。
企業経営にたずさわる経営者や役員の方だけでなく、第一線で業務を遂行するマネジャーの方、ベンチャーを立ち上げようと考えている方にとっても、新会社法の内容を理解し戦略的に活用することは大変重要です。本講座では、法令の解釈にとどまらず、企業経営に与えるインパクトの観点から、企業がいかに経営に活かして行けば良いのかを実務面から解説していきます。

講師

★櫻庭周平（浦野・櫻庭公認会計事務所 公認会計士）
大手監査法人にて、監査・M&A 支援・外債発行支援・株式公開支援などの業務に従事。その後、公開準備企業の上場プロジェクト責任者。上場後は役員として経理部長・情報システム部長・社長室長や業革責任者などの経営実務に携わる。現在、経営管理・組織・資金や株式公開などを実務的に支援するコンサルティング業務を展開中。裁判所の司法委員・民事調停委員。

1	新・会社法の概要とポイント
2	コーポレート・ガバナンス
3	内部統制
4	資金調達と決算

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
価値提供の営業

講座コンセプト

従来、ＫＫＫ（経験・勘・根性）の世界であった営業の世界に科学的な手法を取り入れた「ソリューション営業」という言葉が近年流行しています。しかし、その本質的な意味を理解し、真に顧客に価値を提供している人は少ないのではないでしょうか？　営業はお客様のことをきちんと理解することから全てが始まるのです。この講座では、価値を提供できる営業となるために必要なスキル、考え方について学んでいきます。

講師

★斎藤顕一（株式会社フォアサイト・アンド・カンパニー代表取締役）
国際基督教大学教養学部卒。1975 年マッキンゼー・アンド・カンパニー入社。同パートナー、大阪支社副支社長を経て、1996 年株式会社フォアサイト・アンド・カンパニー創立、代表取締役に就任し、現在に至る。

1	なぜ、今、価値提供の営業が必要なのかを知る
2	価値提供の営業スキルを身につける（１）
3	価値提供の営業スキルを身につける（２）
4	価値提供の営業スキルを身につける（３）
5	本気で自己改造に取り掛かる（１）
6	本気で自己改造に取り掛かる（２）

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座 経営戦略

講座コンセプト

企業の経営で中心的な役割を担うマネジャーに必要なのは、創造的なアイディアや分析・検証力、そして「戦略的思考」による経営力です。この講座では、学術的理論と実務での応用、古典的理論と最新の研究成果を融合し、戦略的経営を論じます。この講座を受講すれば、戦略の基本的な考え方や背景となる理論を理解し、戦略的思考への第一歩を踏み出すことができます。

講師

★石倉洋子（一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授）

⇒プロフィールは「イノベーションライブ」（35 ページ）参照

1	事業戦略とは／事業戦略立案・実施のプロセス
2	内的コンテクスト：組織構造
3	外的コンテクスト：業界分析
4	集中市場における競争／新規参入と既存企業の優位性
5	バリューチェーンと変化への対応／需要サイドの収穫逓増
6	グローバリゼーションと全社戦略

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座 経営組織

講座コンセプト

この講座では、経営目標の達成に向けて、効率的な組織運営をしていくための組織行動のマネジメントについての基礎を詳細に全７回で学習していきます。組織マネジメントの定義から始まり、個人、グループ、組織システムに至る組織マネジメントの諸要素を体系的に学習できる講座です。まず、個人と組織、集団の機能と組織について解説します。次に、リーダーシップ、パワーとコンフリクトについて解説します。最後に、組織構造と文化、組織変革について解説します。

講師

★金井一頼（大阪大学大学院経済学研究科教授）

神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了。研究分野は経営組織、経営戦略、企業家活動、ベンチャー創造とクラスター。（社）植物情報物質研究センター副理事長、２１世紀ＣＯＥプログラム審査評価部会専門委員（１５年度）、文科省科学技術政策研究所地域イノベーション検討委員会委員などを兼任。北海道大学大学院経済学研究科教授を経て現在に至る。

1	組織マネジメントとは
2	個人と組織のかかわり合い
3	集団の機能と組織
4	組織におけるリーダーシップ
5	パワーとコンフリクト
6	組織の構造と文化
7	組織変革

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
人材マネジメント論

講座コンセプト

優れた組織には、どのような顧客に対して、どのような価値を創造し提供するのか、その結果としてどのように収益につなげていくのかという事業ビジョンが必要です。そして、そのような事業ビジョンを具体化するためには、どのような人材を集め、育成し、どのように行動へつなげていくのかという人材マネジメントが不可欠です。この人材マネジメントは、人事の専門家だけへ向けたものではなく、マネジメントに携わる人全般に対して、経営の視点からの人材マネジメントの基本を提供します。
最新企業の豊富な事例を交えながら、具体的でわかりやすく学習できる講座です。

講師

★高橋俊介（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）

⇒プロフィールは「組織人事ライブ」（26 ページ）参照

1	事業ビジョンと人材マネジメント
2	組織の自律性と組織運営の仕組み
3	人の能力と人材フローマネジメント
4	人事制度の歴史と報酬管理の流れ
5	仕事コミットメントと組織コミットメント
6	雇用とキャリアのマネジメント

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
戦略財務会計

講座コンセプト

ビジネスにおいて財務会計は非常に重要なものです。特に経営者やマネジャーにとって、財務会計に関する知識とセンスは、必要不可欠なものであると言われています。しかし、そもそも財務会計とはどのようなものなのでしょうか。経営に必要であることを分かっていながら、苦手にしている方が多いのはなぜなのでしょうか。この講座では、「アカウンティングとは何か」について、歴史的な展開から始まり、財務会計の概要、財務データの読み方、財務分析の方法、企業評価の方法、国際会計基準の内容と米国会計基準との違い、そして企業価値上昇への方策まで、ビジネスに必要な財務会計の基礎を全８回のシリーズで習得できるように構成されています。経営者やマネジャーの方にも、また経営者を目指す方にとっても、分りやすく、実践的に学習できる講座となっています。

講師

★西山茂（早稲田大学ビジネススクール経営専門大学院助教授）

株式会社西山アソシエイツ代表。公認会計士。早稲田大学政治経済学部卒業。米国ペンシルバニア大学経営大学院（ウォートンスクール）修士課程（MBA）修了。監査法人トーマツにて、大手日本企業、外資系企業の監査、株式公開コンサルティング、M&A などの業務を担当し、19951 年独立。
早稲田大学アントレプレヌール研究会世話人。早稲田大学アジア太平洋研究センター非常勤講師兼務

1	アカウンティングとは何か
2	財務データを読む（１）
3	財務データを読む（２）
4	会計方針から分析する
5	財務比率で分析する
6	財務分析と企業評価／連結とは何か
7	国際会計基準と米国会計基準
8	企業価値上昇への方策

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
戦略立案のための分析の技術

講座コンセプト

本講座では、戦略立案や問題解決の中での分析の意義とその全体像について解説し、「分析は､技術である」という視点から具体的な手法や考え方、ポイントや注意点などを解説していきます。戦略的に物事を考えるための技術・論理は、すべてのビジネス・コミュニケーションの基本です。ビジネスに不可欠なロジカル・シンキングやロジカル・ライティングの基本を学ぶと共に、これをベースとした問題解決に至る仮説の構築手法を伝授します。皆様の直面する問題点や課題を意識しながら学習し、講義のご受講後は習得した技術を活かして実際に考えてみると効果的です。

講師

★後正武（株式会社東京マネジメントコンサルタンツ代表）

⇒プロフィールは「経営戦略ライブ」（10 ページ）参照

1	戦略立案／問題解決の一般プロセスを理解する
2	課題解決への取り組み（イッシュー・ツリー）を考える
3	「分析」の意義と手法を理解する
4	分析の基本（１）:「大きさを考える」
5	分析の基本（２）:「分ける」
6	分析の基本（３）:「比較する」
7	分析の基本（４）:「時系列／変化を考える」
8	分析の応用（１）:「過程・プロセスを考える」
9	分析の応用（２）:「バラツキを考える」／（３）:「ツリーで考える」
10	不確定なもの・あやふやなものを考える
11	人の行動・ソフトの要素を考える
12	まとめ「分析と実務」

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
マーケティング・マネジメント

講座コンセプト

米国のトップ・ビジネススクールを中心に、マーケティングの上級テキストとして、世界で最も広く読まれている、フィリップ・コトラーの「マーケティング・マネジメント＜ミレニアム版＞」。番組では、このテキストの日本語版監修を務めた恩蔵直人氏が、１２回にわたってその内容を詳しく、分かりやすくレクチャーしていきます。改訂を重ね、既に第１０版となる同書は、ミレニアムを意識した内容となっており、例えば、電子商取引を２１世紀のマーケティングとして位置付けたり、また、リレーションシップ・マーケティング、ブランド・マネジメント、サービス戦略、顧客価値などについて詳しく述べるなど、今日的な課題への対応も図られている、まさに２１世紀のマーケティングを語る上で欠かせない名著です。

講師

★恩蔵直人（早稲田大学商学部教授／博士（商学））

1959 年神奈川県生まれ。1982 年早稲田大学商学部卒業後、同大学院商学研究科、1989 年早稲田大学商学部専任講師を経て、1996 年より現職。専門は消費財企業のマーケティング戦略で、関連の論文が多数ある。著書に『競争優位のブランド戦略』（日本経済新聞社）、『コトラーのマーケティング・マネジメント』（監修、ピアソンエデュケーション）、『戦略的ブランド・マネジメント』（共訳、東急エージェンシー）、『プロフィット・ゾーン経営戦略』（ダイヤモンド社）などがある。

1	２１世紀のマーケティング
2	顧客満足、顧客価値、および顧客維持の確立
3	市場指向型戦略計画
4	競争への対処
5	市場セグメントの明確化と標的市場の選択
6	製品ライフサイクルと製品ポジショニング
7	製品ラインとブランドのマネジメント
8	価格設定戦略と価格プログラム
9	マーケティング・チャネルのマネジメント
10	統合型マーケティング・コミュニケーション
11	広告、販売促進、パブリック・リレーションズ
12	ダイレクト・マーケティングとオンライン・マーケティング

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
コーポレートファイナンス基礎理論

講座コンセプト

ファイナンスが対象とするのは企業の経営活動全般であり、経営管理者にとって経営戦略の策定や事業活動を遂行する上で、ファイナンスの基礎知識は不可欠なものとなっています。この講座は、欧米のＭＢＡコースと同等レベルで、標準的なコーポレート･ファイナンスの理論を一通りカバーし、単なる基礎理論の説明だけでなく、これまでの日本企業の財務行動の問題点と今後の課題について、標準的な理論のフレームワークに基づき解説をしていきます。

講師

★鈴木一功（中央大学専門大学院国際会計研究科（アカウンティングスクール）教授）

1961 年熊本市生まれ。東京大学法学部卒業、富士銀行入社。INSEAD（欧州経営大学院）MBA、ロンドン大学金融経済学博士（Ph.D. in Finance）。富士銀行の M&A 部門（現みずほ証券）にて、企業価値評価モデル開発等を担当後、退職。2001 年 4 月より現職（企業金融・企業価値評価論担当）。主な共著書に『MBA ゲーム理論』『MBA マネジメント・ブック（初版及び新版)』、監修書に『MBA 全集 4 ファイナンス』(いずれもダイヤモンド社)。

1	ファイナンス（企業財務）の役割
2	現在価値と資本コスト
3	現在価値の計算
4	複利計算と債券価格／普通株式の理論価格（１）
5	普通株式の理論価格（２）
6	正味現在価値以外の投資決定基準
7	リスクとリターン／ポートフォリオ理論の基礎
8	ポートフォリオ理論／資本資産価格モデル（ＣＡＰＭ）
9	企業の資金調達と市場の効率性
10	負債政策とＭＭ理論
11	現実の負債政策
12	税を考慮した加重平均資本コスト（ＷＡＣＣ）と価値評価
13	オプションの基礎知識

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
実践！　コーチング入門

講座コンセプト

コーチングという新しい概念が流行しています。それはスポーツにおける指導技術に止まらず、ビジネスを成功に導くための有効なツールとして捉えられています。しかし、コーチングという言葉は知っていても、実際にコーチングを受けた人やコーチングに関する知識を持っている人はまだ少ないのが現状です。この「実践！コーチング入門」では、コーチングの概要、今それが必要とされる背景を分りやすく説明し、更には、心理学の深い裏付けをもとに、明日からでも実践できるコーチングのプロセスやテクニックを豊富な実例を含めて伝授します。

講師

★伊東明（東京心理コンサルティング代表取締役社長／心理学博士）

早稲田大学政治経済学部を卒業後、ＮＴＴ株式会社勤務を経て、慶応義塾大学大学院にて博士号を取得。長野大学、目白大学で講師を務めた後に独立。日本では数少ない「ビジネスサイコロジー」「男性・女性心理学」を専門とし、「理論と実践」のビジネス心理学を中心に、コンサルティング業務、セミナー・ワークショップ、ビジネス誌への論文寄稿など積極的な活動を展開している。テレビ・ラジオでのレギュラー出演や雑誌連載などマスコミでの活動も幅広く、著書も多数ある。

1	コーチングとは何か／コーチングカンバセーション
2	コーチングの実施プロセス
3	タイプ別コーチング活用法

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
経営情報システム

講座コンセプト

情報技術の適用領域は、今日では経営のみのとどまらず、あらゆる組織や組織間、個人や個人間の社会経済に及び、その影響を増しつつあります。こういった状況の中、情報システムの基礎的な知識は今や全てのビジネスパーソンにとって必要不可欠になっていると言えます。この番組では、６回にわたって、経営情報システムの変遷を辿るとともに、現代の経営における情報技術の役割を明らかにしてゆきます。
情報技術が進歩する中で、足元を見失わないための知識を身につけられる、必見の講義です。

講師

★島田達巳（摂南大学経営情報学部教授・東京都立科学技術大学名誉教授）

1939 年富山県生まれ。1961 年中央大学法学部法律学科卒業。株式会社明電舎、財団法人日本生産性本部経営指導部主任経営コンサルタント、横浜商科大学専任教授、東京都立科学技術大学教授を経て現職。大阪市立大学博士（経営学）。また、1989-1990 年イリノイ大学客員研究員も務める。

回	内容
1	現代の企業経営と情報技術
2	経営情報システムの変遷
3	組織と情報システム ゲスト：津田邦和氏（ＡＳＰインダストリ・コンソーシアム・ジャパン理事）
4	経営戦略と情報技術 ゲスト：中地中氏（ピップトウキョウ株式会社常務取締役兼ＣＩＯ）
5	情報システムのデザイン ゲスト：天辰正治氏（丸美屋食品工業株式会社取締役統合システム室長）
6	情報技術の活用とコントロール ゲスト：小野寺務氏（日本ヒューレット・パッカード株式会社情報システム部門部門長）

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
業界分析・企業分析

講座コンセプト

ビジネス展開を考える上で欠かせない、「業界分析」「企業分析」。客観的に自分の業界・企業の構造や状態を知ることは、有効な戦略を立案していく上での大きなヒントとなります。この講座では、業界分析と企業分析の基本的な考え方から、実際の手法まで、具体的な事例を豊富に交えながら、４回にわたって詳しくレクチャーを進めていきます。業界分析では、その業界が、成長しているのか、どんな変化が生じているのか、競争環境は厳しいのか、何が成功の鍵なのか、など客観的に業界構造の特徴や変化を知り、その業界で成功するにはどうすれば良いかを知るアプローチを学びます。そして、企業分析では、自社の事業を更に成長させるために、他企業の戦い方を十分に理解し、それらを自社の攻め方や経営上の施策に活かしていくためのアプローチを学びます。

講師

★斎藤顕一（株式会社フォアサイト・アンド・カンパニー代表取締役）

⇒プロフィールは「ビジネス基礎講座　価値提供の営業」（78 ページ）参照

回	内容
1	業界分析（１）
2	業界分析（２）
3	企業分析（１）
4	企業分析（２）

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
ビジネス・コミュニケーション

講座コンセプト

ビジネスを進めていく上で、コミュニケーション・プレゼンテーションのスキルは必要不可欠なものです。この講座では、企業活動の現場で問題解決型コミュニケーションを有効に行うための基本原則、複雑な構造を持つ問題について解を提言するための高度なプレゼンテーションを設計する上での基本原則、それを実行する上での技術の基本的な要素、さらにはそれらを実践で応用し、独自の技術を高めて行くための基礎スキルを学んでいきます。

講師

★安藤佳則（イーソリューションズ株式会社　代表取締役会長）

東京大学法学部卒。ハーバード大学経営大学院卒（MBA)。三菱重工業株式会社、マッキンゼー社、エレクトロニック・データ・システムズ株式会社取締役副社長を経て現職。

1	問題解決のためのコミュニケーション
2	プレゼンテーションの基本的要素を学ぶ
3	プレゼンテーションの基礎スキルを身に付ける

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
ロジカルシンキング

講座コンセプト

「問題解決」が目指すものは、問題の本質的な問題あるいは課題を探し出し、それを解決する方法を考え出すことです。また、実際に本質的課題と解決策を組織の中で共有し、実行に移すためには、人を説得する必要があります。思い込みを廃し、客観的に思考を進めていくためのベースのとなるのが論理的な思考能力です。この講座では、「私達は論理を正しく使う努力が十分でない（あるいは論理を正しく使えない)」ことを自覚することからスタートし、具体的な事例を盛り込みながら「論理的思考」について体系的に解説していきます。

講師

★後正武（株式会社東京マネジメントコンサルタンツ代表）

⇒プロフィールは「経営戦略ライブ」（10 ページ）参照

1	論理とは何かを考える
2	論理の５原則（１）
3	論理の５原則（２）／演繹を使いこなす
4	帰納を使いこなす／イッシュー・ツリー
5	イッシュー・ツリー／コミュニケーション

<ビジネス講座>

ビジネス基礎講座 ベイシック・スキル開発

講座コンセプト

戦略的に物事を考えるための技術・論理は、すべてのビジネス・コミュニケーションの基本です。ビジネスに不可欠なロジカル・シンキングやロジカル・ライティングの基本を学ぶと共に、これをベースとしたプレゼンテーションや問題解決に至る仮説の構築手法を伝授します。論理的思考のフレームワーク、問題解決や戦略への切り口、立案プロセス等を学んで頂きます。

講師

★後正武（株式会社東京マネジメントコンサルタンツ代表）

⇒プロフィールは「経営戦略ライブ」（10 ページ）参照

1	論理的能力を身につける
2	課題解決の鍵／イシュー･ツリー
3	課題解決／戦略立案の一般プロセス
4	発想と自由度（１）
5	発想と自由度（２）
6	意思決定のための分析の技術（１）分析を考える
7	意思決定のための分析の技術（２）分けて考える
8	意思決定のための分析の技術（３）比較して考える／時系列を考える
9	意思決定のための分析の技術（４）時系列を考える／バラツキを考える
10	意思決定のための分析の技術（５）バラツキを考える／過程・プロセスを考える
11	意思決定のための分析の技術（６）ビジネス・システムの話
12	意思決定のための分析の技術（７）ツリーで考える
13	意思決定のための分析の技術（８）不確定・あやふやなものを考える
14	意思決定のための分析の技術（９）人の行動・ソフトの要素を考える
15	「分析」の位置づけ／役割
16	チームの運営（１）あるプロジェクトチームの軌跡
17	チームの運営（２）あるプロジェクトチームの軌跡
18	ビジネスにおけるコミュニケーション
19	「実行する」ためのプログラム
20	戦略への切り口／全体のまとめ

<ビジネス講座>

ビジネス基礎講座 マーケティング

講座コンセプト

単なる概念ではない、事業全体の効率性及び収益性を追求したマーケティング戦略の立案・実行をクローズアップします。ビジネス・システムにおいて戦略的マーケティングの役割は不可欠です。競合戦略に基づく戦略の立案、その戦略を効率的かつ効果的な販売促進戦略や収益性と効率性を追求した営業組織にどのように組み込むかについて、より実践的で広い視野に立って考えます。経営者・幹部候補は必見のコースです。

講師

★後正武（株式会社東京マネジメントコンサルタンツ代表）

⇒プロフィールは「経営戦略ライブ」（10 ページ）参照

1	マーケティングとは何か
2	マーケティングとは何か～ビジネス･システムとマーケティング～
3	競合戦略
4	エコノミクスを考える（１）
5	エコノミクスを考える（２）
6	マーケティングマネジメントの各論全体像
7	製品戦略
8	プロモーションと広告
9	プロダクト・マネージメントとブランド・マネージメント
10	セールス・フォース・マネジメント
11	エリア・マーケティングとグローバル・マーケティング
12	インダストリアル・マーケティングと小売業のマーケティング
13	イベント・マーケティング
14	ダイレクト・マーケティング
15	消費者行動
16	マーケティングへの基本姿勢と戦略について
17	マーケティング　／　営業組織の考え方
18	まとめ

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
企業財務の見方・活かし方

講座コンセプト

この番組では、短時間で効率良く、財務関係、管理会計のポイントを学び、係数感覚を身につけて頂きます。財務分野はあらゆるビジネスパーソンにとって誰もが身につけておくべき分野です。本講座では、簿記会計の世界ではなく、マネジメントという視点から企業財務を捉え、財務の基礎知識、財務分析、管理会計までの重要な観点を網羅しています。管理会計、経営計画、意思決定など、マネジメントの様々な場面で有効に活用できるカリキュラムとなっています。

講師

★千賀秀信（マネジメント能力開発研究所代表）

中小企業診断士　早稲田大学商学部卒。若手ビジネスパーソン向けの育成のために勉強会活動を行う。企業の経営診断、講演、企業研修などで活動中。　インテリジェンス・ビジネス・プロフェッショナルスクール（ＩＢＰＳ）の講師・財団法人ベンチャーエンタープライズセンター（VEC）登録アドバイザーとしてベンチャー企業の経営アドバイザーとしても活躍。

1	企業を見る視点を学ぶ
2	企業の会計制度について▲
3	貸借対照表を理解しよう（１）貸借対照表とは何だろう▲
4	貸借対照表を理解しよう（２）流動資産は企業資金繰りのキーだ▲
5	貸借対照表を理解しよう（３）固定資産、流動負債を理解しよう▲
6	貸借対照表を理解しよう（４）自己資本の意味を理解しよう▲
7	損益計算書の構造を知ろう▲
8	企業の資金状況を分析する
9	運転資金の補足説明　／　長期の安全性について
10	成果を生み出す力を分析する（１）
11	成果を生み出す力を分析する（２）
12	成果を生み出す力を分析する（３）
13	ROE を高めるために　／　付加価値とは
14	労働生産性と労働分配率について　／　会社を総合的に評価する（１）
15	会社を総合的に評価する（２）　／　財務分析 Q&A
16	損益分岐点の基礎（１）
17	損益分岐点の基礎（２）
18	損益分岐点の基礎（３）
19	製品別の損益分岐点分析　／　部門別業績管理のための固定費の分類
20	成果配分について
21	利益計画と意思決定
22	キャッシュフローのとらえ方
23	収支分岐点の売上高について　／　設備投資の採算計画について
24	業務管理のステップと講座のポイント

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
キャッシュフロー経営

講座コンセプト

経営戦略を立案、評価、実行、管理するにはキャッシュフローの概念を理解し、様々な分析ツールと使いこなせるスキルは不可欠です。この講座ではキャッシュフロー経営の基本的な考え方である、現在価値、ＤＣＦ法、など基本的な考え方を解説し、視聴者が自分で財務的にきちんとしたＦ／Ｓが作れるようになることを目的とします。

講師

★中沢恵（ＩＢＭビジネスコンサルティングサービス　執行役員）

1982 年欧州経営大学院(INSEAD)で MBA を取得。自動車会社勤務を経て、プライスウォーターハウスクーパースパートナー。著作に「攻めの財務トップへの変化する CFO の役割」「キャッシュフローを軽視する日本企業の課題と解決策」、共著に「キャッシュフロー経営入門」などがある。

1	財務諸表におけるキャッシュフローの意味と計算
2	企業価値(1)（DCF、NPV、金利）
3	企業価値(2)（企業価値定義、WACC（資本コスト、将来キャッシュフローのシミュレーション）
4	キャッシュフローシミュレーション
5	オピニオンとしての利益、事実としてのキャッシュ（キャッシュフロー重視の経営、利益・キャッシュフロー・SVA）
6	価値創造経営（バリュードライバー、PMM）とシミュレーション

<ビジネス講座>

ビジネス基礎講座 新規事業戦略立案

講座コンセプト

新規事業の戦略を立案するために必要な事業アイディアの着想点から、顧客志向、マーケティング、競合分析、差別化戦略立案、コアコンピテンスとその開発方法、アライアンス戦略、財務計画、人材獲得・育成、リーダーシップまでケーススタディを交えながら解説します。

講師

★炭谷俊樹（ビジネス・ブレークスルー大学院大学　経営学研究科教授）

東京大学理学部修士課程終了後、経営コンサルティング会社マッキンゼーにて１０年間日本企業及び北欧企業のコンサルティングに携わる。新人コンサルタント採用・研修の責任者も担当。１９９６年神戸で子どもの個性を活かす「ラーンネット・グローバルスクール」を開校、同代表。１９９７年大前研一らとともに事業の立ち上げを行う株式会社大前・アンド・アソシエーツを設立。同社の人材開発事業の責任者（パートナー）として、企業のビジネスリーダー育成に携わる。経営管理者育成プログラム「本質的問題解決コース」講師。２００５年４月よりビジネス・ブレークスルー大学院大学　教授。

1	事業アイディア着想のポイント■
2	顧客志向とマーケティング戦略
3	事業戦略とコアコンピテンス
4	ネットで変わるビジネスモデル
5	財務計画と資金調達
6	起業家スピリッツと人材マネジメント

<ビジネス講座>

ビジネス基礎講座 事業計画書作成

講座コンセプト

企業の存続発展を保証してくれるものは、「利益」でも豊かな経営資源「ヒト・モノ・カネ」でもありません。それは、環境変化に適応した戦略なのです。この番組は過去の事例を使い、ビジョン構築から組織・財務･販促活動に至るまでの戦略的な経営計画の立て方を学んでいくカリキュラムになっています。数年後の成功を獲得するための「戦略的経営計画」の作成方法を体得して下さい。

講師

★山口学（株式会社ディー・ブレイン横浜代表取締役社長）

株式会社エム・エス・コンサルティング代表取締役社長　公認会計士　中小・中堅企業の経営コンサルティングを精力的に実施し、企業をあるべき姿に導く「経営的中期計画策定」とそれを実施するための「経営管理システム構築」を実施する。著書「最新財務マニュアル（総合法令）」「起業・開業ハンドブック（オフィスワン）」「新総務経理実務（霞出版）」等多数。

1	経営計画の重要性●
2	経営理念・経営ビジョン・経営計画●
3	事業領域の定義●
4	経営ビジョンの構築と現状分析●
5	ケーススタディ●
6	成功要因と経営目標（戦略目標を中心に）●
7	組織構造・人材能力・組織風土改善目標の立て方●
8	財務体質改善目標の立て方●
9	キャッシュフローの捉え方●
10	短期利益計画と予算の立て方●
11	計画促進体質の作り方●
12	キャッシュフローから見る投資の分析●
13	ビジネスプランのまとめ方(計画推進体制の整備）●
14	総まとめ●

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座 マネジメント概論

講座コンセプト

「経営者的な（企業）全体感」を感得することを目標に、２１世紀の企業経営でキーとなるマネジメント知識を学びます。組織論、ヒューマンリソースマネジメント、ファイナンシャルテクノロジー、マーケティングなどの分野に関する最新の考え方を紹介。また、次世代を担う企業人に求められる「ビジネスに対する情熱」、「ひたむきさ」といったテーマにもアプローチします。

講師

★高橋俊介（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）

⇒プロフィールは「組織人事ライブ」（25 ページ）参照

★野田稔（明治大学大学院 グローバルビジネス研究科 教授／株式会社ジェイフィール代表取締役社長）

⇒プロフィールは「組織人事ライブ」（25 ページ）参照

★小杉俊哉（小杉インターナショナル・インク代表）

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス SFC 研究所研究員などを歴任。マッキンゼー・アンド・カンパニーにて経営コンサルタント、ユニデン株式会社、アップルコンピュータ人事担当を経て独立。社外取締役や顧問の立場でベンチャー企業の支援を行う一方、企業の人事制度・組織変革の支援を行う。

回	内容
1	会社は何のためにあるのか
2	ファイナンシャルテクノロジー　企業を取り巻く数字「企業価値と経営戦略」●
3	マーケティングの役割：バリューチェーンから考えるマーケティング感覚●
4	創造的組織とチームマネジメント●
5	個人と会社の関係：自主性、自立性、自発性がなぜ必要か●
6	ビジネスに対する情熱を感得する●

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座 経営管理実践

講座コンセプト

経営者や管理者にとって自社の利益の源泉と成長する仕組みを理解することが不可欠です。そこで、企業の成長する仕組みを総合的、実践的に学んでいただきます。

講師

★櫻庭周平（櫻庭公認会計士事務所公認会計士）

⇒プロフィールはマネジメント講座「新・会社法」（78 ページ）参照

回	内容
1	企業のマネジメント　実践編（１）●
2	企業のマネジメント　実践編（２）●
3	経営管理の仕組み●
4	経営管理体制の実際●
5	管理者のための財務　基礎●
6	管理者のための財務　実務（１）●
7	管理者のための財務　実務（２）●
8	管理者のための財務　実務（３）●
9	利益コントロールと予算●
10	組織と人のマネジメント●

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
コンサルティング営業

講座コンセプト

日常の営業活動で利益に結びつく情報の選別を行い、それをどのようにデータベース化してマーケティング・営業に活用していくのかなど、利益に直結する営業情報活用を学びます。

講師

★野口吉昭（株式会社ＨＲインスティテュート代表取締役社長）

横浜国立大学大学院工学研究科終了 建築設計事務所、経営コンサルティング会社を経て、独立。論理偏重ではなく、実践を目的としたフィールド重視のコンサルティングを展開。主な著書に「考える組織」「遺伝子経営」「経営コンサルタントハンドブック」などがある。

1	営業を科学する●
2	Ｃｏｎｓｕｌｔｉｎｇ Ｓａｌｅｓ （仮説提案営業） ケーススタディ：キーエンス●
3	ＣＲＭにおけるＳＦＡ ケーススタディ：ケーブル＆ワイヤレスＩＤＣ
4	ＣＲＭにおけるＣＴＩ ケーススタディ：リクルート ゼクシィ事業部●
5	セールス・ナレッジ・マネジメント ケーススタディ：ＴＩＳ＆オリジンコンサルティング●
6	ナレッジ・マネジメントとＥＲＰ●

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
業務高度化のためのＩＴ活用術

講座コンセプト

身近なＩＴ（情報技術）の意義や利便性を理解し、業務やビジネスの武器としてITをより能動的に活用していただくための知識を提供します。また、進化の早いＩＴの世界のトレンドをしっかり押さえ、ビジネスパーソンとして必須の知識を身につけることができます。

講師

★稲増美佳子（株式会社ＨＲインスティテュート副社長）

⇒プロフィールは「ＩＴライブ」（46 ページ）参照

1	インフラ知識をしっかり押さえよう ～ＩＴ（情報技術）でワーキング進化～●
2	イントラネットでもっとラクしよう（１） ～グループウェアで情報共有～●
3	イントラネットでもっとラクしよう（２） ～戦略的パッケージで業務統合～●
4	エクストラネットで、もっと攻めていこう（１） ～Ｗｅｂマーケティングでファンづくり～●
5	エクストラネットで、もっと攻めていこう（２） ～企業間ＥＣで市場創造～●

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
事業計画の理解とPLAN-DO-SEE

講座コンセプト

管理者向けベーシックな内容です。経営におけるマネジメントの基本を、企業の本質、経営管理、事業計画という切り口から学びます。また、会社から与えられた事業計画をベースとして、いかに自分の部署をマネジメントしていけば良いのか、体系的に理解できます。

講師

★櫻庭周平（櫻庭公認会計士事務所公認会計士）

⇒プロフィールは「ビジネス基礎講座　経営管理実践」(89 ページ) 参照

1	経営におけるマネジメント実践の基本　～全社的な経営計画の設定・実行・管理～●
2	各部署における計画の設定・実行・管理　～予算管理と予算修正～●

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
押さえておきたい営業法律

講座コンセプト

日常の営業活動におけるトラブルを防ぐことを目的として、取引を安全に開始し、確実に回収するまでに必要な法律知識の習得を目指します。

講師

★千原曜（さくら共同法律事務所弁護士）

早稲田大学在学中に司法試験に合格。１９８７年第二弁護士会登録、さくら共同法律事務所入所。１９９４年同事務所パートナーとなる。知的所有権、企業顧問、倒産処理など幅広い分野で活躍する。

1	なぜ法律知識は必要か　～企業経営に必要な法律トラブルの実例～●
2	取引を安全に開始するために　～契約書と担保の重要性～●
3	取引を円滑に継続するために　～代金の決済と手形・小切手に関する基礎知識～●
4	債権の回収方法　～催告、担保実行と訴訟の実際～●

<ビジネス講座>

ビジネス基礎講座
押さえておきたい税務

講座コンセプト

企業活動に関わる税金について基本的なことがらを、平易かつ体系的に理解していただけます。税務というと難しいイメージがありますが、具体的な実例を交えながらわかりやすく解説します。

講師

★松野一平（税理士・タックスネットワーク）

慶応義塾大学卒業後、東海銀行に入社。同行を平成元年退社後、税理士試験に合格。平成５年税理士登録し現在税理士として幅広く活動中。

1	法人税の所得金額の計算●
2	法人税等の税額の計算●

<ビジネス講座>

ビジネス基礎講座
押さえておきたい労務管理

講座コンセプト

労務管理の目的や機能をわかりやすく解説し、実務上活用できる知識を提供します。人事労務管理を取り巻く環境の変化に、どんな施策が適切なのか最新の事例を紹介しながら考えます。

講師

★坂井康一（中小企業診断士・社会保険労務士）

旧中立労連傘下の建設労働組合にて専従書記長を務める。昭和４６年独立、主に中小企業の労務管理コンサルタント、中小企業団体の講演、商店街労務診断等に従事する。

1	労務管理の概要　～今日的な課題とその対策～●
2	各種社会保険の仕組みと今日的な課題　～労災保険・雇用保険・健康保険・厚生年金～●

＜ビジネス講座＞

アクティブラーニング 自己学習講座

番組コンセプト

たったの１年で全てをひっくり返してしまうような技術が世界中を駆け巡る２１世紀において、必要になるのは「自ら学ぶ力」。与えられたものをただ吸収するだけの「受動的な学習」から、自らの力で積極的に学ぶことができる「アクティブな学習能力」を習得するために、必要な考え方や具体的なスキル・テクニックを解説します。

講師

★羽根拓也（アクティブラーニングスクール代表／株式会社アクティブラーニング代表取締役）

日本で塾・予備校の講師を経て、1991 年渡米。ペンシルバニア大学、ハーバード大学で語学専任講師を務める。独自の教授法はアメリカでも高い評価を受け、1994 年ハーバード大学より優秀教授賞(Certificate of distinction in Teaching)を受賞。日米 10 年以上に渡る教育活動の集大成として、1997 年東京神田に「アクティブラーニングスクール」開校。これまで 日本には無かった「学ぶ力」を指導育成する教育機関として各界より高い評価を得ている。

1	「自分で学ぶ力」を伸ばす（１）▲
2	「自分で学ぶ力」を伸ばす（２）▲
3	「自分で学ぶ力」を伸ばす（３）▲

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座 ビジネスプラン

番組コンセプト

現在、事業計画書の作成法に関する様々な書籍がありますが、具体的に実践（効果的に作成）できるレベルまで記述されたものはほんの僅かです。この講座では、ビジネスプラン作成の基本から実践まで、具体的な事例を示しながら全６回のシリーズで解説します。まず、ビジネス・プランニング概論として、事業計画書は何故必要か、事業計画書作成の流れ（全体像)、作成までのポイント等について解説します。次に、実際の作成方法について手順を追って解説します。さらに、事業計画書作成にあたっての必須項目や効果的な記述法、等について具体的なケースを用いて分かりやすく解説していきます。最後に、読ませる資料ではなく、見せるためのプレゼンテーションの資料作成法やプレゼンテーション実施のポイントについても解説します。

講師

★森本晴久（アストリアコンサルティンググループＬＬＣマネジング・ジェネラル・パートナー）

アリゾナ州立大学工学部卒業後コムラインインターナショナルで企画室長、専務取締役として国際市場担当。93年からはNY支店開設を契機に海外勤務。アジア・ベンチャーキャピタルジャーナル(香港)副社長に就任の後、独立し日米でプライベートエクティー・VC支援事業・教育事業の開発と運営する事務所を開設し現在に至る。

1	ビジネスプランとは
2	事業計画立案のポイント
3	ビジネスプラン作成法について
4	ビジネスプランを作る
5	プレゼンテーションをする
6	総括・プラン作成者に聞く

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座 マーケティング・サイエンス

番組コンセプト

この講座では、マーケティングの基本を踏まえつつ、統計学の初歩的な事前知識をベースに客観的なデータと論理に基づいて市場を捉えるための基本的な考え方を学びます。また、Excel などの表計算ソフトを用いて具体的な分析手法をマーケティング・マネジメント・プロセスに沿って習得します。
本講座を学習することで、どのようなデータをどのようにして分析していけば良いのか、という問題に対しての基本的な考え方と実務レベルの分析手法を習得し、日常の中で実践を繰り返すことによって、意思決定の精度を向上させることができるようになります。

講師

★古川一郎（一橋大学大学院商学研究科教授）
1979 年東京大学経済学部卒業後、東京銀行入行。東北大学経済学部助教授、大阪大学経済学部助教授、一橋大学商学部助教授を経て、1998 年カリフォルニア大学バークレー校ハース経営大学院客員研究員。2000 年一橋大学商学研究科教授となり現在に至る。

1	マーケティング・サイエンス入門
2	科学的アプローチと競争市場構造分析
3	消費者行動プロセスと消費者行動モデル
4	マーケティング情報の収集と活用
5	マーケティング戦略の決定（Ｓ・Ｔ・Ｐ）
6	製品デザイン
7	プライシング
8	コミュニケーションと広告
9	プロモーション
10	流通と営業に関する意思決定の分析モデル
11	テスト・マーケティングとマーケティング意思決定システム
12	現代マーケティングの課題

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座 製品開発の価値創造

番組コンセプト

これまで、経営学における製品開発は、戦略論、マーケティング論、組織論などの学際的な分野の一部として扱われてきたため、それらの応用分野としての製品開発の理論体系が十分に整理されていませんでした。本講座の視点は、製品開発における個別の方法論「How」に対する知識ではなく、製品開発の組織や戦略の基礎となる考え方やロジック「Why」に対する知識を体系的に学ぶことを目的としています。
また、「ヒット商品」を狙うための製品開発ではなく、「持続的な競争力を構築する」ためには、いかにして組織能力を構築したら良いかについて解説します。最後に、優れた製品開発を持続的に行える組織の条件についても明らかにしていきます。

講師

★延岡健太郎（神戸大学経済経営研究所教授）
大阪大学工学部精密工学科卒業後、マツダ（株）に入社。マサチューセッツ工科大学より経営学修士取得後、同大学より Ph.D（経営学博士）を取得。現在は神戸大学経済経営研究所教授、経済産業研究所ファカルティフェロー。

1	製品開発による価値創造の本質
2	技術・製品戦略：コア技術戦略
3	製品開発の組織構造
4	組織プロセスのマネジメント
5	ビジネスモデル：アウトソーシングと企業間関係）
6	日本企業の競争力と製品開発能力

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座 統計解析入門

番組コンセプト

統計的手法は、アンケートデータの分析や需要量の予測、シックスシグマ活動等、ビジネスにおける様々な場面で適用されています。本講座では、統計学の基礎である「記述統計学」と「相関分析」、統計学の本論である「推測統計学」を習得します。
毎回の講義では、理論解説のみではなく、表計算ソフトの Excel を使用して具体的な事例からデータ分析を行い、分析手法の適用法と分析結果の読み方を講義します。

講師

★菅　民郎（株式会社エスミ代表取締役社長）

東京理科大学理学部応用数学科卒業。市場調査・統計解析・予測分析・システム開発・ソフト販売を行う会社として、株式会社エスミを設立。代表取締役社長。

1	記述統計学　～集団の特色や傾向を基本統計量で調べる～
2	度数分布・正規分布　～集団の特色や傾向を度数分布・正規分布で調べる～
3	相関分析　～因果関係、影響度を相関係数で調べる / 改善項目を顧客満足度調査（CS）で調べる～
4	推測統計学 ～統計学及び統計解析手法を体系化する / 支持率、保有率などの回答率をアンケート調査から推計する / 年代別、マーケティング施策前後別などのデータに違いがあるかを検定する～

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座 ロジスティクス

番組コンセプト

近年の情報技術の発展と共にロジスティクスの重要性が再認識され、高い関心を集めている。しかし、これまでの多くのロジスティクス関連の書籍では、抽象的な概念の解説に留まっており、実際のロジスティクス上の諸問題に対して実践･適用できるレベルまで習得できるものは、ほとんど無い。そこで、本番組では、アカデミックな理論や概念の解説に留まらず、具体的な実践への適用方法についても解説する。はじめに、ロジスティクス概論について全体像を解説する。第２回以降では、主要モデルの使い方について解説し、簡単な演習問題を行う。その際、各講義では実際の主要モデルを表計算ソフトの Excel などを用いてシミュレーションを行い、毎回の講義での理論解説と演習を重ねることによって実践へのスキルを身に付けることを狙いとする

講師

★久保幹雄（東京海洋大学流通情報工学科助教授）

早稲田大学大学院博士後期課程修了。東京海洋大学流通情報工学科助教授。

1	ロジスティクス概論
2	在庫理論の基礎
3	安全在庫配置
4	ロジスティクス・ネットワーク設計
5	ロットサイズ、スケジューリング
6	その他のトピックス配送計画、収益管理、需要予測

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
品質管理

番組コンセプト

「生産戦略をどのように構築するか、具体的な展開をどうするか。また、その戦略の中で品質マネジメントをどのように行うか。品質不祥事を防ぐための体制をどのように構築するか。リスクマネジメントをうまく行うには、ヒューマンエラーの撲滅をはかるためには等、品質を作り込むためのノウハウを講義します。

講師

★　長田　洋（東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科技術経営専攻教授）
★　岩崎日出男（近畿大学大学院　総合理工学研究科教授）
★　棟近雅彦（早稲田大学理工学部経営システム工学科教授）
★　高橋武則（慶應義塾大学大学院　健康マネジメント研究科教授）
★　中條武志（中央大学理工学部経営工学科教授）

1	持続的成長に貢献する品質経営
2	品質管理の運営、推進
3	品質保証と標準化
4	マネジメントサイクルの３タイプ（問題解決・課題達成・想定対応）
5	品質管理のための教育と人づくり
6	品質賞 ～その意義と特徴～

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
生産マネジメント

番組コンセプト

ものづくりの原点、現場力をつけるにはどうすればよいか、持続的に発展するためには職場・現場はどうあるべきかを学びます。その中で、設備管理、原価管理、工程管理、検査管理をどう位置づけ、効率的に運営するか。コストダウンの取組み、生産性向上に向けての取組みを紹介する。

講師

★　圓川隆夫（東京工業大学大学院社会理工学研究科経営工学専攻教授）
★　渡邉一衛(成蹊大学理工学部情報科学科教授)
★　角　忠夫(北陸先端科学技術大学院大学客員教授/ 芝浦メカトロニクス株式会社前代表取締役社長)
★　綾野克俊(東海大学大学院　経済学研究科教授/東海大学政治経済学部経営学科主任教授)
★　梶谷鉄朗(株式会社小松製作所　執行役員　購買本部長)

1	生産管理
2	管理技術としての IE、設備管理
3	原価管理とコストダウン
4	工程管理（工程の設計・維持と管理）
5	購買の基本と戦略

<ビジネス講座>

ビジネス基礎講座 成功するビジネスプラン

番組コンセプト

企業にとって既存事業のビジネスモデルを再構築する際や、新規事業の立ち上げを目指すときなどビジネスプランの作りこみが不可欠です。また、これから事業を起こそうとする起業家にとっても、ベンチャーキャピタルや金融機関等に出資を仰ぐ際など大切なコミュニケーション手段となります。本講座では、ビジネスプランを作成するためのフレームワークや作成のポイント、構成と書き方、財務計画について具体的に解説していきます。

講師

★伊藤良二（慶應義塾大学　政策・メディア研究科　教授）

⇒プロフィールは「経営戦略ライブ」（10 ページ）参照

1	生ビジネスプランを作成する前に
2	ビジネス分析のフレームワーク（１）
3	ビジネス分析のフレームワーク（２）
4	ビジネスプラン作成のキーポイント
5	ビジネスプランの構成と書き方
6	財務計画の作成にあたって

<ビジネス講座>

ビジネス基礎講座 「人を動かす」プレゼンテーション

番組コンセプト

これまで、プレゼンテーションに纏わる苦い経験をお持ちの方は、多いのではないでしょうか。書店でもプレゼンテーションに関する数多くの書籍が置かれています。しかし、書籍を読んだだけでは今までに染み付いた自己流の悪い癖を克服することはなかなかできません。そこで、本講座では、長年にわたって米国マッキンゼー･アンド･カンパニーのビジュアル･コミュニケーション･ディレクターを務めたジーン･ゼラズニー氏の名著『Say It with Presentations』を下に、その訳者である菅野誠二氏がプレゼンテーションの本質とチャート作成も含めたプレゼンテーションのプロデュース技術を惜しみなく伝授します。

講師

★菅野誠二（有限会社ボナ･ヴィータ 代表取締役(経営コンサルタント)

早稲田大学法学部卒業。IMD 経営学大学院 MBA。ネスレ日本にて営業、ブランドマネジャー、マッキンゼーにて数々の大手企業へのコンサルティング、ブエナビスタ(ディズニーのビデオ部門)にてマーケティングディレクターを務める。現在、ボナ･ヴィータ社を設立しベンチャー数社を支援する傍ら、コンサルティングとアクションラーニングを通じた企業変革に携わっている。マーケティング戦略を学ぶ私塾 BLTC にて講師

1	「人を動かす」プレゼンテーションとは？
2	プレゼンテーションの手順
3	「人を動かす」プレゼンターになるには

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
実践！マーケティング戦略論

番組コンセプト

マーケティングと聞くとビジネススクール等で教えているロジックやフレームワークを思い浮かべますが、実践的に活用するためには、それだけでは不十分です。優れたマーケッターは、日常の生活や仕事の場面でも常に新鮮な気持ちで事象を考察し、顧客を洞察する力とセンスを磨きつづけています。本講座では、マーケッターとして押さえるべきマーケティングの本質と具体的な実践方法について学びます。

講師

★数江良一（マーケティング・スコープ社代表取締役）

早稲田大学商業部卒業。日産自動車に入社。北米市場のマーケティング企画業務に携わる。米国ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院修士課程修了（MBA）後、ルイ・ヴィトン・ジャパンのマーケティングマネージャー、バカラパシフィックの代表取締役専務、タイメックスの在日代表を歴任後、マーケティングに関するコンサルティングを行うマーケティング・スコープ社を創業。経営塾 BLTC（ビジネスリーダーズトレーニングキャンプ http://www.bltc.co.jp）を主宰。

1	顧客価値の本質とマーケッターの役割
2	ププロダクト・ライフサイクルの意味合い
3	リサーチとマーケティング環境分析
4	実践的セグメンテーションとターゲティングの手法
5	競争優位のポジショニングと製品開発の実態
6	マーケティング目標と整合する実践的価格戦略
7	困難なチャネル問題の本質的把握と克服策
8	効果的なマーケティング・コミュニケーションミックスの進化

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
アカウンティング

講座コンセプト

伝統的会計学では、貸借対照表、損益計算書等の財務諸表を理解しようとするとその作成プロセスにおいて複式簿記の習得が不可欠なものとなります。しかし、ビジネスパーソンにとって複式簿記を理解することは本質ではなく、財務諸表の経営上の意味合いを読み取ることが重要なのではないでしょうか。 本講座では、「複式簿記を使用せずに財務諸表の情報意味を理解することは可能である」との考えのもと、新しい視点から財務諸表の経営上の意味合いを分かりやすく解説していきます。また、企業の実際の財務諸表をもとに、「財務諸表がどのように経営戦略を表しているのか」について実例を紹介します。

講師

★高田橋範充（中央大学専門大学院国際会計研究科（アカウンティングスクール）教授）

⇒プロフィールは「ビジネス基礎講座　アカウンティング　～入門編～」（79 ページ）参照

1	会計システムの基本構造
2	現代会計制度の様相
3	財務諸表（１）　費用配分
4	財務諸表（２）　負担・純資産・損益計算
5	連結財務諸表と合併
6	財務諸表分析
7	日産と会計ビッグバン
8	キヤノンの多角化と財務諸表

<ビジネス講座>

ビジネス基礎講座
戦略管理会計

講座コンセプト

勘と経験だけでは生き残れない ― めまぐるしい環境変化に即応し、的確な手を打つためには、データの分析に裏打ちされた戦略立案が不可欠です。
本講座では、基本的手法からキャッシュフロー分析まで、意思決定を間違えない経営戦略のために、収益力強化やコスト削減、業績管理に役立つ管理会計のポイントを、事例研究を交えわかりやすく解説します。

講師

★西山茂（早稲田大学　経営専門職大学院　教授株式会社西山アソシエイツ代表。公認会計士）

⇒プロフィールは「戦略財務会計」（81 ページ）参照

1	管理会計とは何か・短期的意思決定
2	損益分岐点分析・長期的意思決定（１） （フリーキャッシュフローと WACC）
3	長期的意思決定（２） （NPV、IRR、回収期間法）
4	標準原価計算、直接原価計算、 活動基準原価計算(ABC)
5	業績管理の仕組み
6	企業価値の評価とそれを創造する仕組み

<ビジネス講座>

ビジネス基礎講座
ネゴシエーション

講座コンセプト

異文化で仕事を進めるために、「論理的思考を基本とした明瞭なコミュニケーションスキル」が必要不可欠です。この必要不可欠なスキルと交渉の関係について言えば、「交渉」を「論理的な思考の応用分野」として考え、「双方の問題を同時解決することによってお互いの満足度を高めるコミュニケーションの過程」と捉えることができます。また、日本企業のグローバル化が急激に進展する中で、平等を確保するための正当な手段として「交渉」を位置づけし直すことが望まれています。
この講座では、「交渉力とは何か」「交渉の前提」「交渉力の源泉」、さらには「平常心の保ち方」も解説し、ビジネスパーソンが身につけるべき交渉のスキルの体得を目指します。

講師

★高杉尚孝（高杉尚孝事務所　代表取締役）

慶応義塾大学経済学部卒。ペンシルバニア大学ウォートン経営大学院卒（MBA）。米国アルバート･エリス研究所理性感情行動療法上級課程修了。米国ヒプノシス･モチベーション学院心理療法上級課程修了。ニューヨーク証券取引所認定スーパーバイザー･アナリスト。モービル石油（現エクソン･モービル）、マッキンゼー、JPモルガン（現JPモルガン･チェース）、バーソン･マーステラ社マネジング･ディレクターを経て現職

1	交渉の本質と交渉力
2	交渉過程の重点項目
3	非生産的な交渉の対応方法（１）
4	非生産的な交渉の対応方法（２）
5	非生産的な交渉の対応方法（３）
6	平常心の保ち方

<ビジネス講座>

ビジネス基礎講座
リーダーのための実践ファシリテーション

講座コンセプト

ファシリテーションとは、「プロセスに働きかけてチーム力を引き出し、対立を創造的に解消し、問題解決を促すこと」である。今日の日本企業を取り巻く環境（ビジネスの国際化、価値観の多様化、組織のフラット化、異業種による協働など）において、効率的な会議、組織変革を実現するために、ファシリテーションのスキルは極めて重要である。
本講座では、ファシリテーションに必要な知識・スキルを網羅的に解説するとともに、実際の会議シーンを再現することで、その技術の習得を促す。また、場のコントロールするためのテクニックも映像を通じてわかりやすく解説する。

講師

★森時彦（株式会社チェンジ・マネジメント・コンサルティング　代表取締役）
大阪大学基礎工学部卒　工学博士　MIT　スローン経営大学院卒　(MBA)。株式会社神戸製鋼所　にて、技術開発、新規事業企画、半導体搬送システムなどを担当。その後、日本GE役員に就任。事業企画、プラスチックス事業のグローバルマーケティング、アジアパシフィックの製品開発、プロダクトマネジメントなどに従事。テラダイン株式会社の日本法人代表取締役を経て現職。

1	ファシリテーションとは何か？
2	共感を得る、場をコントロールする
3	触発する、かみ合せる（１）
4	触発する、かみ合せる（２）
5	触発する、かみ合せる（３）　行動を促す
6	風土改革、組織変革のファシリテーション

<ビジネス講座>

ビジネス基礎講座
グローバルマネジャーのマインドとスキル

講座コンセプト

グローバルなビジネス環境で必要なものは、共通言語である英語を話す力「英語力」と「ビジネスの知識」だけではなく、「マインド」と「スキル」です。不確実性、多様性、スピードが重視される現在のビジネス環境だからこそ、真のグローバルマネジャーには、「マインド」と「スキル」が求められるのです。本講座では、グローバルビジネスでの「マインド」と「スキル」の育成が不十分な日本のビジネスパーソンが、英語環境で失敗し易い場面を忠実に再現し、失敗の背後にある誤解を浮き彫りにするとともに、随時、望ましい英語表現も交えながら、グローバルマネジャーとしてあるべき考え方や態度（「マインド」）、「スキル」を育成していきます。

講師

★船川淳志（グローバルインパクト代表パートナー）
慶応義塾大学法学部法律学科卒業。東芝、アリコ・ジャパン勤務ののち、1990年に渡米。アメリカ国際経営大学院（サンダーバード校）にて、修士号取得（MBA in International Management）後、米国シリコンバレーを拠点に組織コンサルタントとして活躍。帰国後、グロービスのシニアマネジャーを経て独立し、現職。組織開発、企業変革にかかるコンサルティング・プロジェクトを手がける傍ら、組織、リーダーシップ、人材開発等の幅広いテーマにわたるセミナーも行う。著書に『ロジカルリスニング』（ダイヤモンド社）など多数。

1	今、そこにある「グローバル」▲
2	ブリーフィングを求められて▲
3	プロジェクトの提案を受けて▲
4	Leading Change▲ ゲスト：レックス・バレンタイン氏（日本ベクトン・ディッキンソン株式会社　前代表取締役会長）
5	Working in the multi-cultural organization▲ ゲスト：玉内みちる（国連 Human Resources Planning Officer）
6	グローバルチームへ参加！▲
7	ブレーンストーミングに貢献せよ！▲
8	Working with Asians：A Perception of European Business Person▲ ゲスト：ミシェル・ローソン氏（エス・ビー・エー株式会社バイス･プレジデント）
9	キーワードが気になったら？▲
10	行動計画作成！▲
11	欧米のビジネス書に見る潮流▲ ゲスト：原田英治氏（英治出版株式会社代表取締役）
12	ビジネスディナーをのりきれ！▲
13	前半のまとめ▲
14	海外現法着任挨拶▲
15	Developing Global Managers▲ ゲスト：スティーブン・ラインスミス氏 （オリバー・ワイマン　エグゼクティブラーニングセンター　シニアパートナー）
16	人事考課面談⑴：評価が違う！▲
17	人事考課面談⑵：部下育成▲

18	CSR in Globalization▲ ゲスト：石田　寛（関西学院大学大学院　経営戦略研究科准教授）
19	チームをファシリテーション！▲
20	Communication:The Heart of Management▲ ゲスト：ジョン・ギレスピー氏（ギレスピー・グローバル・グループ代表）
21	キャメル・ヤマモト氏と語るグローバル人材への道▲ ゲスト：山本成一氏（トーマツ コンサルティング株式会社ディレクター）
22	どうする？電話会議！▲
23	世界標準か、日本標準か？▲
24	選ばれるパートナーをめざせ！▲
25	まとめ▲

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
精神タフネス強化

講座コンセプト

今日、ビジネスパーソンは、大きな重圧の下で結果を出すことを期待されています。この重圧に屈してしまえば、実力を発揮するのも、結果を出すのも難しくなります。重圧に対する抵抗力の向上、すなわち「精神タフネス」が重視される由縁です。
本講座は、重圧状況において感情と行動を制御するための、思考管理技術の習得を目指した番組です。重圧に屈してしまう思考のメカニズム、歪んだ思考の修正方法、重圧軽減に有益な思考方法を、講義、演習、ケースを通して体系的に学習していきます。

講師

★高杉尚孝（高杉尚孝事務所 代表取締役）

慶応義塾大学経済学部卒。ペンシルバニア大学ウォートン経営大学院卒（MBA）。米国アルバート・エリス研究所理性感情行動療法上級課程修了。米国ヒプノシス・モチベーション学院心理療法上級課程修了。ニューヨーク証券取引所認定スーパーバイザー・アナリスト。モービル石油（現エクソン・モービル）、マッキンゼー、JPモルガン（現JPモルガン・チェース）、バーソン・マーステラ社マネジング・ディレクターを経て現職

1	本講座の本質と全体像
2	悪い思考の特定
3	悪い思考の論駁
4	良い思考と感情の選択
5	ケーススタディー（１）
6	ケーススタディー（２）

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座
法人営業のスタンダードを学ぶ

講座コンセプト

「飛び込み」「気合い」「粘り」で語られた営業手法は通用しない時代。人間関係だけで業績を上げることもできない。営業の方法は時代と共に変化しているのだ。特に合理性が求められる法人営業では、感性に頼らない論理的な営業が求められる。このシリーズでは、リクルートで“伝説の営業マン”とまで呼ばれた高城幸司氏（㈱セレブレイン代表取締役社長）を講師に迎え、すべての営業マンに必要とされるスタンダードな営業スキルを解説する。

講師

★高城 幸司（株式会社セレブレイン 代表取締役社長）

同志社大学文学部卒。リクルート営業部門で活躍後、起業情報誌『アントレ』を創刊して編集長に。リクルートエージェントで金融・事業再生に関する人材ビジネスを立ち上げ後、株式会社セレブレインの代表取締役社長に就任。著書は『法人営業の勝ちパターンがわかる本』、『リーダーシップの基本とコツ』、『『営業マンは心理学者！』ほか、40 冊を超える。

1	営業スキルの磨き方（1）
2	営業スキルの磨き方（2）
3	営業スキルの鍛え方
4	企画提案の磨き方

＜ビジネス講座＞

ビジネス入門講座
情報調査力の磨き方

講座コンセプト

情報調査は、課題解決に必要不可欠なプロセスの一つであり、ビジネスパーソンにとって必須のスキルである。「情報調査の磨き方」（３回シリーズ）では、情報調査力をブラッシュアップするために必要な考え方を、①情報調査の位置付けと仕組み②基本情報源の紹介と使い方のポイント③情報調査のプロセス・まとめ方・見せ方、を講義致します。講師はマッキンゼー・アンド・カンパニーなどでリサーチ業務に精通し、2004 年から有限会社インフォナビ代表を務める上野佳恵が務めます。

講師

★上野 佳恵（有限会社インフォナビ代表 取締役）

津田塾大学卒業後、株式会社日本能率協会総合研究所入社。マーケティング・データ・バンク（ＭＤＢ）にて顧客向け情報提供サービスに携わる。のち、マッキンゼー・アンド・カンパニーにて、社内向けリサーチ業務の傍ら、インフォメーション・サービスグループのリーダーとして東京・大阪・ソウル各オフィスの情報センター整備、トレーニングなどを手掛ける。その後、有限会社マーケティングドゥを経て、2004 年リサーチ関連サービス・コンサルティングを行う有限会社インフォナビ設立、現在に至る。
主な著書に『情報調査力のプロフェッショナル』など。

1	情報調査の仕組み
2	ビジネス情報ニーズと基本情報源
3	情報の見方・使い方

＜ビジネス講座＞

ビジネス入門講座 企業の決算書から学ぶ会計入門

講座コンセプト

「数字や専門用語の羅列でとにかく難しい」というイメージが先行し、敬遠されがちな会計だが、現場勝負の営業マンにとってもその知識は大きな強みとなる。外資系コンサルティング会社で修行を積み、公認会計士として独立後は、執筆や講演活動を通じて経営・会計の基本から最新動向を真面目に、ときには笑いを交え変幻自在に解説する田中靖浩氏を講師に迎え、全６回で会計の基礎をマスターする。リアルな分析で「会社が見えた」瞬間の面白さと醍醐味を味わっていただきたい。

講師

★田中靖浩（田中公認会計士事務所 所長）

1963 年生まれ。三重県四日市市出身。早稲田大学商学部卒業。外資系コンサルティング会社などを経て独立。経営コンサルティング会社などを経て独立。経営コンサルティング、会計セミナーといった堅めの仕事から、落語家・講談師との公演など柔らかい仕事まで、幅広く活動中。

1	イントロダクション ～数字に強いとはどういうことか？～
2	損益計算書を読む ～人口減少で縮むマーケットでどう稼ぐか？～
3	貸借対照表を読む ～会社もメタボな財務体質には要注意！～
4	貸借対照表を読む ～効率のよい経営を行っているか？～
5	キャッシュフロー計算書を読む ～カネの流れから経営戦略をつかむ～
6	増益のための管理会計を学ぶ

＜ビジネス講座＞

ビジネス基礎講座 ざっくり分かるファイナンス

講座コンセプト

ファイナンスの基礎を学ぶ全 12 回のシリーズ。ファイナンスとは何かという基本的な考え方から、投資の判断基準、企業価値評価まで、演習や事例研究を交えながら分かりやすく解説していく。
第１回目は、会計の基礎知識を復習。混同されがちな会計とファイナンス（財務）の違いを、それぞれが扱うカネの種類や時間軸などを比較しながら考える。また、会計に欠かせない財務三表のうち、貸借対照表と損益計算書の構造や、相互のつながりについて学ぶ。

講師

★石野 雄一（株式会社オントラック／中央大学大学院国際会計研究科非常勤講師）

現三菱東京ＵＦＪ銀行で融資業務に従事した後、米インディアナ大学にてＭＢＡを取得。その後、日産自動車財務部でのマネジメント業務、ブーズ・アンド・カンパニーでのコンサルティング業務を経て、2009 年に社長専門のコンサルティングを行う株式会社オントラックを設立。現在は中央大学大学院のファイナンス基礎講座も担当している。

1	会計の基礎（1）～会計とファイナンスの違い～
2	会計の基礎（2）　ミニ演習
3	お金の時間価値～将来価値と現在価値～
4	投資の判断基準（1）
5	投資の判断基準（2）
6	フリーキャッシュフローとは何か
7	投資の判断基準　ミニ演習
8	運用リターンと調達コスト（1）
9	運用リターンと調達コスト（2）
10	会社の値段～企業価値評価（1）
11	会社の値段～企業価値評価（2）　ミニ演習
12	まとめ

＜ビジネス講座＞

Essentials of Management
Marketing

番組コンセプト

Essentials of Management はビジネスの基礎知識を体系的に英語で学ぶ講座です。本講座では、基礎からMBA レベルのマーケティングを題材に全て英語で講義が行われます。日本人講師による英語を使ったビジネス講座です。

講師

★平久保仲人（ニューヨーク市立大学ブルックリン校経済学部マーケティング助教授）

ニューヨーク市立大学ブルックリン校経済学部マーケティング助教授

1995年、ペース大学商学部博士課程修了。アメリカ技術移転協会マネージャー、ウインマックス社(ニューヨーク)副社長、セント・ピーターズ大学助教授を経て現職。専門はマーケティング戦略・消費者行動論・E-コマース・イノベーション。

1	Marketing Philosophy
2	Strategic Planning - Corporate strategy
3	Strategic Planning - Business strategy
4	STP (segmentation, targeting and positioning)
5	Product, Pricing, and Distribution Strategies
6	Promotion Strategies

＜ビジネス講座＞

Essentials of Management
Problem Solving Approach

番組コンセプト

Essentials of Management はビジネスの基礎知識を体系的に英語で学ぶ講座です。本講座では、基礎からMBA レベルのプロブレム・ソルビング・アプローチ（問題解決手法）を題材に全て英語で講義が行われます。日本人講師による英語を使ったビジネス講座です。

講師

★石倉洋子（一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授）

⇒プロフィールは「イノベーションライブ」(35 ページ)参照

1	Overview of Problem Solving
2	Problem Definition/Identification
3	Issue analysis
4	Data collection
5	Generation of hypothetical solutions
6	How to put it together
7	Practice

＜ビジネス講座＞

Essentials of Management Accounting

番組コンセプト

Essentials of Management はビジネスの基礎知識を体系的に英語で学ぶ講座です。本講座では、基礎からMBA レベルのアカウンティングについて全て英語で講義を行います。まず、アカウンティングの概論と企業会計の仕組みについて学び、第２回～第４回で B/S、P/L、C/F について基本となる考え方と財務諸表の見方を中心に学びます。第５回では、基礎的な財務分析の考え方・罫線方法についてまなびます。第６回では、これまでに学習した内容を踏まえてケースを用いて考えます。最後に国際会計基準（IAS）の概要と日本の会計制度との違い等について解説します。

講師

★Pamela Allen（株式会社サイコム・インターナショナル　マネージメントトレーナー）

株式会社サイコム・インターナショナル　マネージメントトレーナー

デラウエア大学(会計、財務専攻)卒業、Allied Signal（現 Honeywell)社でのシニア・アカウンタント、Global Silverhawk Group でのチーフ・ファイナンシャル・オフィサーなどを経て現職。

1	The Accounting Framework: Financial Statement and Accounting Concepts
2	The Balance Sheet
3	The Income Statement
4	The Cash Flow Statement
5	Analysis Tools
6	Bringing it All Together: Case Study
7	Advanced Concepts

＜ビジネス講座＞

Essentials of Management Competitive Strategy

番組コンセプト

Essentials of Management は、ビジネスの基礎知識を体系的に英語で学ぶ講座です。 本講座では、戦略論を題材に全て英語で授業が行われます。 日本人講師による英語を使ったビジネス講座番組です。

講師

★楠木建（一橋大学大学院国際企業戦略研究科准教授）

⇒プロフィールは「イノベーションライブ」(35 ページ)参照

1	What is Strategy? : Three Sources of Profitability
2	Where to Compete? : Competitive Structures of Industries
3	Strategic Positioning and Competitive Advantage
4	Organizational Capabilities and Competitive
5	Strategic Positioning vs. Organizational Capabilities
6	Business Models

＜ビジネス講座＞

Essentials of Management Corporate Strategy

番組コンセプト

Essentials of Management はビジネスの基礎知識を体系的に英語で学ぶ講座です。本講座では、基礎から MBA レベルの戦略論について全て英語で講義を行います。

講師

★ステファン・リッペルト(ビジネス・ブレークスルー大学大学院 教授)

専門は、企業戦略、マーケティング、国際的 M&A。海外企業の日本への誘致、および日本企業の海外進出の補助。独、日、米およびオーストラリアの経済、法律、史学を学び、独キール大学経済史学部助教授、早稲田大学商学部特別研究員、ハーバード法律学校特別研究員のほか、日本および韓国における数多くの主要大学(ビジネス・ブレークスルー大学大学院・一橋大学大学院)にて講義を行い、国際的に講演活動やワークショップのホストを務める。

1	Leadership, Strategy and Competitive Advantage
2	Opportunities and Threats－External Environment
3	Competencies and Profitability－Internal Resources
4	Strategy at the Functional-Level
5	Strategy at the Business-Level
6	Industry Environment
7	Technology
8	Strategy at the Corporate-Level: Globalization
9	Strategy at the Corporate-Level: Diversification
10	Strategy at the Corporate-Level: Integration and
11	Performance, Governance and Business Ethics
12	Implementing Strategy Through Organizational Design

株式会社 ビジネス･ブレークスルー

【麹町オフィス】 〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア

【六番町オフィス】 〒102-0085 東京都千代田区六番町1番7号 Ohmae@workビル

TEL:03-5860-5530(代表) FAX:03-5297-1781